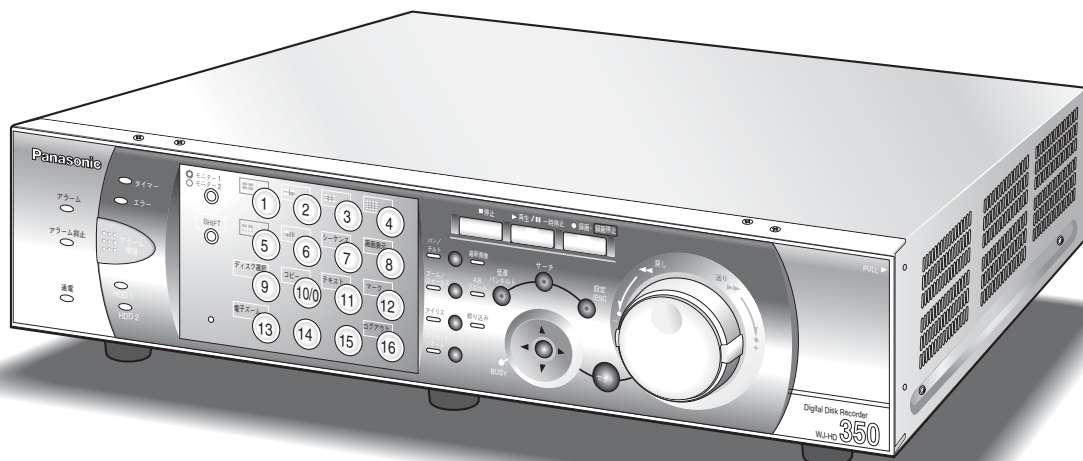


デジタルディスクレコーダー 品番 WJ-HD350 シリーズ



(イラストはWJ-HD350です)

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、WJ-HD309/5、WJ-HD309/10、WJ-HD350、WJ-HD350/5、WJ-HD350/10、WJ-HD350/20、WJ-HD350-W、WJ-HD350-W5、WJ-HD350-W10の取扱説明書です。

保証書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(13～15ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

商品概要

本機は、カメラで監視している映像を録画・再生するデジタルディスクレコーダーです。

(WJ-HD350、WJ-HD350/5、WJ-HD350/10、WJ-HD350/20：シルバー色、WJ-HD350-W、WJ-HD350-W5、WJ-HD350-W10：ホワイト色、WJ-HD309/5、WJ-HD309/10：シルバー色)

デジタルディスクレコーダーは、ビデオテープの代わりにパーソナルコンピューター（以下、PC）などに使用されている記録装置であるハードディスクドライブ（以下、HDD）を内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がありません。

また、本機は16台まで（WJ-HD309は9台まで）のカメラを直接接続し、録画することができます。複数のカメラの映像をモニターに表示したり、カメラ映像を切り換えるなど、本機からカメラの操作も行えます。

商品の特長

多彩な録画機能

●マルチレコーディング機能

カメラの場所によって録画レートを変えて録画したい場合など、運用形態が異なる環境でも、本機1台で効率的に運用できます。

●スケジュール機能

指定した曜日の指定した時間帯に自動で録画を行うよう設定できます。さらに、時間帯ごとに録画設定（録画レート・画質など）を変えることができます。

●緊急録画機能

緊急事態などが発生したときに、外部に設置したスイッチ操作で、緊急録画モードに切り換えて録画します。

●外部タイマー録画機能

タイマースイッチなどの外部タイマーを利用して自動的に録画します。

●イベント録画機能

センサーからの信号入力など、イベント発生時に録画時のモード（画質や録画レート）を高画質に切り換えて録画することができます。

●動き自動検出機能（VMD）

カメラ映像内に物体の動きを検出すると、自動的に録画を開始します。

フレームスイッチャー機能

カメラ映像を複数の画面（4、7、9、10、13、16画面、WJ-HD309は4、7、9画）に分割表示したり、シーケンス（カメラ映像の自動切換表示）で表示して監視を行うことができます。また、分割表示中でも、各カメラの映像は動画でモニタリングできます。

ネットワークからのリモート操作

ネットワーク機能を内蔵しており、LAN（Local Area Network）やネットワークに接続されたPCから本機を操作できます。

安心のセキュリティ機能

- 操作者認証機能の搭載により、ユーザー名とパスワードにて操作できる機能を限定できます。また、ユーザー名とパスワードは32ユーザーまで登録できます。
- 録画した映像が何らかの理由で改ざんされた場合、改ざんされたことを検出して知らせる機能を搭載しています。
- 万が一、HDDが故障したときでも、録画した映像の消失を防止するバックアップ機能*1、ミラーリング機能*2、RAID5機能*3を搭載しています。

※1：弊社推奨のDVD-RAM、DVD-Rドライブ、CD-Rドライブ、外付けHDD、SDメモリーカード用USBリーダーライター使用の場合。

※2：ミラーリング機能は、本装置の機能で別売りの増設ユニットでは動作しません。

※3：RAID5機能は、別売りの増設ユニットが必要です。

PS・Data、RS485、同軸通信に対応

- 同軸通信によるカメラコントロール機能により、他の機器を使用しなくても、弊社のコンビネーションカメラを制御できます。また、ケーブルの伝送ロスを補正することもできます。
- PS・Dataモードに対応したシステムコントローラーや周辺機器を接続し、監視システムを構築できます。

付属品をご確認ください

CD-ROM* 1枚
 取扱説明書（本書） 1冊
 HD300シリーズ設定ツールインストールガイド 1冊
 保証書 1枚

※CD-ROMにはビューワーソフト、プラグインソフトウェア、HD300シリーズ設定ツール、取扱説明書 ネットワーク操作編（PDFファイル）、取扱説明書 ネットワーク設定編（PDFファイル）、システムコントローラーの操作のしかた（PDFファイル）、HD300シリーズ設定ツール取扱説明書（PDFファイル）が納められています。

以下の付属品は取付工事に使用します。

電源コード 1本
 ラックマウント金具 2個
 ラックマウント金具取付ねじ 4本
 ラック取付ねじ（呼び径5タッピング） 4本

取扱説明書について

取扱説明書は、本書と取扱説明書 ネットワーク操作編（PDFファイル）、取扱説明書 ネットワーク設定編（PDFファイル）の3部構成になっています。

本書は本機の前面にあるボタンで操作する方法について説明します。

ネットワークを経由してPCから操作する方法については、付属CD-ROM内の取扱説明書 ネットワーク操作編・設定編（PDFファイル）をお読みください。PDFファイルをお読みになるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成は以下のようになっています。

取扱説明：本機の操作方法について説明しています。本機を操作する人向けに説明しています。

工事説明：本機を使用するにあたって必要な機能の設定方法や、機器の接続方法などについて説明しています。こちらは工事業者向けです。

本書および画面中のWJ-HD350、HD350とは本機およびWJ-HD350シリーズをあらわしています。

WJ-HD350シリーズにはWJ-HD309/5、WJ-HD309/10を含みます。

また、本書では画面、イラスト、説明文はWJ-HD350を例にしています。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動き検出などできないこと、および記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
 - ⑦本商品の動き自動検出機能（VMD）の誤検出、または検出もれによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

個人情報保護について

- 本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 本機に記録された情報内容は「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意してください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

用語・記号について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの映像を録画します。

画質

本機はカメラ映像を録画するとき、映像データを圧縮して記録します。画質は、圧縮率によって変化します。本機は、画質（圧縮率）をSFA/SFB（最高画質）、FQA/FQB（高画質）、NQA/NQB（標準画質）、EXA/EXB（低画質）であらわしており、録画モード・カメラCH毎に選択できます。「**A」は動きの少ない映像に適した設定です。「**B」は動きの多い映像に適した設定です。

録画レート (ips)

録画映像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。1秒間の記録コマ数をあらわします。数字が大きいくほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。

解像度

本機がカメラ映像を録画する際の映像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるドット数で表し、水平720ドット、垂直480ドットの場合、720×480と表記します。

マニュアル録画

[録画] ボタンを押して手動で録画を開始・終了する機能です。

スケジュール録画

予め設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の映像を記録するプレ録画と、イベント発生後の映像を記録するポスト録画があります。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画を行う機能です。

外部録画モード

本機に接続した外部スイッチを使用して、録画設定・イベント動作設定などが設定されているタイムテーブルを切り換える機能です。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象をあらわします。イベントには、端子アラーム・コマンドアラーム・動き自動検出(VMD)・ビデオロスがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作をあらわします。イベント動作にはALM（アラームモード）・ADM（アクティビティディテクションモード）があり、イベント毎にどちらのモードで動作するか設定することができます。ALMでは、イベントの発生を画面表示、LED、ブザーなどで外部に通知します（アラーム動作）。ADMでは、イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とイベント入力ログへの記録のみを行います。OFFでは、イベント入力ログへの記録のみを行います。

動き自動検出 (VMD : Video Motion Detection)

映像内の動きを自動的に検出する機能です。本機は、ライブ映像のVMDを行いイベント動作を行う機能と、録画映像のVMDを行い動きが検出された日時のみを検索する機能（VMDサーチ）があります。

多画面表示

本機は、ライブ映像表示・再生映像表示のときに、複数のカメラCHの映像を同時に表示することができます。4台のカメラ映像を同時に表示することを4画面表示、16台のカメラ映像を同時に表示することを16画面表示と呼びます。

シーケンス

カメラの映像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。本機は、ライブ映像を表示しているときにシーケンスを行うことができます。

はじめに (つづき)

電子ズーム

ライブ映像・再生映像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で映像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能は本機内で映像の拡大処理を行い表示します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（映像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、アイリス（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オートパン（カメラの自動回転）操作を行うことです。

同軸通信

本機とカメラを接続するケーブルにカメラの制御信号を多重して、カメラの制御を行う方式です。本機では、映像入力1CH～8CH（WJ-HD309は1CH～6CH）に接続したカメラを同軸通信でカメラ制御することができます。

RS485

本機とカメラを映像ケーブルとカメラ制御用のRS485ケーブルで接続し、カメラの制御を行う方式です。

ケーブル補償

本機とカメラの距離（ケーブル長）が長い場合、ケーブルにより映像信号が減衰します。ケーブル補償機能はこの減衰を補正する機能です。本機では、映像入力1CH～8CH（WJ-HD309は1CH～6CH）に接続したカメラのケーブル補償を行うことができます。

マーキング

再生時にマーキング（しおり）を付ける機能です。後からマーキングをリスト表示し、マーキングを付けた位置から再生を行うことができます。

A-Bリピート再生

再生時に始点（A点）と終点（B点）を設定し、A-B間で繰り返し再生を行う機能です。

ホールド再生

再生時にシャトルリングを回すことで、再生速度を変えることができます。ホールド再生とは、シャトルリングを離しても、再生速度を維持することができる機能です。

HDDセーフティモード

本機の電源を入れたままラックへ取り付けたり取り外したりする際に、振動や衝撃によってHDDが故障しないようにHDDの電源を切る機能です。お買い上げ時の

設定では、HDDセーフティモードが「ON」になっています。

HDDディスクコンフィグ

HDDの交換・抜き取り・追加を行った場合は、HDDの設定を行う必要があります。HDDディスクコンフィグとは、HDDの設定を行うメニューのことです。

ミラーリング

本機の2台のHDDに同じデータ（録画映像）を同時に記録する機能です。一方のHDDに障害が発生しても、もう一方のHDDには正常なデータが残っているので、信頼性を高めることができます。また、正常なディスクの録画データを元にミラー状態に復元することができます。（別売りの増設ユニットWJ-HDE350シリーズでは、ミラーリング機能を使用することはできません。データの信頼性を高める機能として、RAID5機能があります）

RAID (RAID5)

Redundant Arrays of Inexpensive Disksの略称で、HDDを複数台用いてアクセスを分散させ、高速、大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するための技術を指します。別売りの増設ユニットWJ-HDE350シリーズはRAID5機能を備えており、増設ユニット内の1台のHDDに障害が発生しても、他のHDDに記録されているエラー訂正データを元に障害が発生したHDDのデータを復元することができます。（RAID5は、増設ユニット内に3台以上のHDDが接続されている時に使用できます。また、同時に2台以上のHDDに障害が発生した時は、障害が発生したHDDのデータを復元することはできません）

PS・Data

Panasonic Security Dataの略称。PS・Dataに対応した機器どうしをRS485ケーブルで接続し、他の機器から本機を制御したり、本機から他の機器を制御したりすることができます。

システムの管理者

本機の設置／運用に関する設定責任および権限を持った人のことです。

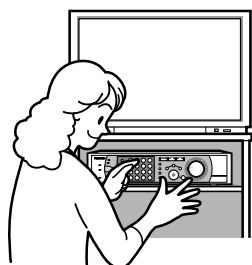


重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

取扱説明



はじめに

商品概要.....	2
商品の特長.....	2
付属品をご確認ください	3
取扱説明書について	3
商標および登録商標について	3
免責について	4
個人情報保護について.....	4
用語・記号について	5
安全上のご注意	13
取り扱い上のお願い	16
使用上のお願い.....	16
設置上のお願い.....	17
ご使用の前にお読みください.....	18
動き自動検出機能（VMD）について	18
録画映像の時刻表示について	18
再生時に表示される黒画について	18
録画動作について	18
各部のなまえ（前面パネル部）.....	20
各部のなまえ（画面表示）.....	22
モニター1	22
モニター2、モニター（VGA）.....	23
各部のなまえ（SETUP MENU－簡単設定）...27	
簡単設定の画面表示について	27
簡単設定の基本的な操作のしかた.....	27
各部のなまえ（SETUP MENU－詳細設定）...29	
詳細設定の画面表示について	29
詳細設定の基本的な操作のしかた.....	29

準備

起動する.....	31
電源を入れる	31
ユーザー名・パスワードを入力する	32
時計を合わせる	33
電源を切る	34

録画

録画する (マニュアル録画).....	35
緊急録画.....	36

再生

再生する.....	37
ディスクを選んで再生する	40
頭出し再生する	43
検索して再生する	44
録画イベントを検索して再生する (録画イベントサーチ) ..	44
コピーした映像を検索して再生する (コピーデータサーチ) ..	49
録画映像の中から映像に動きのある日時を検索して再生する (VMDサーチ) ..	53
マーキングを検索して再生する (マーキングサーチ) ..	60

見る

カメラのライブ映像を見る	62
カメラの映像を1画面で表示する	62
カメラの映像を多画面で表示する	64
カメラの映像をシーケンス表示する	65

カメラ操作

カメラを操作する	66
パン/チルト操作	66
ズーム操作	67
フォーカス操作	68
アイリス操作	69
プリセット動作	70
オート機能 (オートパンなど)	72

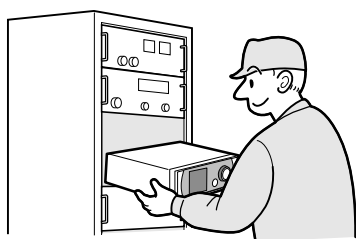
イベント 機能

イベント機能について.....	73
イベント発生時の動作	73
アラーム動作を解除する	75
アラーム動作を抑止する	76

便利な機能

コピーする	77
ディスクを管理する	81
HDDに記録されている映像を手動で消去する	81
DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを初期化（フォーマット）する	84
文字情報を表示／編集する	86
エラー動作について	88
PCから操作する	90
カスケード接続時の操作と設定	91
設定する	91
前面パネルから操作する	92
システムコントローラーから操作する	92

工事説明



設置の前に

取り扱い上のお願ひ	93
使用上のお願ひ.....	93
設置上のお願ひ.....	95
本機のユーザー／ホスト管理について.....	97
設置工事について	99
HDDセーフティモードについて	99
初めてお使いになるときは	99
設置作業を行うときは	102
各部のなまえ（後面パネル部）.....	104

設置

ラックへ取り付ける.....	106
接続する.....	107
モードスイッチについて.....	107
RS485ポートについて.....	107
本機単体で使用する場合の接続方法.....	108
増設ユニットとの接続方法.....	109
外部記憶装置との接続方法.....	110
VTRとの接続方法.....	111
PS・Data対応機器との接続方法.....	112
本機を複数台カスケード接続する場合の接続方法.....	114
RS485カメラとの接続方法.....	118
アラーム／コントロール端子の使いかた.....	120
アラーム端子の使いかた.....	124
アラーム／コントロール端子、アラーム端子の時間と極性.....	125
シリアル端子の使いかた.....	126

簡単設定

SETUP MENU－簡単設定.....	127
簡単設定メニュー一覧.....	127
簡単設定の画面表示について.....	127
簡単設定の基本的な操作のしかた.....	128
表示・システムに関する設定 [表示].....	129
録画とイベントに関する設定 [録画・イベント].....	134
ネットワークに関する設定 [ネットワーク].....	140

詳細設定

SETUP MENU－詳細設定.....	141
詳細設定メニュー一覧.....	141
詳細設定の画面表示について.....	143
詳細設定の基本的な操作のしかた.....	144
システムに関する設定 [システム].....	146
システムの基本設定を行う [基本設定].....	146
日付時刻を設定する [日付時刻設定].....	148
本機を使用するユーザーを登録する [ユーザー登録].....	150
登録したユーザー情報を修正する [ユーザー修正].....	151
登録したユーザーを削除する [ユーザー削除].....	151

本機にアクセスできるPC（ホスト）を登録する【ホスト登録】152
登録したホスト情報を修正する【ホスト修正】153
登録したホストを削除する【ホスト削除】153
操作レベルを設定する【レベル設定】153
SETUP MENUの設定内容をセーブ・ロードする【セーブ・ロード】154
録画に関する機能【録画】155
録画の基本設定を行う【録画基本設定】155
緊急録画に関する設定を行う【緊急録画】158
イベントに関する機能【イベント】160
アラーム出力時間とブザー鳴動時間の設定を行う【イベント設定】	160
動き自動検出機能の検出範囲を設定する【VMD設定】161
アラーム表示とアラームマスクに関する設定を行う【アラーム設定】166
アラーム端子の極性を設定する【端子設定】166
録画／イベント動作スケジュールに関する設定【スケジュール】	167
スケジュール作成の流れ167
録画プログラムを作成する【録画PROG】167
イベント発生時の動作プログラムを作成する【イベントPROG】	..170
時間帯を設定し、録画PROG／イベントPROGを割り当てる【タイムテーブル】	...171
特定日の録画プログラムを設定する【スペシャルデー】173
スイッチャー機能に関する設定【スイッチャー】174
モニター1のスイッチャー機能を設定する【モニター1】174
モニター2のスイッチャー機能を設定する【モニター2】177
表示に関する設定【表示】178
モニター共通の設定を行う【共通設定】178
モニター1の表示に関する設定を行う【モニター1】181
モニター2の表示に関する設定を行う【モニター2】182
他の機器との通信に関する設定【通信】183
カメラ制御の通信方式とケーブル補償を設定する【カメラ制御】	...183
PS・Dataに関する設定を行う【PS・Data設定】184
RS485に関する設定を行う【RS485設定】186
シリアル（RS232C）に関する設定を行う【RS232C設定】187
ネットワークに関する基本設定を行う【NW基本設定】188
ネットワークの接続に関する設定を行う【NW接続設定】189
ネットワークの時刻合わせに関する設定を行う【NW NTP設定】	.190

メンテナンスに関する機能 [メンテナンス]	191
カメラCHごとの録画レート・画質を確認する [録画レート一覧]	191
ディスクの残容量を確認する [ディスク情報]	191
バージョン情報を確認する [バージョン情報]	192
ディスクの残容量がなくなったときの動作を設定する [終端設定]	193
ディスクの残容量警告動作を設定する [残容量警告]	193
HDD内の映像データを消去する [データ消去]	193
イベント発生履歴を確認する [イベント入力ログ]	194
障害発生の履歴を確認する [障害ログ]	195
本機へのアクセス履歴を表示する [アクセスログ]	196
カメラの設定メニューを表示する	197

ディスク 管理

ディスクを管理する	198
HDDについて	198
HDDディスクコンフィグについて	198
HDDディスクコンフィグの画面表示について	199
増設ユニットのRAID5機能について	200
HDDを初期化する [フォーマット]	201
ミラーリングに関する設定を行う	208
HDDを論理的に切り離し再構成する [リンク外し]	212

必要なとき

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス	213
SETUP MENUの画面構成	222
SETUP MENUの設定項目一覧	223

共通事項



故障かな!?	232
索引	238
仕様	244
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。




■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。 ●必ず販売店にご依頼ください。	異常があるときは、すぐ使用をやめる  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	分解しない、改造しない  火災や感電の原因になります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店にご依頼ください。
機器の上に水などの入った容器を置かない  水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。 水ぬれ禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	異物を入れない  水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。 禁止	不安定な場所に置かない  落下によるけがの原因になります。 禁止
雷のときは工事・配線をしない  火災や感電の原因になります。 禁止	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない  感電の原因になります。 ぬれ手禁止	

警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご相談ください。（アース工事は、本製品の価格には含まれていません）

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使用 の方や、交流100 V以外での使用は しない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意**通風孔をふさがない****禁止**

内部に熱がこもり、
火災や故障の原因に
なります。

**振動や強い衝撃を与えな
い****禁止**

火災や感電、故障の
原因になります。

**湿気やほこりの多い場所
に設置しない****禁止**

火災や感電、故障の
原因になります。

**リチウム電池は同一型名
または同等品と交換する**

異なる型の電池を使用
すると、発熱、破裂、
発火の原因になりま
す。

- 交換は必ず販売店にご依頼くだ
さい。

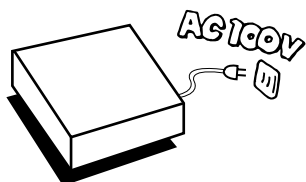
取り扱い上のお願ひ

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用上のお願ひ

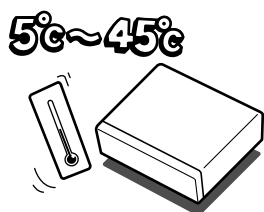
使用電源は

AC100 Vです。
消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。



使用温度範囲は

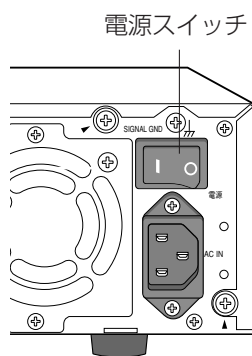
+5℃～+45℃です。
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。



また、ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。



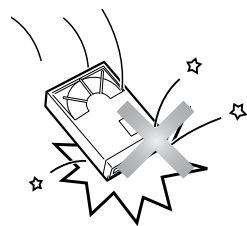
内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。

- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内蔵HDDについて

- HDDは精密機器ですので、衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
 - ①振動・衝撃はHDD故障の原因になります。
 - ②電源を入れた時や電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中ですので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
- HDDは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境下で使用された場合、通電時間が20,000時間を超えた頃から、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30,000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命に至ります。大切なデータが壊れないように機器の周囲温度を+25℃以下に保ち、18,000時間を目安に交換することをおすすめします。（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません。）
- HDDに異常が発生した場合は、速やかにHDDを交換してください。HDDの交換は販売店にご相談ください。
- HDDに記録された情報内容は万一消失しても、故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしません。



結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。



- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を廃棄または譲渡される場合

HDDに記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合はその取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

表示について

本機の識別および電源定格は、底面または上面の表示をご確認ください。

設置上のお願い

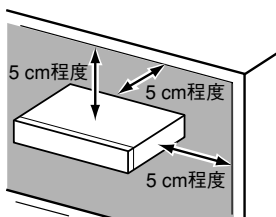
本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所
- ⑦水滴または水沫のかからない場所

横置き（水平）に設置してください

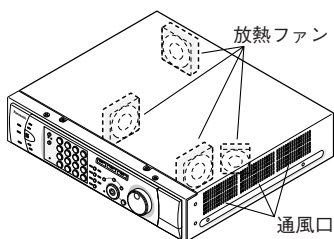
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがれないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。



- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。交換は販売店にご依頼ください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないようにしてください。

雑音源は避ける

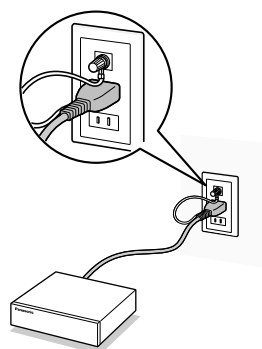
電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

必ずアース接続を行ってください。ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。

電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。



ご使用前にお読みください

動き自動検出機能（VMD）について

本機のVMD機能は設定エリア内の輝度変化を元に動きを検出します。

以下のような場合、動きを検出しにくい、または検出しなかったり、誤動作する場合があります。

- 背景と動いている被写体に輝度（明るさ）の差がない。
- 夜間など、映像の輝度が低い。
- 被写体の動きが遅い。
- 被写体が小さい。
- 屋外、窓際など光線状態が変わりやすい。
- 日光・車のヘッドライトなどの外光が入る。
- 蛍光灯がちらつく。
- 被写体に奥行きがある。

VMDの設定を行う際は、カメラの設置状況・予想される被写体の動きにあったエリア設定、感度設定を行った後、昼間と夜間にその動作を確認してください。また、検出しなかったり誤検出する場合は、別途センサーを使用してください。

録画映像の時刻表示について

本機の録画映像で表示される時間が飛んで表示されることがありますが、故障ではありません。

再生時に表示される黒画について

以下の場合、再生中に黒画が表示される場合がありますが、故障ではありません。

- 再生中、再生一時停止中にカメラCHを切り換えたり、画面分割数を切り換えたとき。
- スキップ／逆スキップをしたとき。
- 早送り／早戻しをしたとき。
- 多画面で再生中に「最新画像」を押したとき。
- 再生中、早送り／早戻し再生中、コマ送り／逆コマ送り時に録画イベントリストをまたぐとき。
- 再生動作をスムーズに行えない場合（本機にアラームが連続して入力したり、再生と同時にコピーを行った場合など）。
- COPY1／COPY2をディスク選択して再生しているとき。

録画動作について

本機は最大16台（WJ-HD309は最大9台）のカメラを直接接続して、HDDに録画することができます。

本機は以下の録画モードで録画を行うことができます。

- | | |
|----------|--|
| 緊急録画 | ： 緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。 |
| マニュアル録画 | ： 録画の開始・終了を手動で行います。 |
| スケジュール録画 | ： 指定した曜日・時間帯に録画を自動で行います。 |
| イベント録画 | ： 各種イベント（VMD／端子・コマンドアラーム／ビデオロス）が発生したときに録画を自動で行います。 |

**重要**

以下の場合には、最大4秒間録画が行われませんが、故障ではありません。

- 録画中に設定を変更してSETUP MENUを終了したとき。
- 録画中に解像度が切り換わったとき。
- 録画中に本機の日時が変更されたとき。
- マニュアル録画・スケジュール録画中に背面端子／NTPによる時刻補正が行われた時（イベント録画中・緊急録画中、時刻補正は行われません）。

カメラ制御・再生制御機能ボタン

パン／チルト・最新画像：

カメラのパン/チルト操作 (P.66ページ)、および最新の再生画像を表示するときに使用します。(P.38ページ)

ズーム／フォーカス・A-Bリピート：

カメラのズーム/フォーカス操作 (P.67、68ページ)、およびA-Bリピート機能をON/OFFするときに使用します。(P.39ページ)

アイリス・絞り込み：カメラのアイリス操作 (P.69ページ)、および絞り込み再生機能をON/OFFするときに使用します。(P.48ページ)

プリセット／オート：カメラのプリセットポジション移動 (P.71ページ)、およびオートパン操作するときに使用します。(P.72ページ)

録画・再生操作ボタン

停止ボタン (■)、再生／一時停止ボタン (▶/⏸)、録画ボタン (●)

低速パンチルト・サーチ・設定／ESCボタン

低速パンチルト：低速パンチルト機能 (P.66ページ) が動作します。

サーチ：検索画面 (P.44～61ページ) を表示します。

設定／ESC：SETUP MENU画面 (P.27～30ページ) を表示します。また、SETUP MENU画面などで前の画面に戻るときに使用します。

BUSYランプ

選択されているカメラが操作できなかったときに点灯します。この場合、ネットワーク経由で他の操作者によって操作されています。

十字ボタン

カメラのズーム/フォーカス操作 (P.67、68ページ)、および本機のSETUP MENU画面・検索画面のカーソル移動に使用します。

【セット】ボタン

次のような働きをします。

- 早送り再生中に押すと、そのときの再生速度のまま再生を行います (ホールド再生機能)。
- カメラのプリセットポジションを登録します。
- オートフォーカス機能が動作します。
- アイリスをリセットします。
- アラーム動作の抑止をON/OFFするときに使用します。
- SETUP MENU画面において、内容を決定するときに使用します。

ジョグダイヤル (内側) / シャトルリング (外側)

ジョグダイヤル：次のような働きをします。

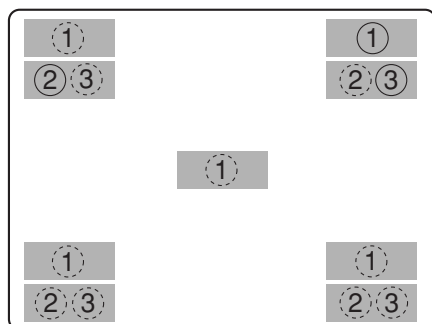
- 再生一時停止中に、コマ送り／逆コマ送りを行います。(P.37ページ)
 - 再生中に再生映像をスキップします。(P.38ページ)
 - 検索画面やサムネール画面でのカーソル移動を行います。
 - SETUP MENU画面において、設定内容や文字を選択します。
- シャトルリング：次のような働きをします。
- 再生中に、早送り・早戻し再生を行います。(P.38ページ)
 - 検索画面やサムネール画面のページを切り換えます。

前面端子カバー

カバー内部の端子については105ページをお読みください。

各部のなまえ (画面表示)

モニター1 (ライブ映像のみを表示するモニターです)



○数字が初期設定の位置です



重要

- モニター1にはSETUP MENUは表示されません。
- 電源投入時、モニター1にカメラ映像が表示されるまで、約3分かかります。

① カメラタイトル

設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は、中央・左上・左下・右上・右下の中から選ぶことができます。

初期設定では、右上 (R-UPPER) に表示されます。



- カメラタイトルは16文字 (8文字×2行) で表示されず。

② 時刻表示

現在の日付 (年月日) ・時刻 (時分秒) を表示します。

表示位置は、左上・左下・右上・右下の中から選ぶことができます。

初期設定では、左上 (L-UPPER) に表示されます。



- カメラタイトルと時刻表示が重なると、時刻表示を優先して表示します。
- モニター1を選択しているとき、シフト機能がONの状態では [8] ボタン (WJ-HD309では [6] ボタン) を押し、カメラタイトルと時刻の表示/非表示を切り換えることができます。

③ イベント表示

時刻表示と対象の位置に表示されます。

時刻表示を左下に表示させた場合、イベント表示は右下に表示されます。初期設定では右上 (R-UPPER) に表示されます。

表示内容は次のとおりです。*印にはカメラ番号 (1~16、WJ-HD309は1~9) が表示されます。※印にはアラーム番号が表示されます。

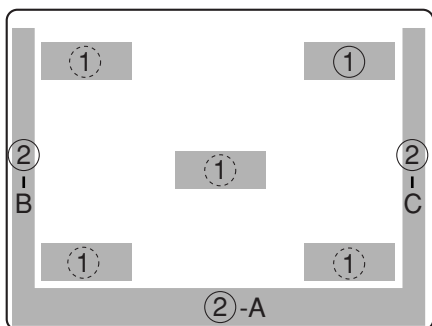
- VMD-* : 動き検出発生時
- LOSS-* : ビデオロス発生時
- COM-※ : コマンドアラーム発生時
- TRM-※ : 端子アラーム発生時



- 各種イベントおよびイベント発生時の動作については、73ページをお読みください。

モニター2、モニター (VGA)

(ライブ映像、再生映像を表示するモニターです)



○数字が初期設定の位置です



- モニター (VGA) にも、モニター2と同じ内容が表示されます。
- カメラタイトルは16文字 (8文字×2行) で表示されます。
- スタイル2、スタイル3は、グラフィック処理しているため、スタイル1に比べて、画面がぼやける場合があります。
- モニター2を選択しているとき、シフト機能がONの状態では [8] ボタン (WJ-HD309では [6] ボタン) を押すと、カメラタイトルの表示／一覧表示／非表示を順に切り換えることができます。
- 「時刻埋め込み」の設定をONにして録画した映像を再生しているときは、映像に埋め込まれた録画モードが表示されます。
EVT：イベント・プレ録画／イベント・ポスト録画
EMR：緊急録画
- 「タイトル埋め込み」設定が「ON」でカメラタイトル位置がR-UPPER、R-LOWERの場合、解像度をSIFで録画した映像を再生すると、画像に埋め込まれたカメラタイトルがすべて表示されない場合があります。



- 運用中にモニター (VGA) の電源をON/OFFすると、モニターにカメラ映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。



- 本機のVGA出力は、TV出力 (画素数720H × 480V、垂直周波数59.94 Hz) と共通の仕様で出力されるため、ご使用になるVGAモニターの仕様によっては、映像の両端が欠けるなどの不都合を生じる可能性があります。
- 本機を複数台カスケード接続する場合、モニター (VGA) 端子は使用できません。

① カメラタイトル

設定したカメラタイトルを表示します。表示位置は、中央・左上・左下・右上・右下の中から選ぶことができます。初期設定では、右上 (R-UPPER) に表示されます。

② タスクバー

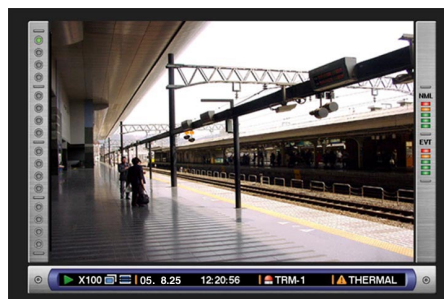
現在の状態を表示します。タスクバーには、メインバー (②-A) ・レフトバー (②-B) ・ライトバー (②-C) の3種類があり、表示方法は設定によって切り換えることができます。
(☞182ページ)

■タスクバーの表示方法

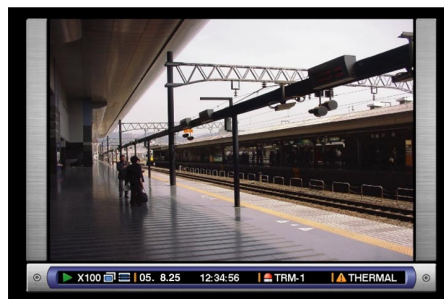
スタイル1：メインバーのみ存在し、情報を表示します。



スタイル2：メインバー・レフトバー・ライトバーに情報を表示します。



スタイル3：メインバーのみ情報を表示し、レフトバー・ライトバーには情報を表示しません。



各部のなまえ（画面表示）（つづき）

■タスクバーの表示内容

- メインバーに表示される内容



① ステータス表示部

表示項目	内容	表示
ライブ	ライブ映像を表示していることをあらわします。シーケンスとは、カメラ映像を自動的に切り換えて表示することです。	: ライブ映像表示中 : ライブ映像をシーケンス表示中
再生	再生状態をあらわします。変速再生中は、あわせて再生倍率も表示します。また、ホールド再生時には再生倍率の色が橙色に変わります。	: 再生中 : 逆再生中 : 一時停止中 : 変速再生中 : 変速逆再生中
録画	録画中であることをあらわします。	: 録画中
サーチ	サーチ（検索）中であることをあらわします。	: サーチ中

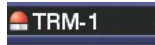
② コピー／消去アイコン、ディスク選択元、ミラー／RAID復旧表示部

表示項目	内容	表示
コピー	コピー動作中であることをあらわします。	: コピー中
消去	データ消去中であることをあらわします。	: データ消去中
RECOVER	ミラー／RAID復旧中であることをあらわします。	: ミラー／RAID復旧中
CPY	HDDコピー領域をディスク選択していることをあらわします。	: HDDコピー領域を選択中
CP1	COPY1をディスク選択していることをあらわします。	: COPY1を選択中
CP2	COPY2をディスク選択していることをあらわします。	: COPY2を選択中

③ ライブ／再生日時表示部

表示項目	内容	表示
時刻	表示している映像の日時をあらわします。 ライブ映像表示中：現在の日時を表示します。 再生映像表示中：録画した日時を表示します。 サマータイムの期間中は時刻の前に「*」を表示します。	 年月日 時分秒


④ アラーム表示部

表示項目	内容	表示
アラーム	<p>イベントが発生したことをあらわします。*印にはカメラ番号(1~16、WJ-HD309は1~9)が表示されます。*印にはアラーム番号が表示されます。</p> <p>VMD-* : 動き検出発生時 LOSS-* : ビデオロス発生時 COM-* : コマンドアラーム発生時 TRM-* : 端子アラーム発生時</p>	 発生したイベントを表示します。 イベント発生中



- 各種イベントおよびイベント発生時の動作については、73ページをお読みください。

⑤ エラー表示部


表示項目	内容	表示												
エラー	<p>エラーが発生したことをあらわします。</p> <p>ALT-* : 改ざん検出時 R-ERROR : HDDからのデータ読み込み失敗 SMART : HDDの故障予告 H-METER : アワーメーター警告設定時間 (HDDの動作設定時間) 経過時 THERMAL : 温度異常発生時 POWER : 停電検出時 ※-**% : 残容量警告 ※-FULL : 残容量なし MEDIUM-n : 外部記憶装置にてエラー発生時 REMOVE : アクセス異常が発生したHDD を自動的に運用から外したとき 1DOWN : RAIDモード運用中のHDD故障 (HDDの交換、復旧が可能) FAN : ファンの異常発生時 HDD-ERROR : 録画先のHDDがシステムに存 在しないとき M-FAIL : ミラー復旧失敗 R-FAIL : RAID復旧失敗</p> <p>*印にはカメラ番号(1~16、WJ-HD309は1~9)が表示されます。 *印にはパーティションをあらわす記号が表示 されます(右記参照)。 **には、残容量をあらわす数字が表示されます。 nには、外部記憶装置を接続した端子番号が表 示されます。</p>	 発生したエラーを表示します。 エラー発生中 ※パーティションをあらわす記号 <table border="1"> <thead> <tr> <th>パーティション内容</th> <th>表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDD通常領域</td> <td>NML</td> </tr> <tr> <td>HDDイベント領域</td> <td>EVT</td> </tr> <tr> <td>HDDコピー領域</td> <td>CPY</td> </tr> <tr> <td>コピー1端子に接続した 外部記憶装置</td> <td>CP1</td> </tr> <tr> <td>コピー2端子に接続した 外部記憶装置</td> <td>CP2</td> </tr> </tbody> </table>	パーティション内容	表示	HDD通常領域	NML	HDDイベント領域	EVT	HDDコピー領域	CPY	コピー1端子に接続した 外部記憶装置	CP1	コピー2端子に接続した 外部記憶装置	CP2
パーティション内容	表示													
HDD通常領域	NML													
HDDイベント領域	EVT													
HDDコピー領域	CPY													
コピー1端子に接続した 外部記憶装置	CP1													
コピー2端子に接続した 外部記憶装置	CP2													





- 各種エラーおよびエラー発生時の対処方法については、88ページをお読みください。
- RAID復旧は別売りの増設ユニット(WJ-HDE350シリーズ)の機能です。詳しくは増設ユニットの取扱説明書をお読みください。

各部のなまえ（画面表示）（つづき）

● レフトバーに表示される内容

表示項目	内容	表示
カメラ	<p>カメラの録画状態、モニターへの表示・非表示状態をあらわします。</p> <p>灰：表示していないカメラ、接続されていないカメラ</p> <p>緑：モニターに表示されているカメラ</p> <p>橙：録画中のカメラ</p> <p>青：モニター表示中、および録画中のカメラ</p>	 <p>上からカメラ1・カメラ2と続き、一番下がカメラ16をあらわします。</p>

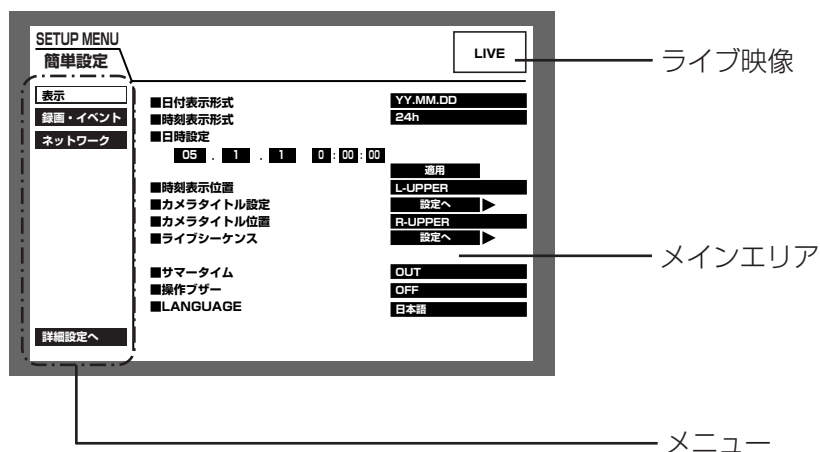
● ライトバーに表示される内容

表示項目	内容	表示
ディスク使用量	<p>パーティション別のディスク使用量を、ランプを下から順に点灯してあらわします。</p> <p>一番上：使用量100%（残容量なし）</p> <p>上から2番目：使用量80%</p> <p>中央：使用量60%</p> <p>下から2番目：使用量40%</p> <p>一番下：使用量20%</p>	 <p>通常録画領域</p> <p>イベント録画領域</p> <p>NML：マニュアル録画、スケジュール録画で使用する通常録画領域の使用量</p> <p>EVT：イベント録画、緊急録画で使用するイベント録画領域の使用量</p>
	<p> ● SETUP MENUの「メンテナンス」にある「終端設定」が「CONTINUE」の場合、ディスク使用量を示すランプは点灯しません。詳しくはシステムの管理者にお問い合わせください。</p>	

各部のなまえ (SETUP MENU—簡単設定)

簡単設定の画面表示について

SETUP MENUは本機を使用する際にあらかじめ必要な設定を行う設定メニューです。SETUP MENUには簡単設定と詳細設定があります。SETUP MENUはモニター2、モニター (VGA) に表示されます。



メニュー : 簡単設定の画面に常に表示されます。

ライブ映像 : 簡単設定を表示する直前に表示していたカメラのライブ映像が表示されます。

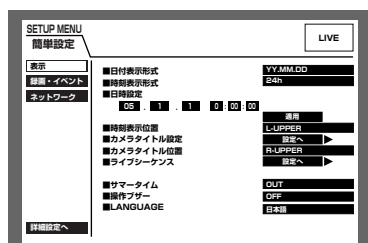
メインエリア : 選択したメニューの設定項目が表示されます。

簡単設定の基本的な操作のしかた

- 1 ライブ映像表示中に [設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) します。
簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」(134ページ) が「ADVANCED (詳細)」に設定されている場合、詳細設定のトップページが表示されます。メニューで「簡単設定へ」を選択すると、簡単設定のトップページが表示されます。

画面1

SETUP MENUのトップページ (簡単設定) が表示されます。

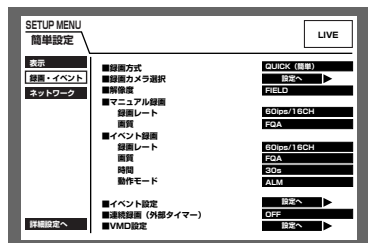


- 2 十字ボタンの▼または▲を押してメニューを選択し、[セット] ボタンを押します。

各部のなまえ (SETUP MENU－簡単設定) (つづき)

画面2

メインエリアに設定項目が表示され、カーソルが設定項目に移動します。



- 各設定項目を設定します。
設定項目の選択 : 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを移動します。
設定内容の切り換え : ジョグダイヤル (内側) を回します。
設定項目の設定画面をポップアップ表示 : 「設定へ」が表示されている設定項目で [セット] ボタンを押します。
メニューが選択できる状態に戻る : [設定/ESC] ボタンを押します。
詳細設定の画面を表示する : 十字ボタン▼ または ▲を押してカーソルを「詳細設定へ」に合わせ、[セット] ボタンを押します。
- 設定内容を本機に反映するときは、再度 [設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) します。
→ライブ映像の表示に戻ります。

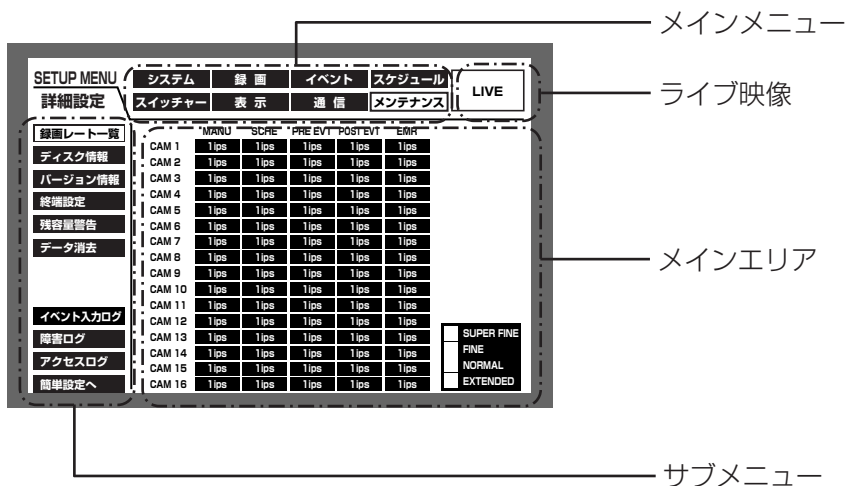


- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。
- 録画方式が「QUICK (簡単)」に設定されていないと簡単設定として動作しません。

各部のなまえ (SETUP MENU—詳細設定)

詳細設定の画面表示について

SETUP MENUは本機を使用する際にあらかじめ必要な設定を行う設定メニューです。SETUP MENUには簡単設定と詳細設定があります。SETUP MENUはモニター2、モニター (VGA) に表示されます。



- メインメニュー : SETUP MENUの画面上に常に表示されます。
- ライブ映像 : SETUP MENUを表示する直前に表示していたカメラのライブ映像が表示されます。
- サブメニュー : 選択したメインメニューのサブメニューが表示されます。選択したメインメニューによって、内容が切り換わります。
- メインエリア : 選択したサブメニューの設定項目が表示されます。

詳細設定の基本的な操作のしかた

- 1 ライブ映像表示中に [設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) します。
簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」 (134ページ) が「QUICK (簡単)」に設定されている場合、簡単設定のトップページが表示されます。メニューで「詳細設定へ」を選択すると、詳細設定のトップページが表示されます。

画面1

詳細設定のトップページが表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してメインメニューを選択し、[セット] ボタンを押します。

各部のなまえ (SETUP MENU—詳細設定) (つづき)

画面2

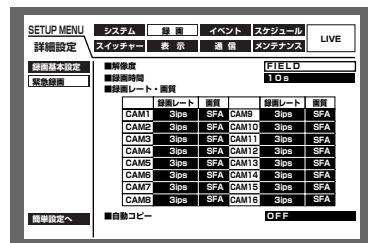
選択したメインメニューのサブメニューが表示されます。



- 3 十字ボタンの▼または▲を押して、サブメニューを選択し、[セット] ボタンを押します。
サブメニューが選択できる状態で「設定/ESC」ボタンを押すと、メインメニューを選択できる状態になります。

画面3

メインエリアに設定項目が表示され、カーソルが設定項目に移動します。



- 4 各設定項目を設定します。
設定項目の選択 : 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを移動します。
設定内容の切り換え : ジョグダイヤル (内側) を回します。
設定項目の設定画面をポップアップ表示 : 「設定へ」が表示されている設定項目で [セット] ボタンを押します。
ページの切り換え : 「◀ページ切り換え▶」が表示されているページで、十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを「◀ページ切り換え▶」に移動させ、十字ボタンの◀または▶を押します。
サブメニューが選択できる状態に戻る : 「設定/ESC」ボタンを押します。
簡単設定の画面を表示する : 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを「簡単設定へ」に合わせ、[セット] ボタンを押します。

- 5 設定内容を本機に反映するときは、再度「設定/ESC」ボタンを長押し (2秒以上) します。
→ライブ映像の表示に戻ります。

- 重要**
- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。
 - 録画方式が「ADVANCED (詳細)」に設定されていないと詳細設定として動作しません。

起動する

電源を入れる

以下の手順で本機の電源を入れます。

準備

1

電源プラグをAC100 Vの電源コンセントに差し込む

- 必ずAC100 V、50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。



- 別売りの増設ユニット（WJ-HDE350シリーズ）を使用する場合は、すべての増設ユニットの電源を入れてから、または同時に本機の電源を入れてください。増設ユニットの電源が入っていないと、HDD異常とみなされ、自動リンク外しされます。

2



後面の電源スイッチを入れる

- 通電ランプが点灯し、本体・HDDのチェック（システムチェック）を開始します。この間、モニター2、モニター（VGA）には、起動画面（下記参照）が表示されます。（起動時間：本体のみ 約2分30秒、増設ユニット接続時 最大約6分）



システムチェック中
しばらくお待ちください

- SETUP MENU「システム」の「基本設定」にある「オートログイン」が「OFF」の場合、システムチェック終了後、本機前面のいずれかのボタンを押すと、ログイン画面が表示されます（☞次ページ）。「オートログイン」が「ON」の場合は、システムチェック終了後、自動的にログインし、ライブ映像が表示されます（☞146ページ）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。



- 前回起動時からHDDの構成が変わっているときや、HDDに異常がある場合は、起動画面の後、自動的にHDDディスクコンフィグ画面（☞199ページ）が表示されます。HDDディスクコンフィグについてはシステムの管理者にご確認ください。
- システムチェック完了画面（下記参照）が表示されているときに[セット]ボタンを押すと、手動でHDDディスクコンフィグ画面（☞199ページ）を表示することもできます。HDDディスクコンフィグについてはシステムの管理者にご確認ください。



システムチェックが完了しました
しばらくお待ちください

ディスクコンフィグ：[セット] ボタン

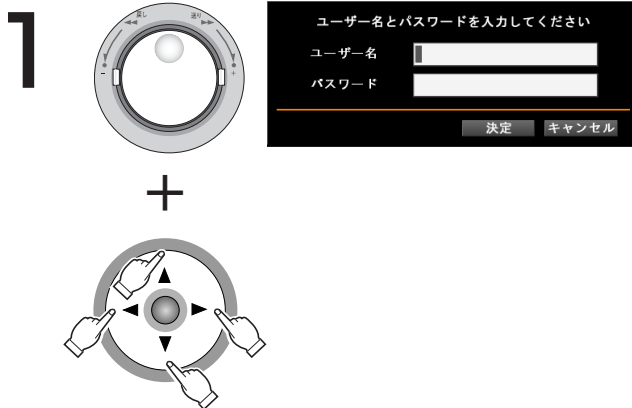
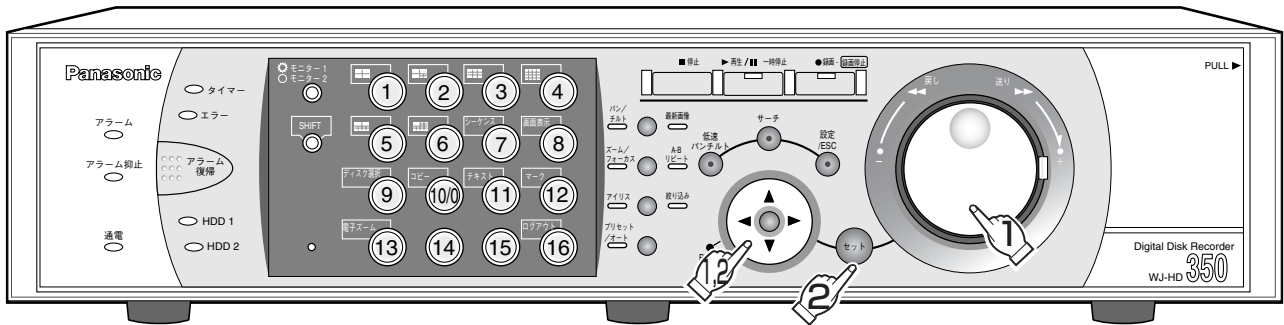


- モニター1に起動画面は表示されません。

ユーザー名・パスワードを入力する

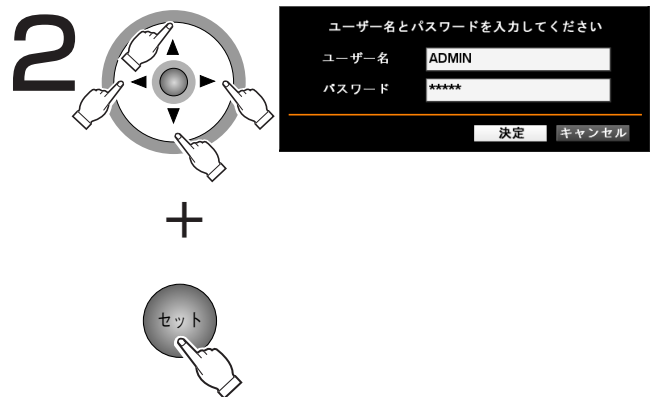
ログイン画面が表示されたら、以下の手順でユーザー名とパスワードを入力します。

準備



ユーザー名・パスワードを入力する。

- ジョグダイヤル (内側) を回して、挿入する文字を選択します。カーソルの移動は十字ボタン (▼▲◀▶) を押します。
- 数字はカメラ選択ボタン (1~10/0、WJ-HD309では1~0) でも入力できます。
- 文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。(87ページ)
- ユーザー登録のしかたは150ページをお読みください。



ライブ映像が表示される

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを「決定」に合わせ、[セット] ボタンを押します。
- 正しいユーザー名・パスワードを入力した場合、ログイン画面が消え、ライブ映像が表示されます。
- 入力したユーザー名・パスワードが間違っている時は、再度ログイン画面が表示されます。

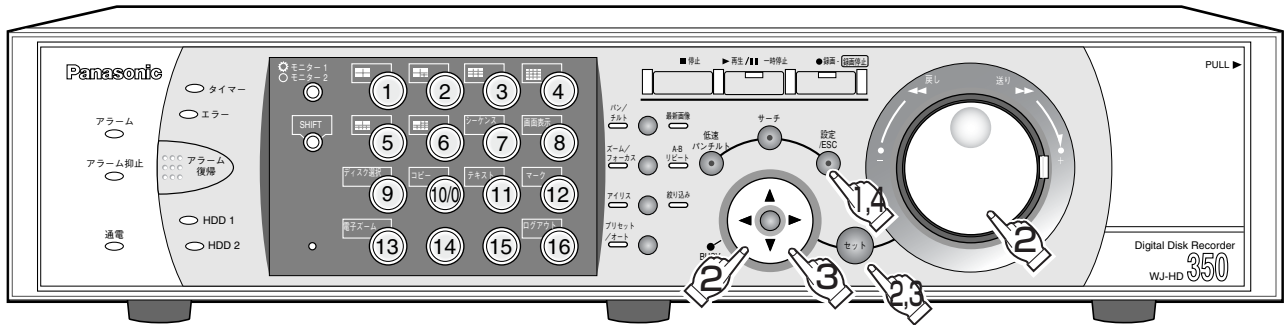


- お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
ユーザー名：ADMIN
パスワード：12345
- セキュリティを確保するために、ADMIN のパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、146ページをお読みください。
- ログアウトするときは、シフトボタンが点灯していることを確認し、ログアウトボタンを押してください。

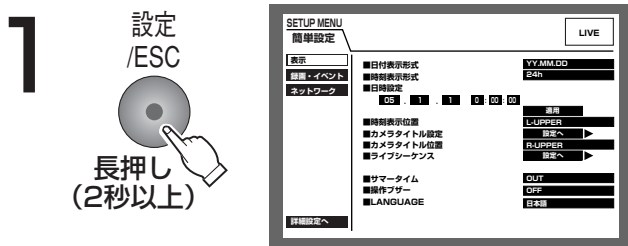
時計を合わせる

本機の時計を現在時刻に合わせます。時計は定期的に確認し、現在時刻と合っていないときはこの設定を行ってください。設定はライブ映像表示中に行います。

ここでは、簡単設定での操作のしかたについて説明します。詳細設定での操作については148ページをお読みください。

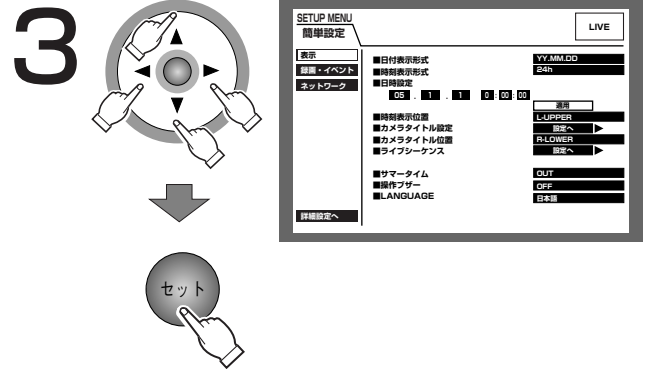


準備



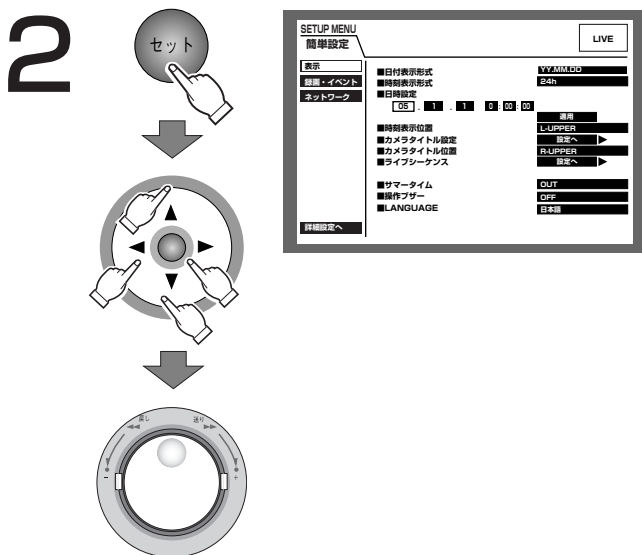
SETUP MENU (簡単設定) を表示する

- モニター2、モニター (VGA) にSETUP MENU (簡単設定) が表示されます。



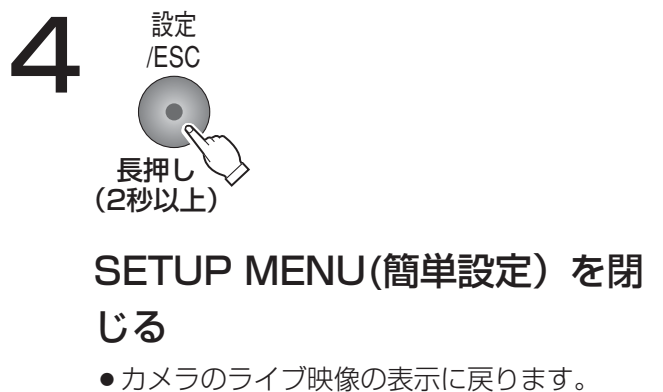
「適用」を選び、日時を設定する

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「適用」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



日時を設定する

- [セット] ボタンを押したあと、十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを「日時設定」に合わせ、ジョグダイヤル (内側) を回して、日時 (年、月、日、時、分、秒) を設定します。



SETUP MENU (簡単設定) を閉じる

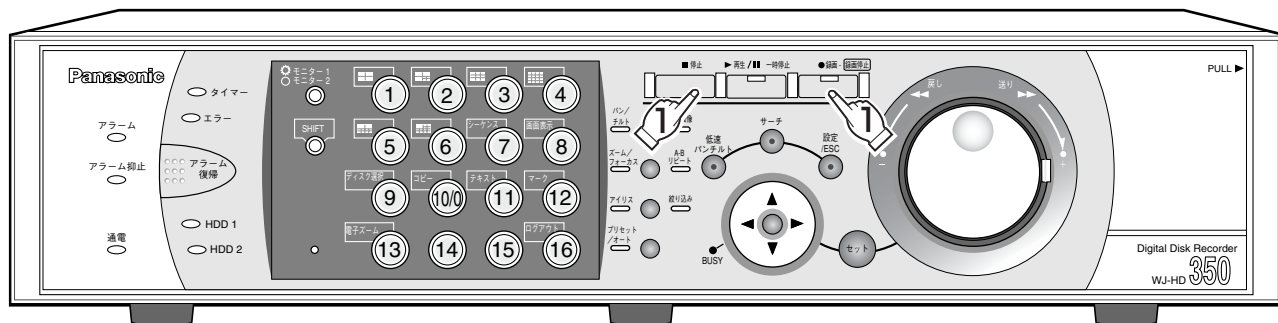
- カメラのライブ映像の表示に戻ります。



- 日付時刻を設定した直後、約4秒間は録画が行われません。

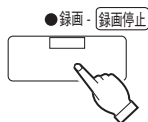
電源を切る

本機の電源を切る場合は、以下の手順に従って操作してください。



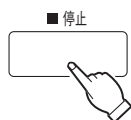
準備

1



マニュアル録画中は録画を停止する

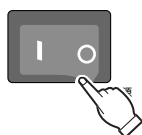
- 約2秒間、「録画」ボタンを押し続けてください。ランプが消灯し、録画を停止します。
- スケジュール録画、イベント録画、緊急録画中はSETUP MENU（詳細設定）「録画」の「録画基本設定」にある「録画動作」を「OFF」に設定してください（P156ページ）。



再生中は再生を停止する

- 「停止」ボタンを押すと、「再生/一時停止」ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。

2



後面の電源スイッチを切る

- HDDランプが消灯しているのを確認してから電源スイッチを切ります。
- 通電ランプが消灯します。

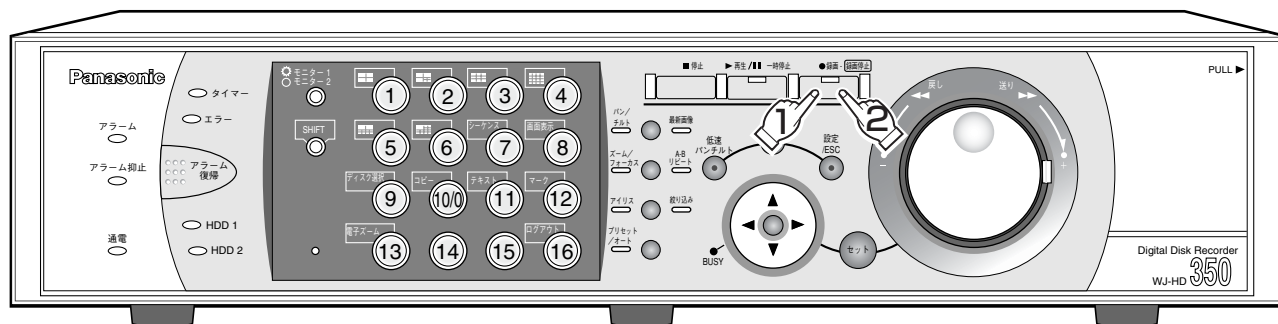
!重要

- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて動作させてください。
- 別売りの増設ユニットを接続している場合は、必ず本機の電源を先に切ってください。

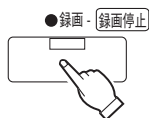
録画する（マニュアル録画）

録画の開始・終了を手動で行います。

マニュアル録画する場合に必要な設定については、システムの管理者にご確認ください。



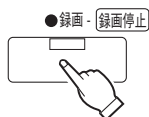
1



録画を始める

- [録画] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し録画を開始します。
- 初期設定では、接続されているカメラの映像をすべて録画します。設定によっては、モニター2、モニター（VGA）に表示されているカメラの映像のみを録画することもできます（※157ページ）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- マニュアル録画よりも優先度の高い録画モードで録画が行われているカメラCHは、その録画モードでの録画が終了するまで録画を待機します。録画モードについては、下記をお読みください。

2



録画を終わるときは

- 約2秒間、[録画] ボタンを押し続けてください。ランプが消灯し、録画を停止します。



- カメラ選択ボタンは橙点灯（録画中のカメラ）または青点灯（録画中でモニターに表示されているカメラ）します。
- 他の録画モード（イベント録画など、以下参照）でも録画が行われている場合、マニュアル録画を停止してもその録画モードによる録画は継続し、録画ランプは点灯したままになります。
- 映像信号が入力されないカメラCHはマニュアル録画されません。映像信号が入力されると、マニュアル録画を開始します。

●録画モードと優先度

本機には、4種類の録画モードがあります。それぞれの録画モードと優先度は次のとおりです。

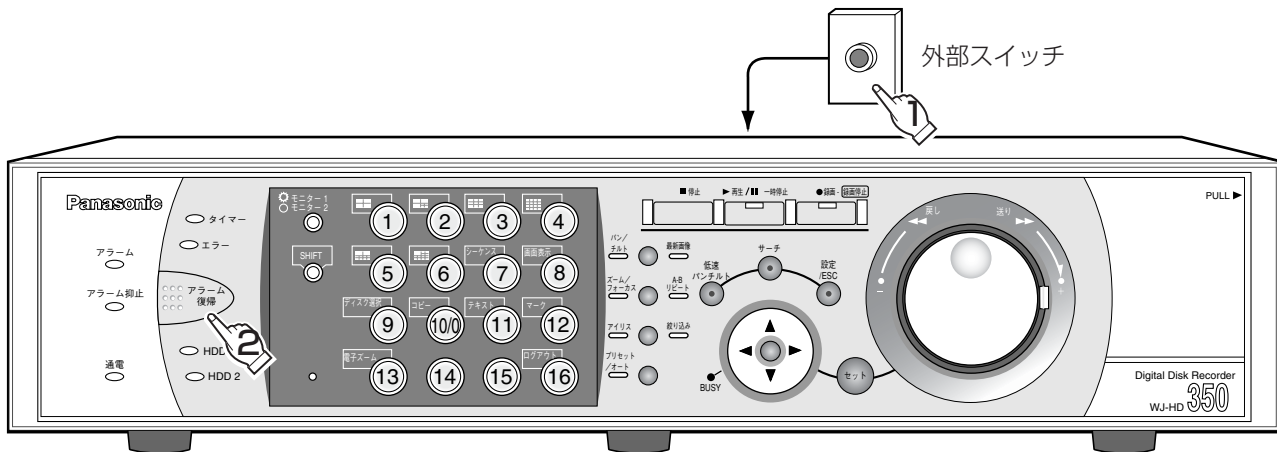
録画モード	概要	優先度*1
緊急録画	緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。	最優先
イベント録画	各種イベントが発生したときに録画を自動で行います。	1*2
マニュアル録画	録画の開始/終了を手動で行います。	2*2
スケジュール録画	指定した曜日の時間帯に録画を自動で行います。	3*2

※1 : 優先度は初期設定値をあらわしています。（緊急録画が最も優先度が高い録画モードです。）

※2 : イベント録画、マニュアル録画、スケジュール録画の優先度は、設定により切り換えることができます。設定方法については、システムの管理者にご確認ください。

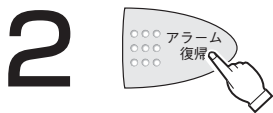
緊急録画

緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。例えば、受付窓口に外部スイッチを設置しておき、不審者が現れたときにスイッチを押して録画を行うというような使い方ができます。緊急録画する場合に必要な設定内容については、システムの管理者にご確認ください。



1 外部に設置したスイッチを押し録画を始める

- 録画を開始します。ボタンのランプが点灯し録画を開始します。
- 初期設定では、10秒間録画を行います。
- 緊急録画は、最も優先度の高い録画モードです。他の録画モードで録画が行われている場合でも、緊急録画が行われます。



2 録画が終わるときは

- 設定した録画時間を過ぎると、自動的に録画を停止します。初期設定では、10秒間録画を行うと自動的に録画を停止します。
- SETUP MENU「録画」の「緊急録画設定」にある「録画時間」の設定が「CONTINUE」のときは、[アラーム復帰] ボタンを押してください。[録画] ボタンのランプが消灯し、録画を停止します。



- カメラ選択ボタンは橙点灯（録画中のカメラ）または青点灯（録画中でモニターに表示されているカメラ）します。
- 他の録画モード（ただし、イベント録画を除く 35ページ）でも録画が行われているときに緊急録画を開始したときは、緊急録画終了後にその録画モードによる録画を再開し、録画ランプは点灯したままになります。

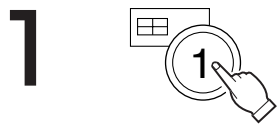
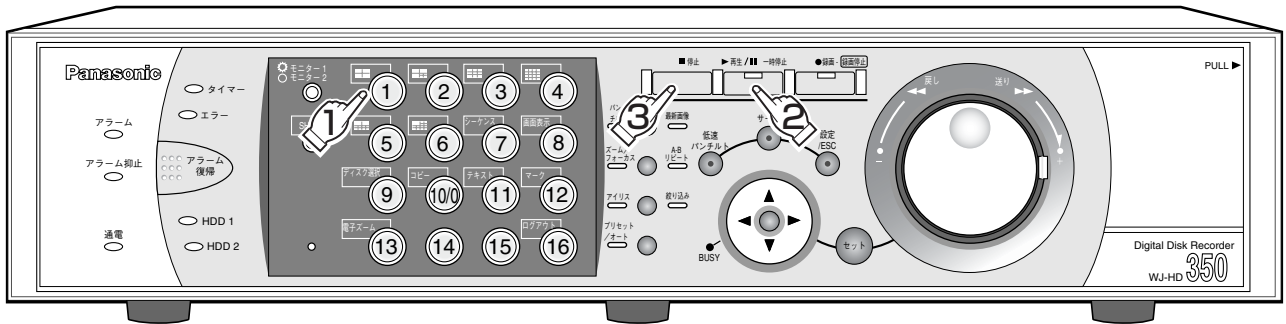
● 緊急録画の録画時間

緊急録画の録画時間設定は次のようになっています。設定内容については、システムの管理者にご確認ください。

設定値	録画時間（録画動作）
1 s～10 s	1秒～10秒間録画を行います。（1秒単位に設定可）
20 s	20秒間録画を行います。
30 s	30秒間録画を行います。
1 min～10 min	1分～10分間録画を行います。（1分単位に設定可）
20 min～60 min	20分～60分間録画を行います。（10分単位に設定可）
MANUAL	外部に設置したスイッチを押し続けている間だけ録画を行います。最低8秒間録画を行い、スイッチを押している時間が7秒以内でも8秒間録画します。
CONTINUE	[アラーム復帰] ボタンを押すまで録画を行います。

再生する

録画した映像を再生します。再生操作は、録画中にも行うことができます。
再生映像は、モニター2、モニター（VGA）に表示されます。



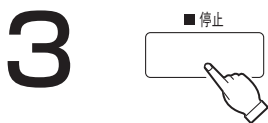
再生するカメラを選ぶ (必要ないときは手順2へ)

- カメラ選択ボタン(1~16、WJ-HD309は1~9)を押すと緑または青点灯し、選択したカメラのライブ映像を表示します。(左イラストはカメラ1を選んだ場合です)



再生を始める

- [再生/一時停止] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、現在選択されているカメラの録画映像を再生します。
ログイン後、初めての再生時：最新の映像から再生します。初期設定では最新の30秒前から再生を開始します。再生開始時刻は以下から設定できます。
最新5秒前/最新10秒前/最新30秒前/
最新1分前/最新5分前
設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
上記以外のとき：前回再生を終了した日時から再生を開始します



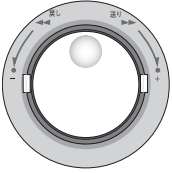
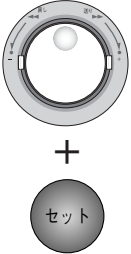
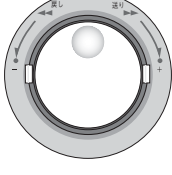
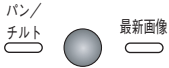

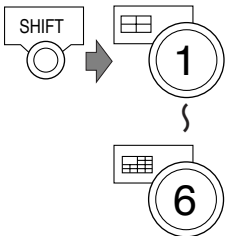

再生を終わるときは

- [停止] ボタンを押すと、[再生/一時停止] ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。
モニター2、モニター（VGA）には、再生映像からライブ映像に切り換わって表示されます。

●再生中の便利な機能

一時停止	<ul style="list-style-type: none"> ●一時停止中に押すと、再生を再開します。 ●一時停止中は[再生/一時停止] ボタンのランプが点滅します。
コマ送り/逆コマ送り	<ul style="list-style-type: none"> ●一時停止中にジョグダイヤル(内側)を回すと、1コマずつ再生を行います。 ●右方向(時計回し)に回すと次のコマを、左方向(逆時計回し)に回すと前のコマを再生します。

再生する (つづき)

<p>早送り／早戻し</p>		<ul style="list-style-type: none"> 再生中にシャトルリング (外側) を回すと、回した角度に応じて再生速度が変化 (1/2、1、2、5、10、20倍速) します。20倍速 (シャトルリングを最後まで回した状態) を5秒間継続すると50倍速、さらに50倍速を5秒間継続すると100倍速に再生速度が変化します。 右方向 (時計回し) に回すと早送り再生し、左方向 (逆時計回し) に回すと早戻し再生します。中央に戻すと通常速度で再生します。
<p>ホールド再生 (早送り／早戻し)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 再生中にシャトルリング (外側) を回した状態でセットボタンを押すと、回した角度の再生速度を保持します。(シャトルリング (外側) を離しても、回したときの再生速度で再生を続けます。) ホールド再生中に [セット] ボタンを押すと、ホールド再生を解除し、通常速度の再生に戻ります。
<p>スキップ</p>		<ul style="list-style-type: none"> 再生中にジョグダイヤル (内側) を回すと、スキップして次の録画映像、または前の録画映像を再生します。 右方向 (時計回し) に回すと次の録画開始時刻にスキップして再生し、左方向 (逆時計回し) に回すと前の録画開始時刻 (録画開始時刻付近で操作した場合は前々の録画開始時刻) にスキップして再生します。 スキップ先が存在しない場合は、現在の再生を続けます。
<p>最新画像へスキップ</p>		<ul style="list-style-type: none"> 現在再生している映像の最新録画時刻へスキップし、再生を行います。 ライブ映像を表示しているときに [最新画像] ボタンを2秒以上押し、最新録画時刻の映像から再生を開始します。 <hr/> <p> ● 録画中に [最新画像] ボタンを押すと、最新の録画時刻にスキップしない場合があります。</p>
<p>多画面再生</p>		<ul style="list-style-type: none"> 分割画面 (4/7/9/10/13/16画面) で再生映像を表示します。(WJ-HD309は4/7/9画面) ①シフトボタンを押し、シフト機能を使用する状態にします。シフトボタンが点灯することを確認してください。 ②カメラ選択ボタン (1~6) を押して画面分割数を選びます。 1ボタン : 4分割、2ボタン : 7分割、3ボタン : 9分割 4ボタン : 16分割、5ボタン : 10分割、6ボタン : 13分割 ③1画面表示に戻るときは、シフトボタンを消灯させ、カメラ選択ボタン (1~16、WJ-HD309は1~9) を押します。
<p>マーキング (再生操作 60ページ)</p>		<ul style="list-style-type: none"> マーキングした位置から再生することができます。マーキングは次の手順で登録します。 ①シフトボタンを押し、シフト機能を使用する状態にします。シフトボタンが点灯することを確認してください。 ②記憶したい再生位置で [マーク] ボタンを押します。最大100件まで登録できます。100件登録されると、以降はマーキング登録の古いもの (先に登録したもの) から順に上書きされます。 ●多画面再生を行っているときは、画面に表示されている再生画像数の再生位置が一度に記憶されます。

<h3>テキスト表示</h3>	 <p>(WJ-HD350の場合)</p> <p>(WJ-HD309の場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●再生中の映像に記録されているテキスト情報を表示します。テキスト表示はカメラ映像を1画面で表示しているときのみ有効です。 <ol style="list-style-type: none"> ①再生を一時停止します。 ②シフトボタンを押し、シフト機能を使用する状態にします。シフトボタンが点灯することを確認してください。 ③ [テキスト] ボタンを押します。
<h3>A-Bリピート再生</h3>	 <p>点滅：リピート再生中 点灯：A点設定時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●指定した区間を繰り返し再生します。 <ol style="list-style-type: none"> ①再生中に [A-Bリピート] ボタンを押し、再生を開始する位置 (A点) を設定します。 →ランプが点灯し、画面にリピート始点時刻が表示されます。  <p>.....リピート始点時刻</p> <p>設定した位置を解除したいときは、[設定/ESC] ボタンを押してください。</p> ②再生を終了する位置 (B点) で [A-Bリピート] ボタンを押します。 →リピート位置が設定され、ランプが点滅します。手順①で設定したA点から再生が始まりA-B点間を繰り返し再生します。リピート再生中は画面にリピート始点時刻と終点時刻が表示されます。  <p>.....リピート区間時刻</p> ③リピート再生中に [A-Bリピート] ボタンを押すと通常再生に戻ります。 <p> ●日時設定の変更や時刻補正などによって時刻が修正され、修正前に録画された映像と修正後に録画された映像の時間帯が重複した場合、A-Bリピート再生が正常に動作しない場合があります。</p>



- 録画と再生を同時に行い、再生時刻が録画時刻 (現在) に追いついた場合、再生は一時停止します。
- 録画レートが高い映像を再生したとき、再生速度にムラが出たり、音声途切れて聞こえる場合があります。
- 早送り/早戻し再生 (☞38ページ)、高速再生/高速逆再生 (取扱説明書 ネットワーク操作編 ☞17ページ) を行っているときに黒画が表示される場合がありますが、これは本機の内部処理によるもので、故障ではありません。

ディスクを選んで再生する

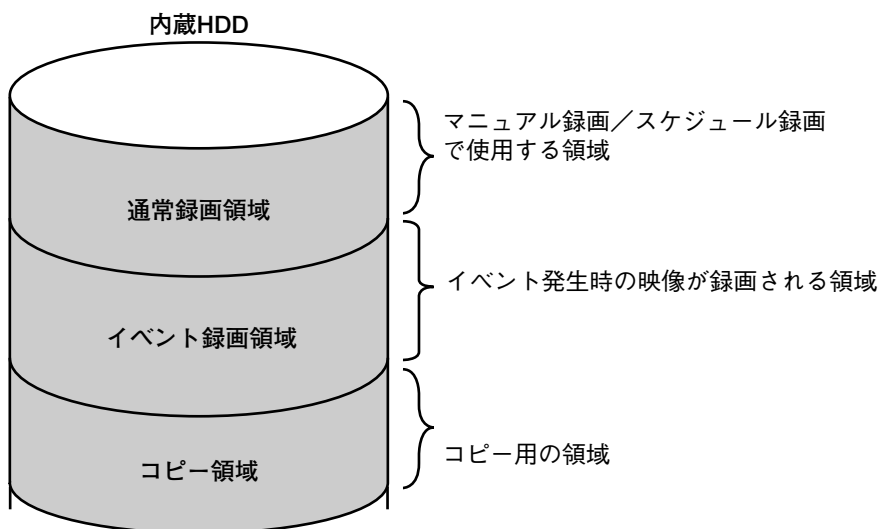
カメラ映像は本機の内蔵HDDまたは本機に接続されている外部記憶装置（DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、CD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）に記録されます。※

ここでは、ディスクを選んで、カメラ映像を再生する方法を説明します。

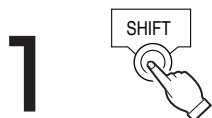
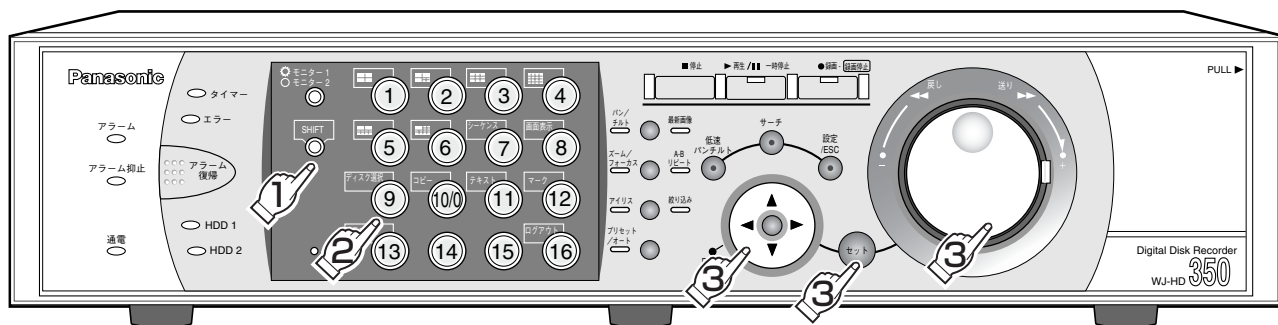
選択できるディスクは以下のとおりです。

※ 外部記憶装置は、HDDに録画された映像のコピー先として使用することができます。外部記憶装置に直接録画することはできません。

- HDD通常領域／イベント領域：本機の内蔵HDD内の録画領域です。マニュアル録画（☞35ページ）やイベント発生時の映像が録画されます。
また、このディスクを選択している場合、以下の検索再生が行えます。
 - ・ 録画イベントサーチ（☞44ページ）
 - ・ VMDサーチ（☞53ページ）
 - ・ マーキングサーチ（☞60ページ）
- HDDコピー領域：本機の内蔵HDD内の録画領域です。録画された映像をコピーする（☞77ページ）領域です。
また、このディスクを選択している場合、以下の検索再生が行えます。
 - ・ 録画イベントサーチ（☞44ページ）
 - ・ VMDサーチ（☞53ページ）
- COPY1（COPY2）：本機のコピー1 端子（後面）またはコピー2 端子（前面）に接続されている外部記録装置（DVD-RAM ディスク、DVD-R ディスク、CD-R ディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）です。
また、このディスクを選択している場合、以下の検索再生が行えます。
 - ・ コピーデータサーチ（☞49ページ）



- ここでは、内蔵HDDや外部記憶装置などを「ディスク」と表現しています。
- 再生映像は、モニター2、モニター（VGA）に表示されます。
- 再生操作は、録画中にも行うことができます。
- 別売りの増設ユニット内にプレ録画領域が作成されているときは、プレ録画領域に記録された映像も再生対象になります。
- 各録画領域の容量は設定によって異なります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。



1 シフト機能を使用する状態にする

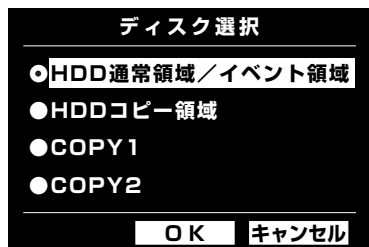
- シフトボタンが点灯することを確認してください。



(WJ-HD350の場合)



(WJ-HD309の場合)



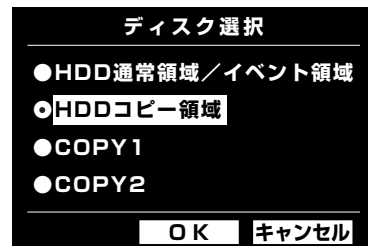
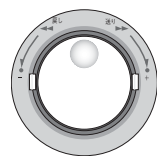
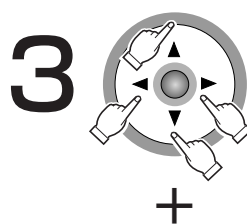
2 ディスク選択画面を表示する

- モニター2、モニター (VGA) にディスク選択画面がポップアップ表示されます。



重要

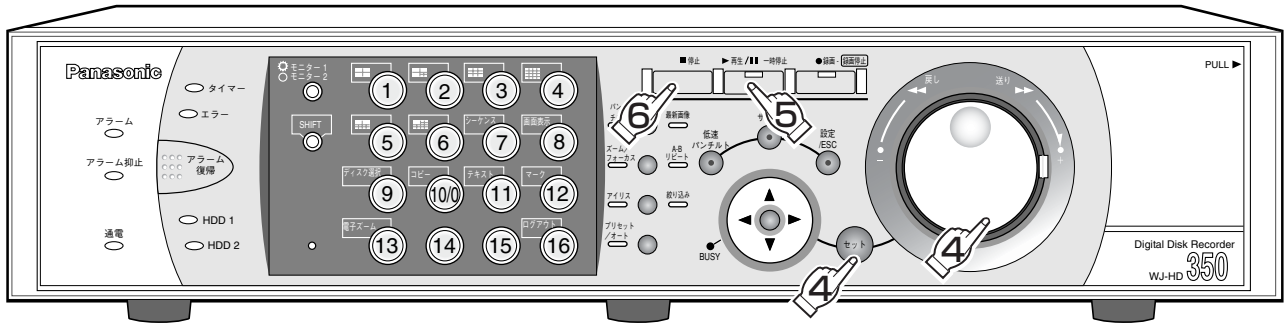
- 以下の場合は、「HDDコピー領域」「COPY1」「COPY2」を選択して、「OK」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押しても、録画イベントリスト画面、コピーデータリスト画面は表示されません。
 - ・他のユーザーが同じ領域を選択しているとき
 - ・ネットワークを経由してPCから同じ領域に手動コピーを行っているとき
 - ・同じ領域に自動コピーを行う設定のとき
 - ・選択先にドライブが存在しないとき
- ディスクを取り出すときは、外部記憶装置のディスク取り出しボタンを押してディスクを取り出す前に、ライブ映像を表示しているときに必ず次の操作を行ってください。
 - COPY1のディスクを取り出すとき
 - ：シフトボタンが点灯していることを確認し、「コピー」ボタンと [1] ボタンを同時に2秒以上押す。
 - COPY2のディスクを取り出すとき
 - ：シフトボタンが点灯していることを確認し、「コピー」ボタンと [2] ボタンを同時に2秒以上押す。
- コピーが完了すると、画面に「COPY1 (COPY2) が取り外し可能です。」と表示されます。



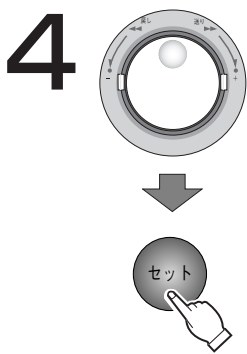
再生するディスクを選ぶ

- ジョグダイヤル (内側) を回して再生するディスクを選び、十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、「OK」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押します。
- 「HDD通常領域/イベント領域」「HDDコピー領域」を選択した場合、録画イベントリスト画面が表示されます。
- 「COPY1」「COPY2」を選択した場合、コピーデータリスト画面が表示されます。操作のしかたについては49ページをお読みください。
- 「キャンセル」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、ディスク選択画面が閉じます。

ディスクを選んで再生する（つづき）



再生
(録画映像)



日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*2:34:56			TOTAL	12345

録画イベントリスト画面

日時	カメラ	CAM
05.4.25*23:00:00		01ch
05.4.25*22:00:00		01ch
05.4.25*21:00:00		01ch
05.4.25*20:00:00		01ch
05.4.25*19:00:00		01ch
05.4.25*18:00:00		01ch
05.4.25*17:00:00		01ch
05.4.25*16:00:00		01ch
		TOTAL

コピーデータリスト画面



再生を終わるときは

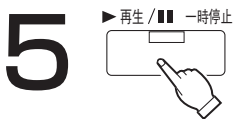
- [停止] ボタンを押すと、[再生/一時停止] ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。モニター2、モニター (VGA) にライブ映像が表示されます。



- 再生停止後、[再生/一時停止] ボタンを押すと、前回再生を終了した日時から再生を開始します。

再生する映像データを選択する

- ジョグダイヤル（内側）を回して選びます。



再生を始める

- [再生/一時停止] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、選択したディスクの選択した録画映像を再生します。



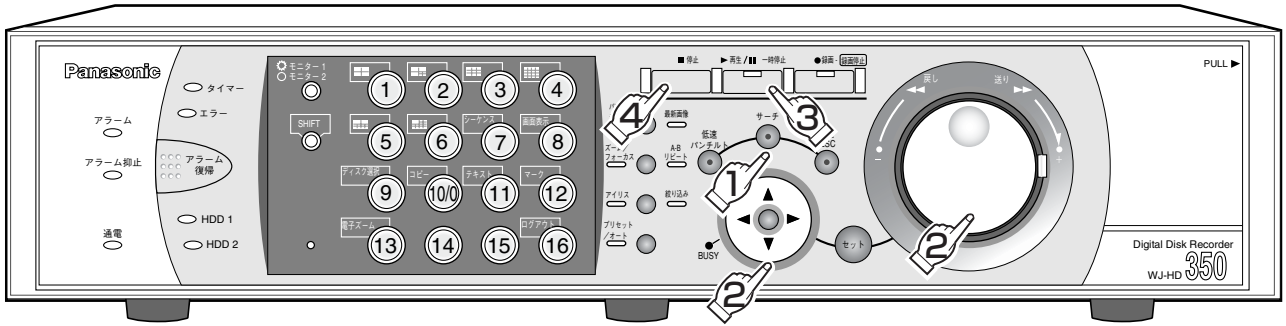
- 「COPY1」「COPY2」を選択した場合、音声は再生されません。また、録画レートの高い映像を再生すると、画像更新速度が遅くなる場合があります。

頭出し再生する

見たい映像の日時を指定して再生します。再生操作は、録画中にも行うことができます。
再生映像は、モニター2、モニター（VGA）のみに表示されます。

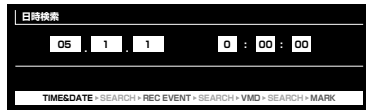
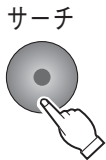


- 頭出し再生はディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。（※40ページ）



再生
(録画映像)

1



頭出し日時入力画面を表示する

- [サーチ] ボタンを押します。
- モニター2、モニター（VGA）に頭出し日時入力画面が表示されます。

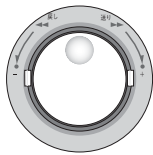
3



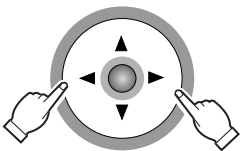
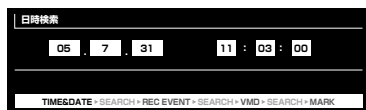
再生を始める

- [再生／一時停止] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、入力した日時から録画映像を再生します。
- 指定した日時の映像が無い場合は、以下のようになります。
入力日時以降に録画映像がある場合、入力日時以降の最も古い映像から再生します。
入力日時以降に録画映像が無い場合、入力日時以前の最も新しい映像から再生します。

2



+



日時を入力する

- 十字ボタンの◀ または ▶ を押してカーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回して年、月、日、時、分、秒を選びます。選択すると反転表示になります。

4



再生を終わるときは

- [停止] ボタンを押すと、[再生／一時停止] ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。
モニター2、モニター（VGA）にライブ映像が表示されます。

検索して再生する

見たい録画映像を検索して再生します。検索のしかたには次の3つの方法があります。
ただし、選択しているディスクによって検索できる方法に制限があります。(☞40ページ)

- 録画イベントを検索して再生する (録画イベントサーチ)
- コピーした映像を検索して再生する (コピーデータサーチ)
- 録画映像の中から映像に動きのある時刻を検索して再生する (VMDサーチ)
- マーキング (☞38ページ) を検索して再生する (マーキングサーチ)



- 再生映像はモニター2、モニター (VGA) に1画面で表示されます。多画面で再生したい場合は、再生開始後、多画面表示の切り換えを行ってください。

再生

録画イベントを検索して再生する (録画イベントサーチ)

録画イベントをリストまたはサムネールで表示し、その中から再生したい録画イベントを選択して再生します。また、録画イベントは以下の条件で絞り込んで検索することもできます。



- 録画イベントサーチはディスク選択で「HDD通常領域/イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。(☞40ページ)

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている映像を検索します。
カメラ	選択したカメラCHの映像を検索します。
イベント	選択した録画モードの映像のみを検索します。選択できる録画モードは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ EMERGENCY : 緊急録画 (☞36ページ)・ VMD : 動き自動検出機能によるイベント録画 (☞73ページ)・ TERMINAL : 端子アラームによるイベント録画 (☞73ページ)・ COMMAND : コマンドアラームによるイベント録画 (☞73ページ)・ VIDEO LOSS : ビデオロスによるイベント録画 (☞73ページ)・ MANUAL : マニュアル録画 (☞35ページ)・ SCHEDULE : スケジュール録画 (☞167ページ)
テキスト	テキスト付きあるいはテキスト無しで録画されている映像を検索します。

録画イベントリスト画面表示について

日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*2:34:56 → 05.4.25*12:34:56			TOTAL	12345
TIMESDATE * SEARCH * REC EVENT * SEARCH * VMD * SEARCH * MARK				

絞込条件ボタン	: 絞込条件を設定します。
[フィルター] 解除ボタン	: 絞り込みを解除し、すべての録画イベントをリストアップします。
録画開始日時	: <録画イベントサーチリストの場合> 録画開始日時を表示します。 <VMDサーチの場合> 動き検出日時を表示します。 <マーキングサーチの場合> マーキングが付けられている日時を表示します。
カメラCH	: 録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。
イベント	: 録画モードを表示します。
テキスト	: 映像に文字情報が付加されている場合、文字情報の一部を表示します。
リストアップされたデータの日時範囲	: リストアップされたデータの日時範囲を表示します。
リストアップされたデータの件数	: リストアップされたデータのトータル件数を表示します。
サーチ情報	: 現在表示しているリストがオレンジ色の文字であらわれます。

録画イベントサムネール画面表示について

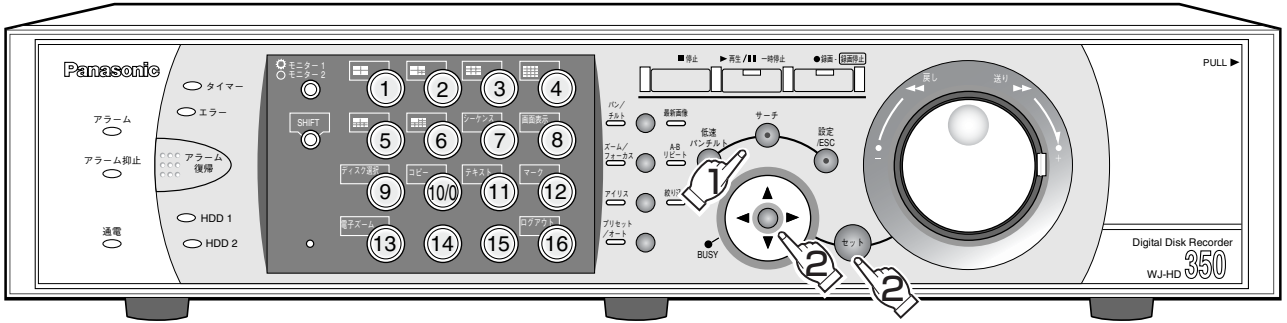


日時	: <録画イベントサーチリストの場合> 録画開始日時を表示します。 <VMDサーチの場合> 動き検出日時を表示します。 <マーキングサーチの場合> マーキングが付けられている日時を表示します。
カメラCH・イベント	: 録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。イベントは、映像の録画モードを表示します。
リストアップされたデータの件数	: リストアップされたデータのトータル件数を表示します。



- サムネール画面の画像は、圧縮記録された画像を再生する都合上、表示されている日時に録画されたものとは一致しない場合があります。
- 日時設定の変更や時刻補正などによって時刻が修正され、修正前に録画された映像と修正後に録画された映像の時間帯が重複した場合、サムネール表示が正常に行われない場合があります。

検索して再生する (つづき)



再生
(録画映像)

1 サーチ
2回押す

日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
▶ 05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*2:34:56			05.4.25*12:34:56	TOTAL 12345

2

日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
▶ 05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*2:34:56			05.4.25*12:34:56	TOTAL 12345

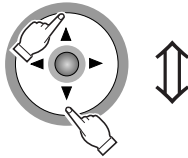
セット

録画イベントリスト画面を表示する

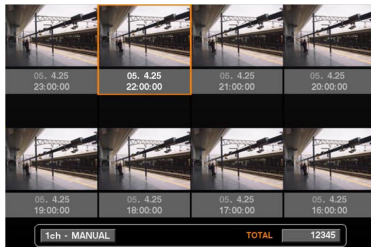
- モニター2、モニター (VGA) に録画イベントリスト画面が表示されます。
- 録画イベントを絞り込む場合は、手順2へ進みます。録画イベントを絞り込まない場合は、手順4へ進みます。
- 十字ボタンの▼または▲を押すたびにリスト表示⇔サムネール表示を切り換えることができます。

リスト表示

日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
▶ 05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*2:34:56			05.4.25*12:34:56	TOTAL 12345

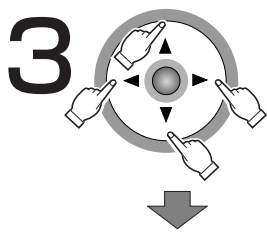
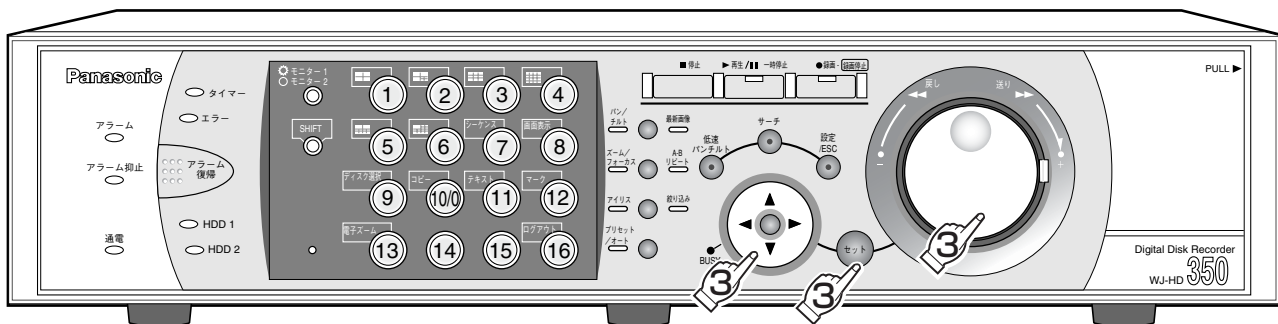


サムネール表示



絞り込み条件を選ぶ

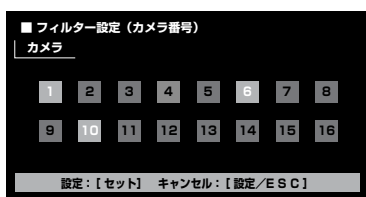
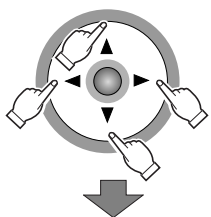
- 十字ボタンの◀または▶を押して、絞り込み条件 (日時/カメラ/イベント/テキスト) を選び、[セット] ボタンを押します。絞り込み条件については44ページをお読みください。
- 絞り込み条件を設定すると、各条件の設定画面が表示されます。
- 「フィルター解除」を選んで [セット] ボタンを押すと、絞り込みが解除されます。



絞り込み条件を設定する

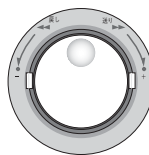
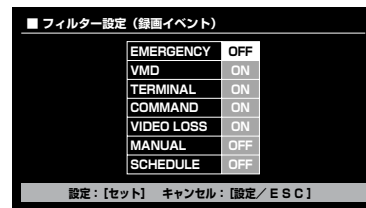
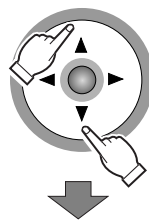
●日時の場合

- 検索したい録画イベントの開始日時と終了日時を入力します。十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、カーソルを移動し、ジョグダイヤル (内側) を回して年、月、日、時、分を入力します。入力したら [セット] ボタンを押します。条件に当てはまる録画イベントが表示されます。



●カメラの場合

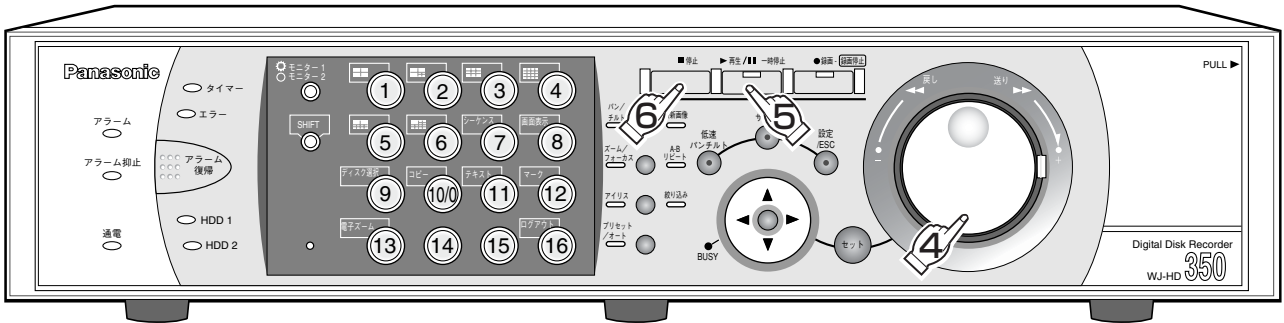
- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、カーソルを移動し、ジョグダイヤル (内側) を回してカメラCHを選択します。選択されたカメラCHは白色で表示されます。設定したら [セット] ボタンを押します。条件に当てはまる録画イベントが表示されます。
- カメラ選択ボタン (1~16、WJ-HD309は1~9) を押してもカメラCHを選択できます。



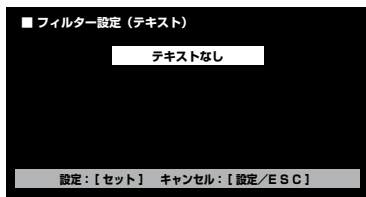
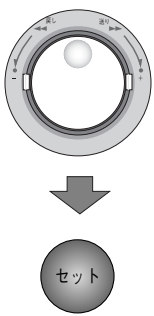
●録画イベントの場合

- 十字ボタンの▼または▲を押して、条件として設定したい録画イベント (44ページ) にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル (内側) を回し「ON」にします。設定したら、[セット] ボタンを押します。条件に当てはまる録画イベントが表示されます。

検索して再生する（つづき）



再生
(録画映像)

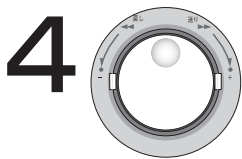


再生を始める

- [再生/一時停止] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、選択した録画イベントの映像を再生します。合わせて、絞り込みランプも点灯します。



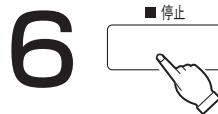
- 絞り込みランプが点灯しているときは、リスト表示した記録映像のみが再生の対象になります。再生中に [絞り込み] ボタンを押すと、すべての記録映像を再生の対象にできます。



日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*23:45:58			TOTAL	12345

再生したい録画イベントを選ぶ

- ジョグダイヤル（内側）を回して録画イベントを選択します。
- シャトルリング（外側）を回すと、ページを切り換えることができます。



再生を終わるときは

- [停止] ボタンを押すと、[再生/一時停止] ボタンのランプと [絞り込み] ランプが消灯し、再生を停止します。モニター2、モニター（VGA）にライブ映像が表示されます。



- 録画イベントリストには、録画開始時刻が表示されます。イベントが連続して発生した場合、一番最初のイベントによる録画が継続されるため、イベント入力ログに表示される日時と録画イベントリストの日時は一致しない場合があります。
- 「テキストあり」 / 「テキストなし」 を絞り込み条件にして検索した場合、録画イベントを選択して映像を再生しても音声は再生されません。

コピーした映像を検索して再生する（コピーデータサーチ）

本機のコピー1 端子（後面）またはコピー2 端子（前面）に接続されている外部記録装置（DVD-RAM ディスク、DVD-R ディスク、CD-R ディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）内のコピーデータ（コピーした映像）をリストまたはサムネールで表示し、その中から再生したいコピーデータを選択して再生します。
また、コピーデータは以下の条件で絞り込んで検索することもできます。

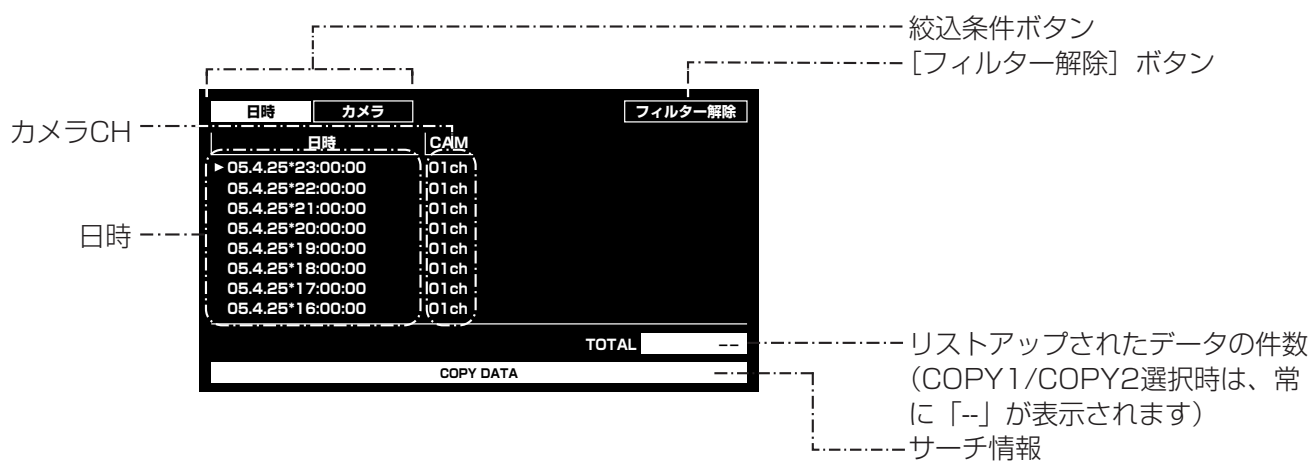


- コピーデータサーチはディスク選択で「COPY1」「COPY2」を選択しているときのみ操作できます。（※40ページ）
- コピーデータはファイル形式が異なるため、以下の操作のみ行えます。
 - ・ 1ファイルのみの通常再生
 - ・ 早送り／早戻し
 - ・ 一時停止
 - ・ コマ送り／逆コマ送り
 - ・ 日時カメラからの絞り込み検索
 - ・ サムネール表示

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている映像を検索します。
カメラ	選択したカメラCHの映像を検索します。

コピーデータリスト画面表示について



- | | |
|---------------|--|
| 絞り込み条件ボタン | ： 絞り込み条件を設定します。 |
| [フィルター解除] ボタン | ： 絞り込みを解除し、すべてのコピーデータをリストアップします。 |
| 日時 | ： コピーデータの開始時刻（コピーの開始時刻）を表示します。 |
| カメラCH | ： コピーデータのカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。 |

検索して再生する（つづき）

コピーデータサムネール画面表示について



日時

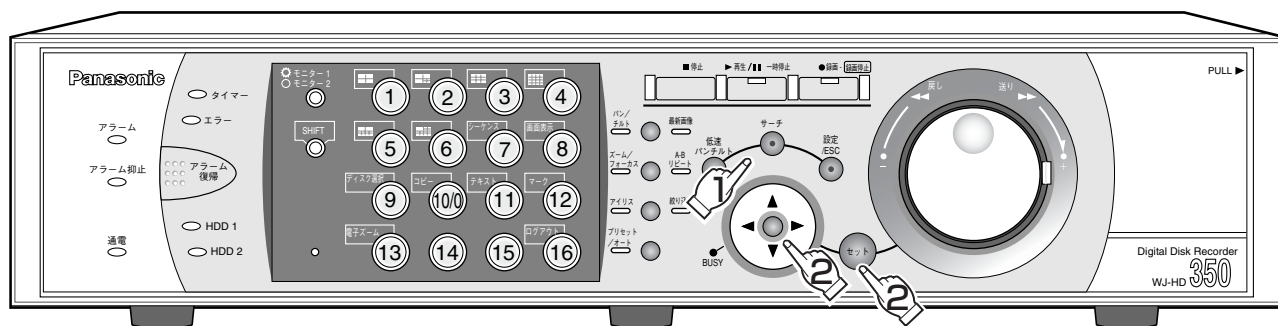
カメラCH

リストアップされたデータの件数
(COPY1/COPY2選択時は、常に「--」が表示されます)

日時 : コピーデータの開始時刻（コピーの開始時刻）を表示します。
カメラCH : コピーデータのカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

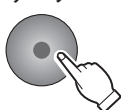


- サムネール画面の画像は、圧縮記録された画像を再生する都合上、表示されている日時に録画されたものとは一致しない場合があります。
- 日時設定の変更や時刻補正などによって時刻が修正され、修正前に録画された映像と修正後に録画された映像の時間帯が重複した場合、サムネール表示が正常に行われない場合があります。
- コピー開始日時に映像が無い場合、リスト／サムネールに表示される日時と再生が始まる日時は一致しません。
- コピー完了操作（☞80ページ）を行っていないCD-R/DVD-Rの検索・再生はできません。



1

サーチ

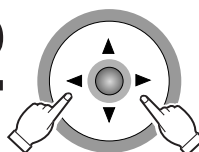


日時	カメラ	CAM
▶ 05.4.25*23:00:00		01ch
05.4.25*22:00:00		01ch
05.4.25*21:00:00		01ch
05.4.25*20:00:00		01ch
05.4.25*19:00:00		01ch
05.4.25*18:00:00		01ch
05.4.25*17:00:00		01ch
05.4.25*16:00:00		01ch

TOTAL ---

COPY DATA

2



日時	カメラ	CAM
▶ 05.4.25*23:00:00		01ch
05.4.25*22:00:00		01ch
05.4.25*21:00:00		01ch
05.4.25*20:00:00		01ch
05.4.25*19:00:00		01ch
05.4.25*18:00:00		01ch
05.4.25*17:00:00		01ch
05.4.25*16:00:00		01ch

TOTAL ---

COPY DATA



コピーデータリスト画面を表示する

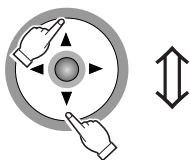
- モニター2、モニター（VGA）にコピーデータリスト画面が表示されます。
- コピーデータを絞り込む場合は、手順2へ進みます。コピーデータを絞り込まない場合は、手順4へ進みます。
- 十字ボタンの▼または▲を押すたびにリスト表示⇔サムネール表示を切り換えることができます。

リスト表示

日時	カメラ	CAM
▶ 05.4.25*23:00:00		01ch
05.4.25*22:00:00		01ch
05.4.25*21:00:00		01ch
05.4.25*20:00:00		01ch
05.4.25*19:00:00		01ch
05.4.25*18:00:00		01ch
05.4.25*17:00:00		01ch
05.4.25*16:00:00		01ch

TOTAL ---

COPY DATA



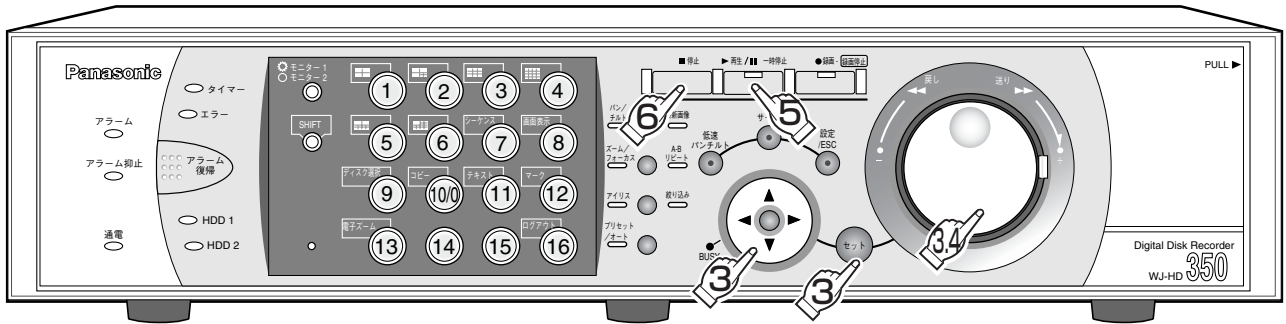
サムネール表示



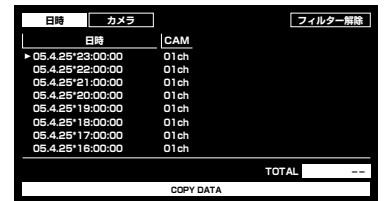
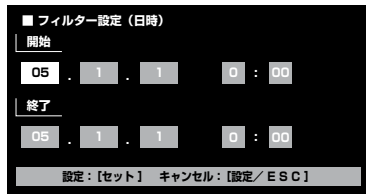
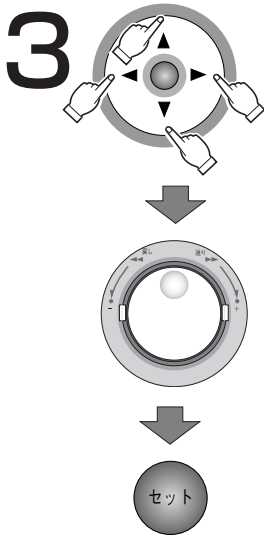
絞り込み条件を選ぶ

- 十字ボタンの◀または▶を押して、絞り込み条件（日時／カメラ）を選び、[セット] ボタンを押します。
絞り込み条件については44ページをお読みください。
- 絞り込み条件を設定すると、各条件の設定画面が表示されます。
- 「フィルター解除」を選んで [セット] ボタンを押すと、絞り込みが解除されます。

検索して再生する（つづき）



再生
(録画映像)



再生したいコピーデータを選ぶ

- ジョグダイヤル（内側）を回してコピーデータを選択します。
- シャトルリング（外側）を回すと、ページを切り換えることができます。

絞り込み条件を設定する

●日時の場合

- 検索したいコピーデータの開始日時と終了日時を入力します。十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、カーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回して年、月、日、時、分を入力します。入力したら「セット」ボタンを押します。条件に当てはまるコピーデータが表示されます。

●カメラの場合

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、カーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回してカメラCHを選択します。選択されたカメラCHは白色で表示されます。設定したら「セット」ボタンを押します。条件に当てはまるコピーデータが表示されます。
- カメラ選択ボタン（1～16、WJ-HD309は1～9）を押してもカメラCHを選択できます。



- 検索中に「停止」ボタンを押すと、検索を中止できます。



再生を始める

- 「再生／一時停止」ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、選択したコピーデータの映像を再生します。合わせて、絞り込みランプも点灯します。



- コピーデータはレコードをまたいで再生できません。また、多画面表示で再生できません。



再生を終わるときは

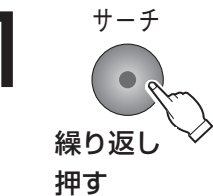
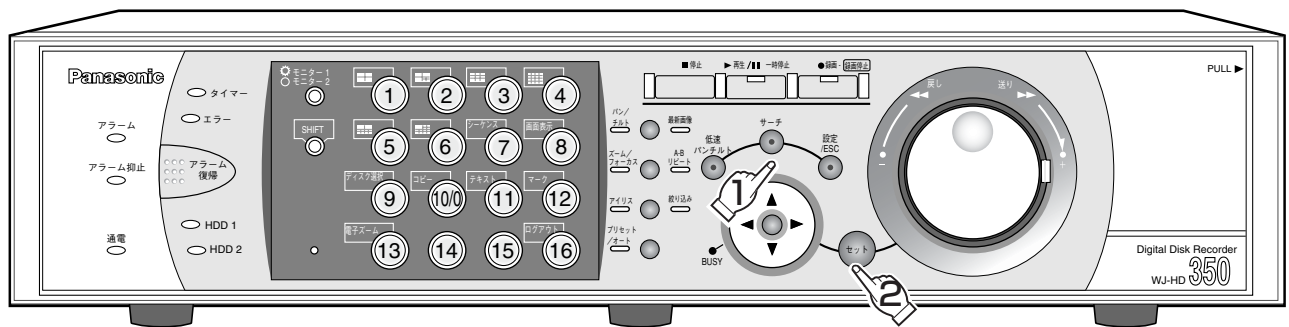
- 「停止」ボタンを押すと、「再生／一時停止」ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。モニター2、モニター（VGA）にライブ映像が表示されます。

録画映像の中から映像に動きのある日時を検索して再生する (VMDサーチ)

すべての録画モード (P.35ページ) で録画した映像の中から、映像に動きのある日時を検索して、リストまたはサムネールで表示します。検索結果のリストまたはサムネールから再生したい日時を選択して再生します。映像に動きのある日時は、カメラCHや日時、検出エリア、検索モードで絞り込むこともできます。

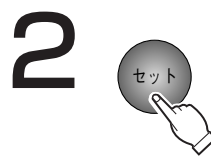


- VMDサーチはディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。(P.40ページ)



日時	CAM
05.4.25*23:00:00	01 ch
05.4.25*22:00:00	01 ch
05.4.25*21:00:00	01 ch
05.4.25*20:00:00	01 ch
05.4.25*19:00:00	01 ch
05.4.25*18:00:00	01 ch
05.4.25*17:00:00	01 ch
05.4.25*16:00:00	01 ch
05.4.25*2:34:56	
TOTAL 200	

TIMESDATE * SEARCH * REC EVENT * SEARCH * VMD * SEARCH * MARK



設定	カメラ
開始	05 1 1 0 : 00
終了	05 1 1 0 : 00

設定: [セット] 検索: [再生] キャンセル: [設定/ESC]

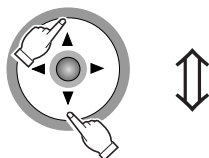
VMD検索リスト画面を表示する

- VMD検索リスト画面が表示されるまで、[サーチ] ボタンを繰り返し押します。
- モニター2、モニター (VGA) にVMD検索リスト画面が表示されます。画面の内容は前回の検索結果画面が表示されます。
- 十字ボタンの▼または▲を押すたびにリスト表示 ⇄ サムネール表示を切り換えることができます。

リスト表示

日時	CAM
05.4.25*23:00:00	01 ch
05.4.25*22:00:00	01 ch
05.4.25*21:00:00	01 ch
05.4.25*20:00:00	01 ch
05.4.25*19:00:00	01 ch
05.4.25*18:00:00	01 ch
05.4.25*17:00:00	01 ch
05.4.25*16:00:00	01 ch
05.4.25*2:34:56	
TOTAL 200	

TIMESDATE * SEARCH * REC EVENT * SEARCH * VMD * SEARCH * MARK



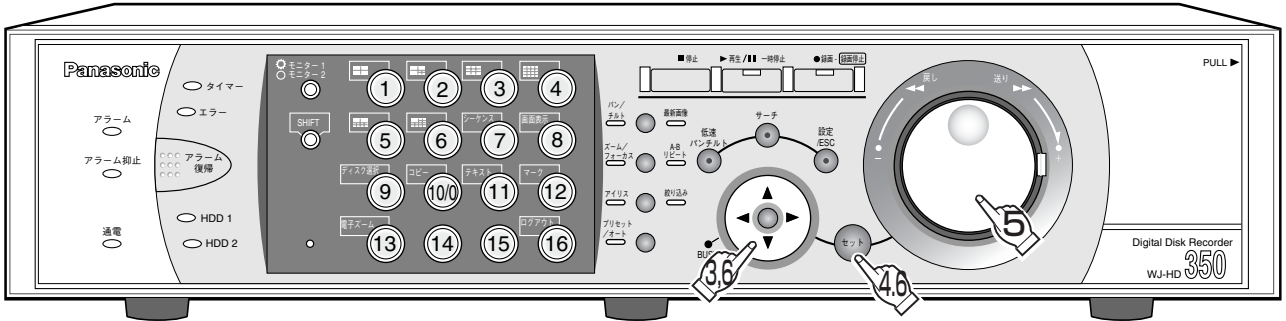
サムネール表示



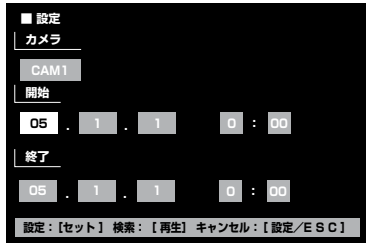
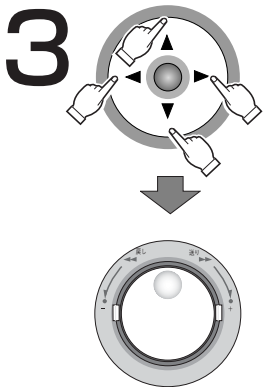
設定画面を表示する

- 設定画面を表示して、動き検出を行うカメラCHや日時を設定します。
- 前回の検索と同じ条件で検索を行う場合は [再生/一時停止] ボタンを押してください。検索が実行され、結果がリスト表示されます。手順13へ進みます。

検索して再生する（つづき）



再生
(録画映像)



ステータスバーの「エリア設定」を選択する

- ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「エリア設定」を選択します。



- 「全エリア設定」を選択し、「セット」ボタンを押すと、表示されている映像のすべての領域を検出範囲に設定できます。

検索条件を設定する

- 動き検出を行うカメラCHと日時の範囲を設定します。十字ボタン（▼▲◀▶）を押してカーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回して設定します。

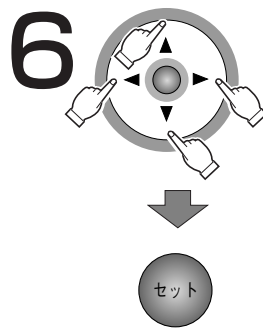


動き検出エリア設定画面を表示する

- 動き検出エリア設定画面を表示して、動き検出範囲を設定します。
- 前回の検索と同じ条件で検索を行う場合は「再生／一時停止」ボタンを押してください。検索が実行され、結果がリスト表示されます。手順13へ進みます。



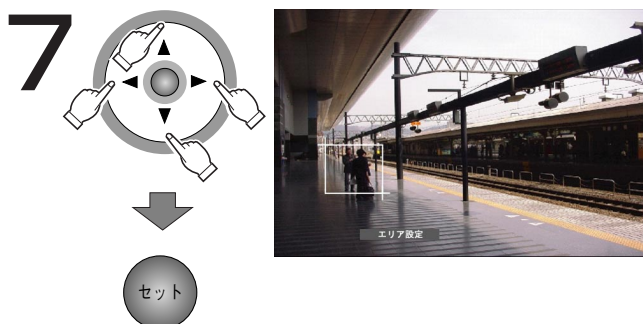
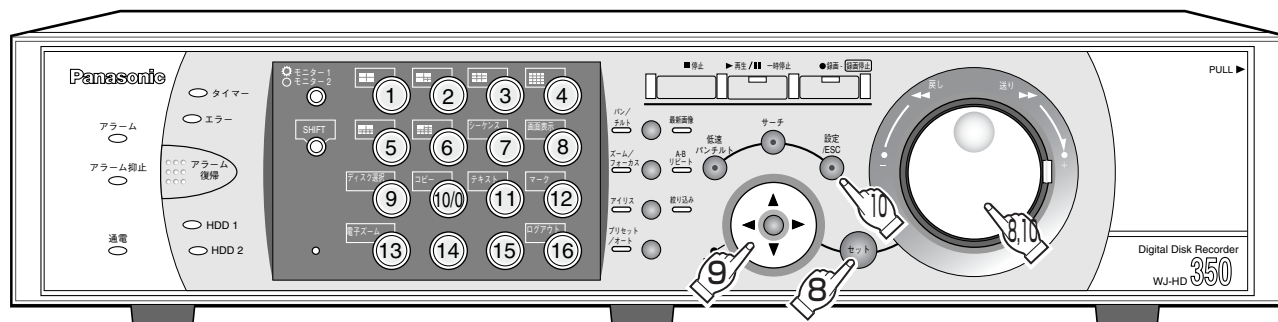
- 手順3で設定した日時範囲内に録画映像がないときは、「セット」ボタンを押しても動き検出エリア設定画面は表示されません。



十字カーソル

検出範囲の始点を設定する

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを検出範囲として設定したいエリアの始点に移動し、「セット」ボタンを押します。



検出範囲の終点を設定する

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、十字カーソルを検出範囲として設定したいエリアの終点に移動し、[セット] ボタンを押します。
- 手順6、7を繰り返して、最大4エリア (A、B、C、D) まで設定できます。

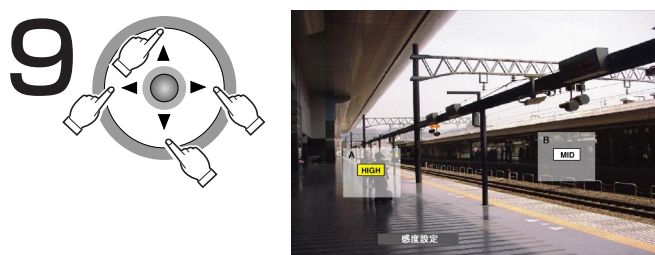


ステータスバーの [感度設定] を選択する

- ジョグダイヤル (内側) を回して、ステータスバーの [感度設定] を選択し、[セット] ボタンを押します。

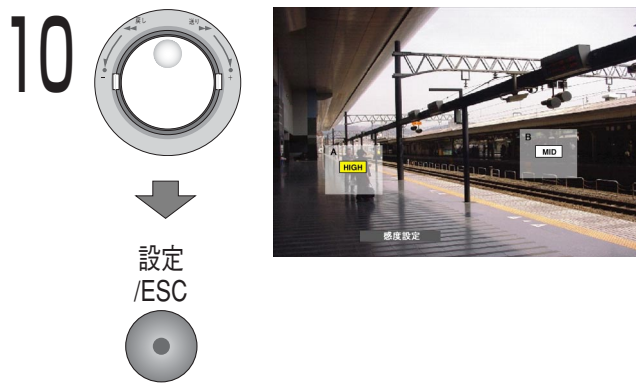


- 検出範囲の設定によっては、感度をあらかず文字が重なって表示される場合があります。
- 検出エリアの場所によっては、感度をあらかず文字列の一部が表示されない場合があります。



感度設定したい検出範囲を選択する

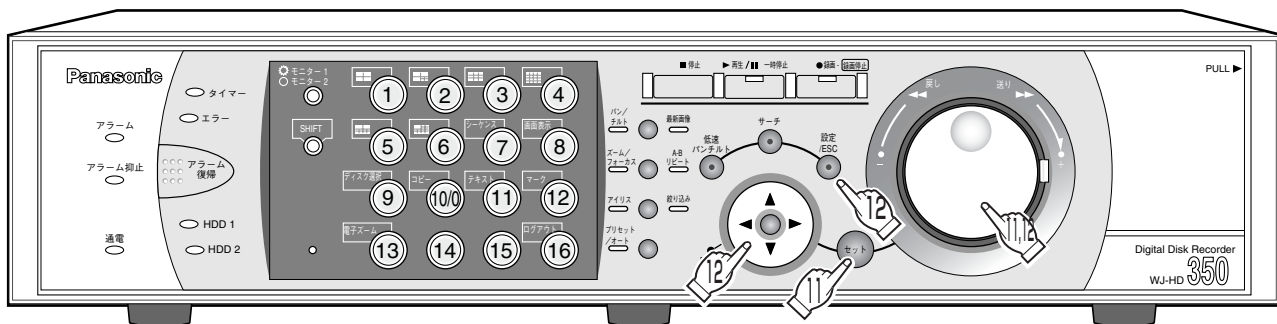
- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、感度設定したい検出範囲に移動します。



感度を設定する

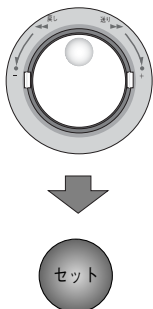
- ジョグダイヤルを回して以下から感度を設定します。
OFF : このエリアの動きを検出しません。
LOW : 低感度
MID : 標準感度
HIGH : 高感度
- 手順9、10を繰り返して、すべての検出エリアの感度を設定したら、[設定/ESC] ボタンを押します。

検索して再生する（つづき）



再生
(録画映像)

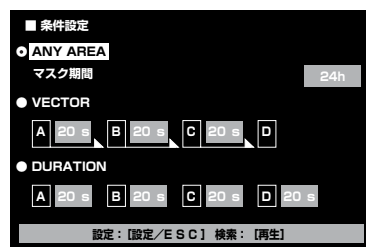
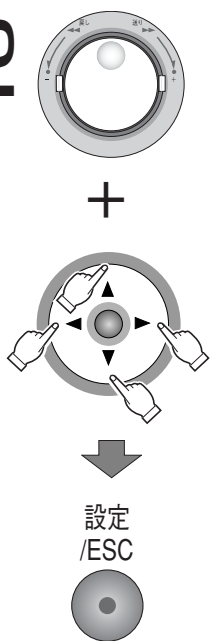
11



ステータスバーの [検出モード設定] を選択する

- ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの [検出モード設定] を選択し、[セット] ボタンを押します。

12



検出モードを設定する

- 検出モードを設定して絞り込みます。十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、設定したい検出モードにカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回して設定したい検出モードを選びます。検出モードを設定したら、[設定/ESC] ボタンまたは [セット] ボタンを押します。各検出モードについては59ページをお読みください。

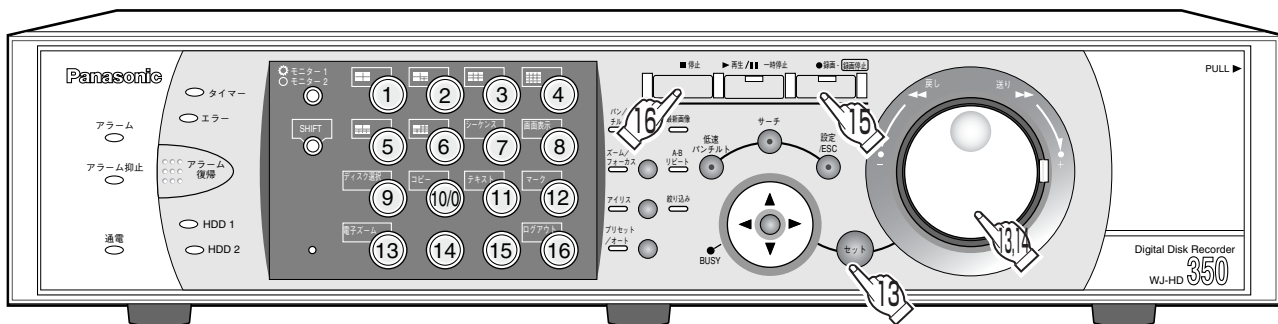
・ [ANY AREA] の場合

マスク期間を設定します。十字ボタン (▼) を押してカーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回して、マスク期間を以下から設定します。

1 s / 1 min / 1 h / 24 h

・ [VECTOR] の場合

十字ボタン (▼) を押して、エリアを選択する位置にカーソルを移動し、ジョグダイヤル（内側）を回して、エリアを選択しま



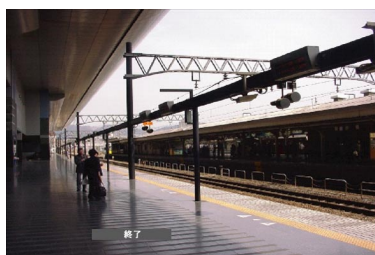
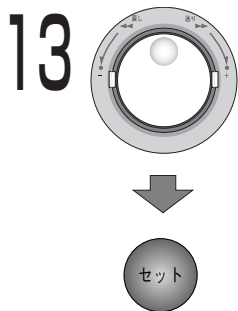
す。次に、十字ボタン (▶) を押して各エリア間の移動時間を設定する位置へカーソルを移動し、ジョグダイヤル (内側) を回して、移動時間を以下から設定します。

-- / 5 s / 10 s / 20 s / 30 s / 40 s / 50 s / 1 min

・「[DURATION]」の場合

十字ボタン (▶) を押して各エリアの設定値へカーソルを移動し、ジョグダイヤル (内側) を回して、各エリアごとに動きの継続時間を以下から設定します。

0 s / 5 s / 10 s / 20 s / 30 s / 40 s / 50 s / 1 min



ステータスバーの「終了」を選択する

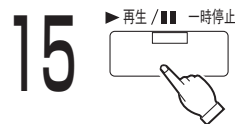
- 絞り込みが行われ、条件に当てはまる検索結果が表示されます。
- 検索結果は最大200件表示されます。(200件検索されるとそこで検索を終了します)
- 検索結果が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 検索中に「停止」ボタンを押すと、検索を中止することができます。



条件設定	
日時	CAM
▶ 05.4.25*23:00:00	01 ch
05.4.25*22:00:00	01 ch
05.4.25*21:00:00	01 ch
05.4.25*20:00:00	01 ch
05.4.25*19:00:00	01 ch
05.4.25*18:00:00	01 ch
05.4.25*17:00:00	01 ch
05.4.25*16:00:00	01 ch
05.4.25*12:34:56 -- 05.4.25*12:34:56 TOTAL 200	
TIMESDATE * SEARCH * RED EVENT * SEARCH * VMD * SEARCH * MARK	

再生したい検索結果を選ぶ

- ジョグダイヤル (内側) を回して再生したい検索結果を選択します。
- シャトルリング (外側) を回すと、ページを切り換えることができます。



再生を始める

- 「再生／一時停止」ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、選択した検索結果の映像を再生します。合わせて、絞り込みランプも点灯します。



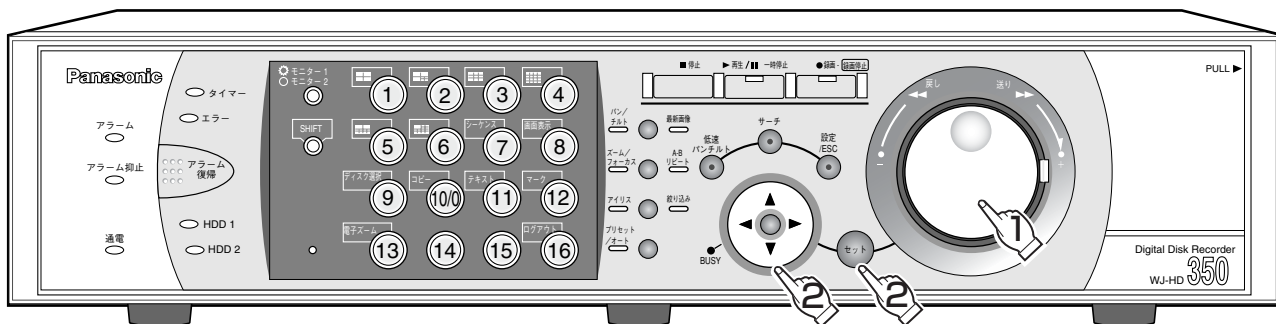
- 絞り込みランプが点灯しているときにジョグダイヤル (内側) を回すと、リストアップされた日時 (動き検出日時) にスキップできます。絞り込みボタンを押すと通常の再生に戻ります。



再生を終わるときは

- 「停止」ボタンを押すと、「再生／一時停止」ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。モニター2、モニター (VGA) にライブ映像が表示されます。

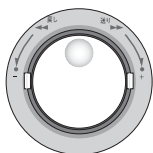
検索して再生する（つづき）



再生
(録画映像)

●検出範囲を削除するには

1



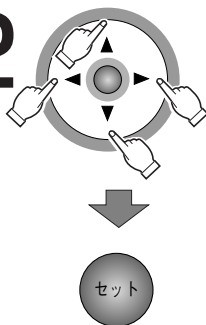
ステータスバーの【エリア削除】を選択する

- ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの【エリア削除】を選択します。



- 【全エリア削除】を選択し、【セット】ボタンを押すと、設定されているすべての検出範囲を削除できます。

2



検出範囲を削除する

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを削除したいエリア上に移動し、【セット】ボタンを押します。

●検出モードについて

設定した検出範囲内の検出方法を設定します。

検出モードを設定することで、検出範囲内でどのような検出のしかたをするか、具体的に設定できます。

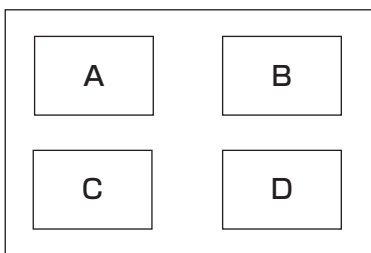
検出モードには以下の3つがあります。



- 複数の検出モードを組み合わせることはできません。

<ANY AREAモード (エリア内の動きを検出する場合に設定)>

設定した検出範囲のいずれかで動きを検出すると、「動きあり」とみなします。



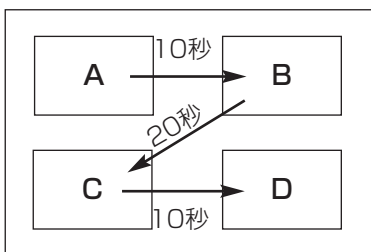
A、B、C、Dのいずれかで動きがあると「動きあり」とみなす

※ANY AREAモードではマスク期間を設定することができます。マスク期間を設定すると、あるエリアで動きを検出してから設定した時間、同じエリアで動きを検出しません。動き検出時間が長い場合や検出結果が多すぎる場合に、検出間隔を間引くために使用します。

<VECTORモード (ある方向に移動する動きを検出する場合に設定)>

検出範囲の設定順で設定時間内に動きが移動した場合、「動きあり」とみなします。

例えば、以下のように設定した場合、



Aで動きを検出し、10秒以内にBで動きを検出

Bで動きを検出してから20秒以内にCで動きを検出

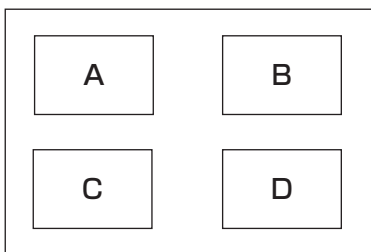
Cで動きを検出してから10秒以内にDで動きを検出

これらを満たすと「動きあり」とみなす

<DURATIONモード (エリア内で一定時間継続する動きを検出する場合に設定)>

設定した検出範囲で設定した時間以上動きが継続した場合、「動きあり」とみなします。

例えば、A：10秒、B：10秒、C：20秒、D：30秒で設定した場合



いずれかの検出範囲内で、設定した時間以上動きが継続すると「動きあり」とみなす



- DURATIONモードは検索対象の映像の録画レートが低い場合、正常に動作しません。
- 記録映像の内容によって、検索に時間がかかることがあります。

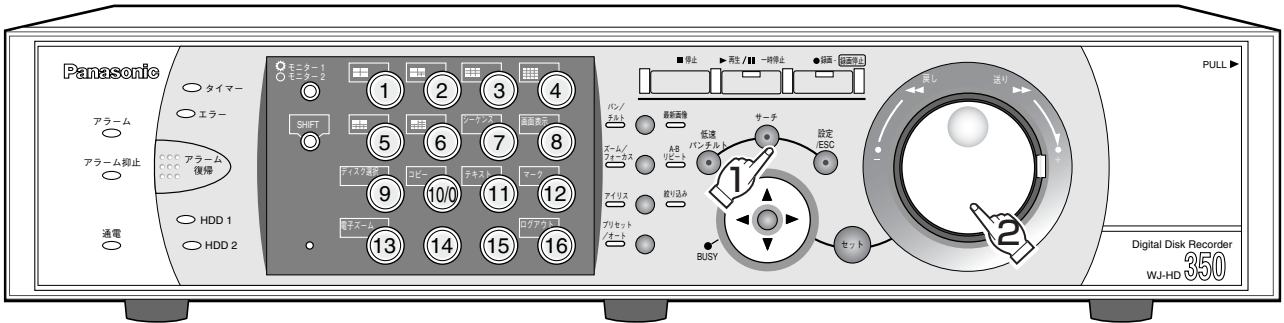
検索して再生する（つづき）

マーキングを検索して再生する（マーキングサーチ）

マーキングが付いている録画映像の録画日時をリストまたはサムネールで表示し、その中から再生したい録画日時を選択して再生します。マーキングの登録について詳しくは38ページをお読みください。



- マーキングサーチはディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」を選択しているときのみ操作できます。（※40ページ）



再生
(録画映像)

1 **サーチ**
繰り返し押し

日時	CAM
05.4.25*23:00:00	01ch
05.4.25*22:00:00	01ch
05.4.25*21:00:00	01ch
05.4.25*20:00:00	01ch
05.4.25*19:00:00	01ch
05.4.25*18:00:00	01ch
05.4.25*17:00:00	01ch
05.4.25*16:00:00	01ch

05.4.25*2:34:56 → 05.4.25*12:34:56 TOTAL 100
 TIME&DATE • SEARCH • REC EVENT • SEARCH • VMD • SEARCH • MARK

- マーキングリスト表示中に [1] ボタン、[2] ボタンを同時に2秒以上押しすると、マーキングリストをすべて消去することができます。

マーキングリスト画面を表示する

- マーキングリスト画面が表示されるまで、[サーチ] ボタンを繰り返し押しします。
- モニター2、モニター（VGA）にマーキングリスト画面が表示されます。
- 十字ボタンの▼または▲を押すたびにリスト表示⇔サムネール表示を切り換えることができます。

リスト表示

日時	CAM
05.4.25*23:00:00	01ch
05.4.25*22:00:00	01ch
05.4.25*21:00:00	01ch
05.4.25*20:00:00	01ch
05.4.25*19:00:00	01ch
05.4.25*18:00:00	01ch
05.4.25*17:00:00	01ch
05.4.25*16:00:00	01ch

05.4.25*2:34:56 → 05.4.25*12:34:56 TOTAL 100
 TIME&DATE • SEARCH • REC EVENT • SEARCH • VMD • SEARCH • MARK

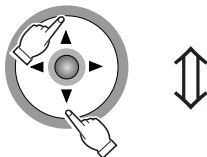


日時	CAM
05.4.25*23:00:00	01ch
05.4.25*22:00:00	01ch
05.4.25*21:00:00	01ch
05.4.25*20:00:00	01ch
05.4.25*19:00:00	01ch
05.4.25*18:00:00	01ch
05.4.25*17:00:00	01ch
05.4.25*16:00:00	01ch

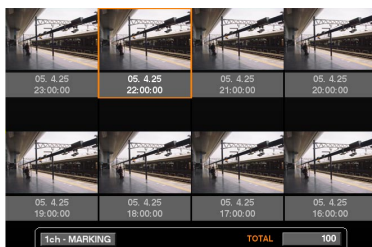
05.4.25*2:34:56 → 05.4.25*12:34:56 TOTAL 100
 TIME&DATE • SEARCH • REC EVENT • SEARCH • VMD • SEARCH • MARK

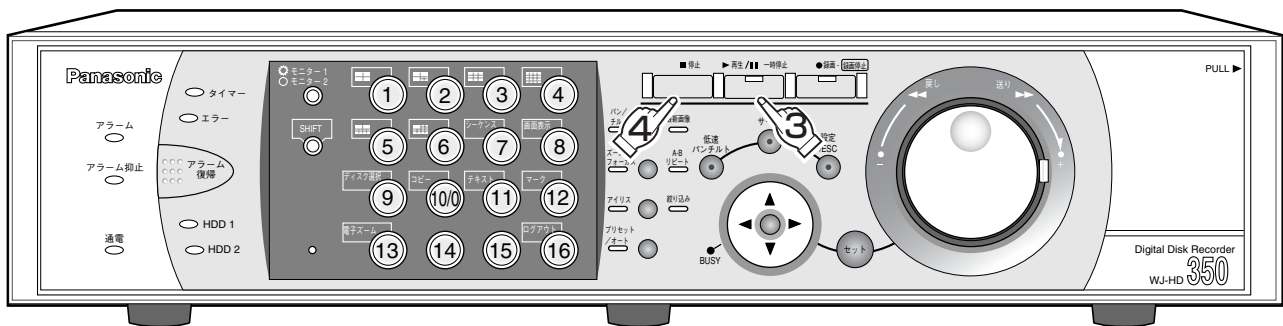
再生したいマーキング日時を選ぶ

- ジョグダイヤル（内側）／シャトルリング（外側）を回してマーキング日時を選択します。



サムネール表示



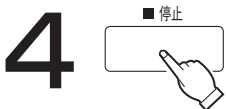


再生を始める

- [再生/一時停止] ボタンを押すと、ボタンのランプが点灯し、選択した録画日時の映像を再生します。合わせて、絞り込みランプも点灯します。



- 絞り込みランプが点灯しているときにジョグダイヤル（内側）を回すと、リストアップされた日時（マーキング日時）にスキップできます。絞り込みボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- マーキングが付いている録画映像は上書き録画や消去機能によって消去されている場合があります。



再生を終わるときは

- [停止] ボタンを押すと、[再生/一時停止] ボタンのランプが消灯し、再生を停止します。モニター2、モニター（VGA）にライブ映像が表示されます。

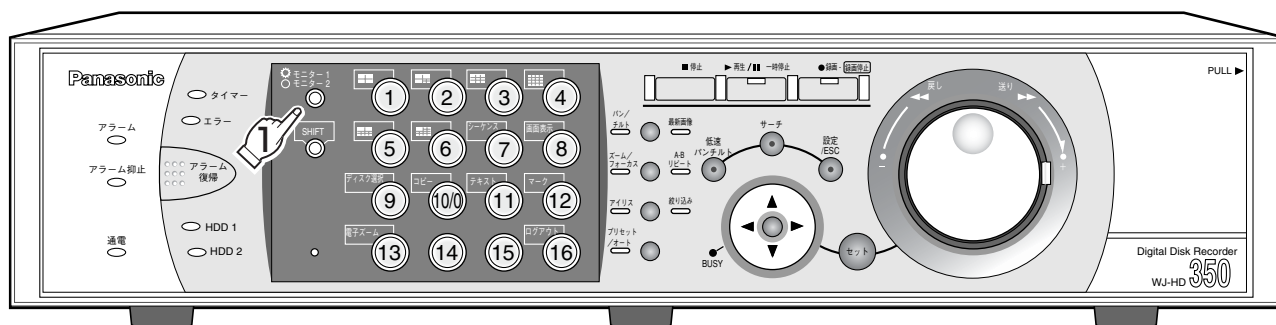
カメラのライブ映像を見る

カメラの映像をライブでモニターに表示し確認します。

カメラのライブ映像はモニターに1画面または多画面で表示できます。

また、カメラの映像を自動的に切り換えて表示することもできます（シーケンス表示）。

カメラの映像を1画面で表示する



見る
(ライブ映像)



1 表示するモニターを選ぶ

- モニター1 / ● モニター2
- モニター切換ボタン（モニター1 / モニター2）を押してモニターを選択します。モニター1選択時はボタンが点灯し、モニター2、モニター（VGA）選択時には消灯します。



表示するカメラを選ぶ

- カメラ選択ボタン（1～16、WJ-HD309は1～9）を押すと緑または青点灯し、選択したカメラのライブ映像を表示します。
（例：カメラ1を選ぶ場合）
- 手順1でモニター2を選択しているときは、モニター（VGA）にも選択したカメラのライブ映像が表示されます。

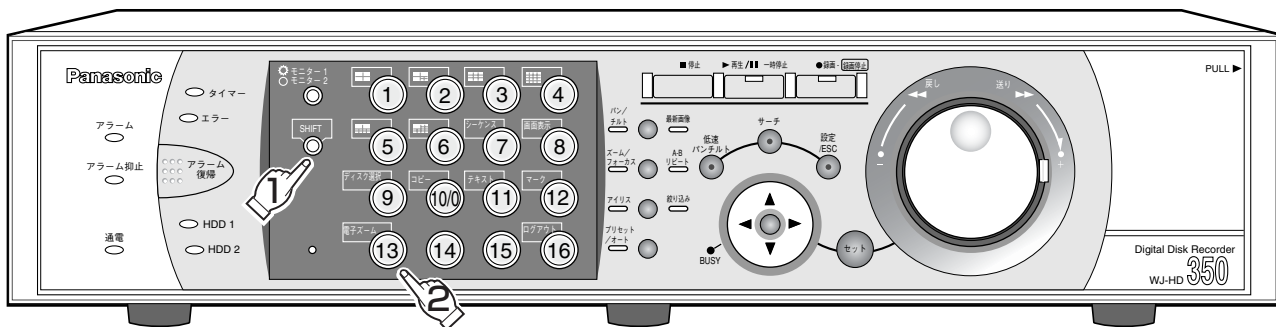


- SETUP MENU「録画」の「録画基本設定」にある「音声割付」で、音声割付けられているカメラCHを1画面で表示しているときは、その音声が出力されます。
- ライブ映像を表示しているときに【最新画像】ボタンを2秒以上押すと、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

●電子ズームについて

1画面で表示をしている時、映像をズーム表示することができます。

モニター切換ボタン(モニター1/モニター2)で選択されているモニターが、電子ズーム対象モニターとなります。



1



(1画面表示中) シフト機能を使用する状態にする

- シフトボタンが点灯することを確認してください。

2



映像をズーム表示する

- [電子ズーム] ボタンを押すと2倍ズーム表示されます。
[電子ズーム] ボタンを押すたびに、ズーム倍率が以下のように変わります。
(WJ-HD350の場合) 2倍→4倍→OFF



(WJ-HD309の場合)

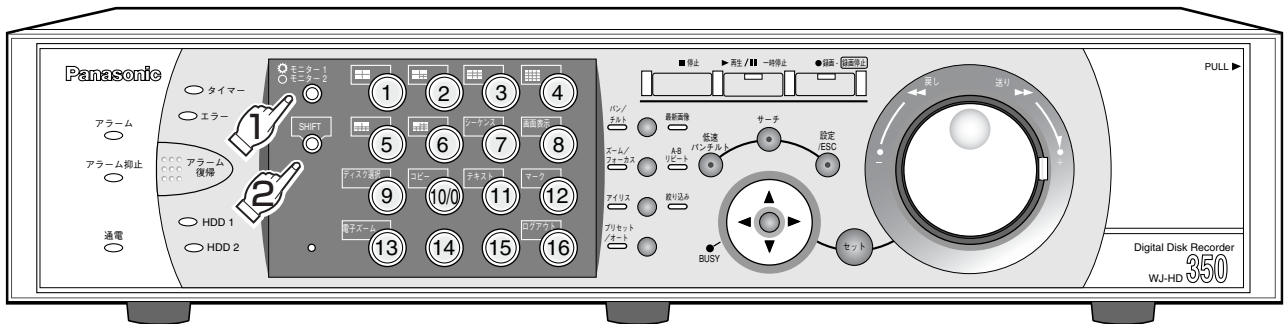


- 電子ズームON時(2倍, 4倍表示時)は、十字ボタン(▼▲◀▶)を押すと、カメラ映像の表示領域を移動できます。
- パン/チルトランプ、ズーム/フォーカスランプ、アイリスランプ、プリセット/オートランプのいずれかが点灯しているときは、電子ズーム表示を行うことはできません。

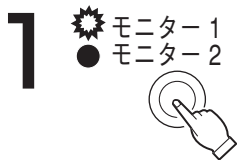
カメラのライブ映像を見る（つづき）

カメラの映像を多画面で表示する

カメラの映像を多画面（4/7/9/10/13/16画面）に分割して表示します。



見る
（ライブ映像）



● モニター 1
● モニター 2

表示するモニターを選ぶ

- モニター切換ボタン（モニター1/モニター2）を押してモニターを選択します。モニター1選択時はボタンが点灯し、モニター2選択時には消灯します。



シフト機能を使用する状態にする

- シフトボタンが点灯することを確認してください。

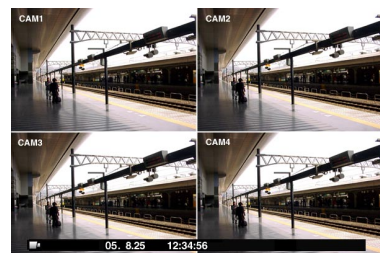


- カメラの映像を多画面で表示しているときは、音声は出力されません。
- ライブ映像を表示しているときに「最新画像」ボタンを2秒以上押し、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。



画面分割数を選ぶ

- [1] ボタン：4分割、[2] ボタン：7分割、[3] ボタン：9分割、[4] ボタン：16分割、[5] ボタン：10分割、[6] ボタン：13分割（WJ-HD309は9分割まで）
- 多画面で表示しているカメラ選択ボタンが緑または青点灯し、選択したカメラのライブ映像を多画面で表示します。（例：4画面表示の場合）

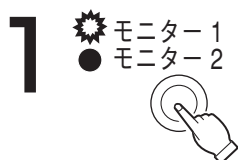
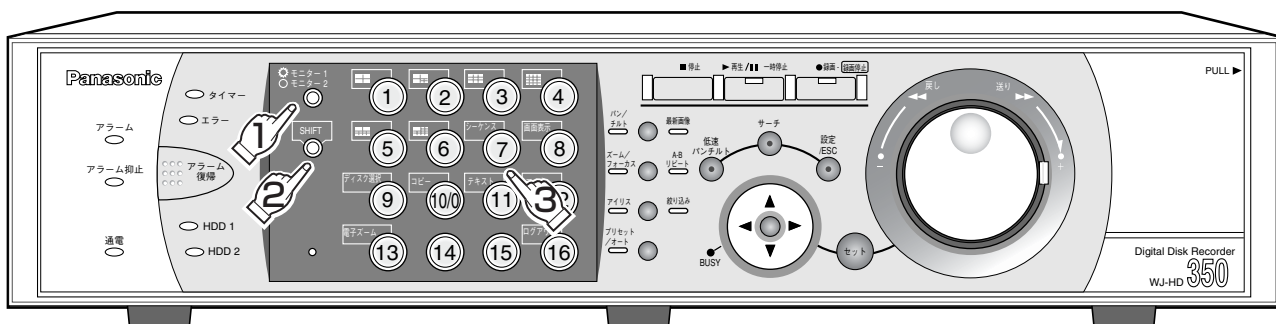


- 手順1でモニター2を選択しているときは、モニター（VGA）も選択した画面分割数でライブ映像を表示します。
- 4画面表示の場合、[1] ボタンを押すたびにカメラの映像が1～4CH→5～8CH→9～12CH→13～16CHと切り換えて表示します。（WJ-HD309は1～4CH→5～8CH→9CH）
- 9画面表示の場合、[3] ボタンを押すたびにカメラの映像が1～9CH→10～16CHと切り換えて表示します。（WJ-HD350のみ）
- 1画面表示に戻すときは、シフトボタンを消灯させ、カメラ選択ボタンのいずれかを押しします。

カメラの映像をシーケンス表示する

カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。

あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。



表示するモニターを選ぶ

- モニター切換ボタン(モニター1/モニター2)を押してモニターを選択します。モニター1選択時はボタンが点灯し、モニター2選択時には消灯します。



シフト機能を使用する状態にする

- シフトボタンを押してシフトボタンが点灯することを確認してください。



シーケンス動作を開始する

(WJ-HD350の場合)



(WJ-HD309の場合)

- 再度シフトボタンを押してシフト状態を解除すると、モニターに表示されたカメラCHのカメラ選択ボタン(1~16、WJ-HD309は1~9)が緑または青色に点灯します。
- シーケンス動作中に[シーケンス]ボタンを押すと、シーケンス動作が停止します。また、シーケンス動作中に1画面表示(☞62ページ)、多画面表示(☞64ページ)の操作を行うと、シーケンス動作を停止します。
- 手順1でモニター2を選択した場合、モニター(VGA)もシーケンス動作を開始します。



- 映像入力のないシーケンスステップをスキップさせることもできます(オートスキップ機能)。詳しくは、システム管理者にお問い合わせください。
- カメラパーティショニング機能により、表示できないカメラCHはシーケンス時にスキップされます。
- モニター2選択時、ライブ映像表示中に[最新画像]ボタンを2秒以上押すと、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像(初期設定では最新の30秒前)から再生を開始します。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ映像を表示しているとき、以下のカメラ操作を行うことができます。

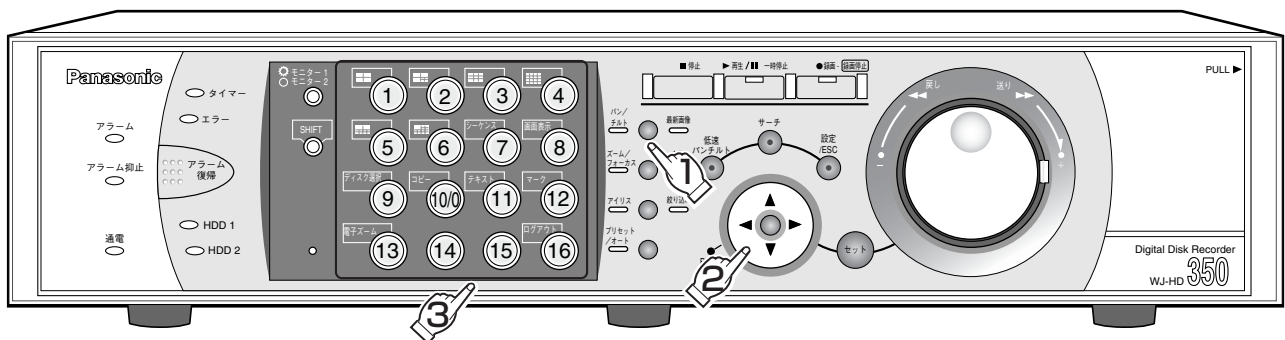
- パン／チルト：カメラ映像の水平／垂直位置を調節します。
- ズーム：カメラ映像を拡大／縮小します。
- フォーカス：カメラ映像の焦点を調節します。
- アイリス：レンズの絞りを調節します。
- プリセット動作：あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。
- オート動作：カメラで設定したオート動作を動作させます。



- カメラ操作はモニター切換ボタンで選択したモニターで1画面表示しているときのみ行えます。
- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。
- 優先度が高い他のユーザーが操作している場合には、操作できない場合があります。優先度について詳しくは97ページをお読みください。
- 本機からカメラの設定メニューを表示して設定を行いたい場合は、197ページをお読みください。

パン／チルト操作

カメラ映像の水平／垂直位置を調節します。



1

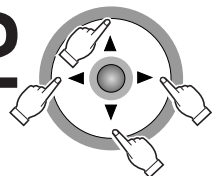
パン／チルト



パン／チルト操作をできる状態にする

- [パンチルト] ボタンを押して、操作できる状態にします。パン／チルトランプが点灯することを確認してください。

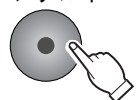
2



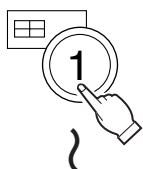
カメラの向きを調節する

- 十字ボタン(▼▲◀▶)を押した方向にカメラの向きが移動します。
- [低速パンチルト] ボタンを押しながらカメラの向きを調節すると、カメラの回転速度が遅くなります。

低速
パンチルト



3



パン／チルト操作を終了する

- カメラCHの選択ボタン1～16 (WJ-HD309では1～9) を押して、パン／チルト操作を終了します。

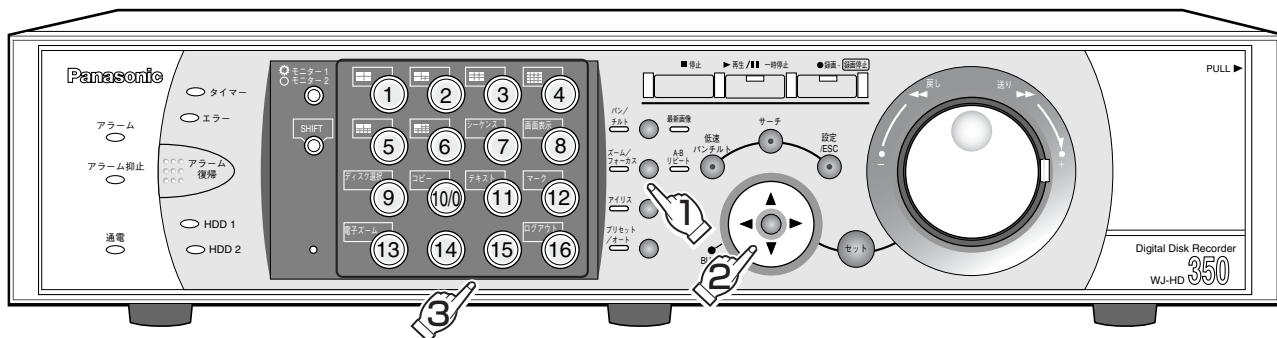


または



ズーム操作

カメラ映像を拡大・縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。



1

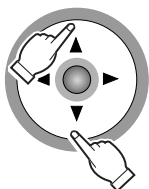
ズーム/
フォーカス



ズーム操作をできる状態にする

- [ズーム/フォーカス] ボタンを押して、操作できる状態にします。ズーム/フォーカスランプが点灯することを確認してください。

2



ズームを調節する

- 十字ボタンの▼を押すと、カメラ映像が縮小表示します。▲を押すと、カメラ映像が拡大表示します。

3



ズーム操作を終了する

- カメラCHの選択ボタン1～16 (WJ-HD309では1～9) を押して、ズーム操作を終了します。



(WJ-HD350の場合)

または

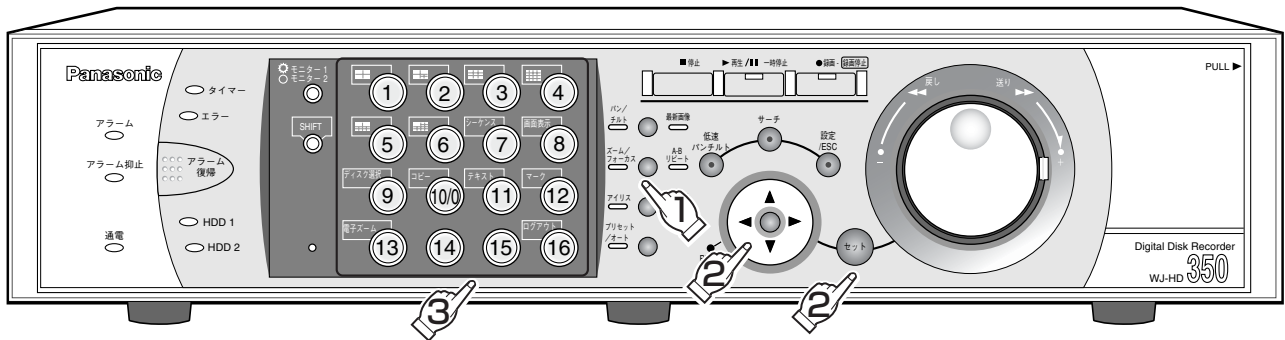


(WJ-HD309の場合)

カメラを操作する（つづき）

フォーカス操作

カメラ映像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。



カメラ操作

1

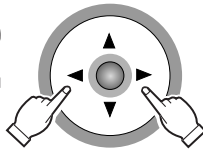
ズーム/
フォーカス



フォーカス操作をできる状態にする

- [ズーム/フォーカス] ボタンを押して、操作できる状態にします。ズーム/フォーカスランプが点灯することを確認してください。

2



フォーカスを調節する

- 十字ボタンの◀を押すと、焦点が近くなります。▶を押すと、焦点が遠くなります。
- [セット] ボタンを押して、自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。



3



フォーカス操作を終了する

- カメラCHの選択ボタン1～16（WJ-HD309では1～9）を押して、フォーカス操作を終了します。



(WJ-HD350の場合)

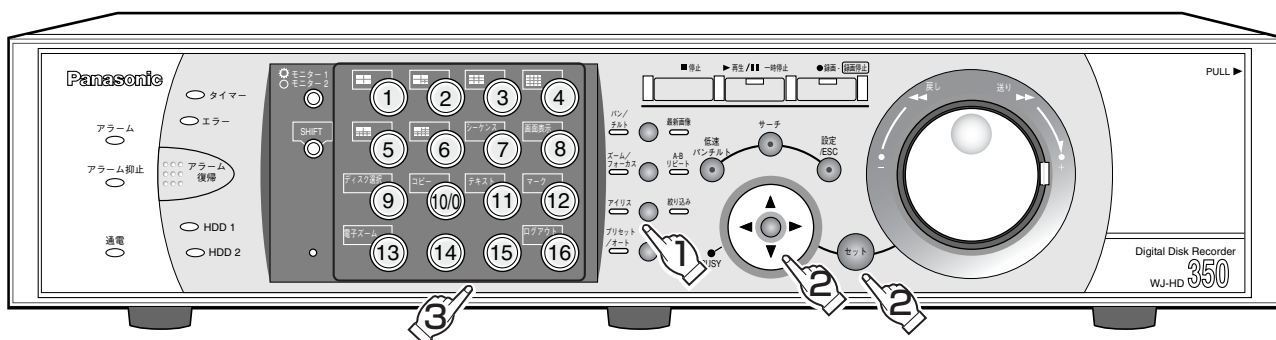
または



(WJ-HD309の場合)

アイリス操作

レンズの絞りを調節します。



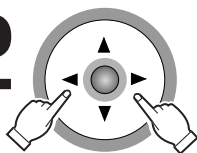
1 アイリス



アイリス操作をできる状態にする

- [アイリス] ボタンを押して、操作できる状態にします。アイリスランプが点灯することを確認してください。

2



絞りを調節する

- 十字ボタンの◀を押すと、絞りが閉じます。▶を押すと、絞りが開きます。
- アイリスの設定をリセットしたいときは [セット] ボタンを押します。



3



アイリス操作を終了する

- カメラCHの選択ボタン1～16 (WJ-HD309では1～9) を押して、アイリス操作を終了します。



(WJ-HD350の場合)

または



(WJ-HD309の場合)

カメラを操作する（つづき）

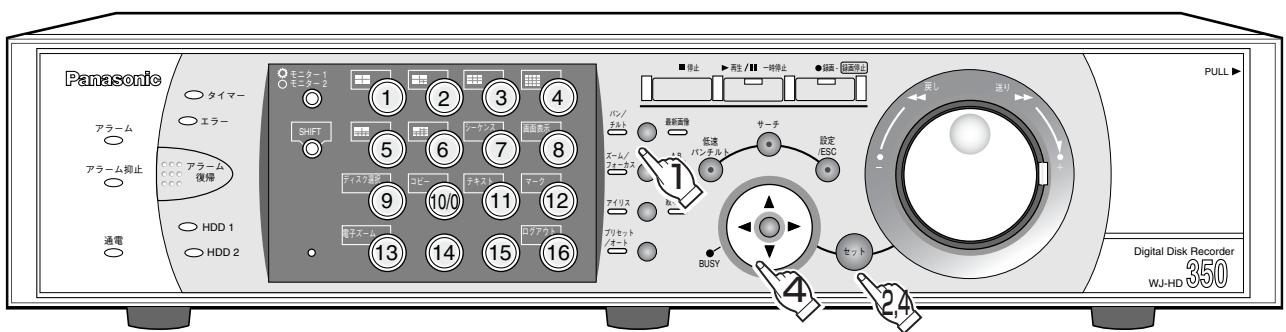
プリセット動作

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

- 重要**
- WV-CS650、WV-CS600Aのプリセット登録は、カメラの設定メニューから設定してください。
 - モニター1を選択しているときは、以下の手順でプリセットポジションの登録、プリセットポジションの移動は行えません。カメラの設定メニューから操作してください。

カメラのプリセットポジションを登録する

カメラのプリセットポジションを登録します。プリセットポジションは最大256か所まで登録できます。登録できるプリセットポジションの件数はカメラによって異なります。

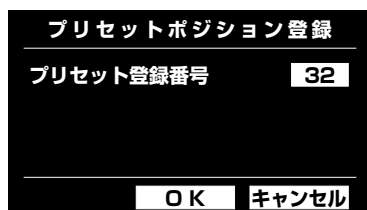


カメラ操作



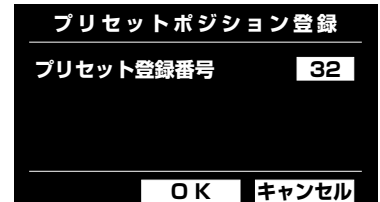
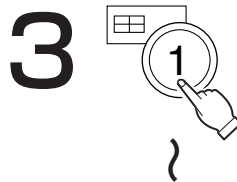
カメラの向きをプリセット登録したい位置に調節する

- カメラを操作して、プリセット登録したい位置にカメラの向きを調節します。



プリセットポジション登録画面を表示する

- パン/チルトランプが点灯しているときに [セット] ボタンを押して、プリセットポジション登録画面を表示します。



または

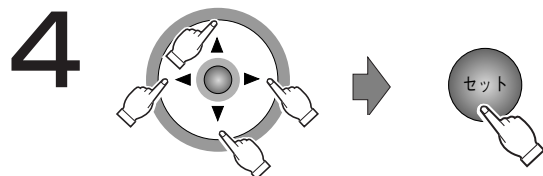


(WJ-HD350の場合)

(WJ-HD309の場合)

プリセット番号を選ぶ

- カメラ選択ボタン（1～10/0、WJ-HD309では1～0）を押して、登録したいプリセット番号（1～256）を選びます。
- ジョグダイヤル（内側）を回しても、プリセット番号を選ぶことができます。

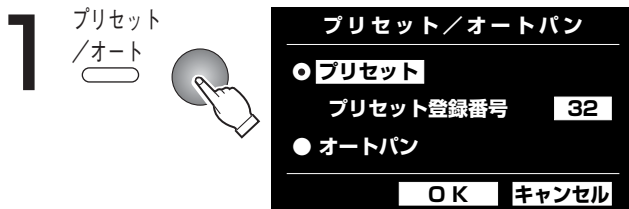
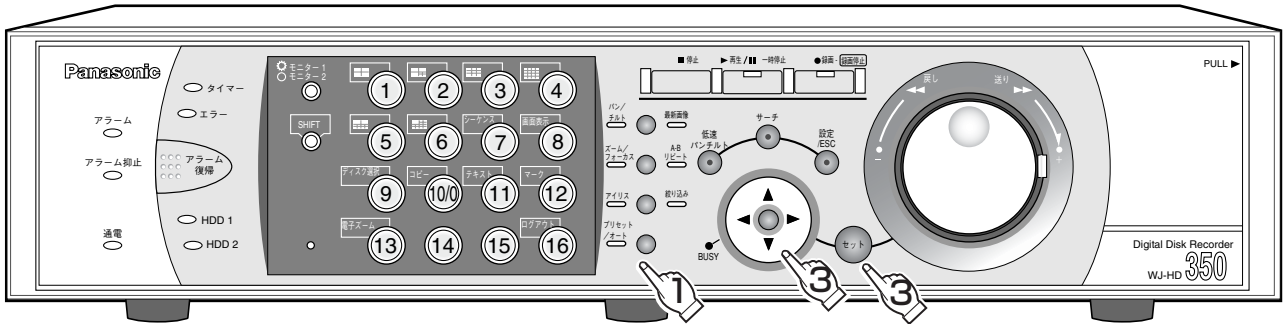


プリセット登録する

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。現在表示されているカメラの位置が設定したプリセット番号に登録されます。
- 「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、プリセットポジション登録画面が閉じます。

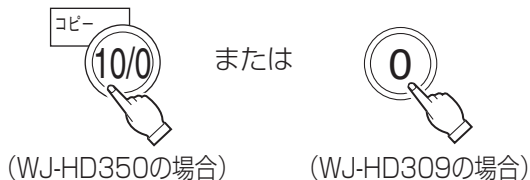
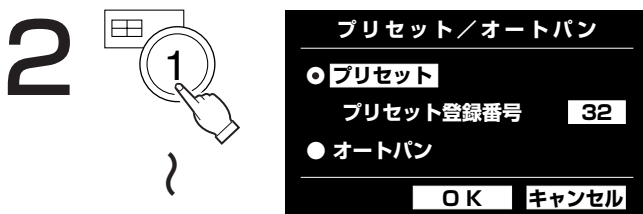
カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。



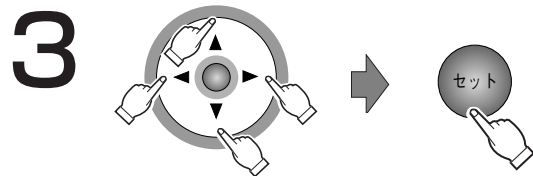
プリセット/オートパン画面を表示する

- [プリセット/オート] ボタンを押して、プリセット/オートパン画面を表示します。プリセット/オートランプが点灯することを確認してください。



プリセット番号を選ぶ

- カメラ選択ボタン (1~10/0、WJ-HD309では1~0) を押して、移動させたいプリセットポジションのプリセット番号 (1~256) を選びます。プリセット番号「0」を選ぶと、ホームポジションへ移動します。
- ジョグダイヤル (内側) を回しても、プリセット番号を選ぶことができます。



プリセット動作を開始する

- 十字ボタン (▼▲▶▶) を押して、「OK」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押します。プリセット/オートパン画面が閉じ、選んだプリセットポジションへカメラの向きが移動します。
- プリセット登録番号にカーソルがあるときに [セット] ボタンを押しても、プリセット/オートパン画面が閉じ、選んだプリセットポジションへカメラの向きが移動します。
- 「キャンセル」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、プリセット/オートパン画面が閉じます。

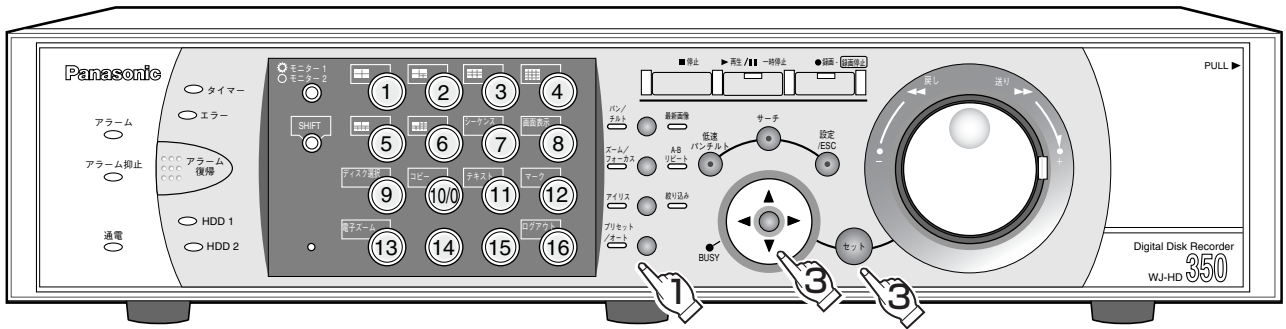
カメラを操作する（つづき）

オート機能（オートパンなど）

カメラで設定したオート機能を動作させます。



- モニター1を選択しているときは、以下の手順でオート機能は動作できません。カメラの設定メニューから操作してください。



カメラ操作

1 プリセット/オート

プリセット/オートパン

- **プリセット**
- プリセット登録番号 **32**
- オートパン

OK **キャンセル**

プリセット/オートパン画面を表示する

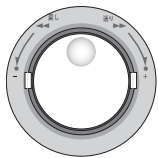
- [プリセット/オート] ボタンを押して、プリセット/オートパン画面を表示します。プリセット/オートランプが点灯することを確認してください。

2

プリセット/オートパン

- **プリセット**
- プリセット登録番号 **32**
- **オートパン**

OK **キャンセル**



オートパンを選ぶ

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、「オートパン」にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回して「オートパン」を選びます。

3

オート機能を開始する

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。プリセット/オートパン画面が閉じ、オート機能を開始します。
- オート機能の動作中はプリセット登録はできません。
- 「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、プリセット/オートパン画面が閉じます。



- カメラのオート機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム : ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力されること
- 動き自動検出 : 動き自動検出機能（以下参照）によりモニター内に動きが検出されること
- ビデオロス : カメラケーブルの断線、カメラの故障などにより、映像の入力がなくなること
- コマンドアラーム受信 : 本機後面のDATAポート、シリアル端子に接続されたPCなどからコマンドアラームが送られてくること



● 動き自動検出機能について

指定した範囲内の画面の動き（輝度変化）をとらえ、信号を出力します。本機ではその動きを検出したときに、その場所の映像を保存したり、メールを送信するよう設定することができます。

動き自動検出機能を動作するために必要な設定についてはシステムの管理者にご確認ください。

イベント発生時の動作

イベントが発生し本機がイベントを認識すると、設定に従ってイベント動作を行います。

本機では、イベント発生時の動作をアラームモード（ALM）、アクティビティディテクションモード（ADM）の2種類から選択します（☞136ページ）。詳しくはシステムの管理者へご確認ください。設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。

アラームモードに設定されている場合、本機はアラーム動作を行います。

● 動作モードについて

● アラームモード（ALM）

イベント発生時に外部へ通知を行うモードです。アラームモード時に行われる動作を総称して「アラーム動作」と呼びます。

● アクティビティディテクションモード（ADM）

イベント発生時に外部機器へ通知を行わず、録画のみを行うモードです。

● OFF

イベント入力ログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

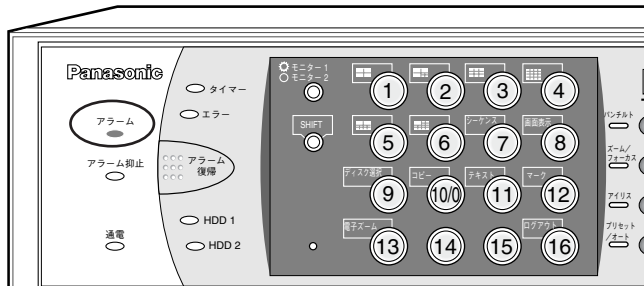
イベント動作	アラームモード	アクティビティディテクションモード	OFF
録画を開始する	○	○	×
画面にイベント情報を表示する	○	×	×
アラームランプを点滅する	○	×	×
ブザーを鳴らす	○	×	×
※アラーム発生場所の映像に切り換える	○	×	×
※カメラの向きをプリセットポジションに移動する	○	○	×
※イベント発生をメールで通知する	○	×	×
※イベント発生をPS・Data／シリアル（RS232C）コマンドで通知する	○	×	×
本機後面のアラーム端子、アラーム／コントロール端子から信号を出力する（アラーム出力）	○	×	×
イベント入力ログへ記録する	○	○	○
※FTPサーバーへ映像を送信する	○	×	×

※ネットワークを経由してPCからのみ設定可。詳しくはネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

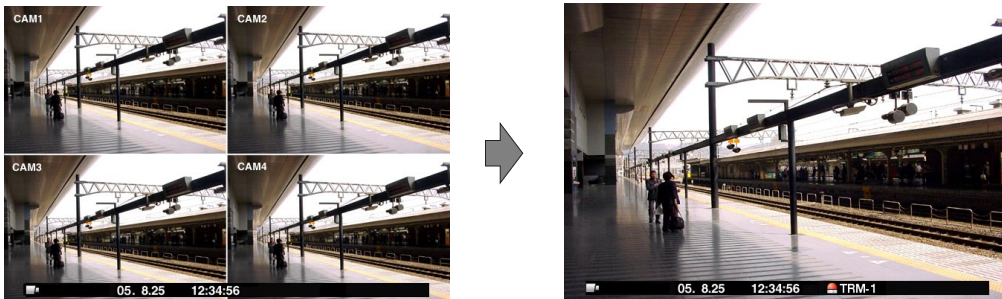
イベント機能について（つづき）

●アラーム動作について

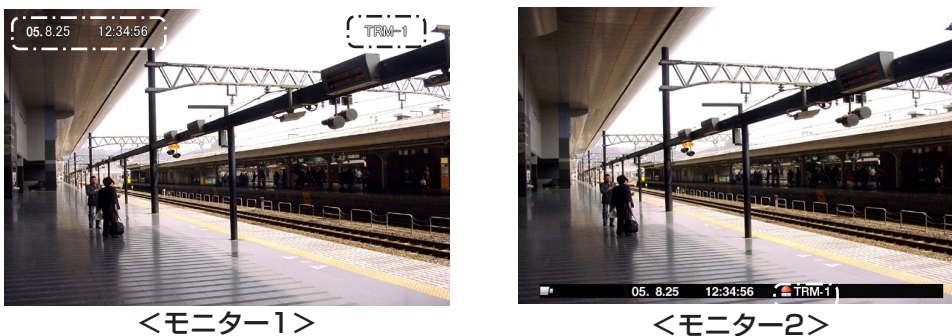
- 本機前面のアラームランプが点滅する



- モニター1、モニター2の映像をイベント発生場所のカメラ映像（1画面表示）に切り換える



- モニター1の映像とアラーム表示部、モニター2のカメラタイトル表示部にイベント情報を表示する



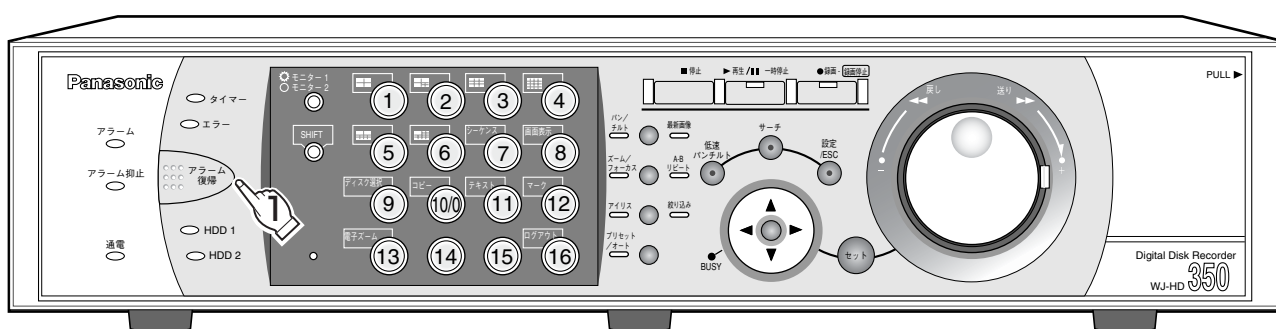
- ブザーを鳴らす
イベントが発生するとブザーを鳴らします。ブザーの鳴動時間についてはシステムの管理者にご確認ください。
- 接続しているシステム機器へイベントが発生したことを通知する（アラーム出力）
後面のアラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。
- 自動的に録画を開始する
アラーム発生場所の映像を自動的に録画します。
- カメラの向きをプリセットポジションに移動する
イベントが発生すると、あらかじめ登録しているプリセットポジションへカメラの向きを移動します。
- イベント発生をメールで通知する
イベントが発生すると、登録したメールアドレスにメールを送信して通知します。設定方法など詳しくは、付属CD-ROM内の取扱説明書 ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。アラーム動作を解除するには「アラーム復帰」ボタンを押します。

SETUP MENU「イベント」の「アラーム設定」にある「アラーム表示リセット」(P.166ページ)が設定されているときは、「アラーム復帰」ボタンを押してアラーム動作を解除しない場合でも、以下の動作は自動的に行われます。

- ・本機前面のアラームランプが点滅から点灯に変化する
- ・モニターのイベント情報が消える
- ・ブザー鳴動が終了する



1



アラーム動作を解除する

- ・「アラーム復帰」ボタンを押して、アラーム動作を解除します。アラームランプが消灯します。



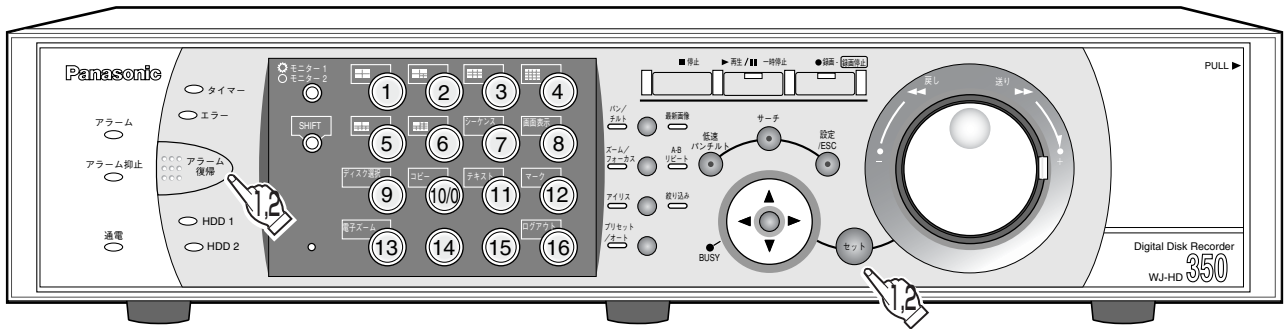
- ・アラーム動作を解除すると、イベント録画が停止しアラーム動作前の状態に戻ります。

イベント機能について (つづき)

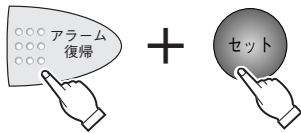
アラーム動作を抑止する

イベントが発生してもアラーム動作を行わないように設定します。設定作業中など、一定期間アラーム動作を行わないようにしたいときに設定します。

ただし、アラーム動作を抑止しても、録画とイベント入力ログへの記録は行われます。



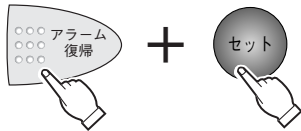
1



アラーム動作を抑止する

- [アラーム復帰] ボタンと [セット] ボタンを同時に押して、アラーム動作を抑止します。アラーム抑止ランプが点灯します。

2



アラーム動作の抑止状態を解除する

- 再度、[アラーム復帰] ボタンと [セット] ボタンを同時に押して、アラーム動作の抑止状態を解除します。アラーム抑止ランプが消灯します。



- 本機後面のアラーム／コントロール端子に外部スイッチを接続して、アラーム動作を行わないように設定することもできます。
外部スイッチをONにすると、アラーム動作の抑止状態になります。アラーム動作の抑止を解除する場合は、外部スイッチをOFF にします。

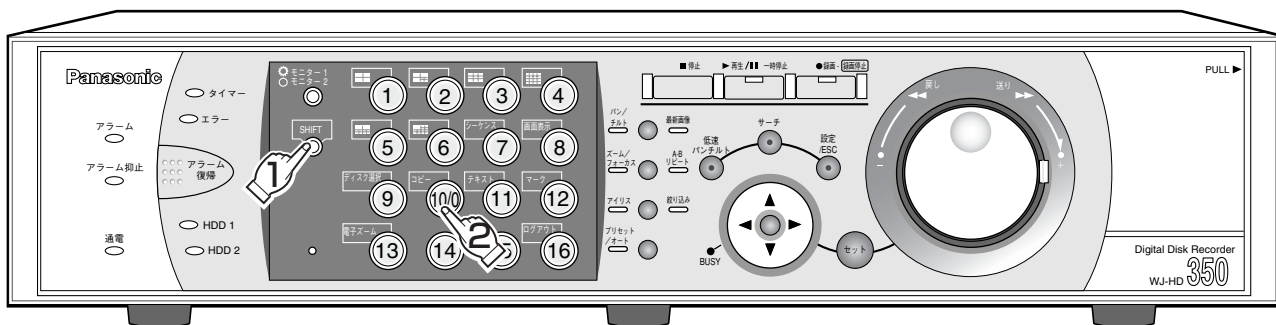
コピーする

ディスク選択 (☞40ページ) で選択したディスクに録画された映像をHDDのコピー領域または本機に接続されている外部記憶装置 (DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、CD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカード) に手動でコピーします。大切なデータはHDDの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。手動でのコピー操作は以下の状態のときに行えます。

- ライブ映像の表示中
- 録画映像の再生一時停止中
- 録画イベントリスト画面・VMD検索リスト画面・マーキングリスト画面 (☞60ページ) を表示中 (サムネール表示中は不可)



- 録画映像をDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードへ自動的にコピーするように設定することもできます (自動コピー機能)。ただし、自動コピー機能が設定されていると、手動でコピーすることはできません。自動コピー機能について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- 録画映像の再生中にコピー操作を行うときは、再生を一時停止してください。
- DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードに映像をコピーする場合、あらかじめ各媒体を初期化 (フォーマット) しておく必要があります。フォーマットのしかたについては84ページをお読みください。
- コピーにかかる時間は録画データの大きさにより変動します。同じカメラ数/期間を指定した時でも、高解像度/高画質にするほど、コピーにかかる時間は長くなります。
- 日時設定や時刻補正などにより、同時刻の映像が記録された場合、コピーが正常に行われず場合があります。
- 以下の場合、動作中の手動コピーが中止されます。
 - ・ コピー中に設定が変更されたとき
 - ・ PCのウェブブラウザから手動コピーをはじめたユーザーがログアウトしたとき (ウェブブラウザを閉じたとき)
 - ・ コピー元のデータが消失 (データの上書きやHDD故障など) したとき



1



シフト機能を使用する状態にする

- シフトボタンが点灯することを確認してください。
- 録画映像の再生中にコピー操作を行うときは、再生を一時停止してからこの操作を行ってください。

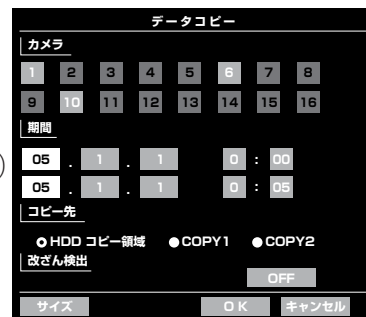
2



(WJ-HD350の場合)
または



(WJ-HD309の場合)



データコピー画面を表示する

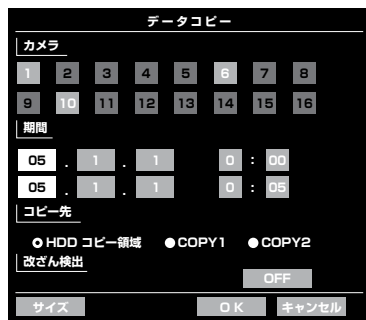
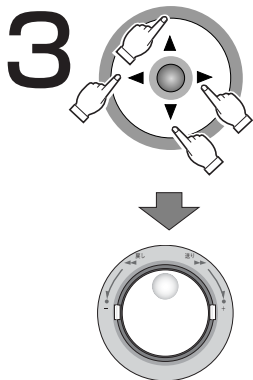
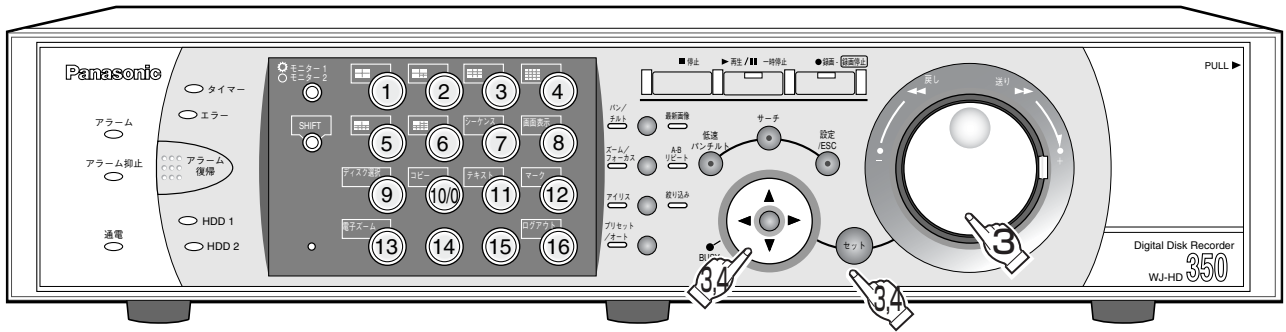
- モニター2、モニター (VGA) にデータコピー画面が表示されます。
- サムネール表示中はデータコピー画面を表示できません。リスト表示に切り換えて、この操作を行ってください。(☞46ページ)



- 自動コピーを行う設定になっているときは、データコピー画面は表示されません。
- 手動コピーを始めたユーザーが手動コピー中に [コピー] ボタンを押すと、コピー中止画面が表示されます。

便利な機能

コピーする (つづき)



または

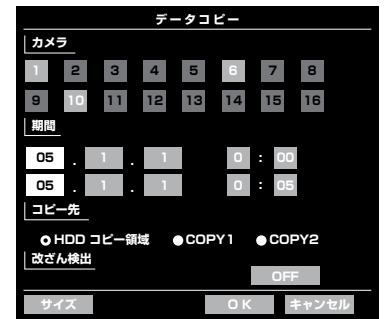
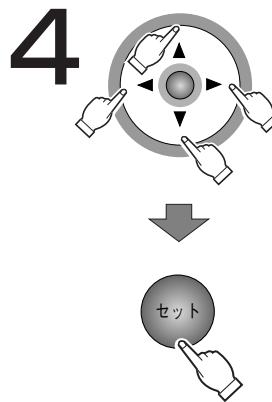


コピー設定を行う

- カメラCH、コピーの開始日時と終了日時、コピー先を設定します。十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを設定したい項目に移動し、ジョグダイヤル (内側) を回して、設定内容を変更します。カメラCHは [セット] ボタンを押しても設定内容を変更できます。
- コピー先が「COPY1」「COPY2」のとき「改ざん検出」にチェックを入れると、ビューワーソフトで改ざん検出を行えます。
- コピー条件について
一度にコピーできる時間範囲の制限はありませんが、コピーデータは1ファイルが99分59秒に達するか、サイズが2 Gbyteに達した時点で分割されます (一度のコピーで複数のコピーデータが作成される場合があります)。



- 再生一時停止中にデータコピー画面を表示すると、「期間」の開始日時 (上段) に一時停止した日時がコピーの開始期間として自動的に設定されます。また、コピーデータリスト画面でリスト選択中にデータコピー画面を表示すると、「期間」の開始日時 (上段) に選択したリストの日時がコピーの開始期間として自動的に設定されます。



コピーデータのサイズを確認する

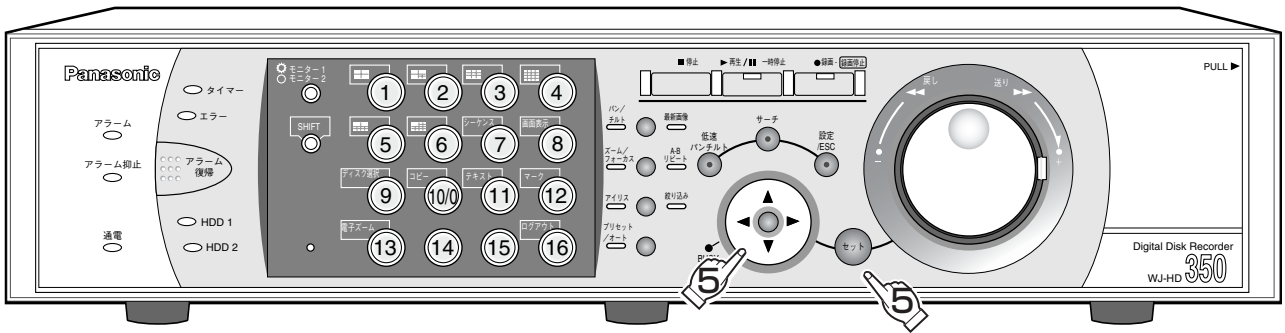
- 十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを「サイズ」に合わせ [セット] ボタンを押すと、コピーデータのサイズの計算が始まります。計算が終了すると、以下の画面が表示されます。

コピー先	HDDコピー領域
サイズ	15.0MB
残容量	90.8GB
終了: [設定/ESC]	



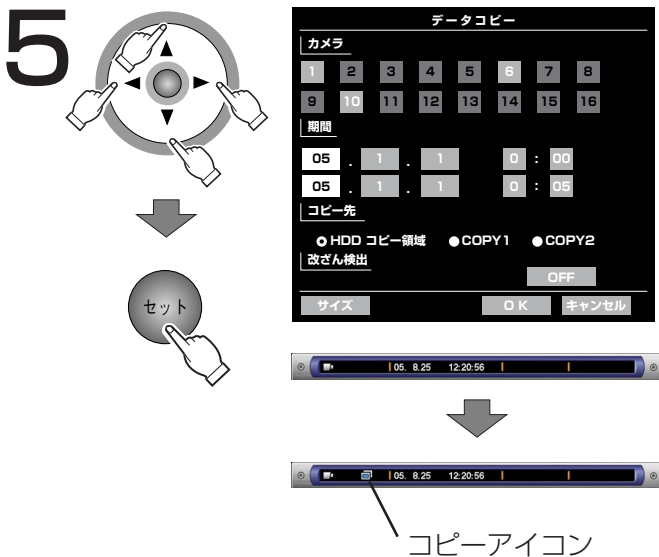
<コピー条件の補足>

- 99分59秒ごとの分割については、指定した日時範囲やアラーム録画などの条件によっても、ファイルが分割されることがあります。



コピー先 : 手順3で設定したコピー先
 サイズ : コピーするデータのサイズ
 残容量 : コピー先の残容量

[設定/ESC] ボタンを押してデータコピー画面に戻ります。



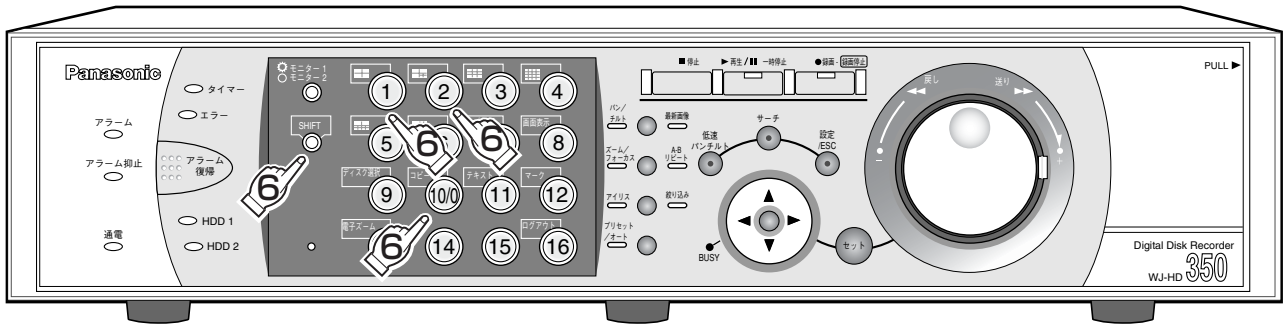
コピーを開始する

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押し、「OK」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押します。コピーが開始され、データコピー画面が終了し、タスクバーにコピーアイコンを表示します。コピーアイコンはコピーが終了するまで表示されます。
- 「キャンセル」にカーソルを合わせ、「セット」ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、データコピー画面が閉じます。
- 以下の場合、「OK」にカーソルを合わせ「セット」ボタンを押してもコピーは開始されません。
 - ・他のユーザーがコピー先ディスクを選択しているとき
 - ・手動コピーが行われているとき
 - ・コピー開始日時が終了日時よりも後に設定されているとき

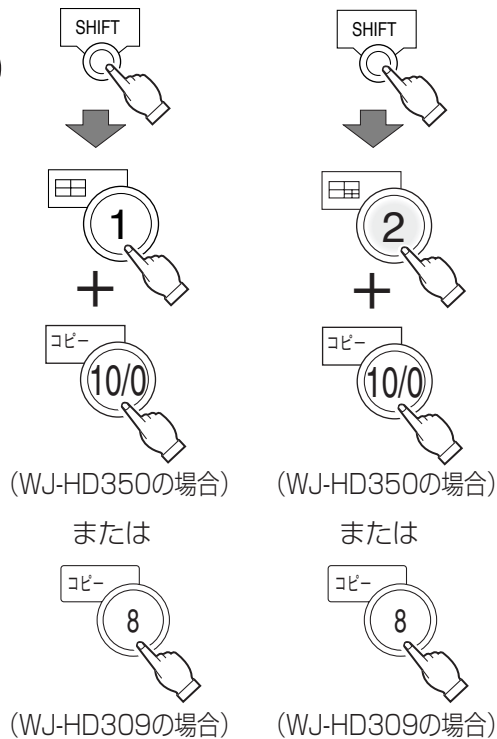


- コピー先の残容量が足りない場合、残容量の分だけをコピーし、コピーを中断します。
- コピー先の残容量が「**KB」と表示された場合、以下の理由が考えられます。
 - ・SETUP MENU「メンテナンス」の「終端設定」が「CONTINUE」に設定されている
→「終端設定」を「STOP」に変更してください。
 - ・コピー先が存在しない。
→COPY1/2の接続を確認してください。
→HDDコピー領域があるか確認してください。
 - ・COPY1/2のディスクが認識できないフォーマットもしくは未フォーマット
→COPY1/2のディスクのフォーマットを行ってください。
- コピーするデータのサイズが「0.0KB」と表示された場合、以下の理由が考えられます。
 - ・カメラCHが選択されていない
→カメラCHを選択してください。
 - ・指定した日時範囲に録画データが存在しない
→録画データが存在するか確認してください。
 - ・コピー開始日時が終了日時よりも後に設定されている。
→データコピー画面で確認してください。
- コピーするデータのサイズが「サイズを取得できませんでした」と表示された場合、以下の理由が考えられます。
 - ・HDDアクセス時にエラーが発生した場合などで、コピーデータの取得に失敗
→再度実行してみてください。再度実行しても上記メッセージが表示される場合は、販売店に相談してください。

コピーする (つづき)



6



- コピー完了操作が行われていないCD-R、DVD-Rを検索・再生することはできません。
- コピー完了操作を行うと、CD-R、DVD-Rは以後、データの書き込みはできなくなります。



重要

- コピーはビューワーソフト→映像→音声の順に行われます。コピーの設定時間によっては、すべての映像と音声のコピーされない場合があります。
- コピーした映像の再生は、ビューワーソフト (Viewer.exe) で行います。ビューワーソフトはコピー操作を行うと、各媒体に自動的にコピーされます。従って、コピー完了操作を行うと、PCですぐにコピーした画像データを再生できます。また、ビューワーソフトは付属のCD-ROMにも納められています。操作方法については取扱説明書ネットワーク操作編をお読みください。

コピー完了操作を行って、コピーした媒体を取り出す



- 媒体を取り出すときは、外部記憶装置のディスク取り出しボタンを押してディスクを取り出す前に、必ず次の操作 (コピー完了操作) を行ってください。
COPY1のディスクを取り出すとき
：シフトボタンが点灯していることを確認し、
[10/0] (WJ-HD309では [8]) ボタンと [1] ボタンを同時に2秒以上押す。
COPY2のディスクを取り出すとき
：シフトボタンが点灯していることを確認し、
[10/0] (WJ-HD309では [8]) ボタンと [2] ボタンを同時に2秒以上押す。
- コピー完了操作を受け付けると、ブザー音が鳴ります。コピー完了処理が終了するまでお待ちください。ブザー音が鳴らないときは、再度コピー完了操作を行ってください。コピー完了処理を終了すると、再度、ブザー音が鳴ります。

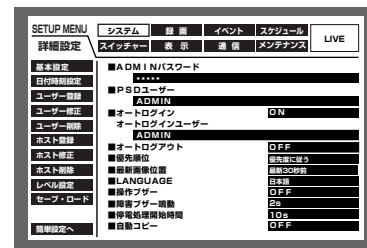
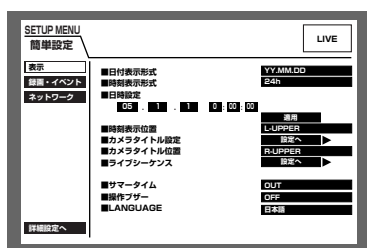
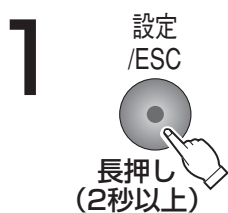
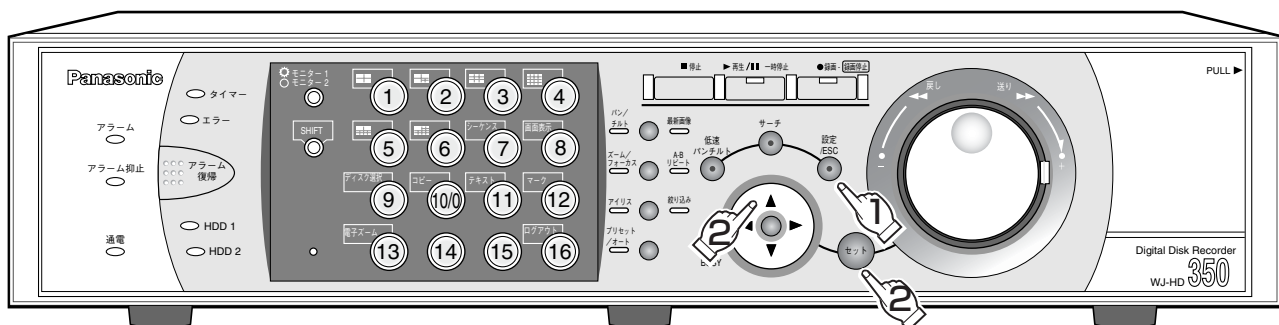
ディスクを管理する

本機および別売りの増設ユニット内蔵のHDDとDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードに関する操作を行います。ここでは、HDD内に記録された映像を手動で消去する方法と、DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードの初期化（フォーマット）のしかたについて説明します。それ以外のHDDに関する操作や詳細については、システムの管理者にご確認ください。

HDDに記録されている映像を手動で消去する

本機および別売りの増設ユニット内蔵のHDDの通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域に録画されている映像を手動で消去します。日付を設定し、設定した日付の前日まで記録された映像を消去します。不要な映像を消去したいときなどに行ってください。

-  **重要** ● 消去した映像は復元することができません。ご注意ください。
- SETUP MENU「メンテナンス」の「終端設定」を「STOP」に設定している場合、消去しても残容量は増えません。
-  ● 日数を設定しその日数が経過すると、自動的にHDD内の映像を消去するように設定できます（HDD自動消去）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。



SETUP MENU（簡単設定）を表示する

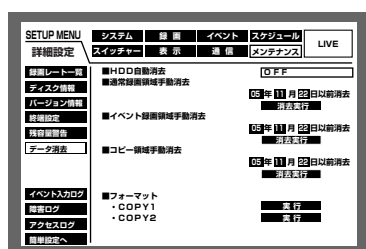
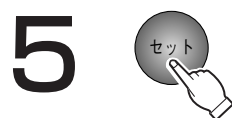
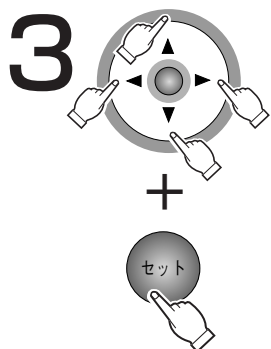
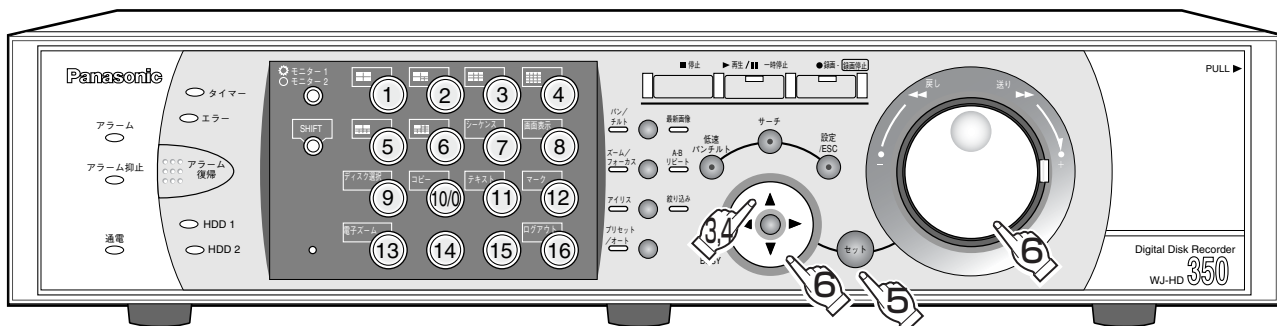
- モニター2、モニター（VGA）にSETUP MENU（簡単設定）が表示されます。
- 簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」(P.134ページ)が「ADVANCED（詳細）」に設定されている場合、詳細設定のトップページが表示されます。手順3へ進みます。

詳細設定を表示する

- 十字ボタンの▼または▲を押して「詳細設定へ」にカーソルを合わせ、[セット]ボタンを押し、詳細画面を表示します。

便利な機能

ディスクを管理する (つづき)

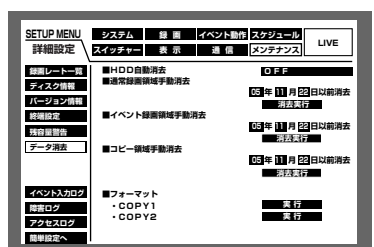
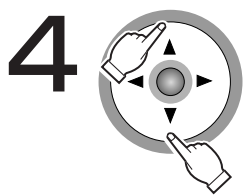


データ消去画面を操作できる状態にする

- データ消去画面内にカーソルが表示されます。

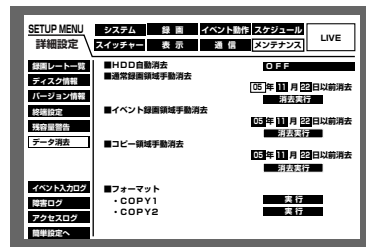
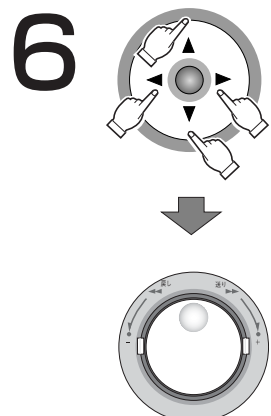
「メンテナンス」を選ぶ

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「メンテナンス」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



「データ消去」を選び、データ消去画面を表示する

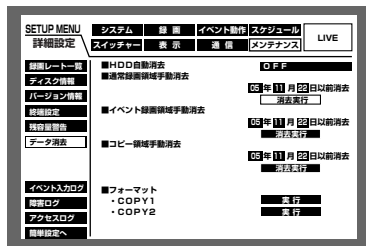
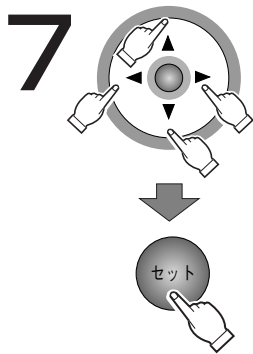
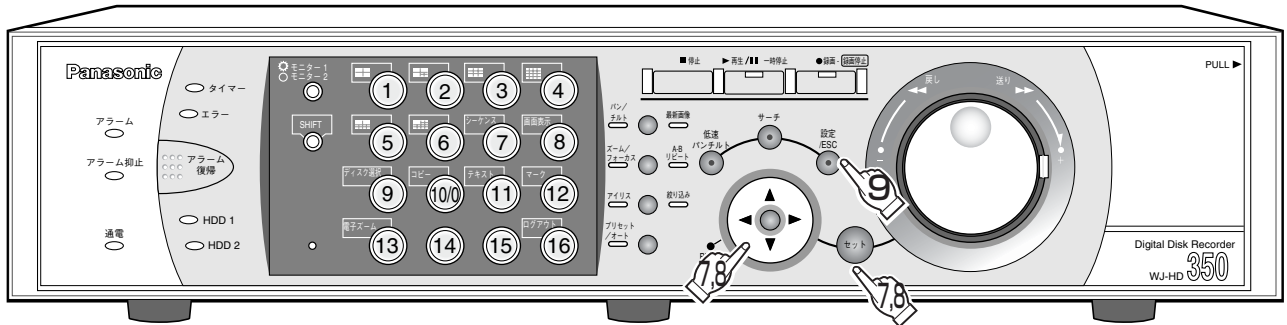
- 十字ボタンの▼または▲を押して「データ消去」にカーソルを合わせます。



日付を設定する

- 十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを「通常録画領域手動消去」「イベント録画領域手動消去」または「コピー領域消去」に合わせ、ジョグダイヤル (内側) を回して、日付を設定します。
- ここで設定した日付の前日までに記録された映像が消去対象になります。

便利な機能

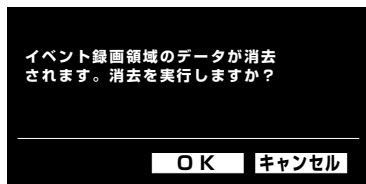
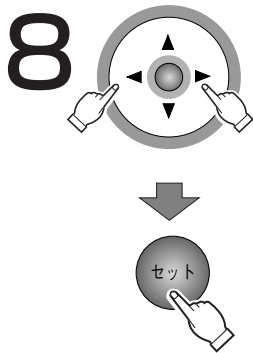


SETUP MENUを閉じる

- カメラのライブ映像の表示に戻ります。

「消去実行」を選び、確認画面を表示する

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「消去実行」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



< イベント録画領域の消去を実行した場合 >

「OK」を選び、消去を実行する

- 十字ボタンの◀または▶を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。消去しない場合は、「キャンセル」を選びます。

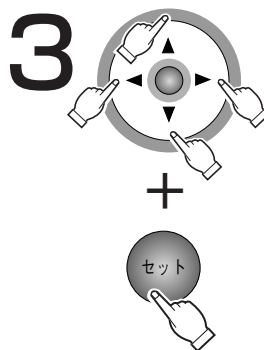
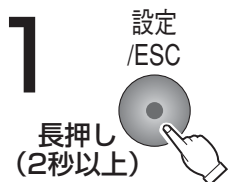
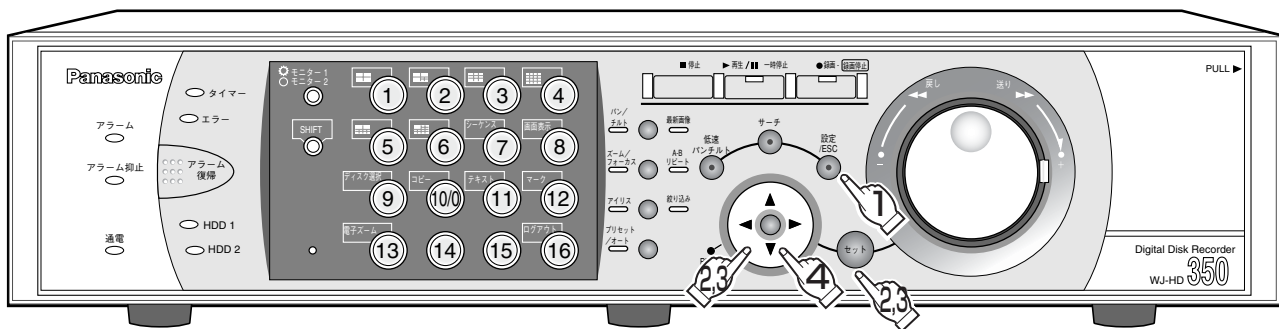
DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを初期化（フォーマット）する

DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを接続し、映像をコピーする場合、あらかじめDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを初期化（フォーマット）しておく必要があります。

また、各媒体に記録されている映像を消去したいときも、この初期化（フォーマット）を行います。



- 初期化（フォーマット）すると、記録されていた映像はすべて消去されてしまいます。消去した映像は復元することができません。
- 自動コピーの設定が「COPY1」「COPY1(ALT)」「COPY2」「COPY2(ALT)」に設定されている場合、フォーマットできません。

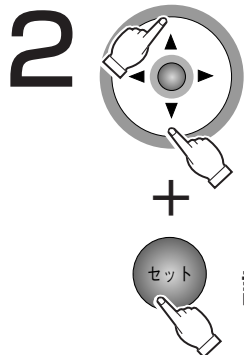


SETUP MENU（簡単設定）を表示する

- モニター2、モニター（VGA）にSETUP MENU（簡単設定）が表示されます。
- 簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」（134ページ）が「ADVANCED（詳細）」に設定されている場合、詳細設定のトップページが表示されます。手順3へ進みます。

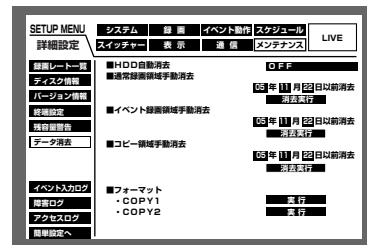
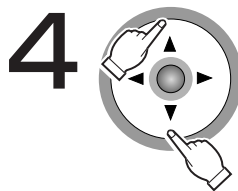
「メンテナンス」を選ぶ

- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して「メンテナンス」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



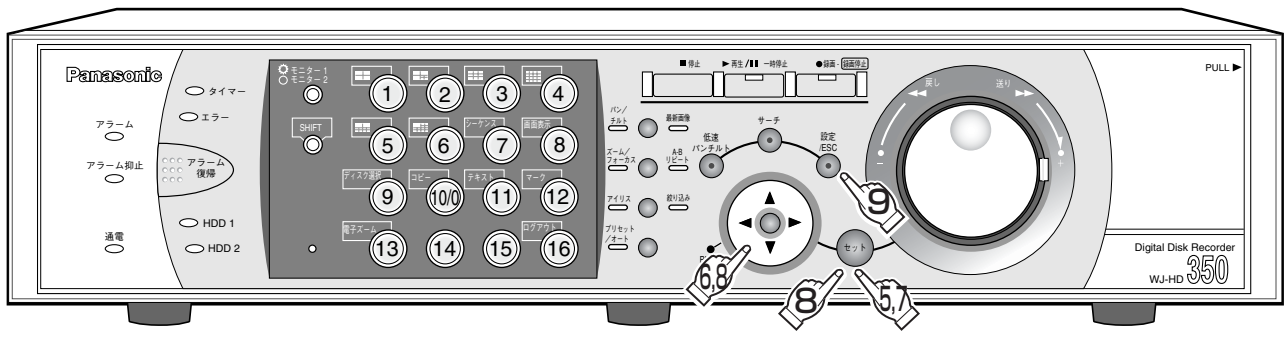
詳細設定を表示する

- 十字ボタンの▼または▲を押して「詳細設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押し、詳細画面を表示します。



「データ消去」を選び、データ消去画面を表示する

- 十字ボタンの▼または▲を押して「データ消去」にカーソルを合わせます。



5

データ消去画面を操作できる状態にする

- データ消去画面内にカーソルが表示されます。

6

「フォーマット」を選ぶ

- 十字ボタン (▼▲) でカーソルを「フォーマット」のCOPY1またはCOPY2 (外部記録装置が接続されている端子) のどちらかを選びます。

7

「実行」を選ぶ

- [セット] ボタンを押して、「実行」を選びます。フォーマットを行うかどうかの確認画面が表示されます。

8

＜COPY1のフォーマットを実行した場合＞

「OK」を選び、フォーマットを開始する

- カーソルを「OK」に合わせ、[セット] ボタンを押してフォーマットを開始します。フォーマットをしない場合は、「キャンセル」を選び、[セット] ボタンを押します。
- フォーマットが開始されると、フォーマット実行中の画面が表示されます。フォーマットが終了すると、実行中の画面は閉じます。

9

設定/ESC
長押し (2秒以上)

SETUP MENUを閉じる

- カメラのライブ映像の表示に戻ります。

重要

- SDメモリーカードをPCから標準フォーマットすると、本機からコピーできません。本機でフォーマットするか、SDメモリーカードフォーマッター*からフォーマットしてください。
- ※SDメモリーカードフォーマッターとはSDメモリーカードをSDメモリーカード規格に準拠するようフォーマットするためのソフトウェアです。一般にPCの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットした場合、SDメモリーカード規格に準拠しません。PCのフォーマットソフトウェアでフォーマットした場合は、SDメモリーカードフォーマッターでフォーマットし直してください。

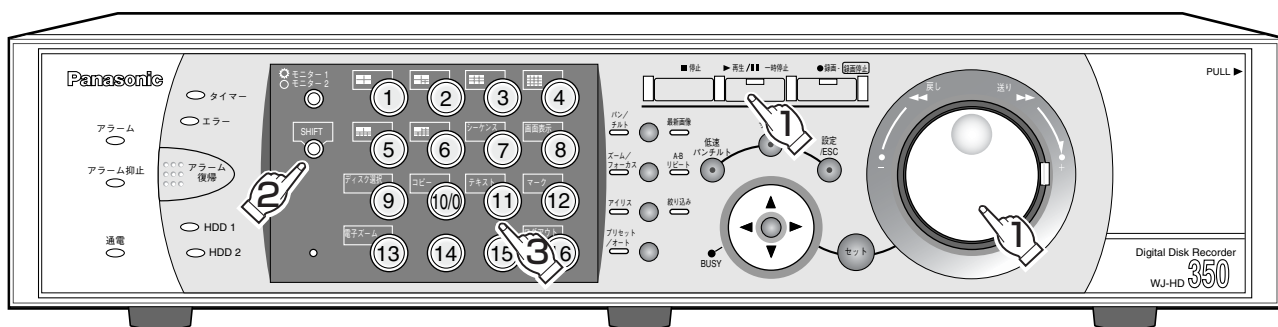
便利な機能

文字情報を表示／編集する

映像を録画する際に映像に文字情報（テキスト）を記録することができます。
文字情報は横20文字、縦10文字（合計200文字）まで入力することができます。
ここでは、映像に付けられている文字情報を表示、編集する方法について説明します。



- 文字情報の表示／編集は以下の状態のときに操作できます。
 - ・1画面で再生一時停止中
 - ・録画イベントリスト画面（※46ページ）を表示中



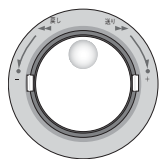
●1画面で再生中 再生を一時停止する

- [再生／一時停止] ボタンを押して、再生を一時停止します。



シフト機能を使用する状態にする

- シフトボタンが点灯することを確認してください。



日時	カメラ	イベント	テキスト	フィルター解除
05.4.25*23:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*22:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*21:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*20:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*19:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*18:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*17:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*16:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*15:00:00	01ch	MANUAL	ABCDEFGHIJ	
05.4.25*12:34:56			TOTAL	12345

●録画イベントリスト表示中 録画イベントを選ぶ

- ジョグダイヤル（内側）を回して録画イベントを選択します。

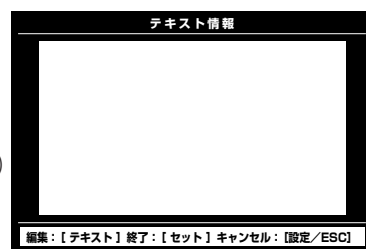


(WJ-HD350の場合)

または

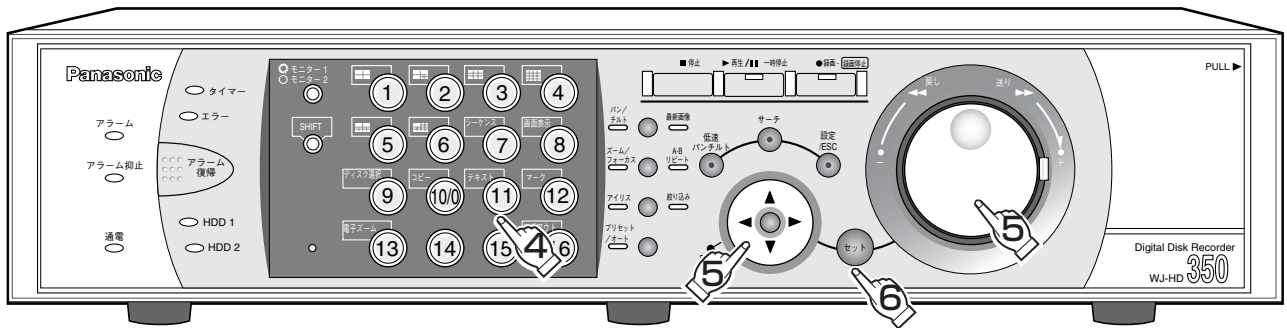


(WJ-HD309の場合)



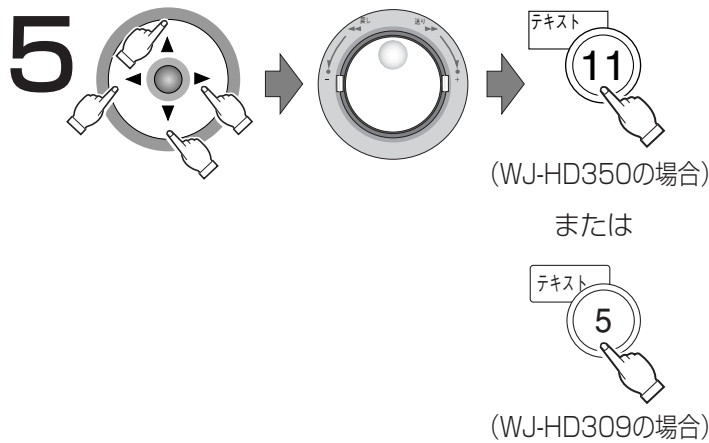
文字情報を表示する

- 再生一時停止中の映像に付けられている文字情報、または、選択した録画イベントに付けられている文字情報が表示されます。
- 文字情報の表示を終了するときは、[設定／ESC] ボタンまたは [セット] ボタンを押します。



文字情報を編集できる状態にする

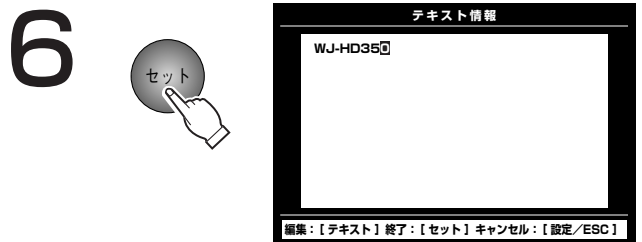
- 再度、テキストボタンを押して、文字情報を編集できる状態にします。



文字情報を編集する

- 文字を挿入するには
十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを文字を挿入したい位置に移動し、ジョグダイヤル (内側) を回して新たに入力したい文字を選択すると、カーソル位置に文字が挿入されます。

- 文字を消去するには
十字ボタン (▼▲◀▶) でカーソルを消去したい文字に移動し、[停止] ボタンを押します。
表示されているすべての文字情報を消去したいときは、[停止] ボタンを長押し (2秒以上) します。
※文字の入力・挿入・削除方法は、ユーザー名、パスワードの入力時も同じですが、HDDディスクコンフィグ画面では [停止] ボタンの長押しは無効です。
- 使用可能文字について
以下の半角英数字・記号が入力できます。
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r
s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$
% & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { |
} ~
- 文字情報の編集が終了したら、[テキスト] ボタンを押します。



編集した内容を反映し、文字情報を更新する

- [セット] ボタンを押して、編集した文字情報を反映します。
- [設定/ESC] ボタンを押すと、編集内容がキャンセルされ、元の文字情報に戻ります。

重要 システムコントローラーから文字情報を編集することはできません。

エラー動作について

本機のエラーまたは警告動作は次のとおりです。

- 種別「エラー」は本機の運用に支障をきたすエラーが発生していることをあらわし、エラーランプが点滅（赤）しモニター2にエラー情報が表示されます。種別「警告」は本機の運用に支障をきたさないが、放置しておくとな支障をきたす可能性が高いことをあらわし、エラーランプが点滅（橙）します。
- エラー発生から障害ブザー鳴動時間が経過するか、[アラーム復帰] ボタンを押すと、エラーランプが点滅から点灯に切り換わります（エラー半復帰）。エラーランプが点灯しているときに、[アラーム復帰] ボタンを押すと、エラーが解消されていれば、エラーランプは消灯し、文字表示が消えます（エラー復帰）。

	エラー発生時	エラー半復帰時	エラー復帰時
前面のエラーランプ	点滅	点灯	消灯
ブザー	鳴動（設定している時）	停止	停止
モニター上のエラー表示部	エラー表示	エラー表示	表示なし
後面のアラーム／コントロール端子の異常出力ピン	出力	停止	停止
障害メール送信	メール送信（設定している時）	—	—
障害ログへの記録	ログへ記録	—	—

文字表示	種別	アラーム／コントロール端子	エラーの内容・現象	対処方法
ALT-*	エラー	異常出力 ⑱	録画映像が改ざんされています。再生中は再生が一時停止状態になります。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰／エラー復帰します。再生を再開するには、再度 [再生] ボタンを押してください。
W-ERROR R-ERROR	エラー	—	HDDへのデータの書き込みに失敗（W-ERROR）または読み込みに失敗（R-ERROR）しました。HDDが故障している可能性があります。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰／エラー復帰します。頻繁に発生するときは販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。
SMART	警告	HDD 異常出力 ⑱	HDDが故障し、使用できなくなる可能性があります。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰／エラー復帰します。販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。
H-METER	警告	HDD 異常出力 ⑱	アワーメーターで設定した時間が経過しました。(☞192ページ) HDDの寿命が近づいている可能性があります。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰／エラー復帰します。販売店にご連絡いただき、HDDを交換してください。
THERMAL	警告	異常出力 ⑱	本機または接続している別売りの増設ユニットの温度異常を検出しています。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰／エラー復帰します。使用周囲温度をご確認ください。使用周囲温度を正常にしても温度異常が頻繁に発生する場合は、本機または接続している別売りの増設ユニットの故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
POWER	警告	異常出力 ⑱	無停電電源装置（UPS）から停電検出信号を入力しています。停電検出信号を入力すると、それ以降操作はすべて無効になります。停電処理開始時間(☞147ページ) が経過すると、停電処理を開始します。停電処理を開始すると、録画動作が停止します。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰します。無停電電源装置（UPS）から電源が供給されると、自動的に運用を開始します。
V-ERROR	エラー	HDD 異常出力 ⑱	各録画領域がREMOVEなどによって、消失してしまった場合です。 V-ERROR EVT：イベント領域 V-ERROR NML：通常領域 V-ERROR CPY：コピー領域 V-ERROR PRE-XX ：プレ録画領域（XはカメラCH番号）	販売店にご連絡ください。故障したHDDの交換後、エラーは解除されます。

文字表示	種別	アラーム/ コントロール端子	エラーの内容・現象	対処方法
※-**% (残容量警告)	警告	警告時 残量警告 出力 ⑮	HDDの残容量が少ない、または、残容量がありません。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰/エラー復帰します。HDDを初期化するか、交換してください。(☞201ページ) HDDの交換は販売店にご連絡ください。初期化する場合はHDD内のデータがすべて消去されます。必要なデータは外部記憶装置にコピーしておいてください。
※-FULL (残容量なし)	エラー	エラー時 HDD 異常出力 ⑯	DVD-RAM、SDメモリーカード、外付けHDDの残容量が少ない、または、残容量がありません。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰/エラー復帰します。DVD-RAMディスク、SDメモリーカード、外付けHDDを初期化するか、交換してください。(☞84ページ) 初期化する場合は各媒体内のデータがすべて消去されます。
			CD-RまたはDVD-Rの残容量が少ない、または、残容量がありません。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰/エラー復帰します。新しいディスクに交換してください。
MEDIUM - n	警告	異常出力 ⑱	外部記憶装置のディスクがない、異なるフォーマットのディスクが挿入されているなど、外部記憶装置を使用した操作ができない状態になっています。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰/エラー復帰します。外部記憶装置のディスクの種類を確認してください。
1DOWN	エラー	HDD 異常出力 ⑯	RAIDモード運用中のHDDが1台故障しています。	販売店にご連絡ください。故障したHDDの交換または復旧後、1DOWNエラーは解除されます。
REMOVE	エラー	HDD 異常出力 ⑯	HDDにエラーが発生し、自動的に運用から切り離されています。	販売店にご連絡ください。故障したHDDの交換後、REMOVEエラーは解除されます。
FAN	警告	異常出力 ⑱	本機または別売りの増設ユニットのファンの故障によって本機または増設ユニット内部温度が上昇し、HDDが故障する可能性があります。	
HDD- ERROR	エラー	HDD 異常出力 ⑯	HDDのエラーなどにより、録画先のHDDが存在しません。	[アラーム復帰] ボタンを押してエラー半復帰します。販売店にご連絡ください。
M-FAIL	エラー	HDD 異常出力⑯	ミラー復旧に失敗しました。	
R-FAIL	エラー	HDD 異常出力⑯	RAID復旧に失敗しました。	

*印にはカメラ番号(1~16、WJ-HD309は1~9)が表示されます。
 ※印にはパーティションをあらわす記号が表示されます。(☞25ページ)
 **には、残容量をあらわす数字が表示されます。
 nには、外部記憶装置を接続した端子番号が表示されます。



- 残容量警告は、残容量が設定した値に達したときに、1回のみ行われます。残容量警告のメール通知は残容量が設定した値に達してから1%減るごとに行われます。残容量警告の設定については193ページをお読みください。残容量警告のメール通知については取扱説明書ネットワーク設定編をお読みください。

PCから操作する

本機をネットワークに接続すると、PCにインストールされているウェブブラウザで本機を操作したり、設定したりすることができます。ここでは簡単な機能の概要と本機を操作するために必要なPCの環境について説明します。各機能の操作方法など詳しくは付属のCD-ROM内の取扱説明書 ネットワーク操作編（PDFファイル）をお読みください。

機能概要

本機の機能は本機を直接操作する場合と同じようにウェブブラウザからも操作できます。本機から操作できる機能に加えて、ネットワークを経由してPCから操作できる機能は以下のとおりです。

映像のダウンロード・送信

ウェブブラウザに表示している映像をPCのHDDにダウンロード（保存）できます。FTPクライアント機能を設定すれば、指定したFTPサーバーに映像を定期的送信できます。また、イベント発生時にアラーム発生場所の映像を送信することもできます。

イベント通知機能

イベントが発生したとき、指定したメールアドレスに電子メールを送信して通知することができます。電子メールを送信する際、アラーム発生場所の映像を添付して送信することもできます。

ホスト認証機能

登録されていないIPアドレスからは本機を操作できないように設定できます。

PCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCを推奨します。推奨外のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

OS	Microsoft® Windows Vista® 32ビット 日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2 日本語版
CPU	Pentium® 4 3.0 GHz以上
メモリ	1 GB以上（ただし、Microsoft® Windows® XPをお使いの場合は512 MB以上）
ディスプレイ	1024 x 768以上の解像度 High color(16ビット)以上の色数
インターフェース ウェブブラウザ	10/100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること。 Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版 ※対応OSがMicrosoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版の場合、Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2日本語版 上記以外のウェブブラウザをご使用の場合、動作の保証はいたしません。



- PCで本機を操作するためには、別途プラグインソフトウェアが必要です。プラグインソフトウェアはウェブブラウザで本機に接続すると、自動的にダウンロード／インストールされます。プラグインソフトウェアを正常にダウンロード／インストールできないときは、付属のCD-ROM内のものをインストールしてください。インストールのしかたは、CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Editionには対応していません。

カスケード接続時の操作と設定

本機をカスケード接続（最大合計4台まで）すると、1台のモニターでカスケード接続されたすべてのWJ-HD350の映像を監視することができます。

ここでは、カスケード接続時の操作について説明します。カスケード接続で本機を操作する場合、あらかじめ設定が必要になります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。



- カスケード接続を行っていても、モニター（VGA）端子、S映像出力端子から他のWJ-HD350の映像を出力させることはできません。
- 音声は、音声入力されたそれぞれのWJ-HD350から出力されます。

設定する

カスケード接続時に必要な設定を行います。

WJ-HD350の設定

カスケード接続するWJ-HD350のカスケード設定（詳細設定：[通信]－[PS・Data設定]－[カスケード]）をONにしてください。また、WJ-HD350のユニットアドレスを以下のとおり設定してください

WJ-HD350	ユニットアドレス（システム）	ユニットアドレス（コントローラー）
1台目	001	001～004以外で番号が重ならないように設定してください。
2台目	002	
3台目	003	
4台目	004	

システムコントローラーの設定

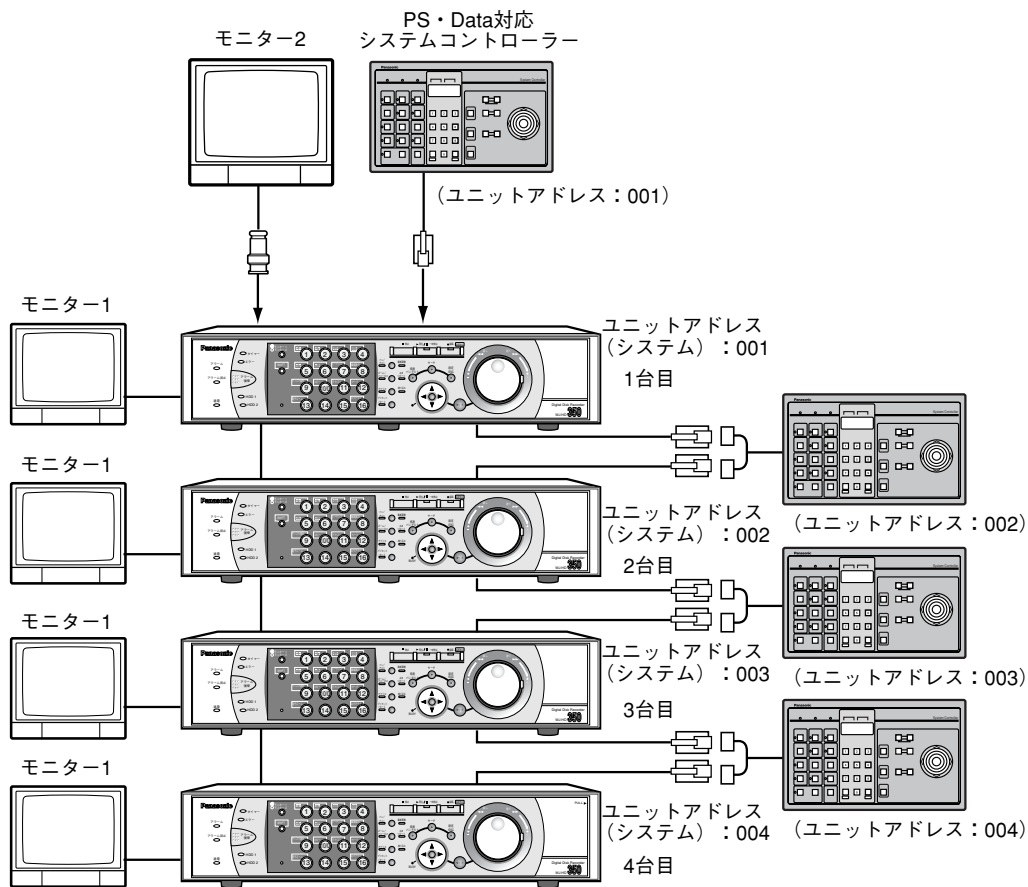
システムコントローラーのユニットアドレスを以下のとおり設定してください。

システムコントローラー	ユニットアドレス	備考
1台目のWJ-HD350を操作する コントローラー	001	1台目～4台目のWJ-HD350のモニター1、 モニター2を操作できます
2台目のWJ-HD350を操作する コントローラー	002	1台目～4台目WJ-HD350のモニター1のみ操作 できます
3台目のWJ-HD350を操作する コントローラー	003	
4台目のWJ-HD350を操作する コントローラー	004	



- 上記はユニットアドレス002～004までのシステムコントローラーがWV-CU650の場合に限ります。ユニットアドレス002～004のシステムコントローラーのいずれかがWV-CU360Cの場合に、WV-CU360Cを使用して再生を開始すると、ユニットアドレス001のシステムコントローラーで操作しているモニター2で使用中のWJ-HD350が切り換わります。
上記のように、ユニットアドレス002～004までのシステムコントローラーを使用した場合に、1台目～4台目のWJ-HD350のモニター1のみ操作できるようにするには、WV-CU650をユニットアドレス002～004のシステムコントローラーとして使用してください。

カスケード接続時の操作と設定（つづき）



※各WJ-HD350のユニットアドレス（コントローラー）は、001～004番以外で番号が重ならないようにしてください。

前面パネルから操作する

35ページ～87ページの操作と同様に、本機を前面パネルから操作できます。モニター2を選択している時、映像は1台目のWJ-HD350に接続されたモニター2に表示されます。モニター1を選択している時、映像は操作しているWJ-HD350のモニター1に表示されます。

前面パネルから操作できるのは、操作するWJ-HD350に接続されているカメラのライブ映像／録画映像のみです。他のWJ-HD350に接続されたカメラのライブ映像や録画映像は操作できません。

システムコントローラーから操作する

- ユニットアドレスが001に設定されたシステムコントローラーから操作する場合
PS・Dataモード対応のシステムコントローラーからユニット番号を指定して操作することにより、カスケード接続されたすべてのWJ-HD350を操作できます。
モニター2を選択している時は、すべてのWJ-HD350の映像を1台目のWJ-HD350に接続されたモニター2に表示できます*。モニター1を選択している時は、選択しているWJ-HD350のモニター1に表示できます。
PS・Dataモードでの操作については、システムコントローラーの取扱説明書をお読みください。
※ユニットアドレスが001のシステムコントローラーがWV-CU360Cの場合、操作したいWJ-HD350の映像が1台目のWJ-HD350のモニター2に表示されない場合があります。この場合、再生したいWJ-HD350のカメラCHを、WV-CU360Cで選択すると表示することができます。
- ユニットアドレスが002～004に設定されたシステムコントローラーから操作する場合
PS・Dataモード対応のシステムコントローラーからユニット番号を指定して操作することにより、すべてのWJ-HD350のモニター1のみ操作できます。

取り扱い上のお願ひ

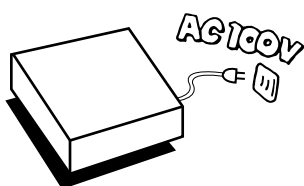
⚠ 警告 ⚠ 注意 (P.13~15ページ)に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用上のお願ひ

使用電源は

AC100 Vです。

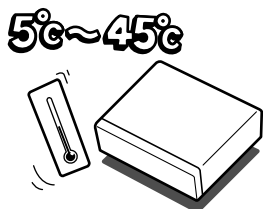
消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。



使用温度範囲は

+5℃～+45℃です。

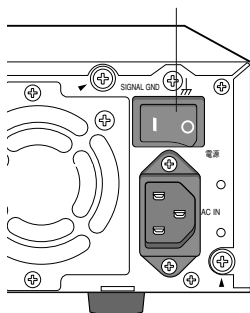
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。また、ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。



電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

電源スイッチ



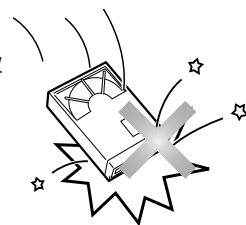
内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。

ありません。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。

内蔵HDDについて

- HDDは精密機器ですので、衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
 - ①振動・衝撃はHDD故障の原因になります。
 - ②電源を入れた時や電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中ですので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
- HDDは使用環境により寿命は異なりますが、消耗劣化する部品です。+25℃の環境下で使用された場合、通電時間が20,000時間を超えた頃から、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30,000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命に至ります。大切なデータが壊れないように機器の周囲温度を+25℃以下に保ち、18,000時間を目安に交換することをおすすめします。（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません。）
- HDDに異常が発生した場合は、速やかにHDDを交換してください。HDD交換時には以下の注意が必要です。販売店にお問い合わせください。
 - ①本機前面のHDDランプが点灯中または消灯後30秒間はHDDや前面パネルと本体を接続するケーブルの取り外しをしないでください。
 - ②HDDは静電気から保護してください。
 - ③積み重ねたり、縦置きをしないでください。
 - ④取り付け時に電動ドライバーを使用しないでください。
締め付けトルク：約0.49 N・m {5 kgf・cm}
 - ⑤HDDへの結露を防止するために急激な温度・湿度変化は避けてください。
(温度変化値は15℃/h以内に保つ)



取り扱い上のお願い（つづき）

- HDDに記録された情報内容は万一消失しても、故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしません。

結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。

結露が発生しやすい条件は

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



機器を廃棄または譲渡される場合

HDDに記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合はその取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

表示について

本機の識別および電源定格は、底面または上面の表示をご確認ください。

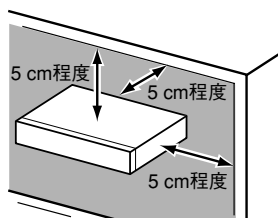
設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所

横置き（水平）に設置してください

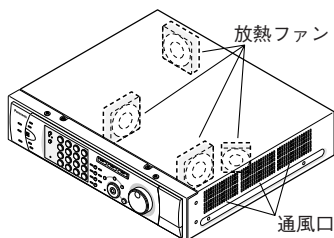
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがれないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある通風口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風口をふさがないようにしてください。

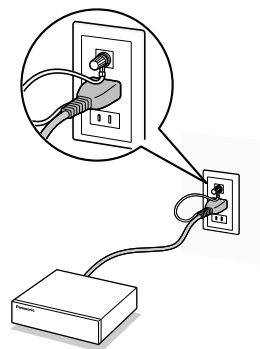


雑音源は避ける

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

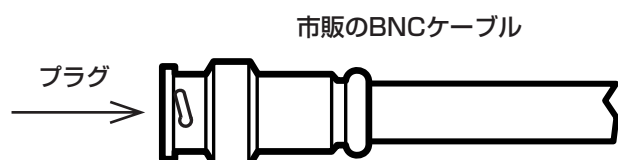
取り扱い上のお願い（つづき）

BNCケーブル接続時

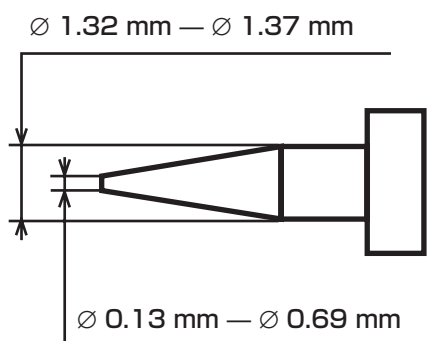
機器の設置時、本機後面のBNC端子に市販のBNCケーブルを使って接続する場合、指定の規格合格品を使用してください。

適合プラグ JIS : C5412

※規格番号末尾は改定されている場合があります。



推奨適合プラグのピン形状



- 指定外のプラグを使用した場合、接触不良などの不具合が発生する可能性がありますので、適合プラグを使用してください。最悪の場合、本体側コネクタを破損するおそれがあります。

本機のユーザー／ホスト管理について

本機を使用するユーザーや、LAN などのネットワークを経由して本機にアクセスするPC（ホスト）は、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。登録できるユーザーは32ユーザーまで、ホストは8件まで登録できます。ユーザー情報、ホスト情報として以下の情報が登録できます。

項目	内容	備考
ユーザー名	本機にログインするユーザー名です。ログイン画面で入力します。	ユーザー登録のみの設定項目です。
IPアドレス	本機にアクセスするPCのIPアドレスです。[ホスト認証]が「ON」に設定されているときは、登録されているIPアドレス以外から本機にアクセスできません。	ホスト登録のみの設定項目です。
パスワード	本機を使用するユーザーのパスワードです。ログイン画面で入力します。	ユーザー登録のみの設定項目です。
レベル	操作できる機能のレベルです。各レベルで操作できる機能については153ページをお読みください。	
優先度	操作の優先度です。複数のユーザー／ホストで同じ操作をした場合、優先度の一番高いユーザー／ホストが操作できます。	以下の場合に、優先度による操作権の判定が行われます。 <ul style="list-style-type: none">●すでにログインしているユーザーがいるときに、別のユーザーがログインしようとしたとき●すでに他のユーザーが制御しているカメラを制御しようとしたとき
スタートモニター	ログイン直後に表示するモニター1／モニター2／PC画面のライブ映像の表示画面を設定します。	
カメラパーティショニング	カメラCHごとに制御できる範囲を設定します。	

また、本機を直接操作するか、ネットワークを経由して操作するかによって、ユーザー／ホスト管理における動作が以下のように異なります。

本機を直接操作する場合

本機に接続されたモニターを使用して操作します。本機を直接操作する方法には以下の3通りの方法があります。

- 本機の前面パネルのボタンを押して操作する
- PS・Data対応のシステムコントローラーから操作する



- PS・Data対応のシステムコントローラーから同軸通信ユニットに接続されたカメラを制御する場合、本機の優先順位の設定は適用されません。（後優先で制御されます）

- 本機後面のシリアル端子（RS232C）に接続されたPCから操作する
- これらの方法で同時にログインすることはできません（同じユーザー名でログインしている場合を除く）。すでにログインしているユーザーがいるときに、別のユーザーがログインしようとする、「システム」の「優先順位」（147ページ）の設定によって、次ページのようになります。

本機のユーザー／ホスト管理について（つづき）

優先順位の設定	動作
優先度に従う	すでにログインしているユーザーよりも優先度が高い場合はログインできます。すでにログインしているユーザーはログアウトします。 すでにログインしているユーザーよりも優先度が低い場合、ログインできません。
前優先	優先度に関係なく、ログインできません。ただし、本機の前面パネルからの操作ではADMINとしてログインできます。この場合、すでにログインしているユーザーはログアウトします。
後優先	優先度に関係なく、ログインできます。



- PS・Data対応のシステムコントローラーから操作するときは、「システム」の「PSDユーザー」で設定されているユーザーとして自動的にログインします。
- PS・Data対応のシステムコントローラーからログインした後、約2分間何も操作しない状態が続くと、PSDユーザーは自動的にログアウトします。
- 優先順位の設定に関係なく、ログインしているユーザーと同じユーザーでログインしようとする、両方のユーザーがログインした状態になります。

ネットワークを経由してPCから操作する場合

ネットワークを経由してPCから本機を操作します。最大8ホスト（PC）から同時にアクセスすることができます。8ホスト（PC）がすでにログインしているときに、新たに別のホスト（PC）がログインしようすると、「システム」の「優先順位」の設定（ 147ページ）によって、以下のようになります。

優先順位の設定	動作
優先度に従う	すでにログインしているホスト（PC）よりも優先度が高い場合はログインできます。すでにログインしているホスト（PC）はログアウトします。 すでにログインしているホスト（PC）よりも優先度が低い場合、ログインできません。
前優先	優先度に関係なく、ログインできません。
後優先	優先度に関係なく、ログインできます。

また、ネットワークを経由してPCから本機へアクセスする場合、「通信」の「NW基本設定」の「ユーザー認証」、「ホスト認証」の設定によって、認証のしかたが異なります。

ユーザー認証の設定	ホスト認証の設定	ログインするユーザー／ホスト	備考
OFF	OFF	ADMINで本機にログインします	
ON	OFF	ユーザー登録されているユーザーでログインできます	ログイン画面が表示されます
OFF	ON	ホスト登録されているホストでログインできます	ログイン画面は表示されません
ON	ON	ユーザー登録されているユーザーでログインできます	ホスト登録されていないホストからアクセスできません

設置工事について

HDDセーフティモードについて

本機の電源を切れない状態で、設置作業などを行わなければならないときは、HDDセーフティモードを「ON」にして、作業を行ってください。

HDDセーフティモードはSETUP MENU「メンテナンス」の「ディスク情報」で設定できます。(P.191ページ)

- 重要**
- 本機の電源を入れた状態で本機をラックに設置する際、衝撃によりHDDが故障しないように、初期設定で、HDDセーフティモードは「ON」に設定されています。本機の設置工事が終わった後は、必ず「HDDセーフティモード」を「OFF」にしてください。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになる場合は、以下の手順で本機をセットアップしてください。

- 重要**
- 別売りの増設ユニット（WJ-HDE350シリーズ）を使用する場合は、すべての増設ユニットの電源を入れてから、または同時に本機の電源を入れてください。

1



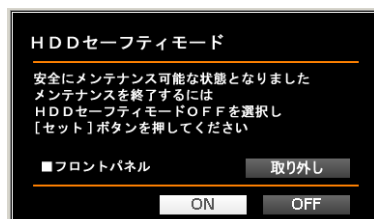
後面の電源スイッチを入れ、本機の電源を入れる

- 通電ランプが点灯し、本体・HDDのチェック（システムチェック）を開始します。この間、モニター2、モニター（VGA）には、起動画面（下記参照）が表示されます。

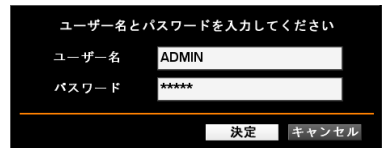
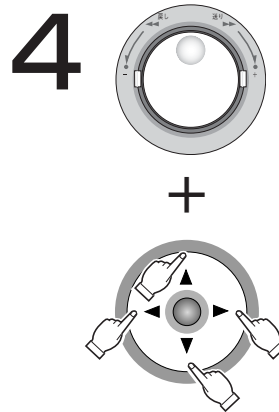
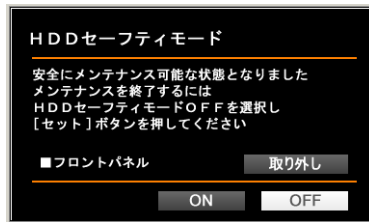
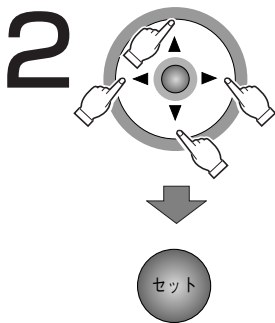
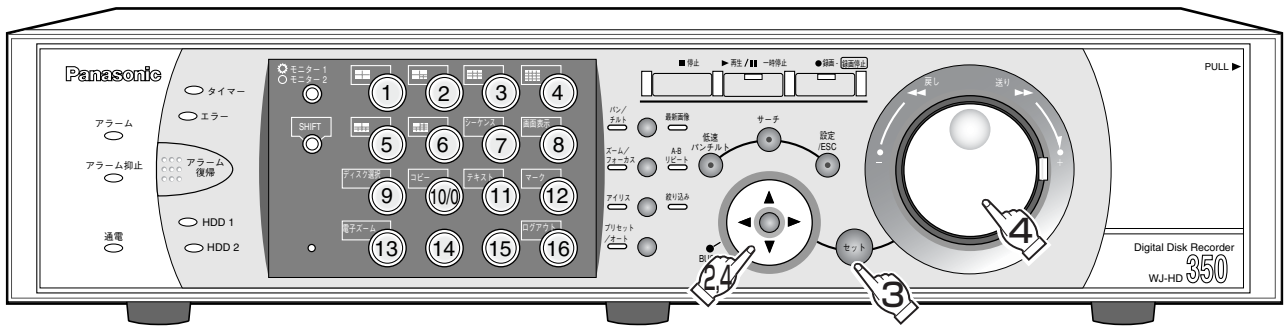


システムチェック中
しばらくお待ちください

- システムチェックが完了すると、HDDセーフティモード画面（下記参照）が表示されます。同時に、前面のカメラ選択ボタンが緑色点灯（2秒間）→橙色点灯（2秒間）を繰り返します。

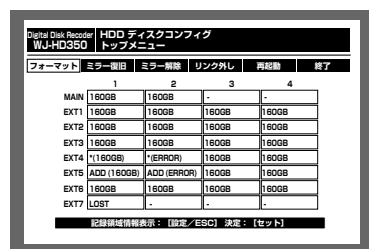
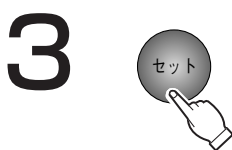


- セーフティモードはHDDへの電源供給をしていない状態です。



HDDセーフティモードを「OFF」にする

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、カーソルを「OFF」に合わせ、[セット] ボタンを押します。
- 自動的に本機が再起動し、システムチェック完了画面が表示されます。(P.31ページ)



HDDディスクコンフィグを表示する

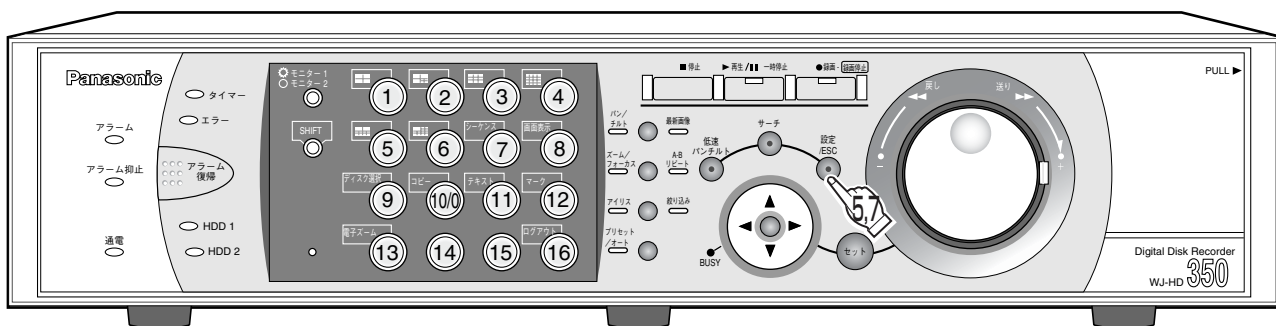
- システムチェック完了画面表示中に [セット] ボタンを押して、HDDディスクコンフィグを表示します。
必要に応じてディスク設定を行ってください。詳しくは201ページをお読みください。
- ディスク設定終了後、いずれかのボタンを押すと、ログイン画面が表示されます。
- SETUP MENU「システム」の「基本設定」にある「オートログイン」が「ON」の場合は、ログイン画面は表示されません。
初期設定値は「ON」です。

ユーザー名・パスワードを入力してログインする

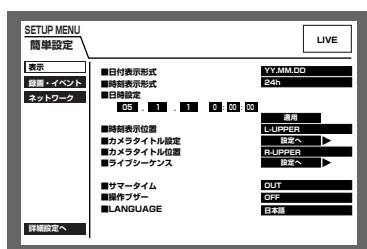
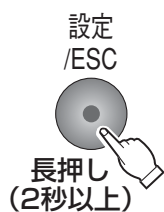
- ユーザー名とパスワードを入力して、ログインします。詳しくは32ページをお読みください。
- ログインすると、カメラのライブ映像が表示されます。



- お買い上げ時、HDDの全領域が「通常録画領域」に設定されています。必要に応じて各録画領域の設定を行ってください。
- お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
ユーザー名：ADMIN
パスワード：12345
- セキュリティを確保するために、ADMINのパスワードは定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、146ページをお読みください。



5



時計を合わせる

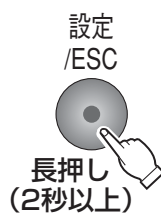
- SETUP MENU (簡単設定) を表示して、本機の日付と時刻を設定します。詳しくは33ページをお読みください。

6

SETUP MENUの設定を行う

- 初期設定はマニュアル録画ができる状態になっています。録画に関する設定やイベント動作に関する設定など、必要に応じて設定を行います。

7

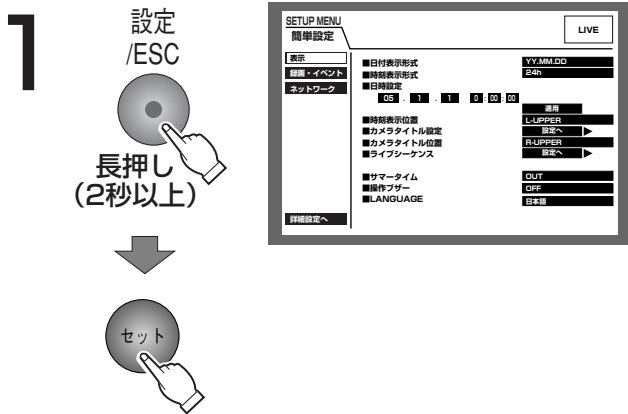
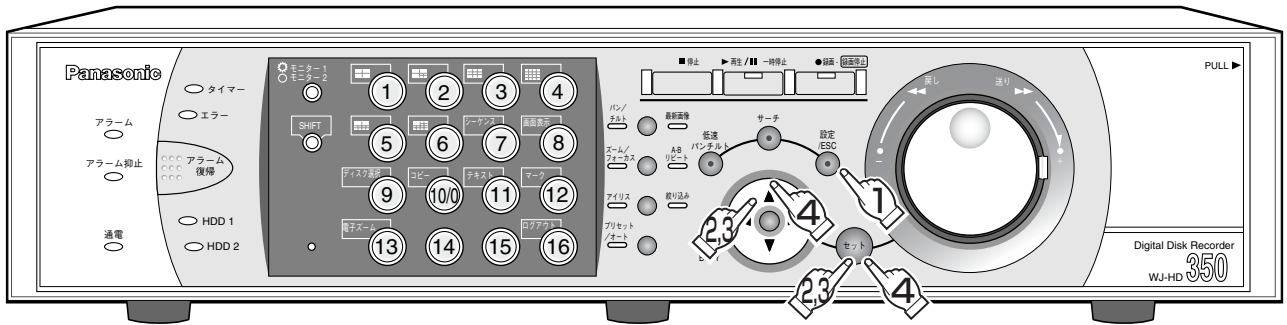


SETUP MENUを終了する

- カメラのライブ映像が表示されます。

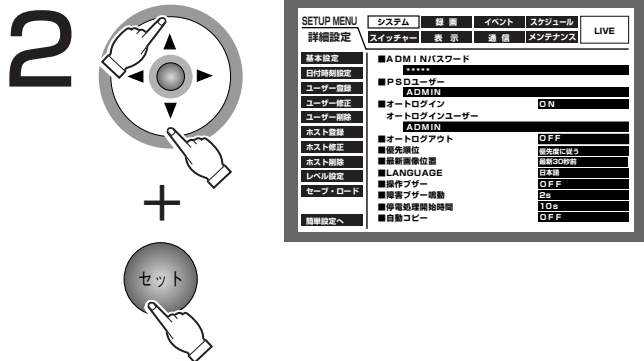
設置作業を行うときは

運用開始後に、設置作業（ラックへの取り付け、取り外し）を行う際、以下の操作を行ってください。



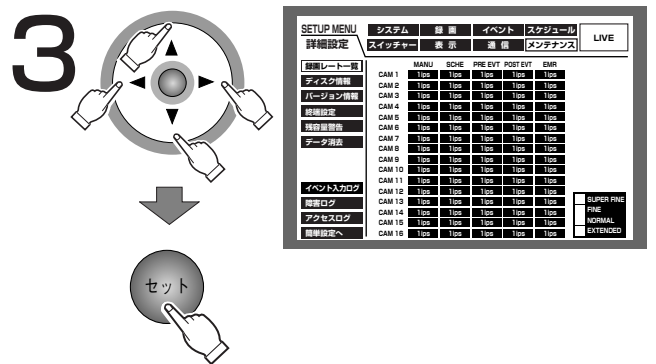
1 SETUP MENU (簡単設定) を表示する

- モニター2、モニター (VGA) にSETUP MENU (簡単設定) が表示されます。
- 簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」(134ページ) が「ADVANCED (詳細)」に設定されている場合、詳細設定のトップページが表示されます。手順3へ進みます。



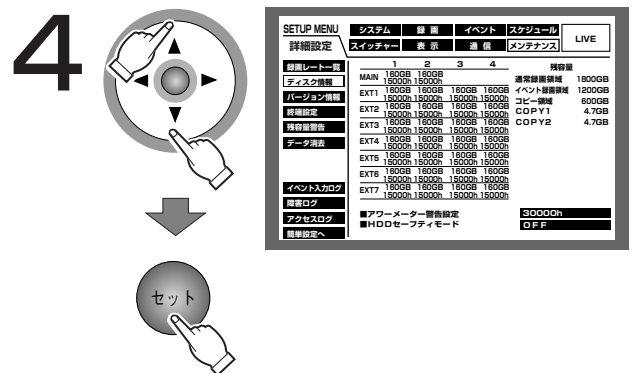
2 詳細設定を表示する

- 十字ボタンの▼または▲を押して「詳細設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押し、詳細画面を表示します。



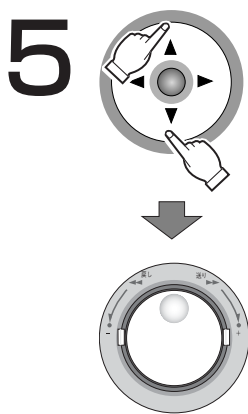
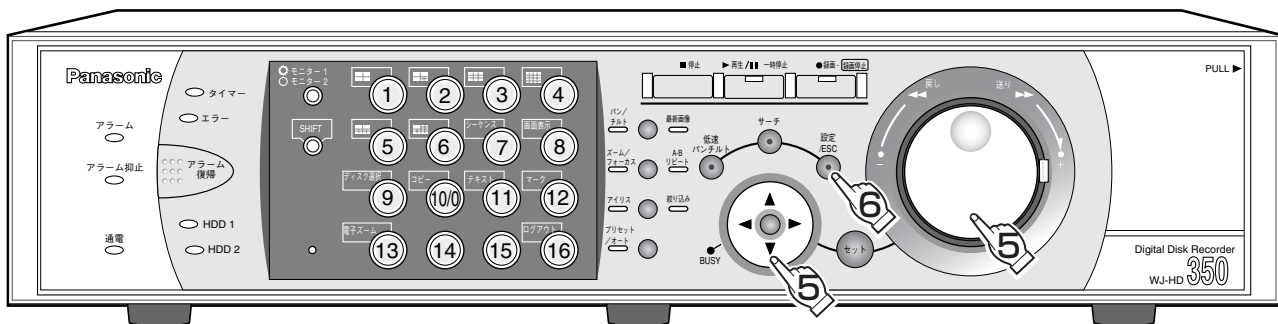
3 「メンテナンス」を選ぶ

- 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「メンテナンス」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



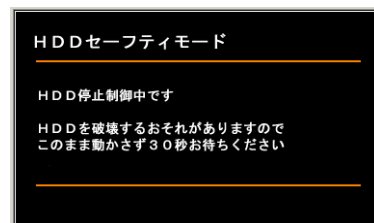
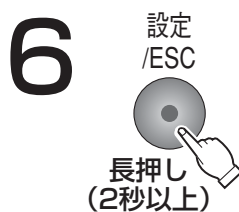
4 「ディスク情報」を選び、ディスク情報画面を表示する

- 十字ボタンの▼または▲を押して「ディスク情報」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



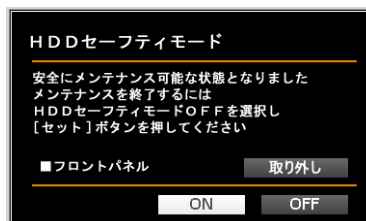
「HDDセーフティモード」を「ON」に設定する

- 十字ボタンの▼または▲を押して、カーソルを「HDDセーフティモード」に合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回して、「ON」に設定します。



SETUP MENUを閉じる

- 自動的に本機が再起動し、HDDセーフティモードの画面が表示され、HDD動作停止制御を行います。同時に前面のカメラ選択ボタンが緑色点灯（2秒間）→消灯（2秒間）を繰り返します。
- 約30秒経過すると以下の画面が表示されます。



この画面を確認してから、設置作業に入ります。手順5のHDDセーフティモードの画面が表示されている状態で設置作業を行ってください。設置作業が終了したら、「初めてお使いになるときは」の手順2（100ページ）以降の操作を行います。



- 前面パネルのコネクターの取り外しは、必ず「取り外し」を選択し、[セット] ボタンを押してから「給電OFF」が表示されたことを確認して行ってください。「給電OFF」が表示されていないときに行うと、本機が故障する原因となります。

各部のなまえ (後面パネル部)

アラーム／コントロール端子 (D-SUB25ピン)

ブザーやランプなどの警報装置や外部機器で本機を操作する場合、本機を操作するための制御スイッチなどを接続します。

アラーム端子 (D-SUB25ピン)

センサーやドアスイッチなど、アラームに関する装置を接続します。

モニター (VGA) 端子 (D-SUB15ピン)

VGAモニターを接続します。モニター2出力と同じ映像を出力します。本機を複数台カスケード出力する場合は使用できません。

シリアル端子 (D-SUB9ピン)

PCと接続します。

カスケード入力端子 (BNC)

本機を複数台接続する場合、もう1台のWJ-HD350のカスケード出力と接続します。

モニター出力端子 (BNC)

モニターを接続します。
モニター出力1にはモニター1を接続します。
モニター出力2にはモニター2を接続します。
また、モニター出力2はカスケード出力も兼用し、本機を複数台接続する場合、もう1台のWJ-HD350のカスケード入力と接続します。

音声出力端子 (RCAピンジャック)

音声を出力する端子です。音声入力に入力した音声出力されます。再生時は録音されている音声出力されます。

音声入力1～4端子 (RCAピンジャック)

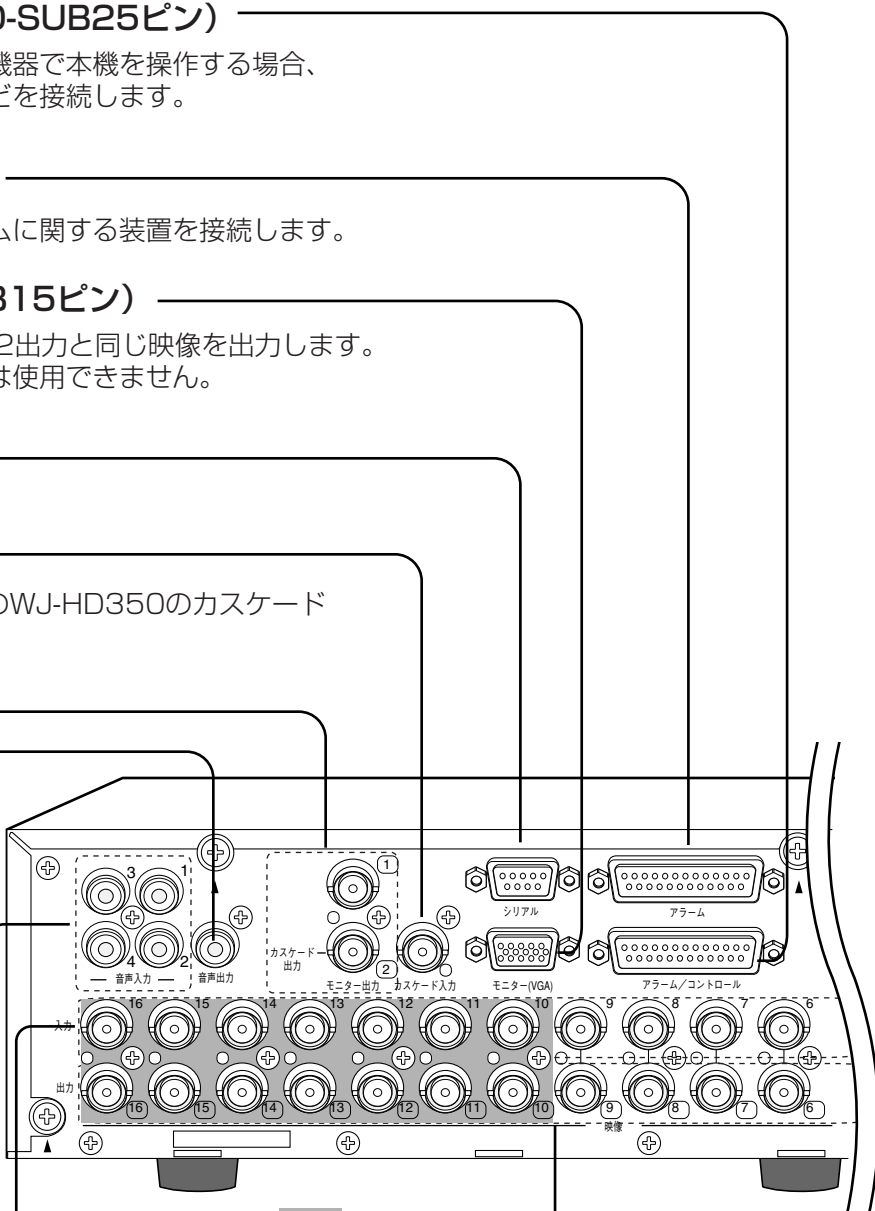
LINE入力です。マイクアンプなどからの音声を入力します。入力した音声は音声出力端子から出力されます。

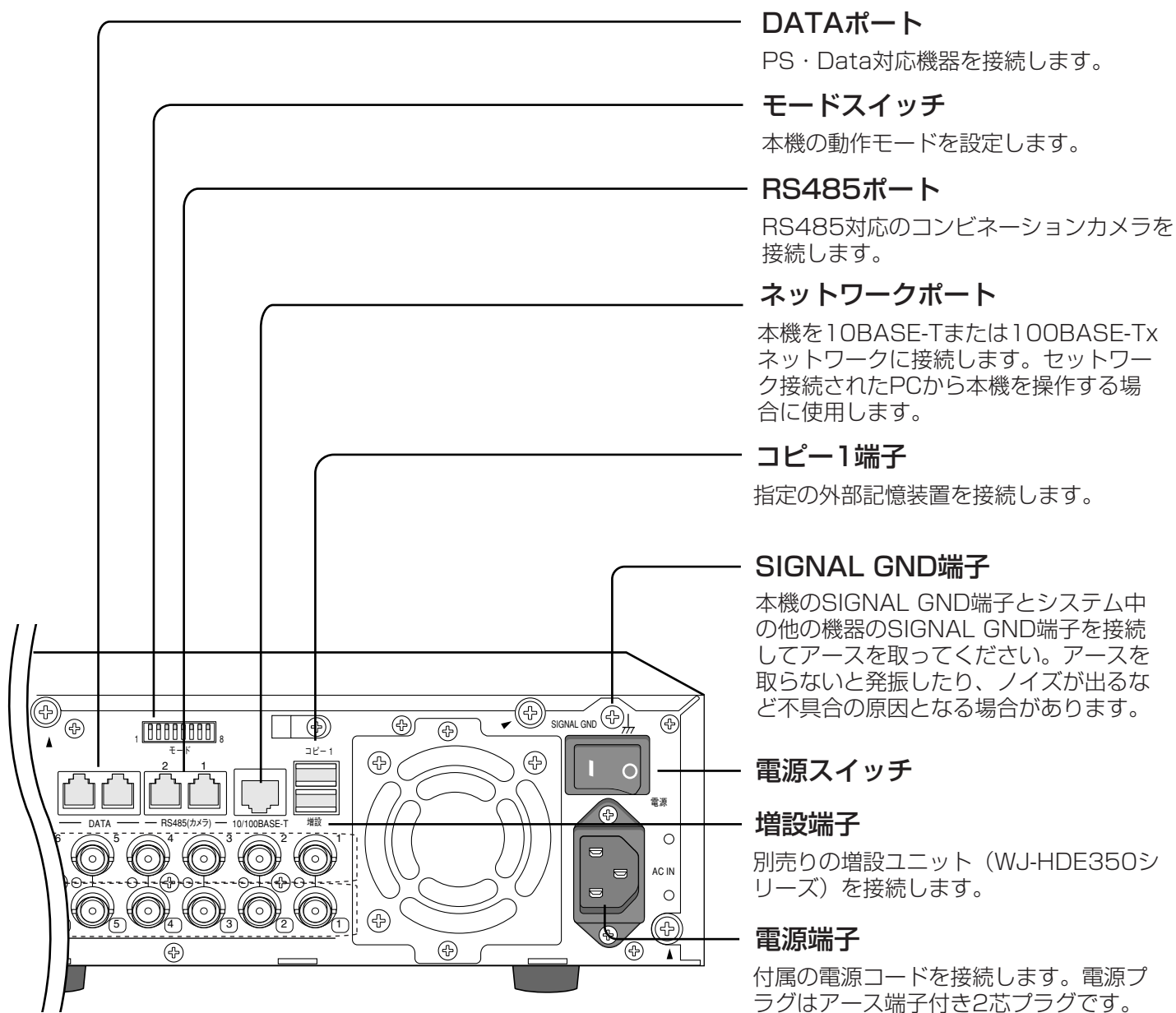
映像出力1～16端子 (WJ-HD309は1～9端子) (BNC、ループスルー)

映像入力1～16 (WJ-HD309は1～9) に入力した映像が出力されます。映像出力1～8は本機の電源が入ってない場合は、出力されません。(WJ-HD350、WJ-HD309とも)

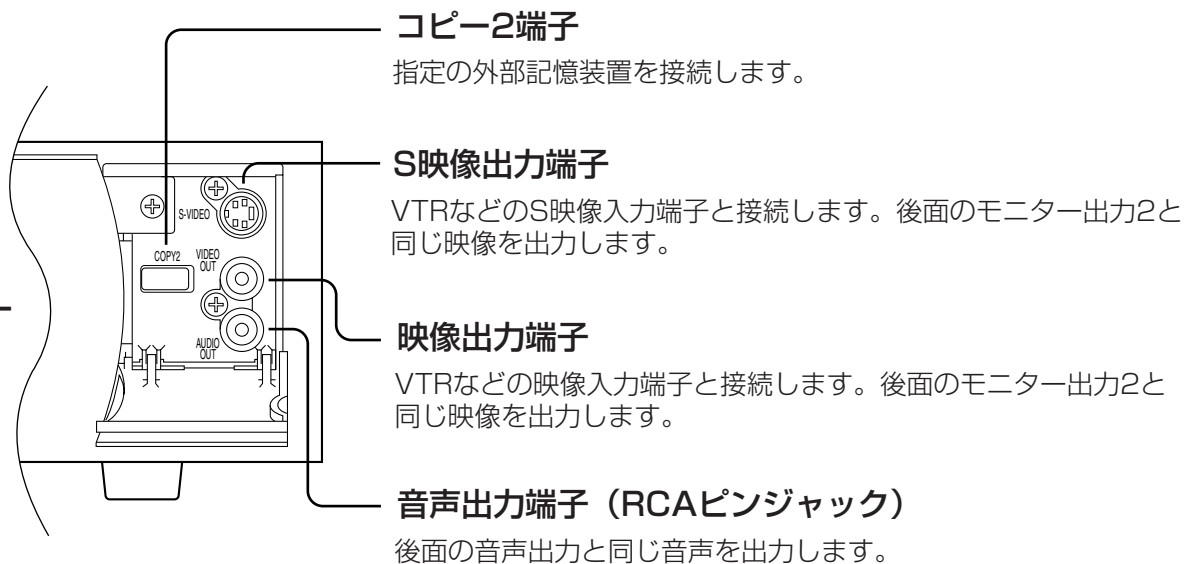
映像入力1～16端子 (WJ-HD309は1～9端子) (BNC)

システムカメラ、コンビネーションカメラを接続します。コンビネーションカメラは映像入力1～8 (同軸通信機能付き、WJ-HD309は1～6) と接続してください。





前面端子カバー内部



ラックへ取り付ける

本機を取り付けるラックは、次のいずれかをご使用ください。

- スタンダードラック : WU-RS71 (当社製、収納ユニット数29U)
- ロングラック : WU-RL76 (当社製、収納ユニット数41U)
- EIA規格相当品 (他社製) : EIA19型、奥行450 mm以上のもの

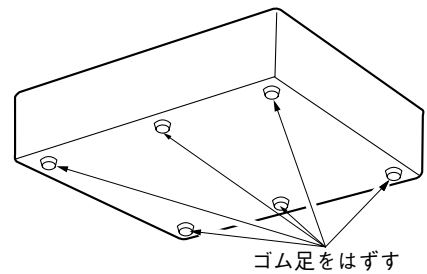


- 他社製ラックに取り付ける場合は、別売りのラック取付ねじ W2-MSS/5008、またはM5×12ねじ (4本) が必要です。付属のラック取付ねじ (呼び径5タッピング) を使用すると、ラック取付部のねじ山を壊す恐れがあります。

1

底面のゴム足 (6個) を外します。

- マイナスドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外してください。

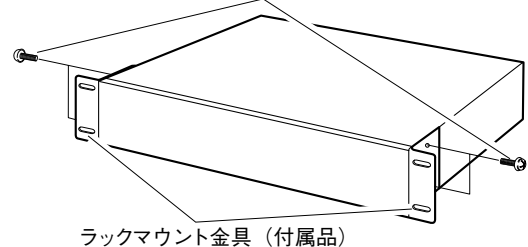


ラックマウント金具取付ねじ (付属品)

2

本機の両側面に、ラックマウント金具を取り付けます。

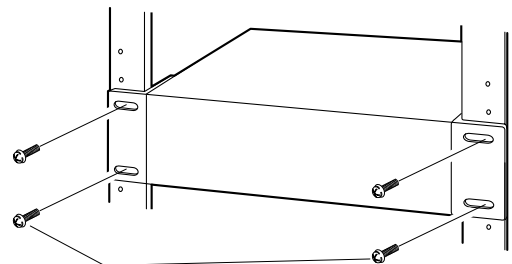
- ラックマウント金具取付ねじ (4本) で確実に固定してください。



3

本機をラックに取り付けます。

- ラック取付ねじ (呼び径5タッピング) (4本) で確実に固定してください。



当社製ラックの場合: 呼び径5タッピング (付属品)
他社製ラックの場合: W2-MSS/5008 (別売品)、
またはM5×12 (別売品)



- ラック内の温度は、+45℃以上にならないようにしてください。
- ラック取り付け時は、1 U (44 mm) 以上の間隔をあけて、本機を下側に取り付けてください。
- 組み込むラックの前面に扉をつけるなどして、ふさがらないでください。
- ラック設置時は、ラック内温度が30℃以下におさまるよう、ファンなどの取り付けをおすすめします。

接続する

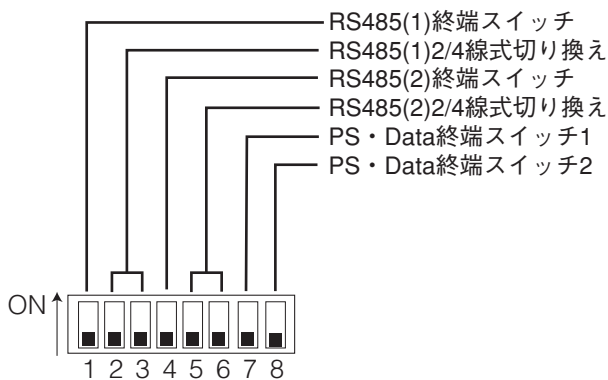
モードスイッチについて

本機とシステム機器の通信をPS・Dataで行う場合、RS485インターフェースで行われます。RS485インターフェースで接続されている機器の両端は終端抵抗する必要があります。

本機をレシーバーとして使用するか、コントローラーとして使用するかによってモードスイッチの設定のしかたが以下ようになります。

また、本機にRS485カメラを接続して使用する場合、接続されている機器の両端は終端抵抗する必要があります。

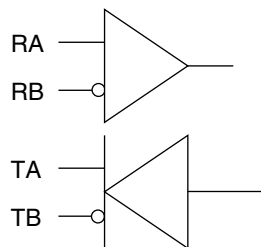
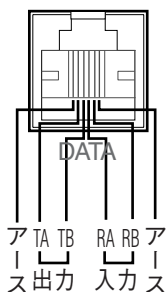
設置



- コントローラーと接続し、本機がPS・Data接続の端になる場合
PS・Data終端スイッチ1：ON
- システム機器を接続し、本機がPS・Data接続の端になる場合
PS・Data終端スイッチ2：ON
- RS485カメラを接続する場合
接続したRS485ポートの終端スイッチをONにします。
RS485ポート1に接続：RS485（1）終端スイッチをON
RS485ポート2に接続：RS485（2）終端スイッチをON
- 2線式で通信を行う場合
RS485ポート1に接続：2番、3番をON
RS485ポート2に接続：5番、6番をON
- 4線式で通信を行う場合
RS485ポート1に接続：2番、3番をOFF
RS485ポート2に接続：5番、6番をOFF

RS485ポートについて

内部ブロック図



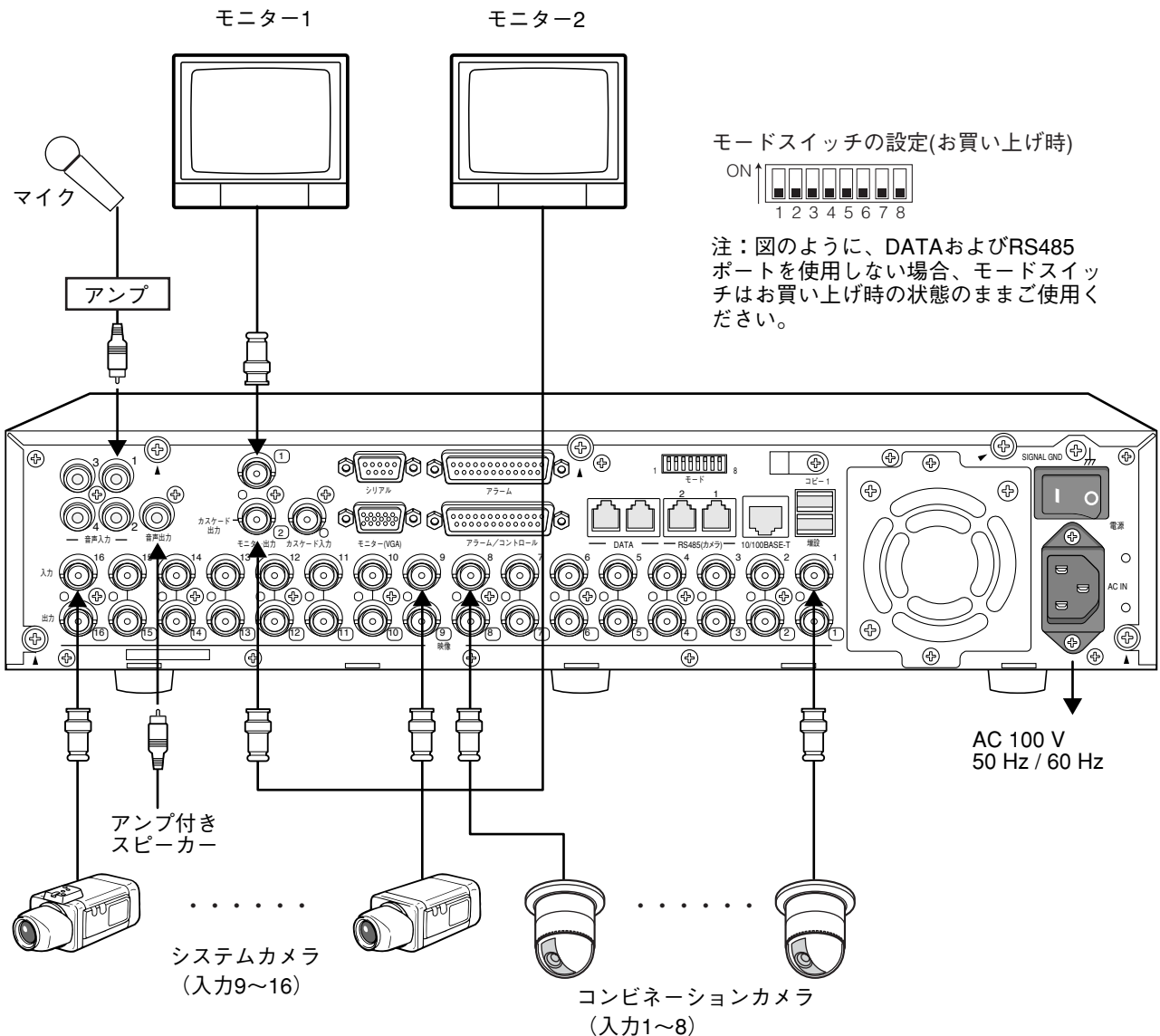
本機単体で使用する場合の接続方法

本機単体で使用する場合の接続例を紹介します。



- 弊社のマトリクススイッチャーや同軸通信ユニットと組み合わせて使用する場合は、必ず映像入力ごとのループスルー出力を本機へ接続してください。モニター出力やスポット出力を本機の映像入力へ接続すると、切り換わり時に映像の乱れや、切り換え前の映像が表示／記録される現象が生じます。
- 電源プラグは最後に接続してください。
- コンビネーションカメラを使用する場合は、映像入力端子1～8（同軸通信付、WJ-HD309は1～6）に接続してください。

接続例



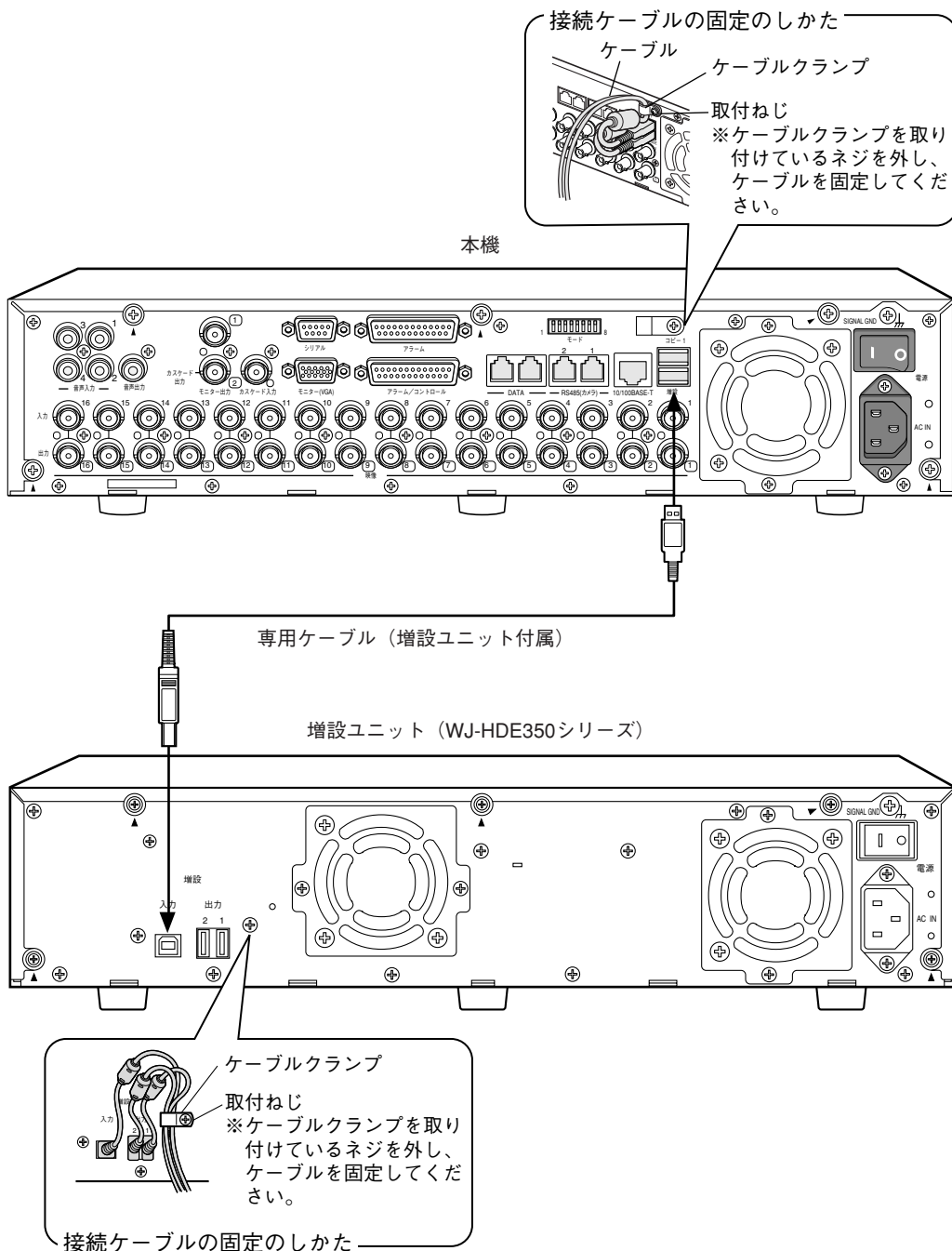
増設ユニットとの接続方法

本機に別売りの増設ユニットを接続して使用する場合の接続例を紹介します。

本機1台に対して、増設ユニットを最大7台まで接続できます。

増設ユニットは後面の増設端子から増設ユニットに付属の専用ケーブルで接続します。

- 接続は別売りの増設ユニットに付属されている専用ケーブルを必ずご使用ください。
- ケーブルは、必ず本機・増設ユニットそれぞれに付属のケーブルクランプで固定してください。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、映像が記録できなくなります。



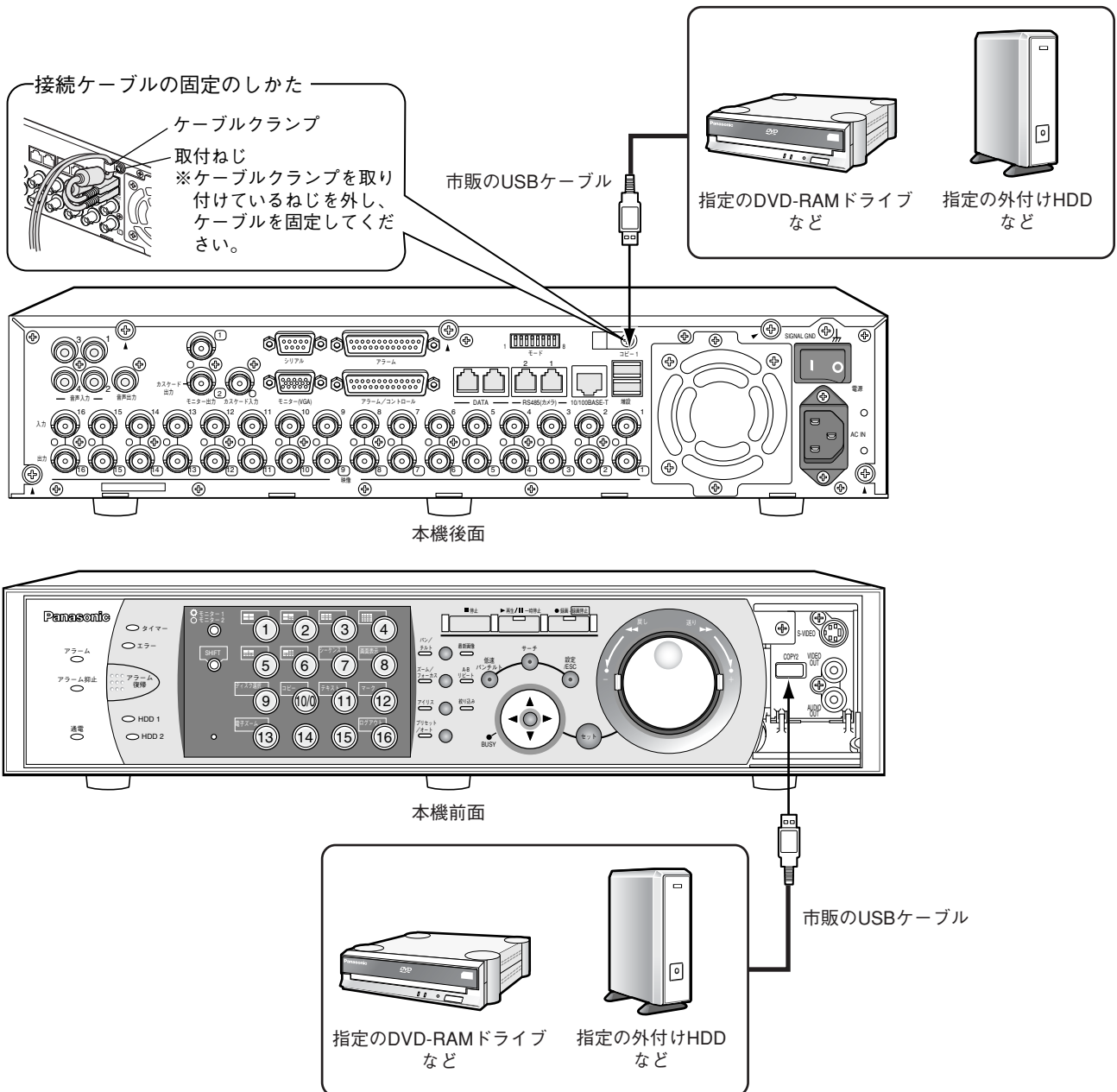
外部記憶装置との接続方法

本機に指定のDVD-RAMドライブ、CD-Rドライブ、DVD-Rドライブ、外付けHDD、SDメモリーカード用USBリーダーライターを接続して使用する場合の接続例を紹介します。

外部機器は後面のコピー1端子または前面のコピー2端子から市販のUSBケーブルで接続します。

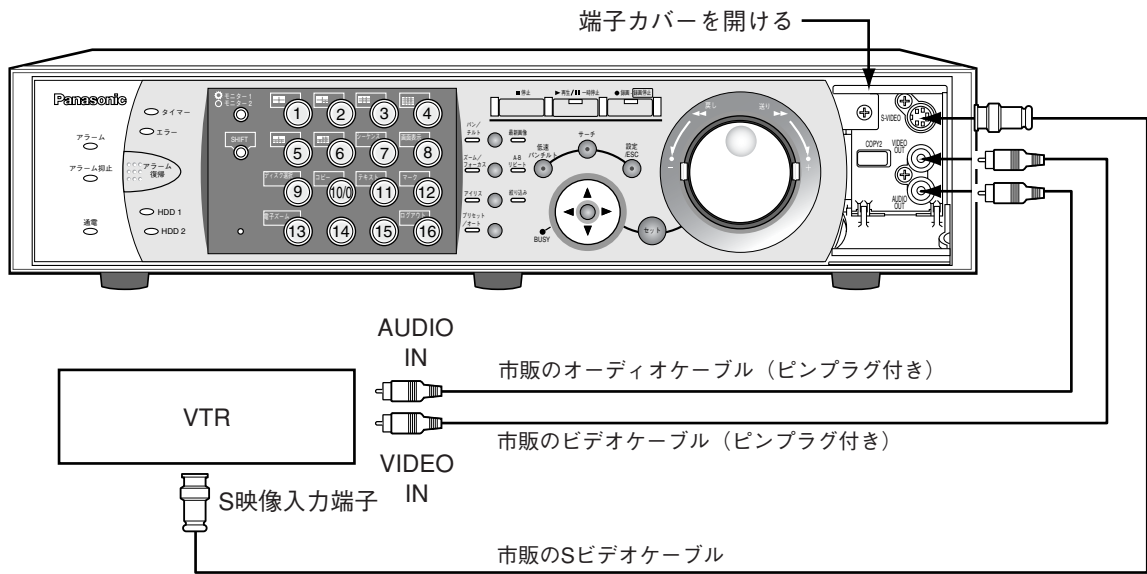


- USBケーブルは市販のUSB2.0対応のものを使用してください。
- SDメモリーカード用USBリーダーライターを使用する際は、その商品に付属されているUSBケーブルを必ず使用してください。
- コピー1端子とコピー2端子に同時に接続はできません。
- ケーブルは、必ず本機に付属のケーブルクランプで固定してください。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、映像が記録できなくなります。



VTRとの接続方法

本機に録画された映像をVTRにコピーする場合、前面端子カバー内部にあるS映像出力端子、映像出力端子、音声出力端子にVTRを接続します。



- 前面の映像出力端子、S映像出力端子からはモニター2、モニター（VGA）に表示している映像が出力されます（カスケード接続時を除く）。音声出力端子からは後面の音声出力と同じ音声を出力します。
- カスケード接続時は、S映像出力端子、モニター（VGA）端子から他のWJ-HD350の映像を出力させることはできません。各WJ-HD350にVTRを接続してください。

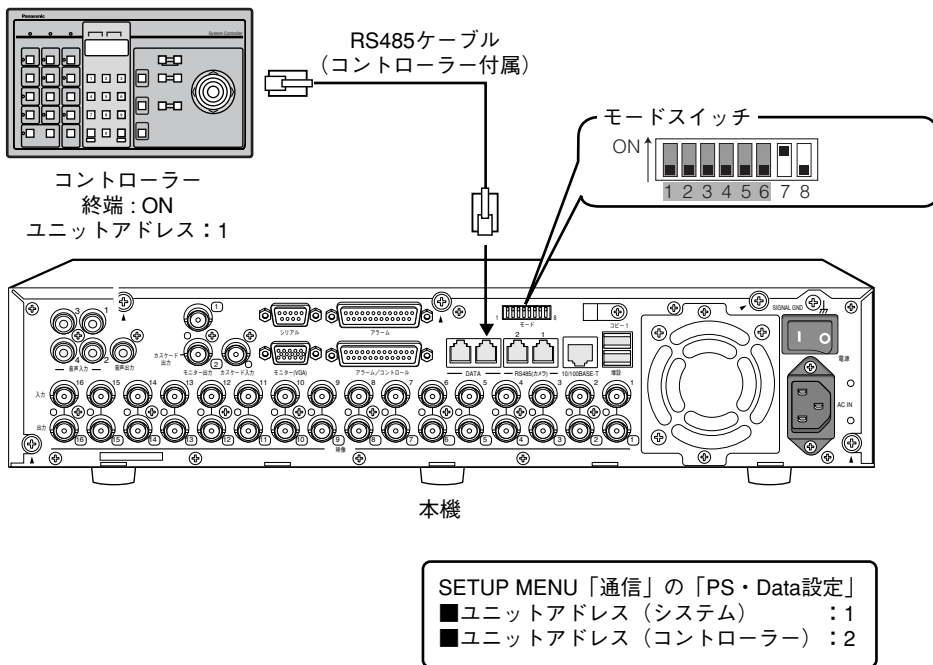
PS・Data対応機器との接続方法

本機にPS・Data対応機器を接続して使用する場合の接続例を紹介します。PS・Data対応のシステムコントローラーを接続すると、システムコントローラーで本機および本機に接続された機器を使用できるようになります。接続にはコントローラー付属のRS485ケーブルを使用します。

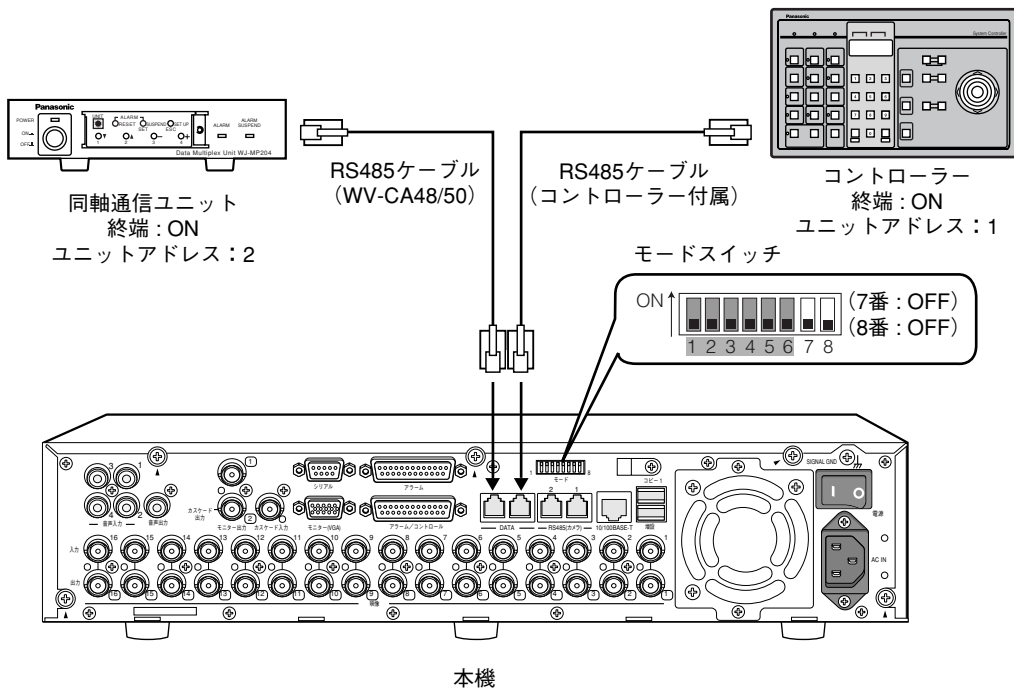


- 接続の両端になる機器は終端設定を「ON」にしてください。各機器の終端設定の方法はそれぞれの取扱説明書をお読みください。本機の終端設定はモードスイッチで行います。（☞107ページ）
- PS・Data対応機器を接続して使用する場合、SETUP MENUの「通信」にある「PS・Data設定」の各項目を接続形態に合わせて設定してください。（☞184ページ）
- PS・Dataは当社独自のプロトコルです。接続可能な機器については販売店にご相談ください。
- ユニットアドレスはPS・Dataの機器間で重ならないように設定してください。

本機とコントローラーを接続する場合



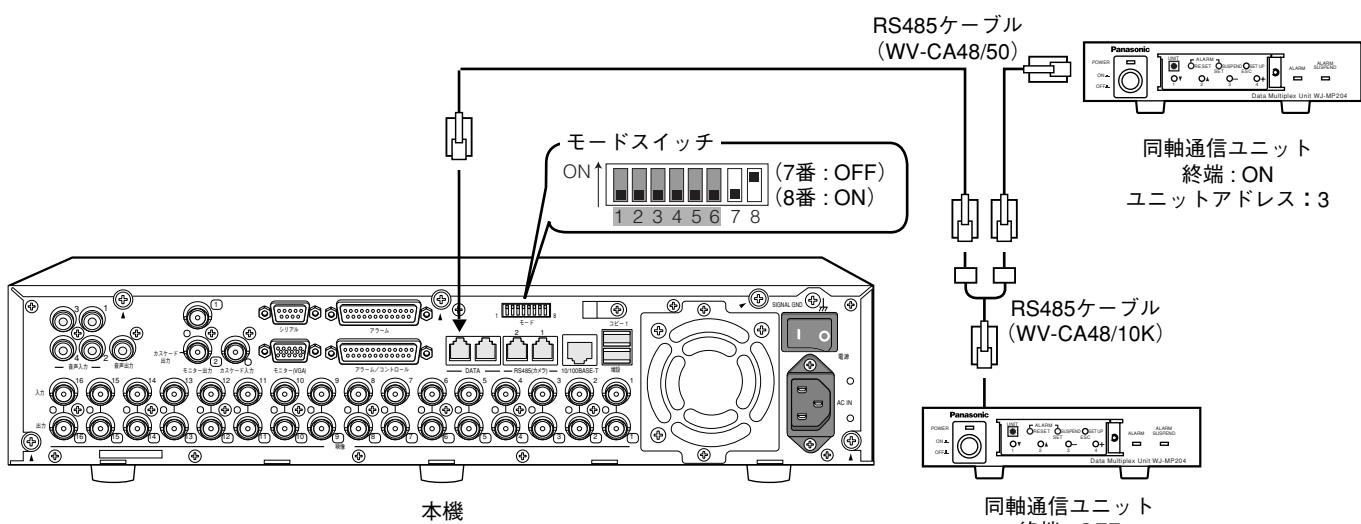
本機がコントローラーとシステム機器の間に入る場合



SETUP MENU「通信」の「PS・Data設定」

- ユニットアドレス (システム) : 1
- ユニットアドレス (コントローラー) : 2

本機をシステム機器と接続して使用する場合



SETUP MENU「通信」の「PS・Data設定」

- ユニットアドレス (システム) : 1
- ユニットアドレス (コントローラー) : 1

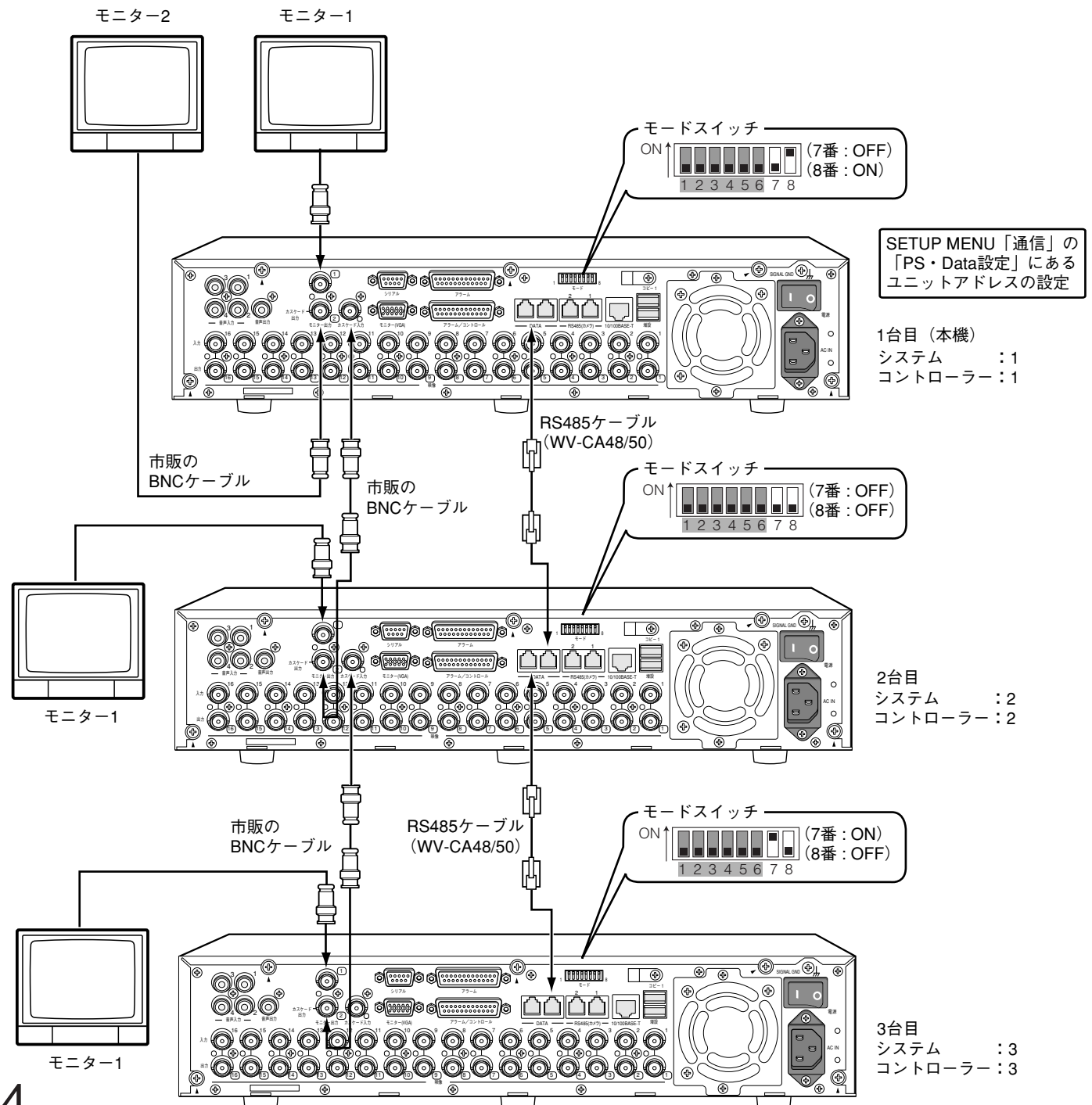
本機を複数台カスケード接続する場合の接続方法

本機は最大4台まで接続して使用できます。

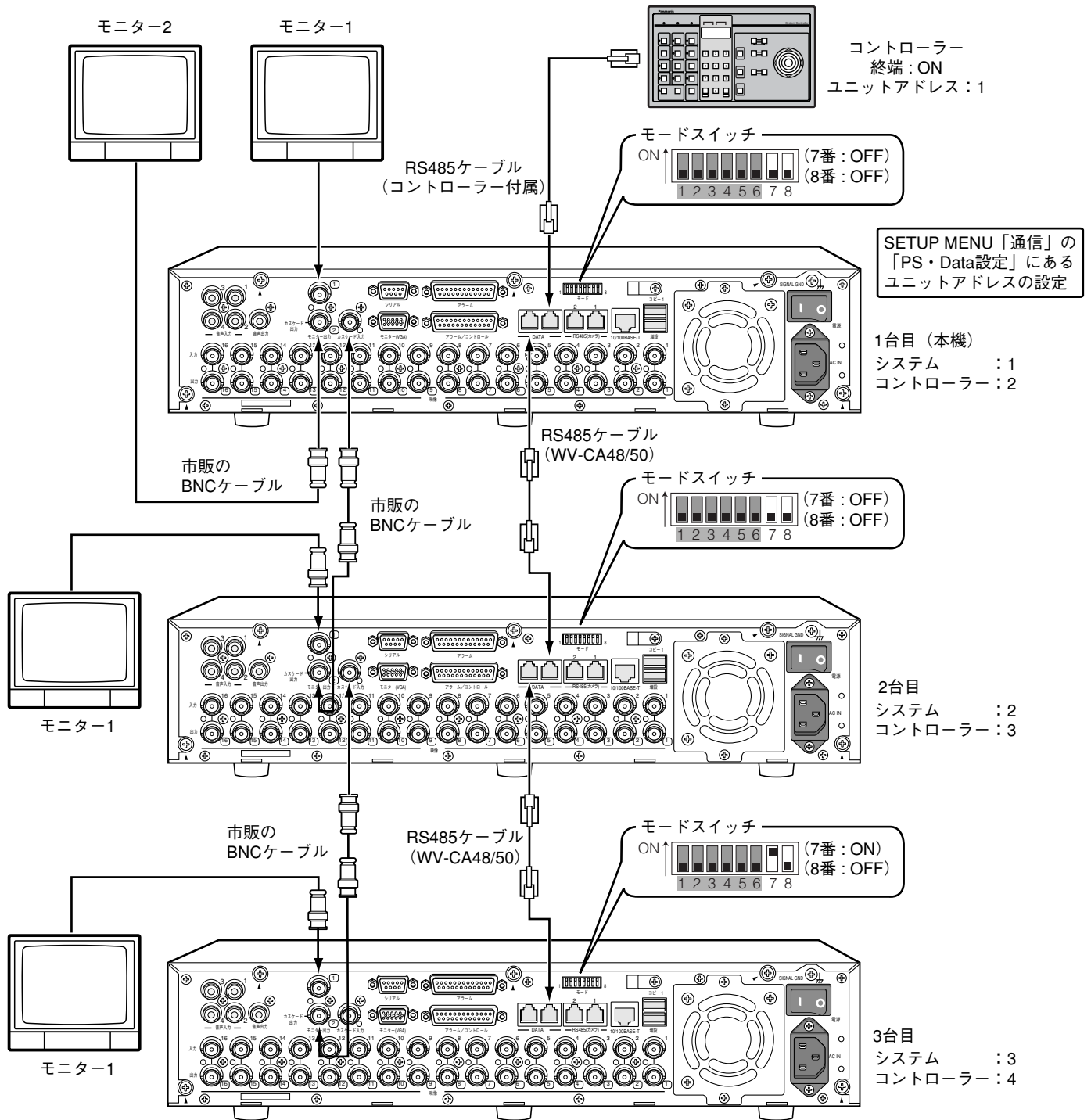
接続は後面のカスケード入力端子、カスケード出力端子 (モニター2端子と兼用) を使用します。

- 重要**
- 本機を複数台カスケード接続して使用する場合、SETUP MENUの「通信」にある「PS・Data設定」の「カスケード」を「ON」にしてください。(P.184ページ)
 - 本機を複数台カスケード接続する場合、モニター (VGA) 端子は使用できません。
 - ユニットアドレスはPS・Dataの機器間で重ならないように設定してください。
 - 複数台カスケード接続する場合、WJ-HD350シリーズのみで構成してください。

本機にPS・Data機器を接続しない場合



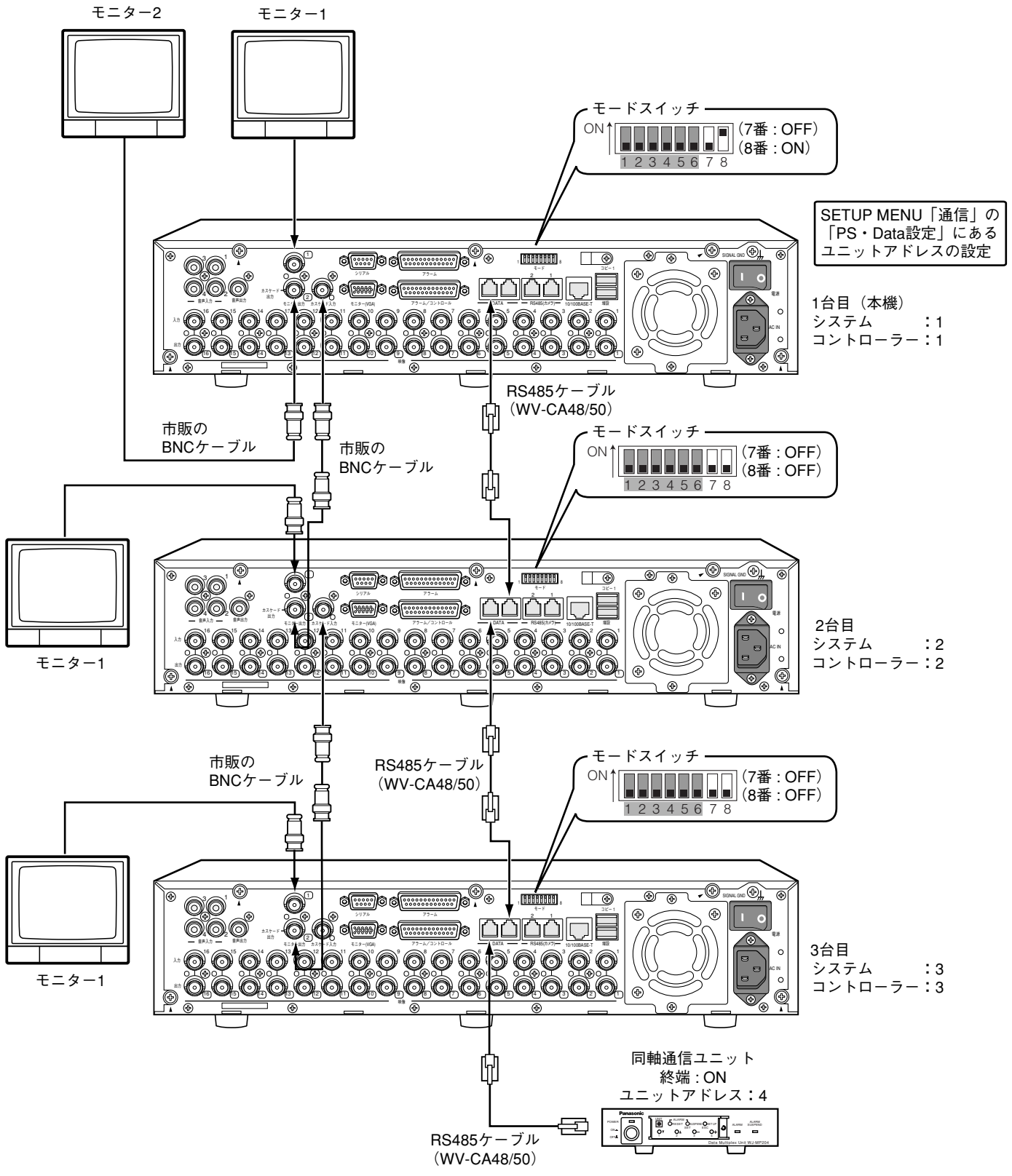
本機1台目にPS・Data対応のコントローラーを接続する場合



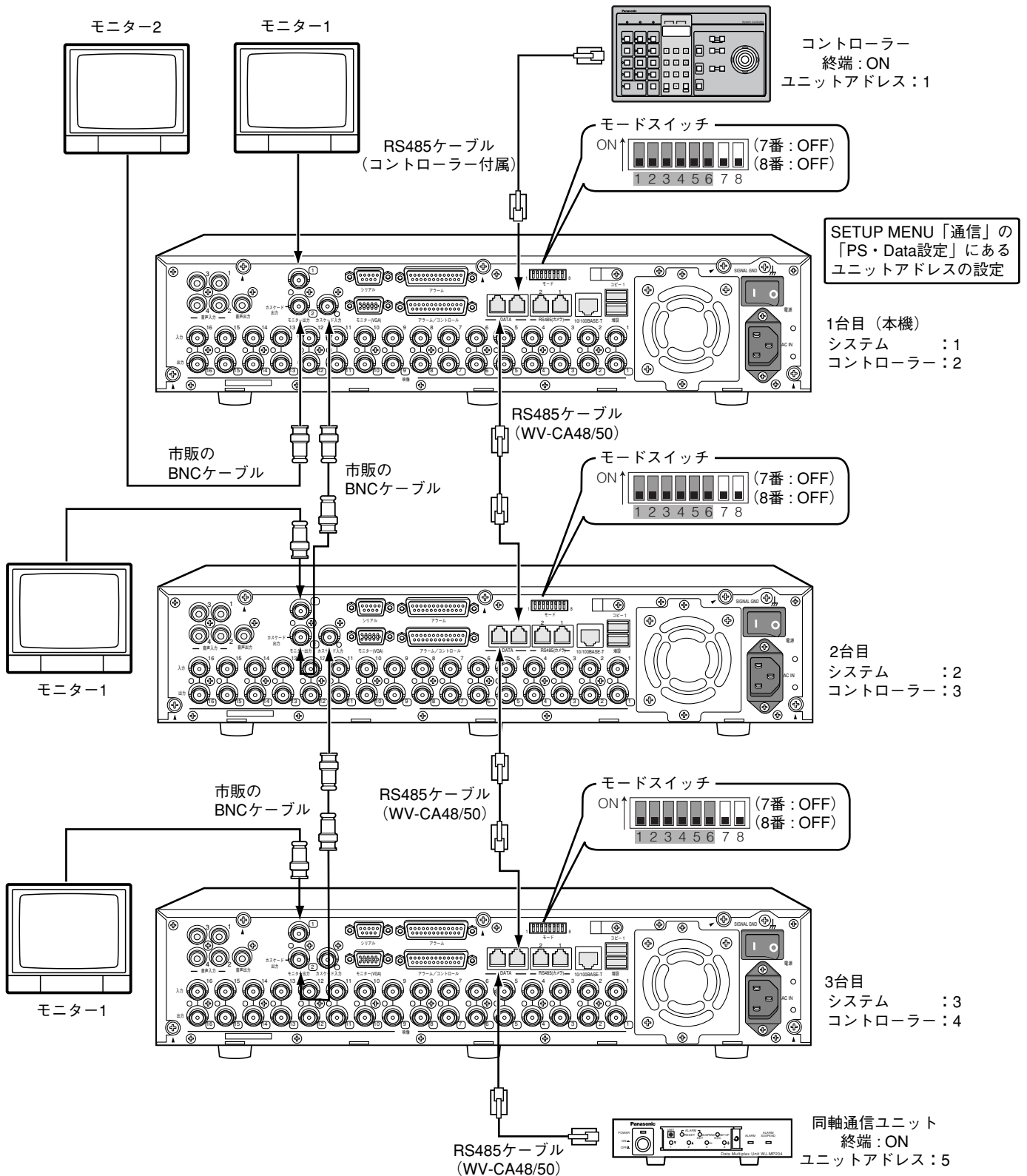
接続する (つづき)

3台目にPS・Data対応のシステム機器を接続する場合

設置



本機1台目と3台目にPS・Data対応のコントローラー・システム機器を接続する場合



RS485カメラとの接続方法

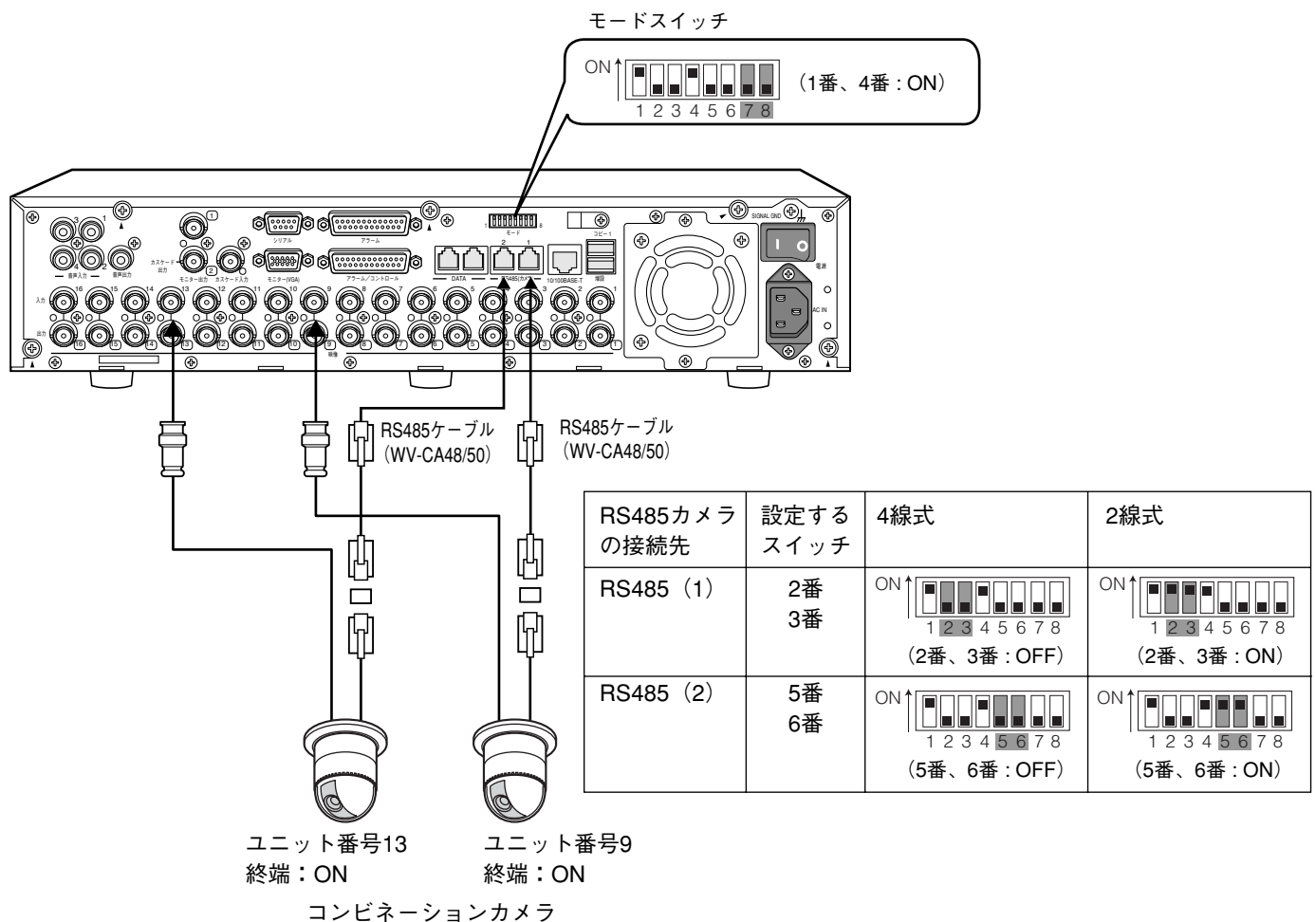
本機にRS485カメラを接続して使用する場合の接続例を紹介します。
1つのRS485のカメラポートに最大8台までのカメラを接続できます。

- 接続の両端になる機器は終端設定を「ON」にしてください。本機の終端設定はモードスイッチで行います。(P.107ページ)
- RS485カメラを接続して使用する場合、SETUP MENUの「通信」にある「RS485設定」の各項目をカメラのRS485設定と合わせて設定してください。(P.186ページ)
- 本機からRS485ケーブルの総延長距離は1 200 mです。

1対1接続

RS485ポートに1台のカメラを接続します。

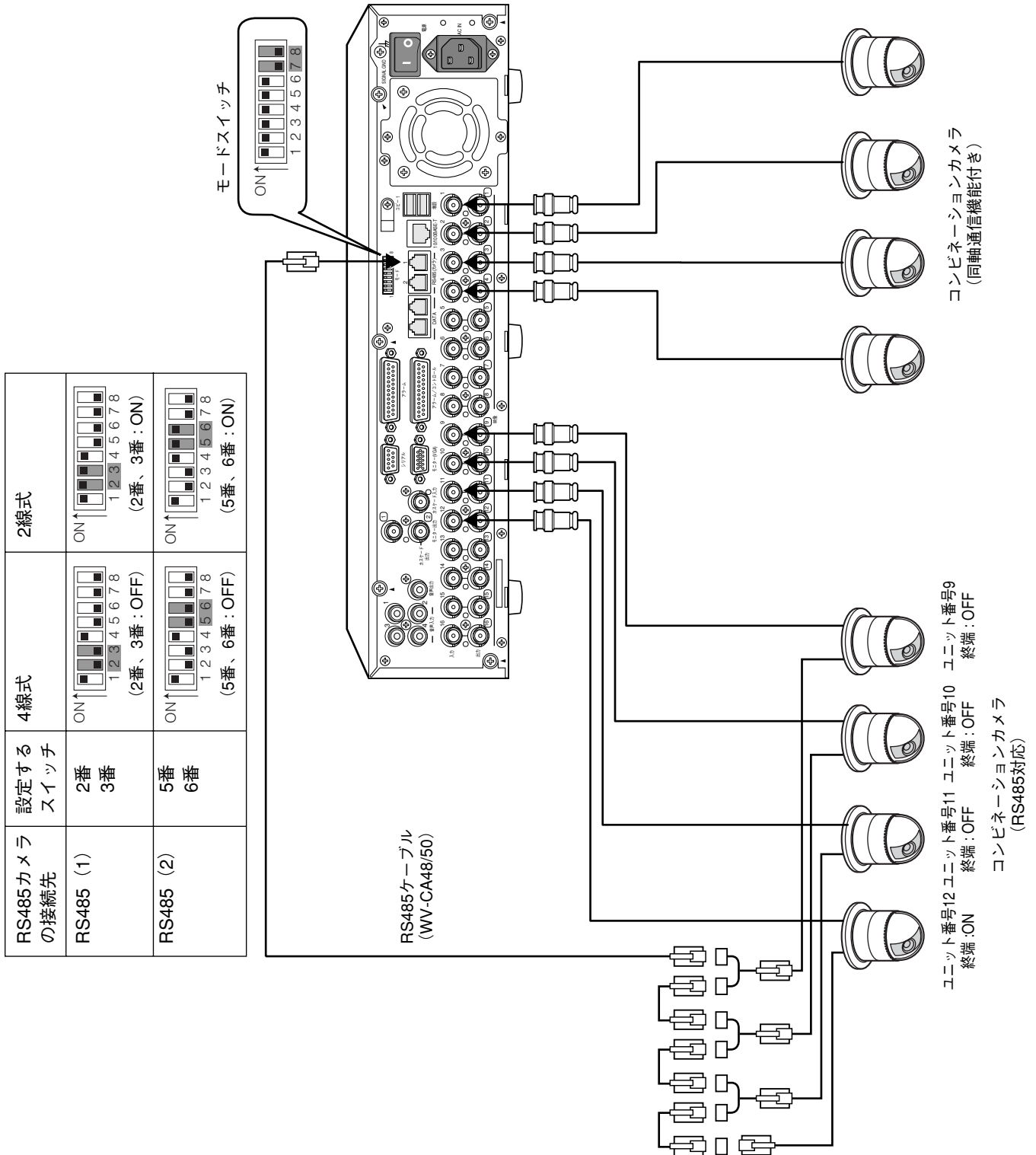
例) 映像入力端子9、13にRS485カメラを接続する場合



デジータ接続

RS485ポートに複数台のカメラを接続します。

例) 映像入力端子1~4にカメラ1~4 (同軸通信)、RS485ポート1にカメラ9~12 (RS485) を接続する場合

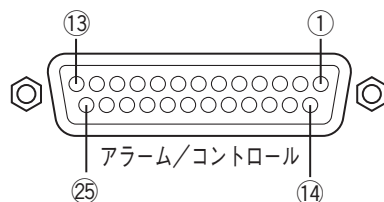


アラーム／コントロール端子の使いかた

この端子は、緊急録画や自動時刻合わせ機能、停電対策、ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するとき
に使用します。また、シーケンス表示切換の同期をとるときにも使用します。

端子のピン配列と接続例は次のとおりです。使用するコネクタは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列



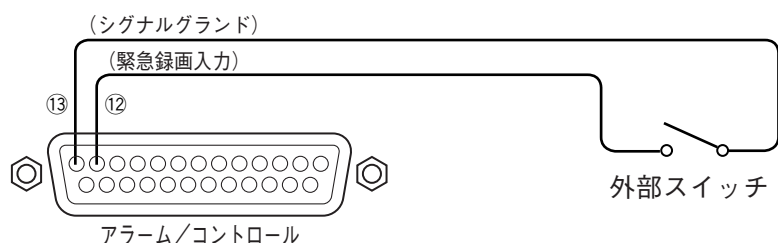
ピン配列は他のデジタルディスクレコーダーと異なります。必ず、下記に従って接続してください。

ピン番号	名称	動作内容	備考
①	8CHアラーム出力	イベント発生時アラーム信号を	オープンコレクタ出力
②	9CHアラーム出力	出力する	最大24 V、100 mA
③	10CHアラーム出力	10～16CHのアラーム信号の出力	
④	11CHアラーム出力	は、WJ-HD350のみ有効です。	
⑤	12CHアラーム出力		
⑥	13CHアラーム出力		
⑦	14CHアラーム出力		
⑧	15CHアラーム出力		
⑨	16CHアラーム出力		
⑩	使用しない		
⑪	アラーム復帰入力	本機のアラーム表示を解除する	無電圧メーク接点入力
⑫	緊急録画入力	信号入力により、緊急録画を開 始する	／-100 mA、5 Vプルアップ
⑬、⑭	シグナルグランド		
⑮	コピー端子接続機器 残量警告出力	DVD-RAM、DVD-R、CD-Rの 残容量警告時に信号を出力する	オープンコレクタ出力 最大24 V、100 mA
⑯	HDD異常出力	HDDの異常を検出したときに信号 を出力する	
⑰	カメラ異常出力	カメラの異常を検出したときに信号 を出力する	
⑱	異常出力	本機の異常を検出したときに信号 を出力する	
⑲	停電処理完了出力	停電処理完了時に信号を出力する	High (+12 V)
⑳	時刻合わせ入出力	信号入力により、本機の時刻を設 定されている時刻に合わせ、本機 の設定時刻に信号を出力し、他の 機器の時刻を本機の時刻に合わせる	30 kΩ 5 Vプルアップ、 -100 mA／メーク接点
㉑	シーケンス切換入出力	信号入力によりシーケンスを切り換 え、シーケンス切換時に信号を出力 する	
㉒	アラーム抑止入力	信号入力によりアラーム抑止状態に する	無電圧メーク接点入力 ／-100 mA、5 Vプルアップ
㉓	停電検出入力	信号入力により停電処理を起動	
㉔	外部録画モード切換	外部録画モードに切り換える	
㉕	+5 V出力	+5 V出力	最大200 mA

緊急録画を行う場合の接続

外部スイッチを「入」にすると、緊急録画が開始されます。

SETUP MENU「録画」の「緊急録画」の設定内容（☞158ページ）によって、録画時間や録画レート、画質など緊急録画時の動作が異なります。



外部録画切り換えを行う場合の接続

外部スイッチを「入」にすると、録画プログラムを切り換えて録画します。

録画のプログラムは、SETUP MENU「スケジュール」の「タイムテーブル」で「外部録画モード」（☞171ページ）として設定したプログラムです。



シーケンス表示切替の同期を取る（本機を複数台使用する）場合の接続

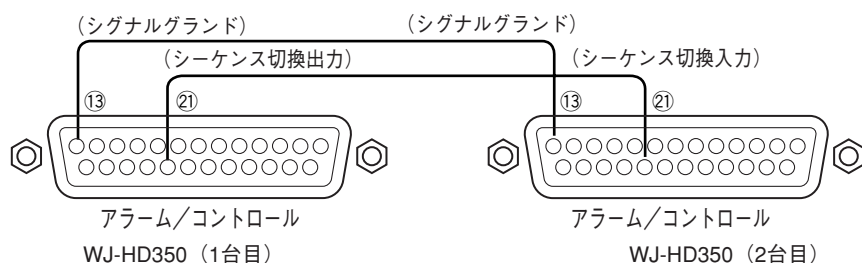
シーケンス切替入力に信号が入力されたタイミングで、シーケンス表示を切り換えます。本機を複数台使用する場
合、画面の切替タイミングを合わせることができます。

画面の切替タイミングの設定は、SETUP MENU「スイッチャー」にある「シーケンスタイミング」（☞176ページ）で行います。

複数台でシーケンスの同期をとる場合、同期を取る側（Master）と同期を取られる側（Slave）ではシーケンス
タイミングの設定が以下のように異なります。

同期を取る側（Master）：「INT」（出力端子として動作）に設定

同期を取られる側（Slave）：「EXT」（入力端子として動作）に設定



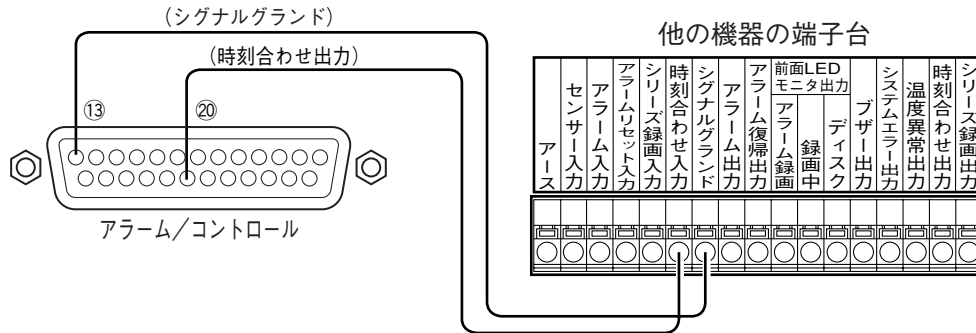
接続する（つづき）

設置

自動時刻合わせ機能の接続

● SETUP MENU「システム」の「自動時刻合わせ」が「MASTER」の場合

「時刻合わせ出力」が使用可能になり、他の機器の時刻を本機の設定時刻に合わせることができます。「動作時刻」で設定した時刻になると、時刻合わせ入出力（20番ピン）から信号を出力します。

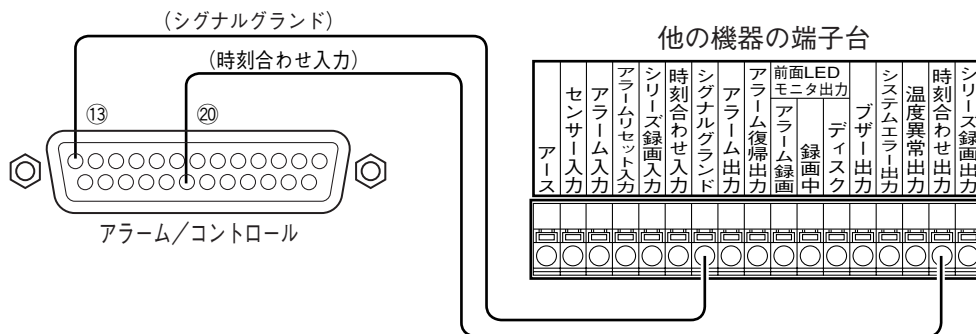


● SETUP MENU「システム」の「自動時刻合わせ」が「SLAVE」の場合

「時刻合わせ入力」が使用可能になり、「動作時刻」で設定した時刻±15分の間に時刻合わせ入出力端子へ他の機器から出力した信号が入力すると、本機の時刻を「動作設定」で設定した時刻に設定します。

例：「動作時刻」の設定が15：00のとき

- 午後2時50分00秒に信号を入力 → 午後3時00分00秒に設定
- 午後3時14分45秒に信号を入力 → 午後3時00分00秒に設定
- 午後3時20分00秒に信号を入力 → 時刻合わせは実行されません



- 「自動時刻合わせ」が「SLAVE」のとき、本機の録画状態により動作が異なります。

録画をしていないとき

マニュアル録画中 時刻合わせが実行されます。

スケジュール録画中

イベント録画中* 時刻合わせは実行されません。

緊急録画中

※1CHでもイベント録画が行われているとき

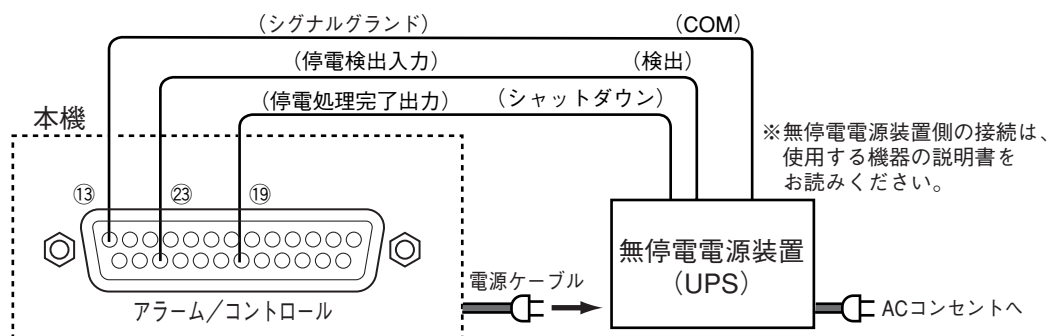
- 録画中に時刻合わせが実行されると、約4秒間録画が行われません。

無停電電源装置（UPS）の接続

停電対策のために設置する無停電電源装置（UPS）の接続例です。

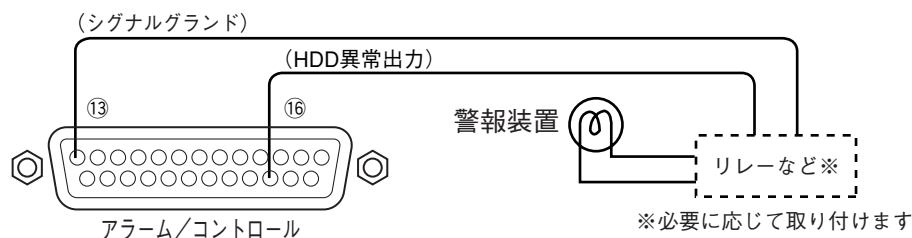
無停電電源装置（UPS）から停電検出入力に信号が入力されると、本機の電源を切るための内部処理（安全に録画を停止する）が開始されます。

内部処理終了時に、停電処理完了出力から無停電電源装置（UPS）に信号を出力し、本機への電源供給を止めてもよい状態になります。



制御出力の接続

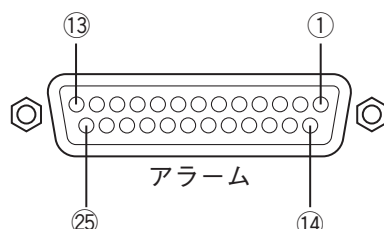
- ピン番号15～18の信号出力には、ブザーやランプなどの警報装置を接続することにより、信号出力時にブザーを鳴らしたりランプを点灯して動作状態を知らせることができます。
- HDD異常出力（16番ピン）の接続を例に説明します。



アラーム端子の使いかた

この端子は、センサーやドアスイッチなど、アラームに関する装置を接続するときに使用します。端子のピン配列と接続例は次のとおりです。使用するコネクタは、ピン配列に合わせて製作してください。

ピン配列



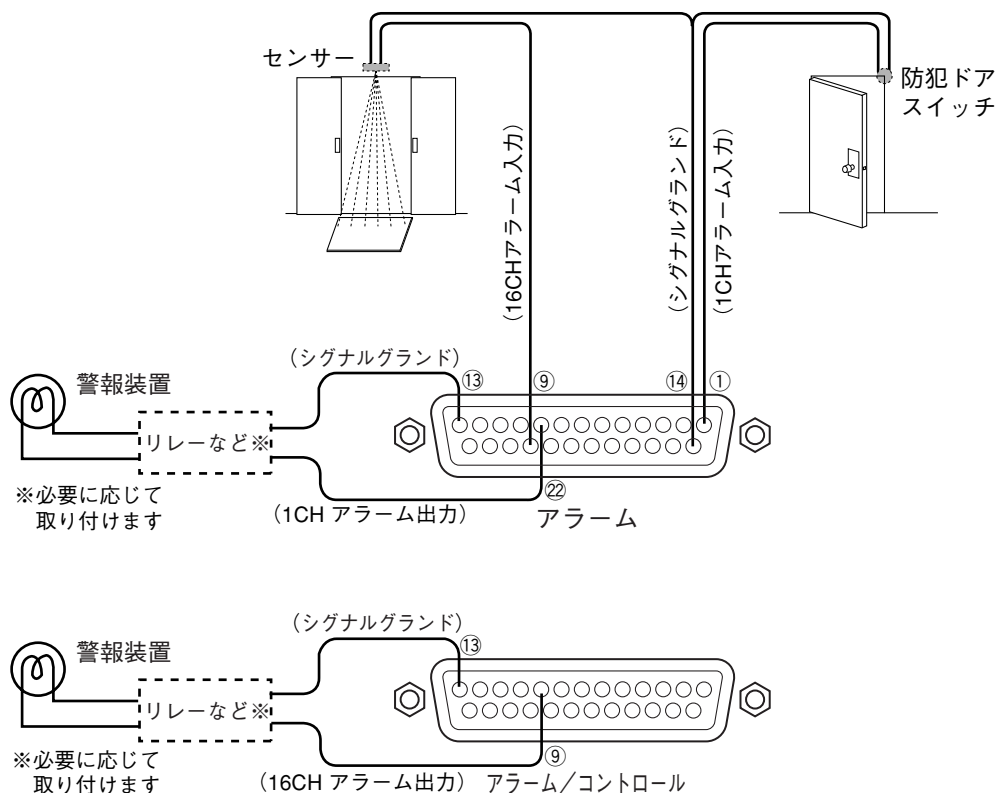
ピン配列は他のデジタルディスクレコーダーと異なります。必ず、下記に従って接続してください。

ピン番号	名称	動作内容	備考
①	1CHアラーム入力	設定に従ったイベント動作を行う	無電圧メーク接点入力
②	2CHアラーム入力		／-100 mA、5 Vプルアップ
③	3CHアラーム入力		
④	4CHアラーム入力		
⑤	5CHアラーム入力		
⑥	6CHアラーム入力		
⑦	7CHアラーム入力		
⑧	8CHアラーム入力		
⑨	1CHアラーム出力	イベント発生時アラーム信号を出力する	オープンコレクタ出力
⑩	2CHアラーム出力		最大24 V、100 mA
⑪	3CHアラーム出力		
⑫	4CHアラーム出力		
⑬、⑭	シグナルグランド		
⑮	9CHアラーム入力	設定に従ったイベント動作を行う	無電圧メーク接点入力
⑯	10CHアラーム入力	10~16CHアラーム入力は、WJ-	／-100 mA、5 Vプルアップ
⑰	11CHアラーム入力	HD350のみ有効です。	
⑱	12CHアラーム入力		
⑲	13CHアラーム入力		
⑳	14CHアラーム入力		
㉑	15CHアラーム入力		
㉒	16CHアラーム入力		
㉓	5CHアラーム出力	イベント発生時アラーム信号を出力する	オープンコレクタ出力
㉔	6CHアラーム出力		最大24 V、100 mA
㉕	7CHアラーム出力		

アラーム接続

1～16CH (WJ-HD309は1～9CH) のアラーム入力に信号が入力されると、設定内容に従った録画動作やカメラ映像の表示を行います。

ブザーやランプなどの警報装置を外部に設置するときは、アラーム出力 (9～12番ピン、23～25番ピン)、またはアラーム/コントロール端子のアラーム出力 (1～9番ピン、WJ-HD309は1～2番ピン) に接続します。



アラーム/コントロール端子、アラーム端子の時間と極性

端子	アクティブ時間	備考
アラーム入力	100 ms以上	N.O.時：Lアクティブ N.C.時：Hアクティブ
アラーム出力	SETUP MENUでの設定時間	Lアクティブ
アラーム復帰入力	100 ms以上	Lアクティブ
緊急録画入力	100 ms以上	Lアクティブ
コピー端子接続機器残量警告出力	残容量の規定量以下の間	Lアクティブ
HDD異常出力	エラー発生～半復帰まで	Lアクティブ
カメラ異常出力	エラー発生～復帰まで	Lアクティブ
異常出力	エラー発生～半復帰まで	Lアクティブ
停電処理完了出力	100 ms	Hアクティブ
時刻合わせ入出力	入力：100 ms以上 出力：1 s	
シーケンス切換入出力	100 ms以上	Lアクティブ
停電検出入力	5 s以上	Lアクティブ
外部録画モード切換	100 ms以上	Lアクティブ、レベル判定
アラームサスペンド入力	100 ms以上	Lアクティブ、レベル判定

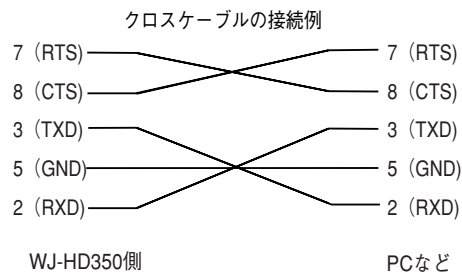
シリアル端子の使いかた

この端子はRS232C規格に準拠しており、PCを接続して通信を行うときに使用します。
接続例とシリアル端子のピン配列は次のとおりです。

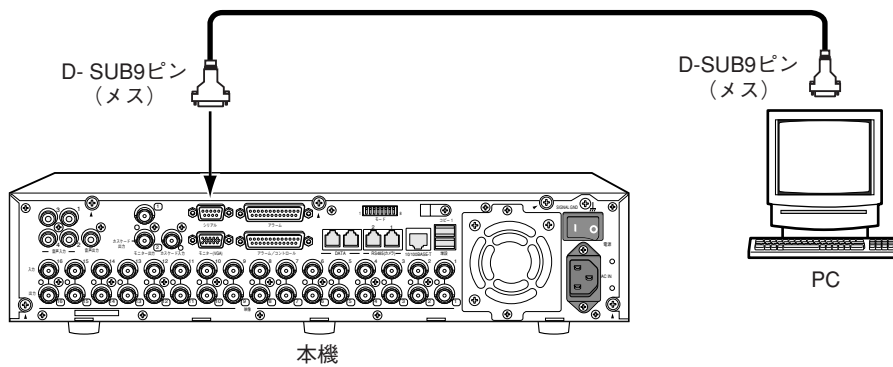
設置

- **重要** シリアル端子を使用するときは、SETUP MENU「通信」の「RS232C設定」を表示して、通信機能の設定を行う必要があります。（P.187ページ）

ピン配列



接続例



SETUP MENU – 簡単設定

本機を操作する場合、あらかじめSETUP MENUで各項目を設定しておく必要があります。

SETUP MENU の操作は、モニター2にSETUP MENUを表示して行います。

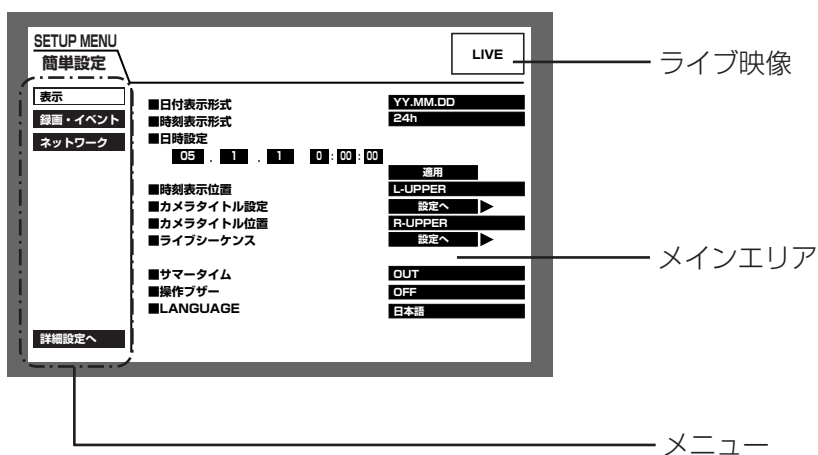
SETUP MENUには簡単設定と詳細設定があります。まず、簡単設定の設定内容を確認し、設定を行ってください。さらに詳細な設定を行いたい場合は、詳細設定で設定を行います。詳細設定については141ページをお読みください。

ここでは、簡単設定について説明します。

簡単設定メニュー一覧

設定項目	概要	ページ
表示	表示に関する設定や本機の基本的な動作に関する設定を行います。	129
録画・イベント	本機の録画動作やアラームに関する基本設定を行います。	134
ネットワーク	ネットワークに関する基本設定を行います。	140

簡単設定の画面表示について



メニュー : 簡単設定の画面に常に表示されます。

ライブ映像 : 簡単設定を表示する直前に表示していたカメラのライブ映像が表示されます。

メインエリア : 選択したメニューの設定項目が表示されます。

簡単設定の基本的な操作のしかた

画面1

SETUP MENUのトップページ（簡単設定）が表示されます。



画面2

メインエリアに設定項目が表示され、カーソルが設定項目に移動します。



- 1 ライブ映像表示中に「設定/ESC」ボタンを長押し（2秒以上）します。

簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」（☞134ページ）が「ADVANCED（詳細）」に設定されている場合、詳細設定のトップページが表示されます。メニューで「簡単設定へ」を選択すると、簡単設定のトップページが表示されます。

- 2 十字ボタンの▼または▲を押してメニューを選択し、「セット」ボタンを押します。

- 3 各設定項目を設定します。
設定項目の選択：十字ボタン（▼▲◀▶）を押してカーソルを移動します。

設定内容の切り換え

：ジョグダイヤル（内側）を回します。

設定項目の設定画面をポップアップ表示

：「設定へ」が表示されている設定項目で「セット」ボタンを押します。

メニューが選択できる状態に戻る

：「設定/ESC」ボタンを押します。

詳細設定の画面を表示する

：十字ボタンの▼または▲を押してカーソルを「詳細設定へ」に合わせ、「セット」ボタンを押します。

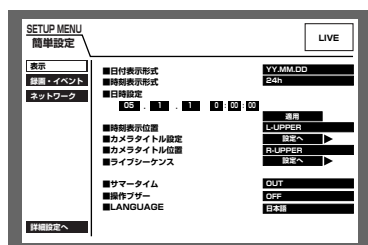
- 4 設定内容を本機に反映するときは、再度「設定/ESC」ボタンを長押し（2秒以上）します。
→ライブ映像の表示に戻ります。



● 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。

表示・システムに関する設定 [表示]

日付や時刻、カメラタイトルの表示などモニターの表示に関する設定と、日時合わせや言語設定などシステムに関する基本設定を行います。



■日付表示形式

日付の表示形式を以下から設定します。(例：2005年4月1日の場合)

YY.MM.DD : 05.4.1と表示します。

MMM.DD.YY : APR.1.05と表示します。

DD.MMM.YY : 1.APR.05と表示します。

■時刻表示形式

時刻の表示形式を以下から設定します。(例：午後3時00分00秒の場合)

24h : 15:00:00と表示します。

12h : 3:00:00PMと表示します。

■日時設定

現在の日付時刻を設定します。

年・月・日・時・分・秒の順に数値を入力し「適用」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



- 日付時刻を設定した直後、約4秒間は録画が行われません。

■時刻表示位置

時刻表示の表示位置を以下から設定します。

L-UPPER : 画面左上に表示します。

R-UPPER : 画面右上に表示します。

L-LOWER : 画面左下に表示します。

R-LOWER : 画面右下に表示します。



- 映像の録画時、合わせて時刻表示も録画するよう設定している場合は、この設定で指定された位置に時刻表示が埋め込まれます。
- 時刻埋め込みについては157ページをお読みください。

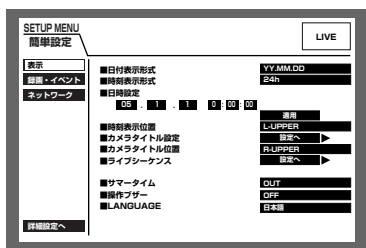
SETUP MENU – 簡単設定 (つづき)

■カメラタイトル設定

カメラタイトルを設定します。カメラタイトルはモニター1／モニター2に表示およびカメラ映像の録画時に映像の一部として録画されます (※157ページ)。以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。

画面1

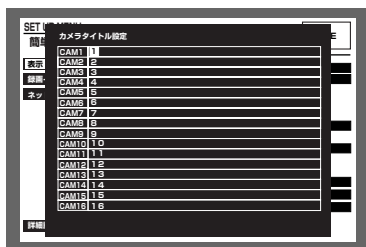
表示の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの (▼) または (▲) を押して「カメラタイトル設定」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

カメラタイトル設定画面がポップアップ表示されます。



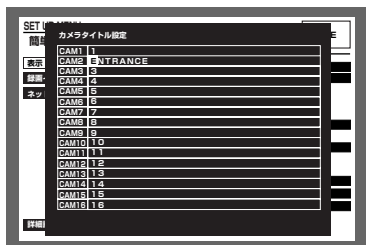
- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、「CAM1」のタイトル入力欄にカーソルを合わせます。
- 3 ジョグダイヤル (内側) を回して、入力する文字を選択します。
タイトルは半角16文字以内で入力します。
- 4 十字ボタンの▶を押して、カーソルを入力した文字の右に移動します。
手順3、4を繰り返して、カメラタイトルを入力します。



- カメラタイトルに設定できる文字は以下のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G H I J K L
M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i
j k l m n o p q r s t u v w x y z アイウエオカ
キクケコサシスセソタチツテトナニヌネ
ノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
ロワン`°ヲアイウエオヤユヨッー? ” #
& () * + , - . / : ; (スペース)
- 入力した文字を修正したいときは、修正した文字にカーソルを合わせ、[停止] ボタンを押して、削除します。その後、文字を入力し直します。



カメラタイトルが入力されます。



5

[設定/ESC] ボタンを押します。
→カメラタイトルの入力確定し、カメラタイトル設定画面が閉じます。



- PCからネットワークを経由して設定を行うと、モニター2に表示されるカメラタイトル（表示）とモニター1に表示・埋め込まれるカメラタイトル（埋め込み）を個別に設定できます。詳しくは取扱説明書 ネットワーク設定編をお読みください。

■カメラタイトル位置

カメラタイトルの表示位置を以下から設定します。

- L-UPPER : 画面左上に表示します。
- R-UPPER : 画面右上に表示します。
- L-LOWER : 画面左下に表示します。
- R-LOWER : 画面右下に表示します。
- CENTER : 画面中央に表示します。



- 映像の録画時、合わせてカメラタイトルも録画するよう設定している場合は、この設定で指定された位置にカメラタイトルが埋め込まれます。
- カメラタイトル埋め込みについては157ページをお読みください。

SETUP MENU – 簡単設定 (つづき)

■ライブシーケンス

カメラ映像のシーケンス動作を設定します。以下の手順に従って、シーケンス動作を設定します。

画面1

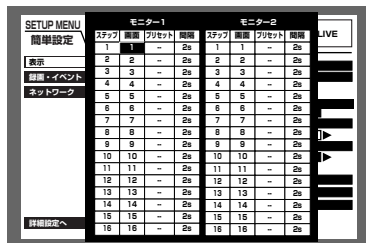
表示の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「ライブシーケンス」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

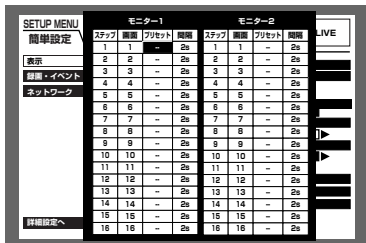
ライブシーケンス設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、ステップ1の「画面」欄にカーソルを合わせます。
- 3 ジョグダイヤル (内側) を回して、ステップ1で表示するカメラ映像を以下から選択します。
 - 1~16 (WJ-HD350のみ) : 選択したカメラCHの映像を1画面表示します。
 - 1~9 (WJ-HD309のみ) : 選択したカメラCHの映像を1画面表示します。
 - 1-4 : 1~4CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 5-8 : 5~8CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 9-9 (WJ-HD309のみ) : 9CHのカメラ映像を4画面の左上に表示します。
 - 9-12 (WJ-HD350のみ) : 9~12CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 13-16 (WJ-HD350のみ) : 13~16CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 1-9 : 1~9CHのカメラ映像を9画面表示します。
 - 10-16 (WJ-HD350のみ) : 10~16CHのカメラ映像を9画面表示します。
 - : スキップします。
- 4 手順3で1画面表示のカメラCHを選択した場合は、カメラの位置を選択します。十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、ステップ1の「プリセット」にカーソルを合わせます。

画面3

ステップ1の「プリセット」にカーソルが移動します。



- 5 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステップ1で表示するカメラの位置を以下から選択します。
1～256：選択したプリセット番号へ移動します。
――：プリセット移動しません。
カメラ選択ボタン（1～10/0、WJ-HD309では1～0）を押しても選択できます。

- 6 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、ステップ1の「間隔」欄にカーソルを合わせます。

画面4

ステップ1の「間隔」欄にカーソルが移動します。



- 7 ジョグダイヤル（内側）を回して、次のシーケンスステップに切り換わるまでの時間を、1 s～30 sの間で1秒単位で設定します。
手順2～7を繰り返して、他のシーケンスステップの設定を行います。
- 8 [設定/ESC] ボタンを押します。
→シーケンス動作が設定され、シーケンス設定画面が閉じます。

■サマータイム

サマータイムの切り換え方法を以下から設定します。

OUT：サマータイムを設定しません。

IN：時刻をサマータイムにします。

AUTO：サマータイム切り換え設定の設定内容に従って時刻をサマータイムに切り換えます。

サマータイム切り換え設定については149ページをお読みください。

■操作ブザー

ボタン操作時にブザーを鳴らすかどうかをON/OFFで設定します。

ON：ボタン操作時にブザーを鳴らします。

OFF：ボタン操作時にブザーを鳴らしません。

■LANGUAGE

SETUP MENUの言語を以下から設定します。

日本語/英語 (ENGLISH) /フランス語 (FRANÇAIS) /スペイン語 (ESPAÑOL) /ドイツ語 (DEUTSCH)

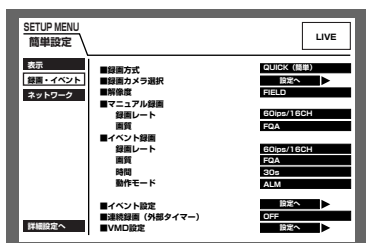
/イタリア語 (ITALIANO) /ロシア語 (РУССКИЙ) /中国語 (中文)



- 「LANGUAGE」を変更しても、PCから本機にアクセスしたときのウェブブラウザに表示される言語は変更されません。

録画とイベントに関する設定 [録画・イベント]

録画に関する基本設定とイベントの種類（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）ごとにイベント発生時の動作に関する設定を行います。



■録画方式

「簡単設定」と「詳細設定」のどちらの設定内容で録画するかを設定します。

QUICK（簡単）：簡単設定で設定した内容で録画されます。

ADVANCED（詳細）：詳細設定で設定した内容で録画されます。



- 「QUICK（簡単）」に設定すると、[設定／ESC] ボタンを長押し（2秒以上）してSETUP MENUを表示したとき、簡単設定のトップページが表示されます。「ADVANCED（詳細）」に設定すると、詳細設定のトップページが表示されます。
- また、「QUICK（簡単）」に設定すると、詳細設定「スケジュール」の以下の設定が機能しません。これらの設定を機能させたい場合は「ADVANCED（詳細）」に設定してください。

サブメニュー	設定項目		動作	
タイムテーブル	FTP定期送信		動作しません。	
	障害メール通知		動作しません。	
	エラーメール通知		動作しません。	
	NW配信量		「制限無し」で動作します。	
録画PROG	録画PROG1～4		詳細設定で設定した内容では動作しません。簡単設定で設定した内容で動作します※。	
イベントPROG	VMD 端子／コマンドアラーム ビデオロス	カメラ動作	録画	<VMD・端子／コマンドアラーム> イベントCHと同じ番号のカメラCHのみ録画します。ただし、簡単設定の「録画・イベント設定」－「録画カメラ選択」で選択されていないカメラCHは録画されません。 <ビデオロス> ビデオロスしたカメラCH以外を録画します。ただし、簡単設定の「録画・イベント設定」－「録画カメラ選択」で選択されていないカメラCHは録画されません。
			自動コピー	動作しません。
			プリセットポジション	動作しません。
			シリアル通知	動作します。
			アラームメール送信	動作しません。
			FTPアラーム送信	動作しません。
			スペシャルデー	動作しません。

※スケジュール録画を行う場合、「録画方式」の設定を「ADVANCED（詳細）」に設定し、「タイムテーブル」 「録画PROG」を設定してください。

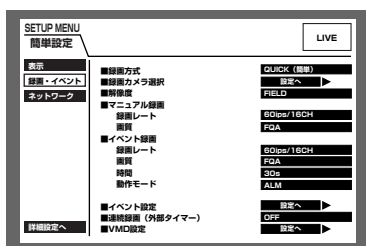
■録画カメラ選択

マニュアル録画／イベント録画時に録画するカメラCHを設定します。

以下の手順に従って、録画するカメラCHを選択します。

画面1

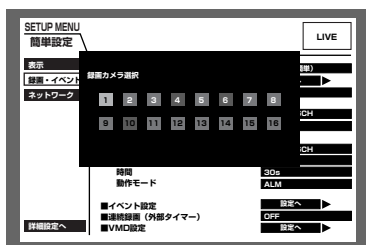
録画・イベントの画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「録画カメラ選択」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

録画カメラ選択画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、録画したいカメラ CH にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを回します。カメラ選択ボタン [1] ~ [16] (WJ-HD309は [1] ~ [9]) を押しても選択できます。
- 3 [設定/ESC] ボタンを押します。
→カメラCHが設定され、録画カメラ選択画面が閉じます。

■解像度

録画する映像の解像度を以下から設定します。

FRAME 3D ON : 高解像度 (720×480)、画ブレ補正付き
FRAME 3D OFF : 高解像度 (720×480)
FIELD : 標準解像度 (720×240)
SIF : 低解像度 (360×240)



- SETUP MENUの設定内容を変更し、SETUP MENUを終了した場合、約4秒間録画が行われません。



- 「FRAME 3D ON」では動きの激しい被写体でもブレの少ない映像で記録できます。

SETUP MENU－簡単設定（つづき）

■マニュアル録画

マニュアル録画時の録画レートと画質を設定します。

設定できる録画レートは以下のとおりです。

OFF/2 ips/3 ips/5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/15 ips/30 ips/60 ips/120 ips

また、録画レートの右に「■録画カメラ選択」で設定したカメラCHの数が表示されます。

(例) WJ-HD350の場合、60 ips/16CH：16台のカメラを合計60 ips（カメラ1台あたり3 ips）でマニュアル録画します。

画質は以下から設定します。

SFA/SFB : 最高画質 (SUPER FINE)

FQA/FQB : 高画質 (FINE)

NQA/NQB : 標準画質 (NORMAL)

EXA/EXB : 低画質 (EXTENDED)



- 解像度により、設定できる録画レートが異なります。
FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF : 30 ipsまで
FIELD : 60 ipsまで
SIF : 120 ipsまで

「**A」は、動きの少ない映像に適しています。

「**B」は、動きの多い映像に適しています。

■イベント録画

イベント（動き検出、ビデオロス、端子/コマンドアラーム）発生時に録画する際の録画レート、画質、録画時間、動作モードを設定します。

設定できる録画レートは以下のとおりです。

OFF/2 ips/3 ips/5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/15 ips/30 ips/60 ips/120 ips

また、録画レートの右に「■録画カメラ選択」で設定したカメラCHの数が表示されます。

(例) WJ-HD350の場合、60 ips/16CH：16台のカメラを合計60 ips（カメラ1台あたり3 ips）でイベント録画します。カメラ1台あたりの録画レートは固定されます。

画質は以下から設定します。

SFA/SFB : 最高画質 (SUPER FINE)

FQA/FQB : 高画質 (FINE)

NQA/NQB : 標準画質 (NORMAL)

EXA/EXB : 低画質 (EXTENDED)



- 解像度により、設定できる録画レートが異なります。
FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF : 30 ipsまで
FIELD : 60 ipsまで
SIF : 120 ipsまで

「**A」は、動きの少ない映像に適しています。

「**B」は、動きの多い映像に適しています。

時間（録画時間）は以下から設定します。

1 s~10 s（1秒単位で設定可）/20 s/30 s/1 min~10 min（1分単位で設定可）/20 min/30 min/40 min/50 min/60 min

MANUAL：イベントの種類によって以下のようになります。

- ・動き検出時 -8秒間
- ・ビデオロス時 -ビデオロス中
- ・端子アラーム時 -信号が入力されている間
- ・コマンドアラーム時 -8秒間



- 録画時間が「MANUAL」に設定されているとき、アラーム動作を解除しなければ、最低8秒間録画を行います。

CONTINUE：[アラーム復帰] ボタンを押すまで録画を行います。

動作モードは以下から設定します。各動作モードについての詳細は、73ページをお読みください。

ADM（アクティビティディテクションモード）

：イベント発生時、録画とイベント発生履歴（イベント入力ログ）への書き込みのみ行います。その他のイベント動作は行いません（■録画方式が「QUICK（簡単）」に設定されているときはカメラのプリセット移動は動作しません）。

ALM（アラームモード）

：すべてのイベント動作を設定に従って行います。

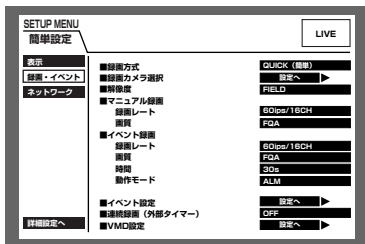
OFF：イベント入力ログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

■ イベント設定

イベントの種類（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）ごとにアラームの出力時間とブザー鳴動の時間を設定します。以下の手順に従って、イベント設定を行います。

画面1

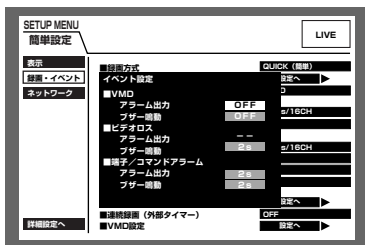
録画・イベントの画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「イベント設定」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

イベント設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタンの▼または▲を押して、設定したい項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回して設定します。

設定できるアラーム出力時間は以下のとおりです。OFFに設定すると、アラーム出力しません。

(s : 秒、min : 分)

1 s ~ 30 s (1秒単位で設定可) / 40 s / 50 s / 1 min / 2 min / 3min / 4 min / 5 min

EXT : [アラーム復帰] ボタンを押すまで、アラーム出力し続けます。

OFF : アラーム出力しません。

また、設定できるブザー鳴動時間は以下のとおりです。OFFに設定すると、ブザーは鳴りません。

1 s ~ 30 s (1秒単位で設定可) / 40 s / 50 s / 1 min / 2 min / 3min / 4 min / 5 min

EXT : [アラーム復帰] ボタンを押すまで、ブザーが鳴り続けます。

OFF : ブザーは鳴りません。

- 3 [設定/ESC] ボタンを押します。
→ イベント時の動作が設定され、イベント設定画面が閉じます。

SETUP MENU－簡単設定（つづき）

■連続録画（外部タイマー）

本機に接続されたタイマーやスイッチなどで本機の電源を入／切することにより、録画を行うかどうかをON／OFFで設定します。

ON : システムチェック完了後、マニュアル録画を自動的に開始します。

OFF : システムチェック完了後、マニュアル録画を自動的に開始しません。

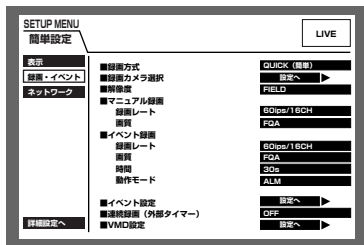
■VMD設定

カメラCHごとに動き自動検出機能のON／OFFを設定し、「ON」に設定した場合は、検出範囲を設定します。検出範囲は1つのカメラCHに最大4エリアまで設定できます。動き自動検出機能について詳しくは73ページをお読みください。

以下の手順に従って、検出範囲を設定します。

画面1

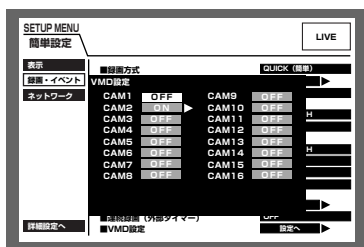
録画・イベントの画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「VMD設定」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

VMD設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタンの▼または▲を押して、設定したいカメラCHにカーソルを合わせます。

- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して動き検出を設定したいカメラCHの設定を「ON」にし、[セット] ボタンを押します。

画面3

VMDエリア設定の画面が表示されます。



- 4 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを検出範囲として設定したいエリアの始点に移動し、[セット] ボタンを押します。



- [全エリア設定] を選択し、[セット] ボタンを押すと、表示されている映像のすべての領域を検出範囲に設定できます。

画面4

検出範囲の始点が設定されます。



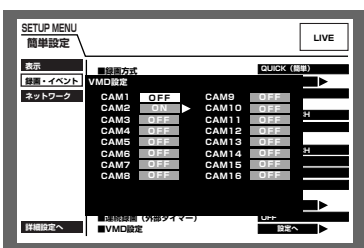
画面5

始点と終点を対角線とする検出範囲が設定されます。



画面6

VMD設定画面に戻ります。



5 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、十字カーソルを設定したいエリアの終点に移動し、[セット] ボタンを押します。

6 手順4、5を繰り返して、最大4エリアまで設定できます。エリアを作成するたびにエリアの名称 (A~D) が付けられます。

7 設定を終了するときには、ジョグダイヤル (内側) を回して、ステータスバーの [終了] を選択し、[セット] ボタンを押します。

8 [設定/ESC] ボタンを押します。
→VMD設定画面が閉じます。



重要

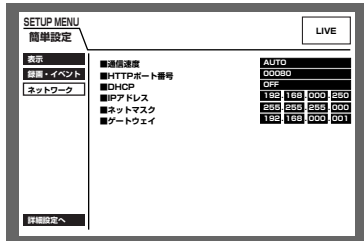
●各検出範囲の感度を設定しないとVMD検出しません。各検出範囲の感度の設定は163ページをお読みください。



●検出範囲の削除のしかたについては162ページをお読みください。また、各検出範囲の検出モード (検出方法) を設定することもできます。詳しくは164、165ページをお読みください。

ネットワークに関する設定 [ネットワーク]

本機をLANなどのネットワークを経由してPCから操作する場合に必要なネットワークの接続に関する設定を行います。



■通信速度

データの通信速度を設定します。

- AUTO : 自動設定します。
- 10-HALF : 10 Mbps半二重
- 10-FULL : 10 Mbps全二重
- 100-HALF : 100 Mbps半二重
- 100-FULL : 100 Mbps全二重（推奨設定）



- 通信速度の設定を変更してSETUP MENUを終了すると、本機は再起動します。
- 「AUTO」以外に設定した場合は、接続されたHUBも同様に設定してください。

■HTTPポート番号

本機が映像を配信するときに使用するHTTPポート番号を設定します。通常は変更する必要はありません。



- 以下の番号とFTPポート番号（※188ページ）に設定されている番号はHTTPポート番号に設定できません。
20、23、25、42、67、68、69、79、105、110、123、161、162、10000、10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

■DHCP

DHCPサーバーを使用するかどうかをON/OFFで設定します。

IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから取得する場合、「ON」に設定します。これらのアドレスを手動で入力する場合は「OFF」に設定します。

- ON : DHCPサーバーを使用します。
- OFF : DHCPサーバーを使用しません。

■IPアドレス

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、IPアドレスを入力します。本機は000～254までの10進数を4つに区切って入力します。

■ネットマスク

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってネットマスクを入力します。

■ゲートウェイ

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

SETUP MENU—詳細設定

本機を操作する場合、あらかじめ、SETUP MENUで各項目を設定しておく必要があります。

SETUP MENU の操作は、モニター2にSETUP MENUを表示して行います。

SETUP MENUには簡単設定と詳細設定があります。まず、簡単設定の設定内容を確認し、設定を行ってください。さらに詳細な設定を行いたい場合は、詳細設定で設定を行います。簡単設定については127ページをお読みください。

ここでは、詳細設定について説明します。

詳細設定メニュー一覧

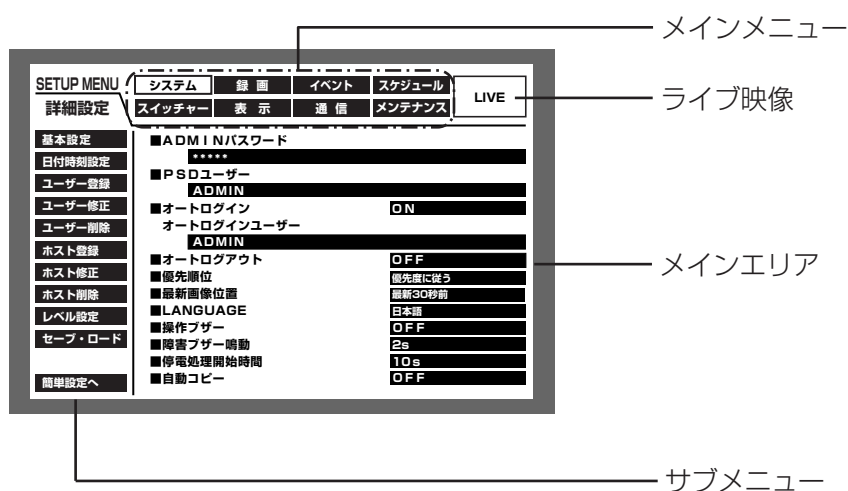
設定項目	概要	ページ
システム		
基本設定	本機の基本的な動作に関する設定を行います。	146
日付時刻設定	現在時刻の設定と日付時刻の表示に関する設定を行います。	148
ユーザー登録	本機を操作できる人をユーザー登録し、ユーザー認証を行うための設定です。ユーザー名やパスワード、操作できるレベルなどを設定します。	150
ユーザー修正	登録されているユーザーの情報を修正します。	151
ユーザー削除	登録されているユーザーを削除します。	151
ホスト登録	ネットワークを経由して本機にアクセスできるPC（ホスト）を登録し、ホスト認証を行うための設定です。PCのIPアドレスや操作できるレベルなどを設定します。	152
ホスト修正	登録されているホスト情報を修正します。	153
ホスト削除	登録されているホストを削除します。	153
レベル設定	各ユーザーレベルで操作できる機能を設定します。	153
セーブ・ロード	本機に設定されている内容をセーブ・ロードします。	154
録画		
録画基本設定	本機の録画動作に関する基本設定を行います。	155
緊急録画	緊急録画時の録画時間や録画レートなど緊急録画に関する設定を行います。	158
イベント		
イベント設定	動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム発生時のアラームの出力時間とブザー鳴動に関する設定を行います。	160
VMD設定	カメラCHごとに、動き検出の検出範囲、感度、検出モードを設定します。	161
アラーム設定	アラーム表示の表示時間の設定とアラームマスクの時間の設定を行います。	166
端子設定	端子アラームの極性を設定します。	166

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

設定項目	概要	ページ
スケジュール		
タイムテーブル	曜日ごと、毎日、外部録画モードの中から1日の動作の時間帯（タイムテーブル）を設定し、各タイムテーブルに動作する録画動作プログラム、イベント動作プログラムを割り当てます。	171
録画PROG	録画動作のプログラムを作成します。プログラムは4つまで作成できます。各プログラムにカメラCHごとの画質や録画レートなど録画動作に関する設定を行います。	167
イベントPROG	イベント発生時の動作のプログラムを作成します。プログラムは4つまで作成できます。イベントの種別ごとに動作モードや自動コピーに関する設定を行います。	170
スペシャルデー	特定日として個別に別の曜日のタイムテーブルを割り当てます。	173
スイッチャー		
モニター1	モニター1のシーケンス動作の設定やログイン待機時の画面表示など、映像切り換えに関する設定を行います。	174
モニター2	モニター2のシーケンス動作の設定やログイン待機時の画面表示など、映像切り換えに関する設定を行います。	177
表示		
共通設定	カメラタイトルの設定や時刻表示などの表示位置の設定など、表示に関する設定を行います。	178
モニター1	モニター1の時刻表示、カメラタイトル表示、アラーム表示のON/OFFの設定を行います。	181
モニター2	タスクバーの表示スタイル、時刻表示の表示位置、カメラタイトル表示のON/OFFなど、モニター2の表示に関する設定を行います。	182
通信		
カメラ制御	カメラCHごとにカメラ制御の通信方式を設定します。	183
PS・Data設定	PS・Dataに関する設定を行います。後面のDATAポートにコントローラーなどの外部機器を接続する場合に設定します。	184
RS485設定	RS485に関する設定を行います。後面のRS485ポートにカメラを接続する場合に設定します。	186
RS232C設定	シリアル（RS232C）に関する設定を行います。後面のシリアル端子にPCを接続する場合に設定します。	187
NW基本設定	ネットワークに関する基本設定を行います。本機をLANなどのネットワークを介して操作する場合に設定します。ユーザー認証やホスト認証の設定もこのNW基本設定で行います。	188
NW接続設定	IPアドレスやゲートウェイアドレスの設定などネットワークの接続に関する設定を行います。本機をLANなどのネットワークを介して操作する場合に設定します。	189
NW NTP設定	NTPサーバーのアドレスやタイムゾーンの設定など、NTPサーバーを基準に時刻調節をする場合に必要な設定を行います。	190

設定項目	概要	ページ
メンテナンス		
録画レポート一覧	カメラCHごとに各録画モードの録画レポート、画質を一覧で表示します。	191
ディスク情報	本機のHDDや別売りの増設ユニットの残容量などHDD情報を表示します。	191
バージョン情報	ソフトウェア、ハードウェアのバージョンとMACアドレスを表示します。	192
終端設定	HDD／外部記憶装置の残容量がなくなったときの動作を設定します。	193
残容量警告	HDD／外部記憶装置の残容量が設定値に達すると、警告表示を行うよう設定します。	193
データ消去	HDD内のデータを消去します。またコピー端子に接続しているDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードのフォーマット（初期化）を行います。	193
イベント入力ログ	イベント発生の履歴を表示します。イベントについて詳しくは73ページをお読みください。	194
障害ログ	ディスク異常など障害発生の履歴を表示します。	195
アクセスログ	本機にログイン／ログアウトした際の時刻とユーザー名、IPアドレスを表示します。	196

詳細設定の画面表示について



- メインメニュー : SETUP MENUの画面上に常に表示されます。
- ライブ映像 : SETUP MENUを表示する直前に表示していたカメラのライブ映像が表示されます。
- サブメニュー : 選択したメインメニューのサブメニューが表示されます。選択したメインメニューによって、内容が切り換わります。
- メインエリア : 選択したサブメニューの設定項目が表示されます。

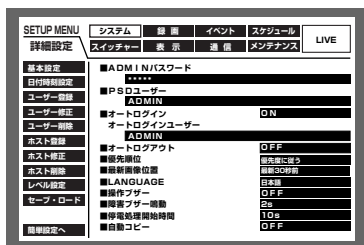
詳細設定の基本的な操作のしかた

- 1 ライブ映像表示中に [設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) します。

簡単設定の「録画・イベント」にある「録画方式」(134ページ) が「QUICK (簡単)」に設定されている場合、簡単設定のトップページが表示されます。メニューで「詳細設定へ」を選択すると、詳細設定のトップページが表示されます。

画面1

詳細設定のトップページが表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してメインメニューを選択し、[セット] ボタンを押します。

画面2

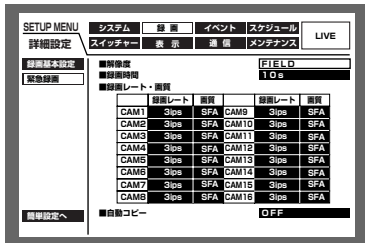
選択したメインメニューのサブメニューが表示されます。



- 3 十字ボタンの▼または▲を押して、サブメニューを選択し、[セット] ボタンを押します。サブメニューが選択できる状態で [設定/ESC] ボタンを押すと、メインメニューを選択できる状態になります。

画面3

メインエリアに設定項目が表示され、カーソルが設定項目に移動します。



- 4 各設定項目を設定します。
 設定項目の選択 : 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを移動します。
 設定内容の切り換え : ジョグダイヤル (内側) を回します。
 設定項目の設定画面をポップアップ表示 : 「設定へ」が表示されている設定項目で [セット] ボタンを押します。
 ページの切り換え : 「◀ページ切り換え▶」が表示されているページで、十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを「◀ページ切り換え▶」に移動させ、十字ボタンの◀または▶を押します。
 サブメニューが選択できる状態に戻る : [設定/ESC] ボタンを押します。
 簡単設定の画面を表示する : 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してカーソルを「簡単設定へ」に合わせ、[セット] ボタンを押します。

- 5 設定内容を本機に反映するときは、再度 [設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) します。
 →ライブ映像の表示に戻ります。



- 設定内容を変更すると、本機にログインしているすべてのユーザーが強制的にログアウトします。

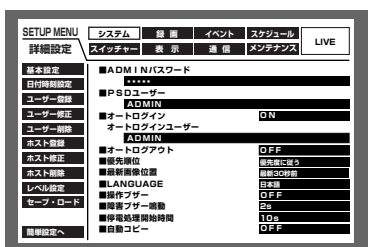
システムに関する設定 [システム]

本機を動作させるために必要なシステム全般に関わる設定を行います。



システムの基本設定を行う [基本設定]

本機の基本的な動作に関する以下の設定を行います。



■ADMINパスワード

管理者用のパスワードを設定します。

パスワードは半角英数字で4文字以上8文字以内で設定してください。

文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（☞87ページの手順5）



- ADMINのパスワードはセキュリティを確保するために定期的に変更してください。

■PSDユーザー

本機にユーザー登録しているユーザーの中からPSDユーザーを設定します。PS・Data対応のコントローラーを使用したときの優先度・レベルは、ここで設定したユーザーのものが使用されます。

■オートログイン

自動的にログインするように設定するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : オートログインを設定します。

OFF : オートログインを設定しません。ログアウト状態から本機の操作を行う際は、ログインの操作が必要になります。

■オートログインユーザー

オートログインを「ON」に設定した場合、ここで登録されたユーザーがオートログインします。本機にユーザー登録しているユーザーの中からオートログインユーザーを設定します。

■オートログアウト

ライブ映像表示中、設定した時間操作しない状態が続くと、自動的にログアウトするかどうかを設定します。

OFF : オートログアウトを設定しません。

1 min/2 min/3 min/4 min/5 min/30 min

: ログインから設定した時間操作を行わないと、自動的にログアウトします。



- オートログアウトを「ON」に設定しても、オートログインユーザーはオートログアウトしません。
- オートログインユーザーとして登録されたユーザーのユーザーレベル（☞150ページ）によって、本機の操作範囲が異なります。

■優先順位

本機に複数のユーザーが同時にログインした場合の操作の優先順位を以下から設定します。

- 優先度に従う : 優先度の高いユーザーの操作が優先されます。同じ優先度のユーザー操作は後優先になります。
- 前優先 : 優先度に関係なく先に操作したユーザーの操作が優先されます。
- 後優先 : 優先度に関係なく後に操作したユーザーの操作が優先されます。

■最新画像位置

映像を再生中に「最新画像」ボタンを押したとき、スキップする時刻を以下から設定します。

最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前

■LANGUAGE

SETUP MENUの言語を以下から設定します。

日本語／英語 (ENGLISH) ／フランス語 (FRANÇAIS) ／スペイン語 (ESPAÑOL) ／ドイツ語 (DEUTSCH)
／イタリア語 (ITALIANO) ／ロシア語 (РУССКИЙ) ／中国語 (中文)



- 「LANGUAGE」を変更しても、PCから本機にアクセスしたときのウェブブラウザに表示される言語は変更されません。

■操作ブザー

ボタン操作時にブザーを鳴らすかどうかをON/OFFで設定します。

- ON : ボタン操作時にブザーを鳴らします。
- OFF : ボタン操作時にブザーを鳴らしません。

■障害ブザー鳴動

本機に障害が発生したときにブザーを鳴らすかどうかを以下から設定します。

- OFF : 障害発生時にブザーは鳴らしません。
- 1 s～30 s (1秒単位に設定可) ／40 s／50 s／1 min～5 min (1分単位に設定可)
: 障害発生から設定した時間、ブザーを鳴らします。
- EXT : 障害発生から「アラーム復帰」ボタンを押すまでブザーを鳴らします。

■停電処理開始時間

本機に停電検出信号が入力されてから停電処理を開始するまでの時間を以下から設定します。

10 s／20 s／30 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min

■自動コピー

本機に録画された映像を自動的にHDDのコピー領域またはDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーするかどうかを以下から設定します。

- OFF : 自動コピーを設定しません。
- COPY1 : コピー1端子に接続されたDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーします。
- COPY1(ALT) : ビューワーソフトで改ざん検出するためのデータを付けて、コピー1端子に接続されたDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーします。
- COPY2 : コピー2端子に接続されたDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーします。
- COPY2(ALT) : ビューワーソフトで改ざん検出するためのデータを付けて、コピー2端子に接続されたDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーします。
- HDD : 本機のHDDのコピー領域にコピーします。



- 「OFF」に設定していると、緊急録画・イベント発生時の自動コピーが「ON」に設定されていても動作しません。緊急録画の自動コピー設定については159ページを、イベント発生時の自動コピーについては170ページをお読みください。
- 「COPY1」「COPY2」に設定していても、DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードが接続されていなければ自動コピーは動作しません。(CD-R、DVD-Rには自動コピーできません)
- HDDプレ録画領域 (207ページ) に記録されたイベント・プレ録画映像は自動コピーされません。
- 緊急録画／イベント録画が頻繁に行われると、自動コピーが行われない場合があります。
- 自動コピーされる映像の時間範囲に制限はありませんが、コピーデータは1ファイルが99分59秒に達するか、2 GByteに達した時点で分割されます (一度のコピーで複数のコピーデータが作成される場合があります)。詳しくは78ページ「コピー条件について」をお読みください。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

日付時刻を設定する【日付時刻設定】

日付時刻表示に関する以下の設定を行います。



■日付表示形式

日付時刻の表示形式を以下から設定します。（例：2005年4月1日の場合）

YY.MM.DD : 05.4.1と表示します。

MMM.DD.YY : APR.1.05と表示します。

DD.MMM.YY : 1.APR.05と表示します。

■時刻表示形式

時刻の表示形式を以下から設定します。（例：午後3時00分00秒の場合）

12 h : 3:00:00PMと表示します。

24 h : 15:00:00と表示します。

■日時設定

現在の日付時刻を設定します。

年・月・日・時・分を入力し「適用」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



- 日付時刻を設定した直後、約4秒間は録画が行われません。

■自動時刻合わせ

自動時刻合わせの方法を以下から設定します

OFF : 自動時刻合わせを設定しません。

MASTER : 「動作時刻」（以下参照）で設定した時刻に後面のアラーム／コントロール端子から信号を出力して、他の機器の時刻を本機の時刻に合わせます。

SLAVE : 「動作時刻」（以下参照）で設定した時刻±15分に後面のアラーム／コントロール端子から信号を入力して、本機の時刻を「動作時刻」で設定した時刻に合わせます。



- 後面のアラーム／コントロール端子の時刻合わせ入力（20番ピン）により、現在時刻の設定を変更した場合は、約4秒間録画が行われません。
- 「SLAVE」のとき、本機の録画状態により動作が異なります。詳しくは122ページをお読みください。

■動作時刻

「自動時刻合わせ」を「MASTER」に設定しているときは、アラーム／コントロール端子（20番ピン）から信号を出力する時刻を設定します。「SLAVE」に設定しているときは、信号を入力し時刻合わせを実行する時刻を設定します。

■サマータイム

サマータイムの切り換え方法を以下から設定します。

OUT : サマータイムを解除します。

IN : 時刻をサマータイムにします。

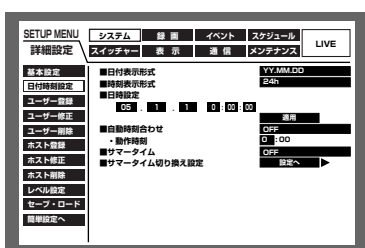
AUTO : サマータイム切り換え設定の設定内容に従って時刻をサマータイムに切り換えます。

■サマータイム切り換え設定

サマータイムの開始・終了日時を設定します。以下の手順に従って、サマータイムの開始・終了日時を設定します。

画面1

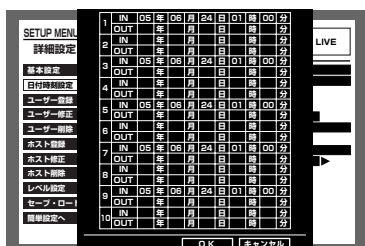
日付時刻設定の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「サマータイム切り換え設定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

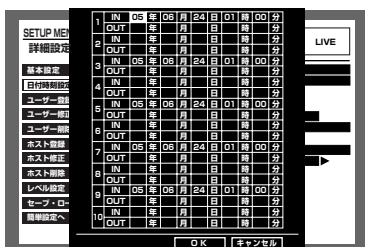
サマータイム切り換え設定画面が表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、INまたはOUTの年月日を入力する欄にカーソルを移動します。

画面3

IN またはOUTの年月日を入力する欄にカーソルが移動します。



- 3 ジョグダイヤル (内側) を回して、サマータイムの開始年月日と終了年月日を設定します。
- 4 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→サマータイムの切り換え日時が設定され、サマータイム切り換え設定画面が閉じます。

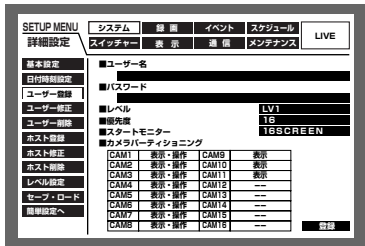


- 手順4で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、サマータイム切り換え設定画面が閉じます。
- OUT、INの間隔を1時間以内に設定することはできません。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

本機を使用するユーザーを登録する [ユーザー登録]

ユーザー名やパスワードの登録など、本機を使用するユーザーのユーザー情報を登録します。設定したら、画面右下の「登録」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押してください。



■ユーザー名

ユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字で4文字以上14文字以内で設定してください。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。(P.87ページ)

■パスワード

パスワードを設定します。パスワードは半角英数字で4文字以上8文字以内で設定してください。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。(P.87ページ)



- パスワードは第三者が推測できないようなものにしてください。また、設定したパスワードは忘れないようにしてください。

■レベル

ユーザーレベルを以下から設定します。各レベルで操作できる機能についてはレベル設定 (P.153ページ) で設定します。

LV1/LV2/LV3

■優先度

ユーザーの優先度を1（優先度高）～16（優先度低）でレベル付けします。

■スタートモニター

ログイン直後に表示するライブ映像の表示画面を以下から設定します。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| CAM1～16 (WJ-HD350のみ) | : 選択したカメラCHの映像を1画面で表示します。 |
| CAM1～9 (WJ-HD309のみ) | : 選択したカメラCHの映像を1画面で表示します。 |
| QUAD 1-4 | : カメラCH1～4の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 5-8 | : カメラCH5～8の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 9 (WJ-HD309のみ) | : カメラCH9の映像を4画面の左上に表示します。 |
| QUAD 9-12 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH9～12の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 13-16 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH13～16の映像を4画面で表示します。 |
| 7SCREEN | : カメラCH1～7の映像を7画面で表示します。 |
| 9SCREEN (WJ-HD309のみ) | : カメラCH1～9の映像を9画面で表示します。 |
| 9SCREEN1-9 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH1～9の映像を9画面で表示します。 |
| 9SCREEN10-16 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH9～16の映像を9画面で表示します。 |
| 16SCREEN (WJ-HD350のみ) | : カメラCH1～16の映像を16画面で表示します。 |
| SEQ | : シーケンス動作を行います。 |

■カメラパーティショニング

カメラCHごとに制御できる範囲を以下から選択します。

- 表示・操作 : ライブ・録画映像の表示、カメラの操作とも行えます。
- 表示 : ライブ・録画映像の表示はできますが、カメラの操作は行えません。
- : ライブ・録画映像の表示、カメラの操作とも行えません。

登録したユーザー情報を修正する [ユーザー修正]

登録したユーザー情報を修正します。

「ユーザー名」の欄にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回してユーザー名を選択すると、登録されている情報が表示されます。

登録のときと同じ方法でユーザー情報を修正します。（☞150ページ）

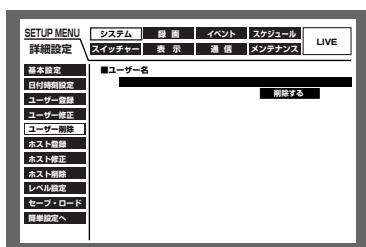
修正したら、画面右下の「編集」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押してください。



登録したユーザーを削除する [ユーザー削除]

登録したユーザーを削除します。

「ユーザー名」の欄にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回してユーザー名を選択します。「削除する」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、ユーザーが削除されます。



SETUP MENU－詳細設定（つづき）

本機にアクセスできるPC（ホスト）を登録する [ホスト登録]

LANなどのネットワークを経由して本機にアクセスするPC（ホスト）のホスト情報を登録します。設定したら、画面右下の「登録」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押してください。



■ホストIPアドレス

IPアドレスを入力します。「ホストIPアドレス」の欄にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回してIPアドレスを入力します。0～254までの10進数を4つに区切って入力します。



- 「*」を入力すると、すべての数字が有効となります。
- 「0.0.0.0」「*.*.*.*」は登録できません。

■レベル

レベルを以下から設定します。各レベルで操作できる機能についてはレベル設定 (P.153ページ) で設定します。LV1/LV2/LV3

■優先度

ホストの優先度を1（優先度高）～16（優先度低）でレベル付けします。

■スタートモニター

ログイン直後に表示するライブ映像の表示画面を以下から設定します。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| CAM1～16 (WH-HD350のみ) | : 選択したカメラCHの映像を1画面で表示します。 |
| CAM1～9 (WH-HD309のみ) | : 選択したカメラCHの映像を1画面で表示します。 |
| QUAD 1-4 | : カメラCH1～4の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 5-8 | : カメラCH5～8の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 9 (WJ-HD309のみ) | : カメラCH9の映像を4画面の左上に表示します。 |
| QUAD 9-12 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH9～12の映像を4画面で表示します。 |
| QUAD 13-16 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH13～16の映像を4画面で表示します。 |
| 9SCREEN (WJ-HD309のみ) | : 9画面で表示します。 |
| 9SCREEN1-9 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH1～9の映像を9画面で表示します。 |
| 9SCREEN10-16 (WJ-HD350のみ) | : カメラCH9～16の映像を9画面で表示します。 |
| 16SCREEN (WJ-HD350のみ) | : カメラCH1～16の映像を16画面で表示します。 |
| SEQ | : シーケンス動作を行います。 |

■カメラパーティショニング

カメラCHごとに制御できる範囲を以下から選択します。

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 表示・操作 | : ライブ映像の表示、カメラの操作とも行えます。 |
| 表示 | : ライブ映像の表示はできるが、カメラの操作は行えません。 |
| --- | : ライブ映像の表示、カメラの操作とも行えません。 |

登録したホスト情報を修正する [ホスト修正]

登録したホスト情報を修正します。「ホストIPアドレス」の欄にカーソルを合わせ、ジョグダイヤル（内側）を回してホストIPアドレスを選択すると、登録されている情報が表示されます。

登録のときと同じ方法でホスト情報を修正します。（※152ページ）

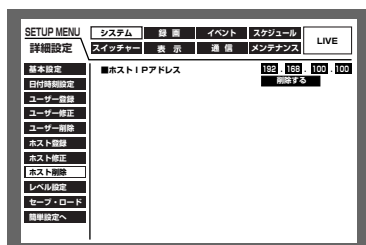
修正したら、画面右下の「編集」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押してください。



登録したホストを削除する [ホスト削除]

登録したホストを削除します。

ホストIPアドレスを選択し「削除する」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



操作レベルを設定する [レベル設定]

各レベル（LV1/LV2/LV3）で操作できる機能を設定します。

操作できるように設定する場合は、ジョグダイヤル（内側）を回して「○」にします。操作できないように設定する場合は空欄のままにします。

各機能の内容については次ページをお読みください。

初期設定は以下のように設定されています。

機能	操作レベル		
	LV1	LV2	LV3
設定変更	●	●	●
設定参照	●	●	●
カメラ設定	●	●	●
イベント入力ログ参照	●	●	●
アクセスログ参照	●	●	●
障害ログ参照	●	●	●
アラーム復帰	●	●	●
アラーム抑制	●	●	●
コピー	●	●	●
通常録画録域手動消去	●	●	●
イベント録画録域手動消去	●	●	●
マニュアル録画	●	●	●
再生	●	●	●
NWアクセス	●	●	●

操作レベルの設定は以下のような想定をしています。

LV1：本機やカメラの設定などすべての操作が行える（管理者）

LV2：本機の設定内容の参照やアクセスログの参照、アラーム復帰が行える（オペレーター責任者）

LV3：監視や映像の再生のみを行える（オペレーター）

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

●操作の可否を設定できる機能について

レベルによって操作の可否を設定できる機能は以下のとおりです。

機能	説明
設定変更	SETUP MENUを表示して、設定内容を変更できます。
設定参照	SETUP MENUの表示のみできます。設定内容を変更できません。
カメラ設定	カメラの設定メニューを表示して、設定内容を変更できます。
イベント入力ログ参照	SETUP MENUを表示して、イベント入力ログ（P.194ページ）を参照できます。また、ネットワークログ（取扱説明書 ネットワーク操作編）の参照の可否も兼ねています。
アクセスログ参照	SETUP MENUを表示して、アクセスログ（P.196ページ）を参照できます。
障害ログ参照	SETUP MENUを表示して、障害ログ（P.195ページ）を参照できます。
アラーム復帰	アラーム動作を解除できます。（P.75ページ）
アラーム抑止	アラーム動作を抑止できます。（P.76ページ）
コピー	録画された映像の手動コピーが行えます。（P.77ページ）
通常録画領域手動消去	HDDの通常録画領域内の映像を手動で消去できます。（※）
イベント録画領域手動消去	HDDのイベント録画領域内の映像を手動で消去できます。（※）
マニュアル録画	マニュアル録画の開始・停止を行えます。
再生	録画した映像を再生できます。
NWアクセス	ネットワークを経由してPCから本機にログインできます。

※通常録画領域手動消去、イベント録画領域手動消去のどちらか、または両方を「○」に設定すると、コピー領域の手動消去を行うことができます。

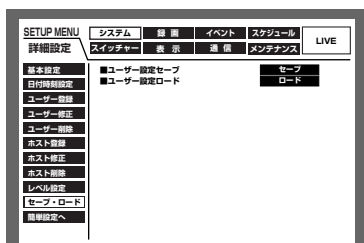
SETUP MENUの設定内容をセーブ・ロードする [セーブ・ロード]

SETUP MENUの設定内容を本機にセーブ（保存）します。

また、保存した設定内容をロード（呼び出し）します。

「セーブ」または「ロード」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

セーブ・ロードの確認画面が表示されたら、「OK」を選択し、[セット] ボタンを押すと、セーブ・ロードが実行されます。



- ロードした設定の「DHCP」の設定が「ON」の場合で、かつセーブした当初と現在のIPアドレスが異なる場合、セーブしたデータをロードすると、表示上のIPアドレスと現在のIPアドレスが異なってしまいます。その場合は、「DHCP」の設定を「OFF」に設定し直したあと、再度「ON」に設定し直してください。

録画に関する機能 [録画]

録画に関する設定を行います。録画の基本設定と緊急録画に関する設定を行います。



録画の基本設定を行う [録画基本設定]

録画動作に関する以下の基本設定を行います。



■録画方式

「簡単設定」と「詳細設定」のどちらの設定内容で録画するかを設定します。

- QUICK (簡単) : 簡単設定で設定した内容で録画されます。
- ADVANCED (詳細) : 詳細設定で設定した内容で録画されます。



- 「QUICK (簡単)」に設定すると、[設定/ESC] ボタンを長押し (2秒以上) してSETUP MENUを表示したとき、簡単設定のトップページが表示されます。「ADVANCED (詳細)」に設定すると、詳細設定のトップページが表示されます。
- また、「QUICK (簡単)」に設定すると、詳細設定「スケジュール」の以下の設定が機能しません。これらの設定を機能させたい場合は「ADVANCED (詳細)」に設定してください。

サブメニュー	設定項目	動作
タイムテーブル	FTP定期送信	動作しません。
	障害メール通知	動作しません。
	エラーメール通知	動作しません。
	NW配信量	「制限無し」で動作します。
録画PROG	録画PROG1~4	詳細設定で設定した内容では動作しません。 簡単設定で設定した内容で動作します※。

<次ページに続く>

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

サブメニュー	設定項目	動作		
イベントPROG	VMD 端子／コマンド アラーム ビデオロス	カメラ動作	録画	<VMD・端子／コマンドアラーム> イベントCHと同じ番号のカメラCHのみ録画します。ただし、簡単設定の「録画・イベント設定」－「録画カメラ選択」で選択されていないカメラCHは録画されません。 <ビデオロス> ビデオロスしたカメラCH以外を録画します。ただし、簡単設定の「録画・イベント設定」－「録画カメラ選択」で選択されていないカメラCHは録画されません。
			自動コピー	動作しません。
			プリセット ポジション	動作しません。
		シリアル通知		動作します。
		アラームメール送信		動作しません。
		FTPアラーム送信		動作しません。
	スペシャルデー		動作しません。	


※スケジュール録画を行う場合、「録画方式」の設定を「ADVANCED（詳細）」に設定し、「タイムテーブル」「録画PROG」を設定してください。

■録画動作

録画動作のON／OFFを設定します。

ON : 録画動作を行います。

OFF : 録画動作を行いません。


 **重要** • この設定を「OFF」にすると、すべての録画が行われません。本機に異常が発生するなど、強制的に録画を止める必要のあるとき以外は設定は「ON」にしておいてください。

■連続録画（外部タイマー）

本機に接続されたタイマーやスイッチなどで本機の電源を入／切することにより、録画を行うかどうかをON／OFFで設定します。

ON : システムチェック完了後、マニュアル録画を自動的に開始します。

OFF : システムチェック完了後、マニュアル録画を自動的に開始しません。

 **重要** • この設定を「ON」にすると、システムチェック完了後、マニュアル録画を自動的に開始します。

■マニュアル録画CH

マニュアル録画時に録画するカメラCHを以下から設定します。マニュアル録画については35ページをお読みください。

MON2表示CH : モニター2に表示しているカメラCHのみをマニュアル録画します。

全CH : すべてのカメラCHをマニュアル録画します。

- 重要**
- 「MON2表示CH」に設定している場合でも、モニター2でシーケンス表示中やライブ映像以外を表示しているときやモニター1を選択しているときは、すべてのカメラCHを録画します。
 - 「MON2表示CH」に設定している場合は、本機やネットワークからの操作に関わらず、後から開始したマニュアル録画のカメラCHを録画します。

■カラーモード

録画時のカラーモードを設定します。

COLOR FINE : 高解像度カラー映像で録画

COLOR STD : カラー映像で録画

B/W : 白黒映像で録画

- 重要**
- 画質を「SFA」「FQA」「NQA」「EXA」に設定している場合、カラーモードを「B/W」に設定しないでください。画質が劣化しやすくなります。

■タイトル埋め込み

録画時、表示されているカメラタイトルを映像の一部として録画するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : カメラタイトルを映像の一部として録画します。

OFF : カメラタイトルは録画しません。

- 重要**
- 「タイトル埋め込み」設定が「ON」でカメラタイトル位置がR-UPPER、R-LOWERの場合、解像度をSIFで録画した映像を再生すると、画像に埋め込まれたカメラタイトルがすべて表示されない場合があります。

■時刻埋め込み

録画時、時刻表示を映像の一部として録画するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : 時刻表示を映像の一部として録画します。

OFF : 時刻表示は録画しません。

- 重要**
- タイトルと時刻の埋め込みを「OFF」に設定した場合でも、再生時にカメラタイトルを表示するかどうかをON/OFFで設定できます。(182ページ)
 - タイトルと時刻の埋め込みを「ON」に設定した場合、再生時に時刻とタイトルを非表示にすることはできません。

録画モード埋め込みについて

録画時に、録画モード（イベント録画／緊急録画）をあらわす文字列を映像の一部として録画し、記録映像を再生したときに表示させることができます。

- 録画モードをあらわす文字列は次の通りです。

EVT : イベント・プレ録画

EVT : イベント・ポスト録画

EMR : 緊急録画

- 「時刻埋め込み」設定を「ON」に設定した場合に埋め込まれます。
- 埋め込み位置は、「時刻表示位置」設定（180ページ）で設定された位置になります。
 - L-UPPER/R-UPPER : 画面左上/画面右上の時刻表示位置の下に表示します。
 - L-LOWER/R-LOWER : 画面左下/画面右下の時刻表示位置の上に表示します。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■録画優先度

録画モードに優先順位1（高）～3（低）を設定します。録画モードが競合した場合、優先度の高いモードで録画されます。各録画モードについては35ページをお読みください。



- イベント・プレ録画とイベント・ポスト録画の優先度は、イベント録画の優先度になります。イベント・プレ録画（168ページ）を行う設定の場合、イベント録画よりも優先度が低く設定されているマニュアル録画／スケジュール録画は動作しません。

■音声割付

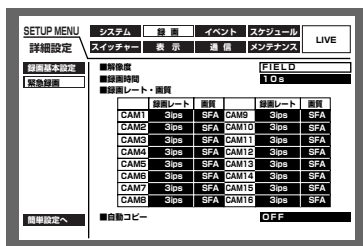
本機後面の音声入力端子（1～4）から入力される音声をカメラCHに割り付けます。接続しているカメラCHに合わせて設定してください。OFFに設定すると、音声を入力しません。



- 音声を割り付けたカメラCHのライブ映像を、モニター2に1画面表示すると、音声が出力されます。多画面表示中は出力されません。
- 音声を割り付けたカメラCHを1画面で再生すると、録音した音声が出力されます。多画面で再生中は出力されません。
- 音声は1画面表示、多画面表示に関係なく録音されます。
- HDDのプレ録画領域を使用する場合、プレ録画時に音声は録音されません。
- HDDのプレ録画領域以外を使用する場合、プレ録画時、最大17秒の音声は録音されます。
- 録画中、音声が途切れる場合があります。
- COPY1、COPY2からの再生の場合、音声が出力されません。PCからビューワーソフトを使って再生する場合は音声が出力されます。

緊急録画に関する設定を行う【緊急録画】

録画時間や録画レートなど緊急録画に関する設定を行います。緊急録画については36ページをお読みください。



■解像度

録画する映像の解像度を以下から設定します。

- FRAME 3D ON : 高解像度（720×480）、画ブレ補正付き
- FRAME 3D OFF : 高解像度（720×480）
- FIELD : 標準解像度（720×240）
- SIF : 低解像度（360×240）



- 緊急録画の解像度は、マニュアル録画、イベント録画、スケジュール録画と同じ設定にすることをおすすめします。解像度が切り変わった場合、緊急録画の開始から約4秒間録画が行われません。また、緊急録画の終了から約4秒間録画は行われません。

■録画時間

緊急録画を行うときの録画時間または録画動作を設定します。

設定できる値（内容）は以下のとおりです。

1 s～10 s（1秒単位で設定可）／20 s／30 s／1 min／～／10 min（1分単位で設定可）／20 min／30 min／40 min／50 min／60 min

MANUAL : 接続した外部スイッチを押し続けている間だけ録画を行います

CONTINUE : [アラーム復帰] ボタンを押すまで録画を行います。



- 録画時間が「MANUAL」に設定されている場合、最低8秒間録画を行います。

■録画レート・画質

カメラCHごとに緊急録画の録画レートと画質を設定します。

設定できる録画レートは以下のとおりです。

OFF／1 ips／2 ips／3 ips／5 ips／6 ips／7.5 ips／10 ips／15 ips／30 ips／60 ips



重要

- OFFに設定したカメラCHは録画されません。
- 解像度が「FRAME 3D ON」「FRAME 3D OFF」のとき、CAM1～16（WJ-HD309の場合はCAM1～9）の録画レートの合計が30 ipsまで設定できます。
- 解像度が「FIELD」のとき、CAM1～16（WJ-HD309の場合はCAM1～9）の録画レートの合計が60 ipsまで設定できます。
- 解像度が「SIF」のとき、CAM1～16（WJ-HD309の場合はCAM1～9）の録画レートの合計が120 ipsまで設定できます。
- 解像度が「FRAME 3D ON」「FRAME 3D OFF」「SIF」のとき、録画レートの60 ipsは選択できません。
- CAM1～16（WJ-HD309の場合はCAM1～9）の録画レートの合計を最大（「FIELD」時：60 ips、「SIF」時：120 ips）に設定した場合、低い録画レートに設定されたカメラCHから順に2CHの録画レートが、設定値よりも低くなる場合があります（最低録画レートのカメラCHが3CH以上の場合は、そのうちの2CH）。

また、画質は以下から設定します。

SFA/SFB : 最高画質（SUPER FINE）

FQA/FQB : 高画質（FINE）

NQA/NQB : 標準画質（NORMAL）

EXA/EXB : 低画質（EXTENDED）

「**A」は、動きの少ない映像に適しています。

「**B」は、動きの多い映像に適しています。



重要

- カラーモードを「B/W」に設定している場合、「SFA」「FQA」「NQA」「EXA」には設定しないでください。画質が劣化しやすくなります。

■自動コピー

緊急録画した映像を自動的にHDDのコピー領域またはDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーするかどうかをON/OFFで設定します。

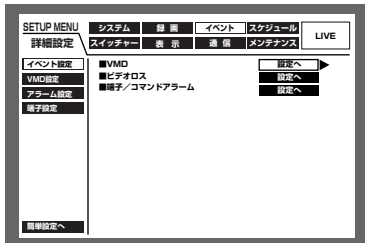


重要

- 「システム」の「基本設定」にある「自動コピー設定」が「OFF」に設定されていると、この設定を「ON」にしても緊急録画後、自動コピーが動作しません。「自動コピー設定」を「HDD」「COPY1」「COPY2」のいずれかに設定してください。

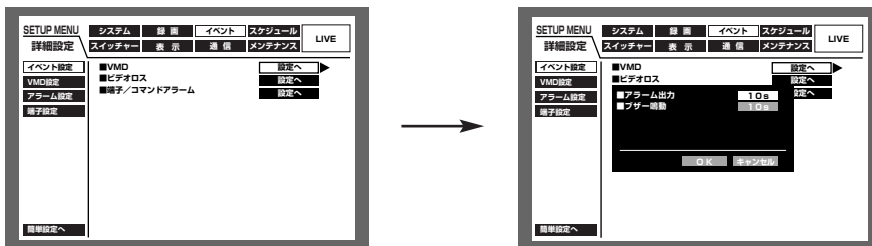
イベントに関する機能 [イベント]

イベントの種類（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）ごとにイベント発生時の動作に関する設定を行います。



アラーム出力時間とブザー鳴動時間の設定を行う [イベント設定]

イベントの種類（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）ごとにアラームの出力時間とブザー鳴動の時間を設定します。



設定できるアラーム出力時間は以下のとおりです。OFFに設定すると、アラーム出力しません。

(s : 秒、m(min) : 分)

1 s～30 s（1秒単位で設定可）／40 s／50 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min

EXT : [アラーム復帰] ボタンを押すか、アラーム表示リセット時間（☞166ページ）が経過するまで、アラーム出力し続けます。

OFF : アラーム出力しません。



- ビデオロスの設定ではアラームの出力時間は設定できません。ビデオロス発生時は、ビデオロスが発生している間、後面のアラーム／コントロール端子のカメラ異常出力ピン⑰から信号を出力し続けます。（☞120ページ）

また、設定できるブザー鳴動時間は以下のとおりです。OFFに設定すると、ブザーは鳴りません。

1 s～30 s（1秒単位で設定可）／40 s／50 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min

EXT : [アラーム復帰] ボタンを押すまで、ブザーが鳴り続けます。

OFF : ブザーは鳴りません。

動き自動検出機能の検出範囲を設定する [VMD設定]

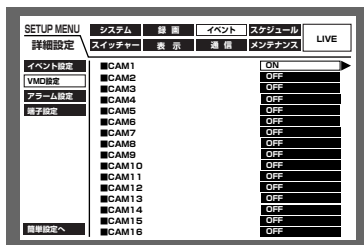
カメラCHごとに動き自動検出機能のON/OFFを設定し、「ON」に設定した場合は、検出範囲を設定します。検出範囲は1つのカメラCHに最大4エリアまで設定できます。動き自動検出機能について詳しくは73ページをお読みください。



以下の手順に従って、検出範囲を設定します。

画面1

カメラCHを選択する画面から操作します。



- 1 ジョグダイヤル（内側）を回して、動き自動検出を設定したいカメラCHの設定を「ON」にし、[セット] ボタンを押します。

画面2

VMD設定の画面が表示されます。



- 2 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを検出範囲として設定したいエリアの始点に移動し、[セット] ボタンを押します。



- [全エリア設定] を選択し、[セット] ボタンを押すと、表示されている映像のすべての領域を検出範囲に設定できます。

画面3

検出範囲の始点が設定されます。



- 3 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを設定したいエリアの終点に移動し、[セット] ボタンを押します。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

画面4

始点と終点を対角線とする検出範囲が設定されます。



4 手順2、3を繰り返して、最大4エリアまで設定できます。エリアを作成するたびにエリアの名称（A～D）が付けられます。

5 設定を終了するときには、ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「終了」を選択し、「セット」ボタンを押します。
→VMD設定の画面が閉じます。

■検出範囲を削除する

画面1

VMD設定の画面から操作します。



1 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「エリア削除」を選択します。



● 「全エリア削除」を選択し、「セット」ボタンを押すと、設定されているすべての検出範囲を削除できます。

画面2

VMD設定の画面に十字カーソルが表示され、検出範囲を削除できる状態になります。



2 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、十字カーソルを削除したいエリア上に移動し、「セット」ボタンを押します。

3 設定を終了するときには、ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「終了」を選択し、「セット」ボタンを押します。
→VMD設定の画面が閉じます。

■感度を設定する

設定した検出範囲の感度を設定します。感度は検出範囲ごとに設定できます。

画面1

VMD設定の画面から操作します。



- 1 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの [感度設定] を選択し、[セット] ボタンを押します。



- 検出範囲の設定によっては、感度をあらわす文字が重なって表示される場合があります。
- 検出エリアの場所によっては、感度をあらわす文字がすべて表示されない場合があります。

画面2

検出範囲の感度を設定できる状態になります。



- 2 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、感度設定したい検出範囲に移動します。

- 3 ジョグダイヤルを回して、以下から感度を設定します。
 OFF : このエリアの動きを検出しません。
 LOW : 低感度
 MID : 標準感度
 HIGH : 高感度
 手順2、3を繰り返し、すべてのエリアの感度を設定します。設定が終了したら、[設定/ESC] ボタンを押します。



- 選択した感度で動きが検出されると、動きが検出されたエリアが赤で表示され、ブザーが鳴動します。

- 4 設定を終了するときには、ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの [終了] を選択し、[セット] ボタンを押します。
 →VMD設定の画面が閉じます。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■検出モードを設定する

設定した検出範囲内の検出モード（検出方法）を設定します。

検出モードを設定することで、検出範囲内でどのような検出のしかたをするか、具体的に設定できます。

画面1

VMD設定の画面から操作します。



- 1 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「検出モード設定」を選択し、「セット」ボタンを押します。

画面2

検出モード設定画面が表示されます。



- 2 検出モードを設定します。
十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、設定したい検出モードにカーソルを合わせ、「セット」ボタンまたはジョグダイヤルを回して、設定したい検出モードにチェックを付けます。検出モードを設定したら、「設定/ESC」ボタンを押します。

各検出モードについては次ページをお読みください。

・「ANY AREA」の場合

設定した検出範囲のいずれかで動きを検出すると、「動きあり」とみなし、設定に従ってイベント動作を行います。

・「VECTOR」の場合

十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、エリアを選択する位置にカーソルを移動し、ジョグダイヤルを回して、エリアを選択します。次に、十字ボタンの◀または▶を押して各エリア間の移動時間を設定する位置へカーソルを移動し、ジョグダイヤルを回して、移動時間を以下から設定します。

――/5 s/10 s/20 s/30 s/40 s/50 s/1 min

・「DURATION」の場合

十字ボタン（▼▲◀▶）を押して各エリアの設定値へカーソルを移動し、ジョグダイヤルを回して、各エリアごとに動きの継続時間を以下から設定します。

0 s/5 s/10 s/20 s/30 s/40 s/50 s/
1 min

- 3 設定を終了するときは、ジョグダイヤル（内側）を回して、ステータスバーの「終了」を選択し、「セット」ボタンを押します。

→VMD設定画面が閉じます。

■検出モードについて

設定した検出範囲内の検出方法を設定します。

検出モードを設定することで、検出範囲内でどのような検出のしかたをするか、具体的に設定できます。

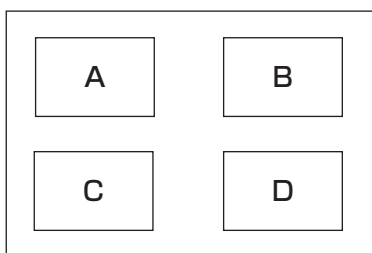
検出モードには以下の3つがあります。



- 複数の検出モードを組み合わせることはできません。

<ANY AREAモード（エリア内の動きを検出する場合に設定）>

設定した検出範囲のいずれかで動きを検出すると、「動きあり」とみなします。

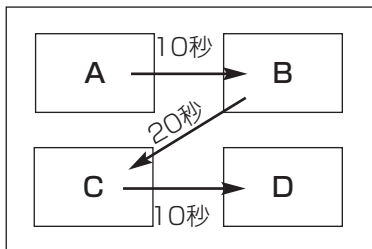


A、B、C、Dのいずれかで動きがあると「動きあり」とみなす

<VECTORモード（ある方向に移動する動きを検出する場合に設定）>

検出範囲の設定順で設定時間内に動きが移動した場合、「動きあり」とみなします。

例えば、以下のように設定した場合、



Aで動きを検出し、10秒以内にBで動きを検出

Bで動きを検出してから20秒以内にCで動きを検出

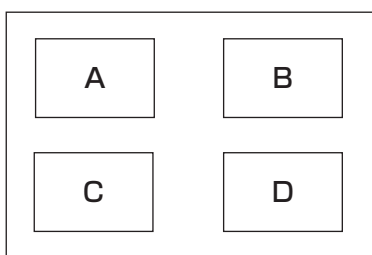
Cで動きを検出してから10秒以内にDで動きを検出

これらを満たすと「動きあり」とみなす

<DURATIONモード（エリア内で一定時間継続する動きを検出する場合に設定）>

設定した検出範囲で設定した時間以上動きが継続した場合、「動きあり」とみなします。

例えば、A：10秒、B：10秒、C：20秒、D：30秒で設定した場合



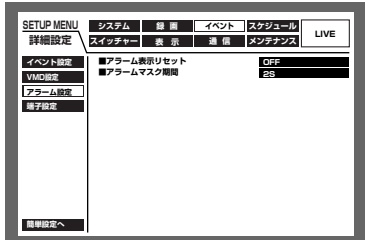
いずれかの検出範囲内で、設定した時間以上動きが継続すると「動きあり」とみなす

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

アラーム表示とアラームマスクに関する設定を行う【アラーム設定】

アラーム表示の表示時間を設定します。表示時間を経過すると自動的にアラーム表示が終了します。（アラーム表示リセット）

また、同じ種類／番号のイベント（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）が連続して発生した場合、設定した時間は無視してイベントが発生するたびにイベント動作を行わないよう設定します。（アラームマスク）



■アラーム表示リセット

アラーム表示を自動的に終了する時間を以下から設定します。「OFF」に設定すると、アラーム表示は自動的に終了しません。アラーム表示を終了するには【アラーム復帰】ボタンを押してください。

OFF／1 s～30 s（1秒単位で設定可）／40 s／50 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min

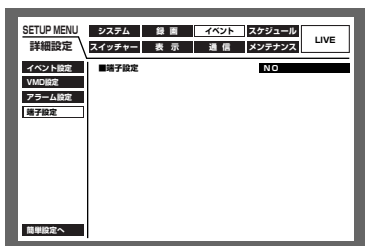
■アラームマスク期間

アラームをマスクする時間を以下から設定します。

2 s～10 s（1秒単位で設定可）

アラーム端子の極性を設定する【端子設定】

アラーム端子への信号の入力方法を設定します。



N.O.：ショート時に信号が入力されます。（Normally Open）

N.C.：オープン時に信号が入力されます。（Normally Close）



- PCからネットワークを経由して設定を行うと、アラーム入力1～16の極性を個別に設定できます。

録画／イベント動作スケジュールに関する設定 [スケジュール]

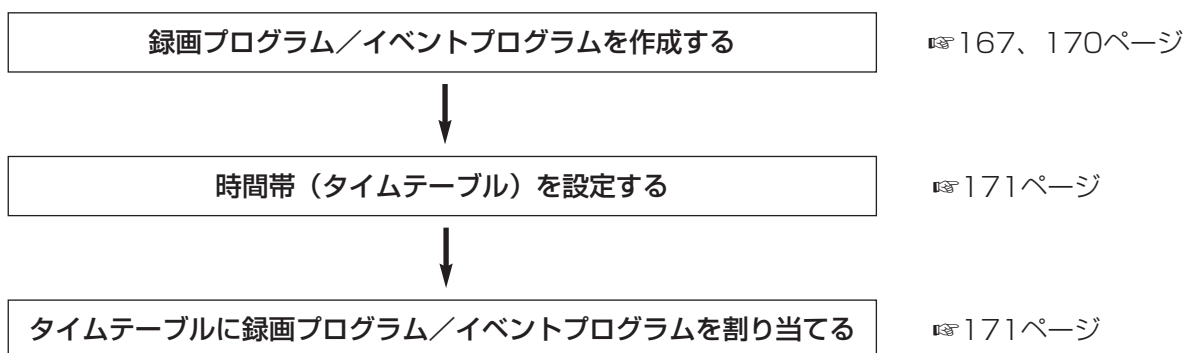
曜日と時刻を指定して、録画／イベント動作のスケジュールを設定します。

1日を最大6つの時間帯に分けることができ、それぞれの時間帯に録画プログラム（録画PROG）／イベント発生時の動作プログラム（イベントPROG）を割り当て、スケジュールを作成します。

本機では、録画プログラムとイベントプログラムをそれぞれ4つまで作成できます。録画プログラムは解像度や録画レートなどを設定します。イベントプログラムは、イベントの種類ごとに動作モードや自動コピーの設定を行います。また、通常のスケジュールとは別に「特定日（スペシャルデー）」を設定でき、自動的に別の曜日の録画プログラムに切り換えて動作させることもできます。

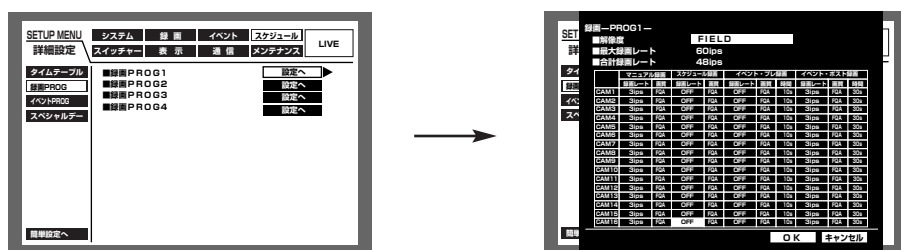
スケジュール作成の流れ

スケジュールは以下の手順で作成します。



録画プログラムを作成する [録画PROG]

解像度、カメラCHごとの録画レート／画質を設定します。録画プログラムは4つまで作成できます。



■解像度

録画する映像の解像度を以下から設定します。

- FRAME 3D ON : 高解像度 (720×480)、画ブレ補正付き
- FRAME 3D OFF : 高解像度 (720×480)
- FIELD : 標準解像度 (720×240)
- SIF : 低解像度 (360×240)



「FRAME 3D ON」では動きの激しい被写体でもブレの少ない映像で記録できますが、映像がぼやけて表示される場合があります。



- 以下の場合、4秒間録画が行われません。
 - ・ 時間帯によって異なる解像度を設定した場合など、解像度が切り換わる時
 - ・ SETUP MENUの設定内容を変更し、SETUP MENUを変更したとき

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■カメラCHごとの録画レート

カメラCHごとの録画レートと画質、録画時間（イベント・プレ録画、イベント・ポスト録画のみ）を設定します。設定できる録画レートは以下の通りです。

OFF/0.1 ips/0.2 ips/0.3 ips/0.4 ips/0.5 ips/1 ips/2 ips/3 ips/5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/15 ips/30 ips/60 ips



- CAM1～16（WJ-HD309はCAM1～9）の録画レートの合計を最大（「FIELD」時：60 ips、「SIF」時：120 ips）に設定した場合、録画レートの低いカメラCHから順に2つのCHの録画レートが設定値よりも低くなる場合があります（録画レートを設定したカメラCHが3CH以上の場合、そのうちの2CH）。このため、イベント・ポスト録画で設定した時間より、長く録画される場合があります。



- 解像度によって、各カメラCHで選択できる録画レートの最大値は以下のようになります。

FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF : 30 ips
FIELD : 60 ips
SIF : 30 ips

- 各カメラCHの最大録画レートの総和が以下の値以下になるように設定してください。

FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF : 30 ips
FIELD : 60 ips
SIF : 120 ips

各カメラCHの最大録画レートの合計が上記の値を超えている時は、各カメラCHで最大録画レートが設定されている個所が赤く表示され、録画PROG画面を閉じることができません。この場合は、赤く表示されている個所の設定値を小さくし、各カメラCHの合計録画レートが上記の値以下となるように再設定してください。

- 録画レートを設定したカメラCHに映像入力がない場合や、途中で映像入力なくなった場合、戻った場合の録画動作は以下のとおりです。

録画開始時に映像入力がない場合

マニュアル録画・スケジュール録画

：録画を開始しません。（映像入力復帰で録画を開始します。）

イベント録画：録画を開始します。（黒画が録画されます。）

途中で映像入力なくなった場合

マニュアル録画・スケジュール録画・イベント録画

：録画を継続します。（黒画が録画されます。）

途中で映像入力に戻った場合

マニュアル録画・スケジュール録画

：録画を開始します。

設定できる画質は以下の通りです。

SFA/SFB : 最高画質（SUPER FINE）

FQA/FQB : 高画質（FINE）

NQA/NQB : 標準画質（NORMAL）

EXA/EXB : 低画質（EXTENDED）

「**A」は、動きの少ない映像に適しています。

「**B」は、動きの多い映像に適しています。

設定できる録画時間（イベント・プレ録画、イベント・ポスト録画のみ）は以下の通りです。

1 s~10 s（1秒単位に設定可）/20 s/30 s/1 min~10 min（1分単位に設定可）/20 min~60 min（10分単位に設定可）

MAN. (MANUAL) : イベントの種類によって以下のようになります。

- ・動き検出時 : 8秒間
- ・ビデオロス時 : ビデオロス中
- ・端子アラーム時 : 信号が入力されている間
- ・コマンドアラーム時 : 8秒間

CON. (CONTINUE) : [アラーム復帰] ボタンを押すまで録画を行います。



- 録画時間がMAN. (MANUAL) に設定されているとき、アラーム動作を解除しなければ、最低8秒間、録画を行います。
- 設定できるイベント・プレ録画時間は、解像度、イベント・プレ録画の録画レートにより異なります。

録画レート[ips]	FRAME 3D ON	FIELD	SIF
	FRAME 3D OFF		
0.1	5 min	10 min	20 min
0.2	2 min	5 min	10 min
0.3	1 min	3 min	6 min
0.4	1 min	2 min	5 min
0.5	1 min	2 min	4 min
1	30 s	1 min	2 min
2	10 s	30 s	1 min
3	10 s	20 s	30 s
5	7 s	10 s	20 s
6	6 s	10 s	20 s
7.5	4 s	9 s	10 s
10	3 s	7 s	10 s
15	2 s	4 s	9 s
30	1 s	2 s	4 s
60	—	1 s	—

- 別売りの増設ユニット（WJ-HDE350シリーズ）内にプレ録画領域を作成すると、解像度、イベント・プレ録画の録画レート、HDDプレ録画領域の容量に応じて最大60分のイベント・プレ録画を行うことができます。プレ録画領域の作成については、207ページをお読みください。
- HDDプレ録画領域が作成されているカメラCHのイベント・プレ録画は、常にHDDプレ録画領域で行われます。
- 設定できないイベント・プレ録画時間を設定した場合、該当するカメラCHのイベント・プレ録画時間の設定値が赤く表示され、録画PROG画面を閉じることができません。この場合は、赤く表示されている個所の設定値を小さく再設定してください。
- 録画レートが低い場合、設定したプレ録画時間よりも長い時間、映像が記録される場合があります。
- イベント・ポスト録画レートがOFFに設定されているカメラCHでは、イベント・プレ録画は行われません。
- 音声はイベント発生の最大16秒前から録音されます。また、HDDプレ録画領域でイベント・プレ録画が行われている場合は、音声は録音されません。
- イベント・プレ録画を行う設定の場合、複数のイベントが瞬時に連続して発生すると、2番目以降のイベントのイベント・ポスト録画の開始日時が実際のイベント開始日時より遅れることがあります（イベント入力ログには実際のイベント発生日時が記録されます）。その場合、イベント・プレ録画の開始日時も設定した時間より遅れますので、複数のイベントが短時間に頻繁に起こる環境でイベント・プレ録画を行う場合は、イベント・プレ録画を長めに設定することをお勧めします。

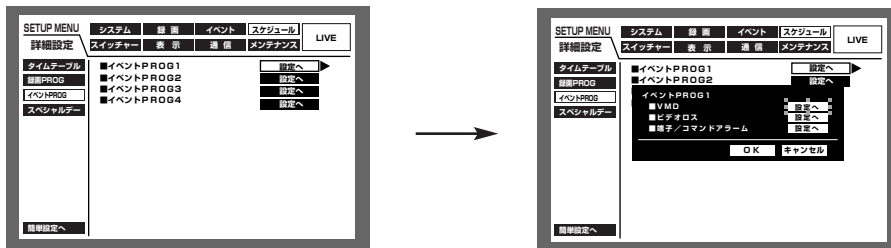


- 以下の場合、直前のイベント・プレ録画映像は消去されます。
 - ・設定を変更してSETUP MENUを終了したとき
 - ・新たなイベント・ポスト録画が開始されたとき
 - ・スケジュールの時間帯が切り換わり、新たな録画が開始されたとき
 - ・日付が変わったとき

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

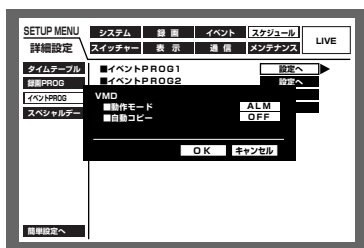
イベント発生時の動作プログラムを作成する【イベントPROG】

イベントの種類ごと（動き検出、ビデオロス、端子／コマンドアラーム）に動作モードや自動コピーの設定を行います。



■VMD

動き検出時の動作モード、自動コピーの設定を行います。



動作モードは以下から設定します。各動作モードについて詳しくは73ページをお読みください。

ADM（アクティビティディテクションモード）：イベント発生時、録画とイベント発生履歴（イベント入力ログ）への書き込み、カメラのプリセットポジションへの移動のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

ALM（アラームモード）：すべてのイベント動作を設定に従って行います。

OFF：イベント入力ログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

自動コピーは録画された映像を自動的にHDDのコピー領域またはDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードにコピーする機能です。自動コピーはON／OFFで設定します。

ON：自動コピーを行います。

OFF：自動コピーを行いません。



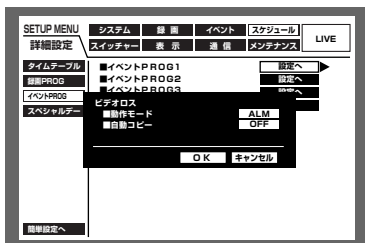
- 「システム」の「基本設定」にある「自動コピー設定」が「OFF」に設定されていると、この設定を「ON」にしても、自動コピーが動作しません。「自動コピー設定」を「HDD」「COPY1」「COPY2」のいずれかに設定してください。

- HDDプレ録画領域（207ページ）に記録されたイベント・プレ録画映像は自動コピーされません。

- CD-R、DVD-Rには自動コピーできません。

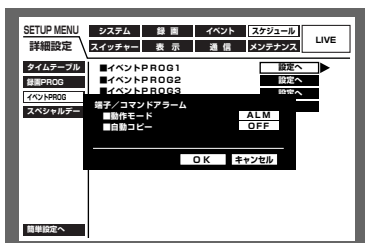
■ビデオロス

ビデオロス発生時の動作モード、自動コピーの設定を行います。
設定する内容は「■VMD」と同じです。



■端子/コマンドアラーム

端子/コマンドアラーム発生時の動作モード、自動コピーの設定を行います。
設定する内容は「■VMD」と同じです。



時間帯を設定し、録画PROG/イベントPROGを割り当てる [タイムテーブル]

曜日ごと、毎日、外部録画モードの中から1日の録画動作の時間帯 (タイムテーブル) を設定し、各タイムテーブルに動作する録画PROG/イベントPROGを割り当てます。



以下の手順に従ってタイムテーブルを作成します。

画面1

タイムテーブルの画面から操作します。

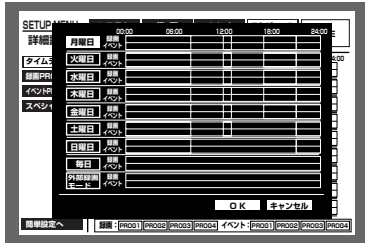


- 1 [セット] ボタンを押します。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

画面2

すべての曜日のタイムテーブルの設定画面がポップアップ表示され、カーソルが「月曜日」に移動します。



- 2 十字ボタンの▼または▲を押して、曜日を選択し、[セット] ボタンを押します。



- 本機後面のアラーム／コントロール端子（外部録画モード切換ピン②④）から信号が入力されると、「外部録画モード」で設定したタイムテーブルに切り換えて動作します。

画面3

選択した曜日のタイムテーブル設定画面がポップアップ表示されます。



- 3 十字ボタンの▼または▲を押して、「個別設定」を選択し、[セット] ボタンを押すか、ジョグダイヤル（内側）を回してチェックを入れます。

画面4

「個別設定」が選択され、チェックが入ります。



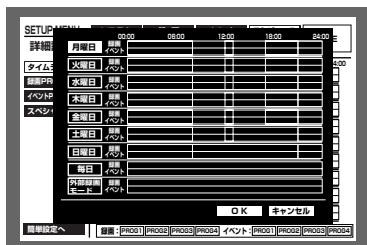
- 4 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、「時間帯1」の開始時刻にカーソルを移動します。
- 5 ジョグダイヤル（内側）を回して、開始時刻を設定します。終了時刻も同じように設定します。手順4、5を繰り返して時間帯2～6を設定します（時間帯1～6をすべて設定する必要はありません）。
- 6 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



- 開始時刻・終了時刻は1分単位で設定できます。ただし、開始時刻・終了時刻の間隔を15分より短くすることはできません。
- 開始時刻に「23:46」以降は設定できません。
- 他の曜日で設定されているタイムテーブルをコピーしたい場合は、手順3でカーソルを「他曜日の設定をインポート」に合わせ、チェックを入れます。次に十字ボタン（▶）を押して、カーソルを曜日欄に合わせ、曜日をジョグダイヤルで選択します。その後、「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
※本コピーは「時間帯」のみが対象です。録画PROG/イベントPROGすべてをコピーしたい場合は、ウェブブラウザから設定してください。
- 手順6で「キャンセル」を選択して、[セット] ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、選択した曜日のタイムテーブル設定画面が閉じます。

画面5


タイムテーブルが設定され、すべての曜日のタイムテーブル設定画面の表示に戻ります。



7 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して録画PROG/イベントPROGを割り当てたい曜日の時間帯にカーソルを合わせます。

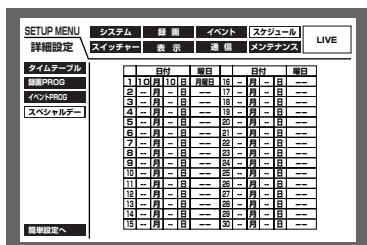
8 ジョグダイヤル (内側) を回して、割り当てたい録画PROG/イベントPROGを選択します (ジョグダイヤルを回すたびに録画プログラムが切り換わります)。録画プログラムは色分けして表示されています。
 録画PROG1・イベントPROG1：黄色
 録画PROG2・イベントPROG2：緑色
 録画PROG3・イベントPROG3：薄紫
 録画PROG4・イベントPROG4：濃青
 [セット] ボタンを押すと、割り当てられている録画PROG/イベントPROG画面 (☞167、170ページ) を表示できます。
 手順7、8を繰り返して、他の時間帯の録画プログラムの割り当てを行います。

9 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
 →選択した時間帯に録画PROG/イベントPROGが割り当てられ、タイムテーブル設定画面が閉じます。

 ●手順9で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、タイムテーブル設定画面が閉じます。

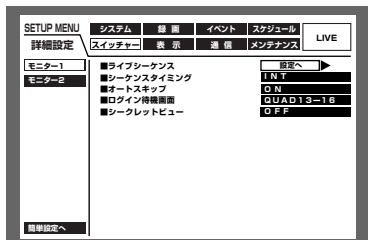
特定日の録画プログラムを設定する [スペシャルデー]

特定日として個別に別の曜日のタイムテーブルを割り当てます。特定日は30日分設定できます。特定日として設定したい日付と、動作させたい録画スケジュールの曜日を設定します。



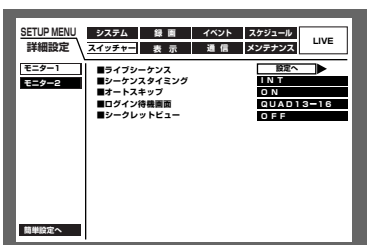
スイッチャー機能に関する設定 [スイッチャー]

モニター1、2のそれぞれのシーケンス動作の設定やログアウト待機中の画面表示など、映像切り換えに関する設定を行います。



モニター1のスイッチャー機能を設定する [モニター1]

モニター1のスイッチャー機能に関する以下の機能を設定します。

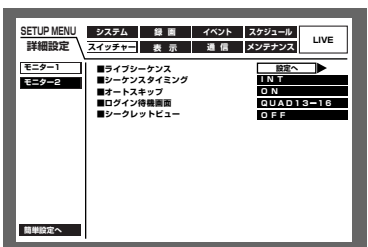


■ライブシーケンス

カメラ映像のシーケンス動作を設定します。以下の手順に従って、シーケンス動作を設定します。

画面1

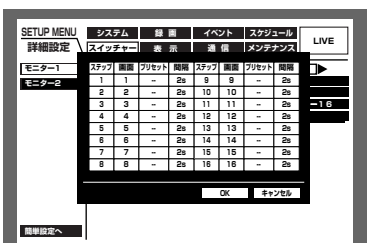
シーケンス動作の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「ライブシーケンス」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

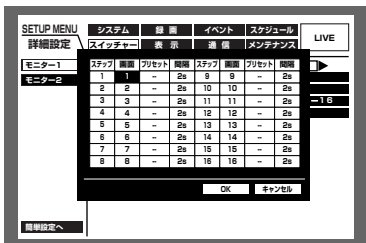
ライブシーケンス設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、ステップ1の「画面」欄にカーソルを合わせます。

画面3

「画面」の欄にカーソルが移動します。

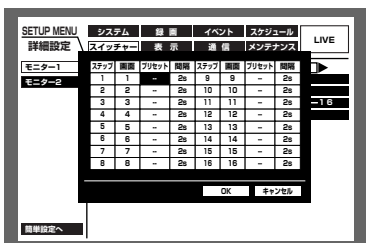


- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステップ1で表示するカメラ映像を以下から選択します。
- 1~16 (WJ-HD350のみ) : 選択したカメラCHの映像を1画面表示します。
 - 1~9 (WJ-HD309のみ) : 選択したカメラCHの映像を1画面表示します。
 - 1-4 : 1~4CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 5-8 : 5~8CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 9-9 (WJ-HD309のみ) : 9CHのカメラ映像を4画面の左上に表示します。
 - 9-12 (WJ-HD350のみ) : 9~12CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 13-16 (WJ-HD350のみ) : 13~16CHのカメラ映像を4画面表示します。
 - 1-9 : 1~9CHのカメラ映像を9画面表示します。
 - 10-16 (WJ-HD350のみ) : 10~16CHのカメラ映像を9画面表示します。
 - : スキップします。

- 4 手順3で1画面表示のカメラCHを選択した場合は、カメラの位置を選択します。
十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、ステップ1の「プリセット」にカーソルを合わせます。

画面4

ステップ1の「プリセット」にカーソルが移動します。

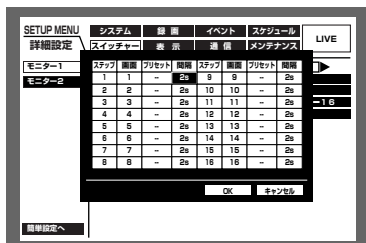


- 5 ジョグダイヤル（内側）を回して、ステップ1で表示するカメラの位置を以下から選択します。
- 1~256 : 選択したプリセット番号へ移動します。
 - : プリセット移動しません。
- カメラ選択ボタン (1~10/0、WJ-HD309では1~0) を押しても選択できます。
- 6 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、ステップ1の「間隔」欄にカーソルを合わせます。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

画面5

ステップ1の「間隔」欄にカーソルが移動します。



- 7 ジョグダイヤル（内側）を回して、次のシーケンスステップに切り換わるまでの時間を、1 s～30 sの間で1秒単位で設定します。
手順2～7を繰り返して、他のシーケンスステップの設定を行います。
- 8 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→シーケンス動作が設定され、シーケンス設定画面が閉じます。



- 手順8で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、シーケンス設定画面が閉じます。

■シーケンスタイミング

ライブシーケンス時のカメラ映像の切り換え方法を以下から設定します。

INT : ライブシーケンスの設定に従って、映像を切り換えます。

EXT : 外部機器からの信号で映像を切り換えます。

MON2 : モニター2のライブシーケンスの映像切り換えタイミングに合わせます。



- 「EXT」はシーケンス信号を出力する外部機器が接続されている場合に設定します。

■オートスキップ

カメラが接続されていないなど、映像入力が行われないカメラCHをスキップするかどうかをON/OFFで設定します。

ON : カメラが接続されていないチャンネルをスキップします。

OFF : カメラが接続されていないチャンネルを黒画で表示します。

■ログイン待機画面

ログイン待機中に表示されるカメラ映像を以下から設定します。

- CAM1～16 (WJ-HD350のみ) : 選択したカメラCHの映像を表示します。
- CAM1～9 (WJ-HD309のみ) : 選択したカメラCHの映像を表示します。
- QUAD1-4 : 1～4CHのカメラ映像を4画面表示します。
- QUAD5-8 : 5～8CHのカメラ映像を4画面表示します。
- QUAD9 (WJ-HD309のみ) : 9CHのカメラ映像を4画面の左上に表示します。
- QUAD9-12 (WJ-HD350のみ) : 9～12CHのカメラ映像を4画面表示します。
- QUAD13-16 (WJ-HD350のみ) : 13～16CHのカメラ映像を4画面表示します。
- 7SCREEN : 1～7CHのカメラ映像を7画面表示します。
- 9SCREEN (WJ-HD309のみ) : 9画面で表示します。
- 9SCREEN1-9 (WJ-HD350のみ) : 1～9CHのカメラ映像を9画面表示します。
- 9SCREEN10-16 (WJ-HD350のみ) : 10～16CHのカメラ映像を9画面表示します。
- 10SCREEN (WJ-HD350のみ) : 1～10CHのカメラ映像を10画面表示します。
- 13SCREEN (WJ-HD350のみ) : 1～13CHのカメラ映像を13画面表示します。
- 16SCREEN (WJ-HD350のみ) : 1～16CHのカメラ映像を16画面表示します。
- SEQ : シーケンス表示します。
- : カメラ映像を表示しません。(黒画表示)

■シークレットビュー

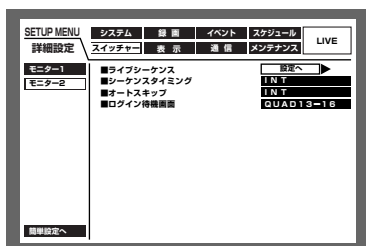
シークレットビュー機能は、モニター2で1画面表示しているカメラ映像をモニター1で黒画表示する機能です。このシークレットビューを設定するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : シークレットビューを設定します（モニター2で1画面表示しているカメラ映像は黒画で表示されます。ただし、モニター2で再生映像を表示している場合、黒画表示されません）。

OFF : シークレットビューを設定しません。

モニター2のスイッチャー機能を設定する [モニター2]

モニター2のスイッチャー機能に関する以下の機能を設定します。



■ライブシーケンス

設定する内容はモニター1と同じです。174ページをお読みください。

■シーケンスタイミング

カメラ映像の切り換え方法を以下から設定します。

INT : ライブシーケンスの設定に従って、映像を切り換えます。

EXT : 外部機器からの信号で映像を切り換えます。



- 「EXT」はシーケンス信号を出力する外部機器が接続されている場合に設定します。
- 後面のアラーム／コントロール端子のシーケンス切換ピン①は「INT」に設定されているときは出力として、「EXT」に設定されているときは入力として動作します。

■オートスキップ

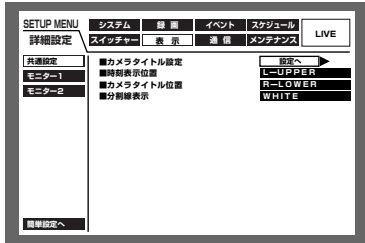
設定する内容はモニター1と同じです。176ページをお読みください。

■ログイン待機画面

設定する内容はモニター1と同じです。176ページをお読みください。

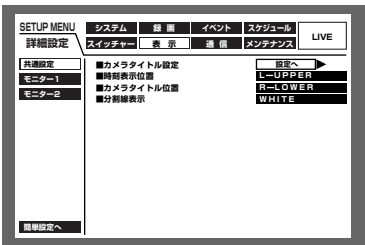
表示に関する設定 [表示]

モニター1、2の表示に関する設定を行います。



モニター共通の設定を行う [共通設定]

カメラタイトルの設定や時刻表示の表示位置の設定など、モニター1、2共通の表示に関する以下の設定を行います。

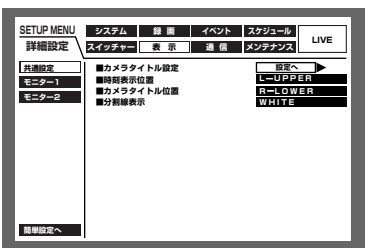


■カメラタイトル設定

カメラタイトルを設定します。カメラタイトルはモニター1／モニター2に表示およびカメラ映像の録画時に映像の一部として録画されます（※157ページ）。以下の手順に従って、カメラタイトルを設定します。

画面1

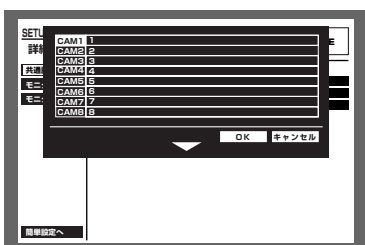
共通設定の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「カメラタイトル設定」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

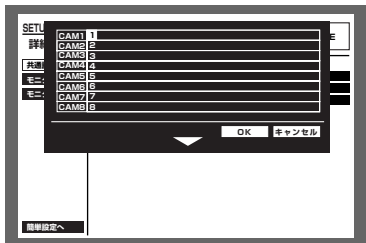
カメラタイトル設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、「CAM1」のタイトル入力欄にカーソルを合わせます。

画面3

CAM1のタイトル入力欄にカーソルが移動します。



3 ジョグダイヤル（内側）を回して、入力する文字を選択します。
タイトルは半角16文字以内で入力します。

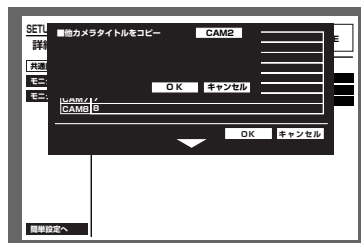
4 十字ボタンの▶を押して、カーソルを入力した文字の右に移動します。
手順3、4を繰り返して、カメラタイトルを入力します。



- カメラタイトルに設定できる文字は以下のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E
F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z アイウ
エオカキクケコサシスセン
タチツテトナニヌネノハヒ
フヘホマミムメモヤユヨラ
リルレロワン ° ヲァィウエ
ォャユョッー？”＃＆（
＊＋，－．／：；（スペース）



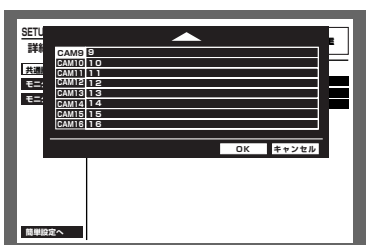
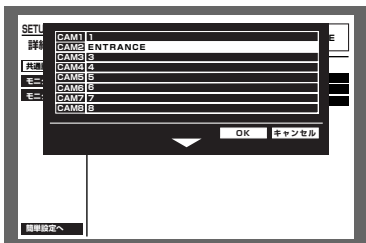
- 入力した文字を修正したいときは、修正したい文字にカーソルを合わせ、[停止] ボタンを押して、削除します。その後、文字を入力し直します。
- 他のカメラCHで設定したカメラタイトルをコピーしたいときは、以下の手順で操作します。
 - 前ページの手順2で「カメラCH」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。以下の画面が表示されます。



- ジョグダイヤル（内側）を回して、コピー元のカメラCHを選択します。
- 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、カメラタイトルがコピーされます。

画面4

カメラタイトルが入力されます。



5 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→WJ-HD350では「OK」または「キャンセル」を選択しているときに、十字ボタンの▼を押すと、CAM9～16のカメラタイトル設定画面が表示されます。同様に手順2～4の操作を行いカメラタイトルを設定します。



- 手順5で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、カメラタイトル設定画面が閉じます。
- PCからネットワークを経由して設定を行うと、表示用カメラタイトル（モニター2に表示されるカメラタイトル）と埋め込み用タイトル（モニター1に表示されるカメラタイトル、画像へ埋め込まれるカメラタイトル）を個別に設定できます。詳しくは取扱説明書 ネットワーク設定編をお読みください。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■時刻表示位置

時刻表示の表示位置を以下から設定します。

- L-UPPER : 画面左上に表示します。
- R-UPPER : 画面右上に表示します。
- L-LOWER : 画面左下に表示します。
- R-LOWER : 画面右下に表示します。



- 映像の録画時、合わせて時刻表示も録画するよう設定している場合は、この設定で指定された位置に時刻表示が埋め込まれます。
- 時刻埋め込みについては157ページをお読みください。

■カメラタイトル位置

カメラタイトルの表示位置を以下から設定します。

- L-UPPER : 画面左上に表示します。
- R-UPPER : 画面右上に表示します。
- L-LOWER : 画面左下に表示します。
- R-LOWER : 画面右下に表示します。
- CENTER : 画面中央に表示します。



- 映像の録画時、合わせてカメラタイトルも録画するよう設定している場合は、この設定で指定された位置にカメラタイトルが埋め込まれます。
- カメラタイトル埋め込みについては157ページをお読みください。

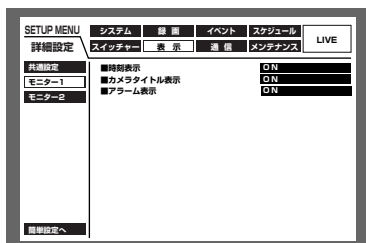
■分割線表示

画面に表示される分割線の色を以下から設定します。

- WHITE : 白い分割線を表示します。
- GRAY : グレーの分割線を表示します。
- BLACK : 黒の分割線を表示します。

モニター1の表示に関する設定を行う [モニター1]

モニター1の時刻表示、カメラタイトル表示、アラーム表示のON/OFFの設定を行います。



■時刻表示

時刻を表示するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : 時刻を表示します。

OFF : 時刻を表示しません。

■カメラタイトル表示

カメラタイトルを表示するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : カメラタイトルを表示します。

OFF : カメラタイトルを表示しません。

■アラーム表示

イベント発生時、アラーム表示を行うかどうかをON/OFFで設定します。

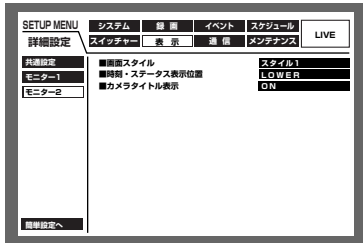
ON : アラーム表示を行います。

OFF : アラーム表示を行いません。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

モニター2の表示に関する設定を行う [モニター2]

タスクバーの表示スタイル、時刻表示の表示位置、カメラタイトル表示のON/OFFなど、モニター2の表示に関する以下の設定を行います。



■画面スタイル表示

タスクバーの表示スタイルを以下から設定します。表示スタイルについては23ページをお読みください。

- スタイル1 : 画面スタイルを「スタイル1」にします。
- スタイル2 : 画面スタイルを「スタイル2」にします。
- スタイル3 : 画面スタイルを「スタイル3」にします。

■時刻・ステータス表示位置

画面スタイル表示を「スタイル1」に設定した場合の時刻・ステータスの表示位置を以下から設定します。

- UPPER : 画面上部に表示します。
- LOWER : 画面下部に表示します。

■カメラタイトル表示

カメラタイトルを表示するかどうかをON/OFFで設定します。

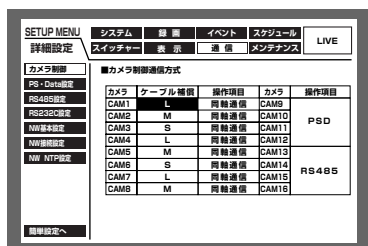
- ON : カメラタイトルを表示します。
- OFF : カメラタイトルを表示しません。

他の機器との通信に関する設定 [通信]

DATAポートまたはシリアル端子にコントローラーなどの外部機器を接続する場合、接続する機器と通信プロトコルや通信速度などを一致させる必要があります。

また、本機をLANなどのネットワークに接続し、ネットワークを経由してPCから操作するときは、IPアドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークに関する設定を行う必要があります。

ここでは、外部機器との通信に必要な設定を行います。



カメラ制御の通信方式とケーブル補償を設定する [カメラ制御]

カメラCHごとにカメラ制御の通信方式を以下から設定します。



- 同軸通信 : 同軸通信でカメラ制御を行います。(CAM1~8CHまで設定可、WJ-HD309はCAM1~6)
- PSD : PS・Dataでカメラ制御を行います。(CAM1~16CHまで設定可、WJ-HD309はCAM1~9)
- RS485 : RS485通信でカメラ制御を行います。(CAM1~16まで設定可、WJ-HD309はCAM1~9)
- OFF : カメラ制御を行いません。(CAM1~CAM16まで設定可、WJ-HD309はCAM1~9)



- 本機に接続されているカメラの種類に合わせて設定を行ってください。
- CAM9~16は4台ずつの設定になります。
- 同軸通信でカメラを制御したい場合は、映像入力端子1~8(同軸通信付、WJ-HD309の場合1~6)にカメラを接続してください。他のカメラCHに接続されているカメラを同軸通信で制御したい場合は、弊社の同軸通信ユニットをご使用ください。この場合、同軸通信ユニットを経由して制御するカメラのカメラCHの通信方式は「PSD」に設定してください。
- 誤操作を防ぐために、カメラ制御を行わないカメラCHはOFFに設定してください。

CAM1~8(WJ-HD309ではCAM1~6)ではカメラから送られてくる映像信号の伝送ロスを補正する設定を行うことができます(ケーブル補償)。ケーブルの長さに合わせて設定してください。

- S : ケーブル長が500 m未満の場合
- M : ケーブル長が500 m以上900 m未満の場合
- L : ケーブル長が900 m以上1200 m未満の場合

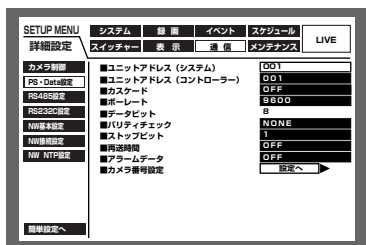


- ケーブルは5C-2Vのものをお使いください。
- ケーブル補償はケーブルの長さに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと、カメラ映像が正しく表示/録画されない場合があります。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

PS・Dataに関する設定を行う【PS・Data設定】

PS・Dataに関する以下の設定を行います。



■ユニットアドレス（システム）

ユニットアドレスとは、PS・Data機器ごとに設定する固有の番号です。PS・Dataに対応しているシステム機器を複数つなげて使用する場合、機器を識別するため、他の機器と重複しないように設定する必要があります。ここではシステム機器用のユニットアドレスを「001」～「099」で設定します。

■ユニットアドレス（コントローラー）

ユニットアドレス（コントローラー）とは、本機で接続しているPS・Data機器を制御するとき使用するユニットアドレスです。「001」～「099」で設定します。

システムコントローラー（WV-CU650、WV-CU360C）では「コントローラー番号」と呼んでいます。

■カスケード

カスケード接続を行うかどうかをON/OFFで設定します。本機を複数台使用してカスケード接続を行う場合は、ONに設定してください。

ON : カスケード接続します。

OFF : カスケード接続しません。

■ボーレート

接続している機器とデータをやりとりするときの通信速度を以下から設定します。

2 400 bps / 4 800 bps / 9 600 bps / 19 200 bps / 38 400 bps

■データビット

通信するときのデータの長さを表示します。設定値は変更できません。

■パリティチェック

通信するときの伝送の誤りをチェックする方法を以下から設定します。

NONE : パリティチェックなし

EVEN : 偶数パリティ

ODD : 奇数パリティ

■ストップビット

ストップビットの種類を以下から設定します。

1 bit / 2 bit

■再送時間

データの受信が確認できなかった場合、同じデータを再送するまでの時間を以下から設定します。

OFF / 100 ms / 200 ms / 400 ms / 1 000 ms

■アラームデータ

イベントが発生したことを接続されているコントローラーに通知する方法を以下から設定します。

- OFF : 通知しません。
- 0 s : イベントを検出するたびにコントローラーに通知します。
- 1 s / 5 s : イベント検出後、設定した時間を経過してから通知します。

■カメラ番号設定

PS・Data対応のコントローラーでカメラを操作するための番号（001～999）をカメラCHごとに設定します。以下の手順に従って、カメラ番号を設定します。

画面1

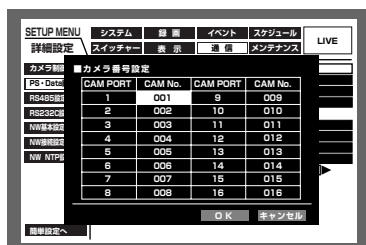
PS・Data設定の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「カメラ番号設定」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

カメラ番号設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、設定したいCAM PORTのCAM No.にカーソルを合わせます。
- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して、またはテンキーでカメラ番号を選択します。手順2、3を繰り返して、他のCAM PORTのカメラ番号を設定します。
- 4 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→カメラ番号が設定され、カメラ番号設定画面が閉じます。

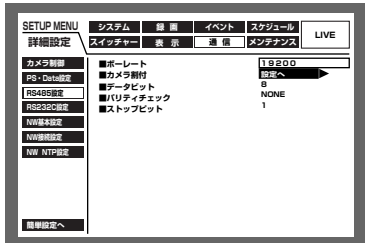


- カメラ番号が重複した場合、カメラ番号が赤表示され設定できません。
- 手順4で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、カメラ番号設定画面が閉じます。

SETUP MENU – 詳細設定 (つづき)

RS485に関する設定を行う [RS485設定]

RS485 に関する以下の設定を行います。



■ボーレート

接続している機器とデータをやりとりするときの通信速度を以下から設定します。

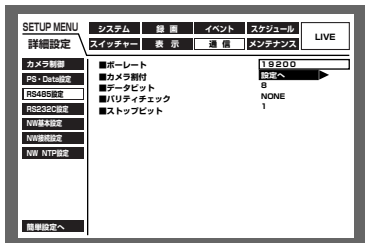
4 800 bps / 9 600 bps / 19 200 bps

■カメラ割付

以下の手順に従って、RS485ポート1、2にカメラCHを割り付けます。

画面1

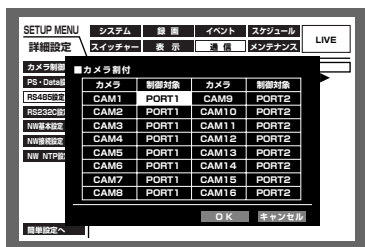
RS485設定の画面から操作します。



- 1 十字ボタンの▼または▲を押して「カメラ割付」の「設定へ」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

カメラ割付設定画面がポップアップ表示されます。



- 2 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、設定したいカメラCHの制御対象の欄にカーソルを合わせます。
- 3 ジョグダイヤル (内側) を回して、ポートを選択します。
PORT1 : RS485ポート1から制御します。
PORT2 : RS485ポート2から制御します。
手順2、3を繰り返して、他のカメラCHの制御対象のポートを設定します。
- 4 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して「OK」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→制御対象のポートとカメラ番号が設定され、カメラ割付設定画面が閉じます。



- 手順4で「キャンセル」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押すと、設定をキャンセルして、カメラ割付設定画面が閉じます。
- カメラのユニットアドレスはカメラ番号と同じになります。

■データビット

通信するときのデータの長さを表示します。設定値は変更できません。

■パリティチェック

通信するときの伝送の誤りをチェックする方法を表示します。設定値は変更できません。

■ストップビット

ストップビットの種類を表示します。設定値は変更できません。

シリアル (RS232C) に関する設定を行う [RS232C設定]

シリアル (RS232C) に関する以下の設定を行います。



■ユニットアドレス (システム)

ユニットアドレスとは、機器ごとに設定する固有の番号です。システム機器を複数つなげて使用する場合、機器を識別するため、他の機器と重複しないように設定する必要があります。ここではシステム機器用のユニットアドレスを「001」～「099」で設定します。

■ボーレート

接続している機器とデータをやりとりするときの通信速度を以下から設定します。

9 600 bps / 19 200 bps / 38 400 bps

■データビット

通信するときのデータの長さを以下から設定します。

7 bit / 8 bit

■パリティチェック

通信するときの伝送の誤りをチェックする方法を以下から設定します。

NONE : パリティチェックなし

EVEN : 偶数パリティ

ODD : 奇数パリティ

■ストップビット

ストップビットの種類を以下から設定します。

1 bit / 2 bit

■再送時間

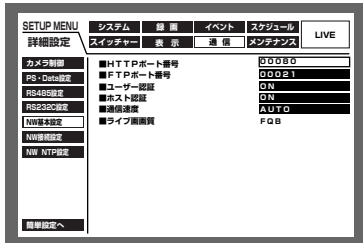
データの受信が確認できなかった場合、同じデータを再送するまでの時間を以下から設定します。

OFF / 100 ms / 200 ms / 400 ms / 1 000 ms

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

ネットワークに関する基本設定を行う [NW基本設定]

本機をLANなどのネットワークを経由してPCから操作する場合に必要なネットワークに関する基本設定を行います。



■HTTPポート番号

本機のHTTPポート番号を設定します。通常は変更する必要はありません。



- 以下の番号とFTPポート番号に設定されている番号をHTTPポート番号に設定することはできません。
20、21、23、25、42、67、68、69、79、105、110、123、161、162、10000、
10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

■FTPポート番号

本機のFTPポート番号を設定します。



- 以下の番号とHTTPポート番号に設定されている番号をFTPポート番号に設定することはできません。
20、23、25、42、67、68、69、79、80、105、110、123、161、162、10000、
10001、10002、10003、10004、10005、10006、10007

■ユーザー認証

PCから本機にアクセスするときにユーザー認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定すると、PCからアクセスしたときに認証画面が表示されます。登録されているユーザー名とパスワードを入力し、正しければトップページが表示されます。

ON : ユーザー認証します。

OFF : ユーザー認証しません。



- セキュリティ確保のため、ユーザー認証を「ON」に設定することをお勧めします。

■ホスト認証

PCから本機にアクセスするときにIPアドレスで認証を行うかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定すると、登録されているIPアドレス（☎189ページ）のPCからのみネットワークを経由して本機を操作することができます。

ON : ホスト認証します。

OFF : ホスト認証しません。



- 本機の設定がユーザー認証、ホスト認証ともONに設定されているときは、登録済みのホストから本機へのアクセスの場合、操作を行うことができます。操作できる機能は認証されたユーザーのレベル設定に従います。登録されていないホストから本機へのアクセスの場合、操作を行うことはできません。

■通信速度

データの通信速度を設定します。

AUTO	: 自動設定します。	100-HALF	: 100 Mbps半二重
10-HALF	: 10 Mbps半二重	100-FULL	: 100 Mbps全二重
10-FULL	: 10 Mbps全二重		



- 通信速度の設定を変更してSETUP MENUを終了すると、本機は再起動します。

■ライブ画質

ライブ映像を表示する際の画質を表示します。設定の変更はウェブブラウザからのみ行えます。詳しくは、取扱説明書 ネットワーク設定編 (PDFファイル) をお読みください。

FQB	: 高画質 (通常時に使用します)
NQB(QVGA)	: 低画質

ネットワークの接続に関する設定を行う [NW接続設定]

本機をLANなどのネットワークを経由してPCから操作する場合に必要なネットワークの接続に関する設定を行います。



■DHCP

DHCPサーバーを使用するかどうかをON/OFFで設定します。

IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから取得する場合、「ON」に設定します。これらのアドレスを手動で入力する場合は「OFF」に設定します。

ON	: DHCPサーバーを使用します。
OFF	: DHCPサーバーを使用しません。

■IPアドレス

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、IPアドレスを入力します。本機は0~254までの10進数を4つに区切って入力します。

■ネットマスク

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってネットマスクを入力します。

■ゲートウェイ

「DHCP」の設定を「OFF」にした場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

■DNS

DNSを使用してホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにするときは、「MANUAL」または「AUTO」に設定します。DNSを使用しないときは「OFF」に設定します。「AUTO」は「DHCP」の設定が「ON」の場合のみ設定できます。「MANUAL」は「DHCP」の設定が「ON」または「OFF」どちらでも設定できます。「MANUAL」に設定した場合、「プライマリ」と「セカンダリ」にDNSサーバーのサーバーアドレスの入力が必要です。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■DDNS

DDNS（Dynamic Domain Name System）を使用するかどうかをON/OFFで設定します。

「ON」に設定した場合、以下を設定します。

ユーザー名 : DDNS に登録されているユーザー名を入力します。

パスワード : ユーザー名に入力したユーザーのパスワードを入力します。

アクセス間隔 : DNSを更新する間隔を10 min/30 min/1 h/6 h/24 hから選択します。

■ホスト名

DDNSに登録したホスト名を入力します。入力は半角英数字、(-) ハイフンを使用し、255文字以内になしてください。

■ドメイン名

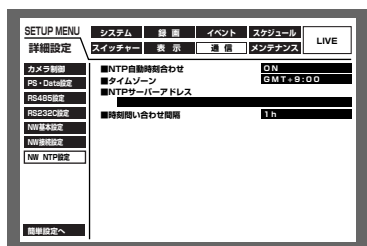
本機のドメイン名を入力します。入力は半角英数字、(-) ハイフンを使用し、255文字以内になしてください。



- ホスト名、ドメイン名の先頭文字は英字になしてください。

ネットワークの時刻合わせに関する設定を行う [NW NTP設定]

時刻設定に関する以下の設定を行います。



■NTP自動時刻合わせ

NTPサーバーを基準に時刻を調節するかどうかをON/OFFで設定します。

ON : NTPサーバーを基準に時刻を調節します。

OFF : NTPサーバーを基準に時刻を調節しません。



- NTP自動時刻合わせは、NTPサーバーの基準時刻から±5秒以上本機の時刻がずれていた場合に行われます。
- 緊急録画中、イベント録画中（1CHでもイベント録画が行われているとき）は、NTP自動時刻合わせは実行されません。

■タイムゾーン

NTPサーバーを使って時刻設定を行う場合、使用の場所に応じたタイムゾーンを設定します。国内で使用する場合は、「GMT+9:00」に設定してください。

■NTPサーバーアドレス

NTPサーバーを使って時刻設定を行う場合、NTPサーバーのアドレスを入力します。

■時刻問い合わせ間隔

NTPサーバーへの時刻の問い合わせ間隔を以下から設定します。

1 h/2 h/6 h/12 h/24 h



- 「NTP自動時刻合わせ」により、現在時刻の設定を変更した場合（±5秒ずれのとき）、約4秒間録画が行われません。

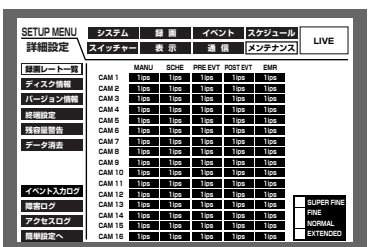
メンテナンスに関する機能 [メンテナンス]

HDDに関する設定を行います。また、イベント発生履歴や障害発生履歴、アクセス履歴を確認することもできます。



カメラCHごとの録画レート・画質を確認する [録画レート一覧]

カメラCHごとに各録画モードの録画レート（以下）を一覧で表示します。



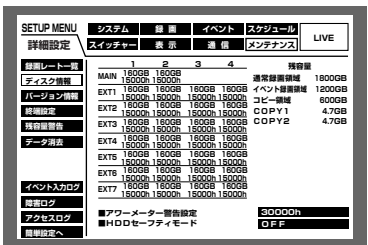
- MANU : マニュアル録画
- SCHE : スケジュール録画
- PRE EVT : イベント・プレ録画
- POST EVT : イベント・ポスト録画
- EMR : 緊急録画

詳細設定

ディスクの残容量を確認する [ディスク情報]

本機の内蔵HDD（通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域）や別売りの増設ユニット（EXT1～7）、コピー1端子、コピー2端子に接続しているDVD-RAMディスク、CD-Rディスク、DVD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカードの容量と残容量を表示します。また、HDDや別売りの増設ユニットに記録されている映像の日時範囲を確認することもできます。本機の内蔵HDDについて詳しくは40ページをお読みください。

また、HDDの警告を行う稼働時間（アワーメーター）、HDDセーフティモードの設定もこのメニューで行います。



- ここで表示されるHDDの容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDDの容量は少なく表示されます。
- 「終端設定」が「CONTINUE」に設定されている場合、残容量は「—」と表示されます。
- 接続されていないディスクや存在しない領域は「**」と表示されます。

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

各HDDに記録されている映像の日時範囲を表示する

HDDや別売りの増設ユニットに記録されている映像の日時範囲を表示します。以下の手順に従って操作します。

画面1

ディスク情報の画面から操作します。



- 1 [セット] ボタンを押します。
→MAIN-1のHDD容量にカーソルが表示されます。
- 2 十字ボタン（▼▲◀▶）を押して、HDDディスクを選択し、[セット] ボタンを押します。

画面2

選択したHDDの各録画領域に記録されている映像の日時範囲がポップアップ表示されます。



- 3 選択したHDDの各録画領域に記録されている映像の日時範囲を確認できます。録画領域が存在しない場合は、「--」が表示されます。
画面を閉じる場合は [設定/ESC] ボタンを押します。

■アワーメーター警告設定

本機のHDDの稼働時間が設定値を超えたときに警告を行います。HDDの交換目安は25℃の環境で20 000～30 000時間となっています。（☞93ページ）

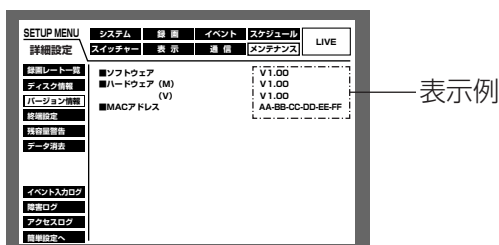
10 000 h / 20 000 h / 30 000 h

■HDDセーフティモード

本機の電源を入れた状態で設置作業などを行うときは、「ON」を選択してください。SETUP MENUを閉じると、本機が再起動し、HDDセーフティモードになります。詳しくは99ページをお読みください。初期設定は「ON」になっています。

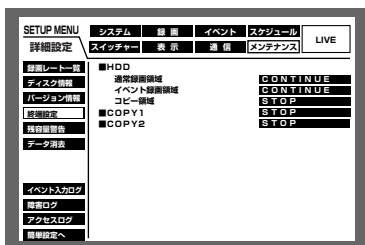
バージョン情報を確認する [バージョン情報]

ソフトウェア、ハードウェアのバージョン情報とMACアドレスを表示します。



ディスクの残容量がなくなったときの動作を設定する [終端設定]

本機の内蔵HDD（通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域）やコピー1、2端子に接続したDVD-RAMディスク、CD-Rディスク、DVD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカードの残容量がなくなったときの動作を以下から設定します。



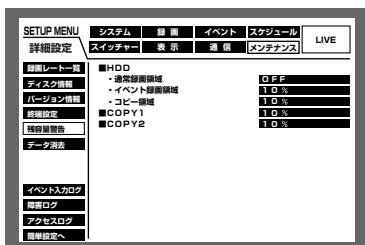
- CONTINUE : 残容量がなくなると、データの古い順に上書きして新しいデータを保存します。
- STOP : 残容量がなくなると、録画・コピーを中止します。

- 重要**
 - 「CONTINUE」で上書き録画中に「STOP」に設定を変更すると、最も古い1時間分の録画映像が消去されます。消去された録画映像は、「CONTINUE」に戻しても復元しません。
- メモ**
 - CD-Rディスク、DVD-Rディスクを使用しているとき、終端設定が「CONTINUE」に設定されていても、ディスクの残容量がなくなるとコピーを中止します。

ディスクの残容量警告動作を設定する [残容量警告]

本機の内蔵HDD（通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域）やコピー1、2端子に接続したDVD-RAMディスク、CD-Rディスク、DVD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカードの残容量が設定値に達すると、警告動作を行うよう設定します。

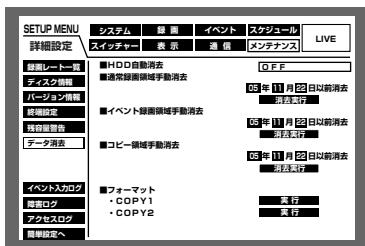
設定値は1%～10%まで1%単位で設定できます。またOFFに設定すると、警告動作を行いません。



- 重要**
 - 「終端設定」を「CONTINUE」に設定している場合、警告動作は行われません（CD-Rディスク、DVD-Rディスク使用時を除く）。

HDD内の映像データを消去する [データ消去]

本機の内蔵HDD（通常録画領域、イベント録画領域）内の映像データを消去します。消去の方法には、自動消去と手動消去の2種類があります。また、DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードの初期化（フォーマット）もこのメニューで行います。



SETUP MENU－詳細設定（つづき）

■HDD自動消去

記録されてから設定した日数が経過すると、自動的に映像データを消去するよう設定します。

設定できる日数は以下のとおりです。OFF に設定すると、自動消去を行いません。

OFF/1DAY/2DAYS/3DAYS/4DAYS/5DAYS/6DAYS/7DAYS/8DAYS/9DAYS/10DAYS/
14DAYS/30DAYS/45DAYS/60DAYS/90DAYS/120DAYS/150DAYS/180DAYS



- HDDのコピー領域に記録された映像データは自動消去されません。
- HDD自動消去は0:05:00に実行されます。また、「1DAY」に設定した場合の動作例は以下のとおりです。

録画開始日時	自動消去される日時
05.8.4 0:00:00	05.8.5 0:05:00
05.8.3 23:55:00	05.8.4 0:05:00
05.8.3 23:50:00	05.8.4 0:05:00

■通常録画領域手動消去

日付を設定し、設定した日付の前日までにHDDの通常録画領域に記録された映像データを消去します。

日付を入力し、西暦は下2桁で入力します。

■イベント録画領域手動消去

日付を設定し、設定した日付の前日までにHDDのイベント録画領域に記録された映像データを消去します。

■コピー領域手動消去

日付を設定し、設定した日付の前日までに記録され、コピー領域にコピーされた映像データを消去します。

■フォーマット

コピー端子に接続したDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを初期化します。

イベント発生履歴を確認する【イベント入力ログ】

イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。

各イベント内容の詳細については73ページをお読みください。

No.	日時	内容
001	05.8.25 11:20:11 PM	LOSS-18
002	05.8.25 11:49:29 PM	TRM-1
003	05.8.25 11:59:23 PM	VMD-14
004	05.8.25 11:53:52 PM	EMR-13
005	05.8.25 11:24:11 PM	LOSS-18
006	05.8.25 11:20:11 PM	TRM-12
007	05.8.25 11:11:11 PM	VMD-4
008	05.8.25 11:10:31 PM	EMR-8
009	05.8.25 11:09:29 PM	COM-8
010	05.8.25 11:04:52 PM	LOSS-18
011	05.8.25 10:51:18 PM	TRM-1
012	05.8.25 10:51:00 PM	VMD-14
013	05.8.25 10:49:24 PM	EMR-1
014	05.8.25 10:37:59 PM	COM-13
015	05.8.25 10:28:13 PM	LOSS-18
016	05.8.25 10:24:03 PM	TRM-12
017	05.8.25 10:20:45 PM	VMD-4
018	05.8.25 09:58:29 PM	EMR-8
019	05.8.25 09:46:14 PM	COM-8

COM : コマンドアラーム

EMR : 緊急録画

LOSS : ビデオロス

TRM : 端子アラーム

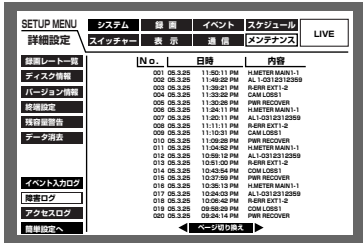
VMD : 動き検出



- イベント入力ログは最大750件まで登録されます。750件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

障害発生履歴を確認する [障害ログ]

本機の障害発生履歴を一覧で表示します。



- (※) 以下のいずれかの場合、該当HDDを交換してください。
 - ・モニター2のエラー表示部に「SMART」が表示されている場合
 - ・障害ログに同じHDD (RAIDモード時は同じ増設ユニット) の「SMART」が2つ以上表示されている場合
- 障害ログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新ログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。

表示	表示解説	障害内容
AL *-YYMMDDhhmmss	*はカメラCH番号 YYMMDDhhmmssは、改ざん検出された個所の再生年月日時刻	改ざん検出
V-ERROR	V-ERROR EVTはイベント領域 V-ERROR NMLは通常領域 V-ERROR CPYはコピー領域 V-ERROR PRE-XXIはプレ録画領域 (XはカメラCH番号)	録画領域の消失
W-ERR X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体/ユニット番号 Yは本体/ユニット内のディスク番号	HDDライトエラー
R-ERR X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体/ユニット番号 Yは本体/ユニット内のディスク番号	HDDリードエラー
T DOWN X-Y	Xは録画対象から外れたディスクが所属するユニット番号 Yはユニット内のディスク番号	RAIDモード運用中のHDD故障 (HDD交換、復旧が可能)
REMOVE X-Y	Xは録画対象から外れたディスクが所属する本体/ユニット番号 Yは、本体/ユニット内のディスク番号	自動リンク外し
#-FULL	#はHDDパーティション名/外部記憶装置接続端子	残容量なし
THERMAL-X	Xは温度異常発生個所 (本体/ユニット)	温度異常
FAN X-Y	Xは本体/ユニット番号 Yはファン番号 (1~4) 増設ユニットのファン異常に対しては、Yを省略する	ファン異常
#-nn%	#はHDDパーティション名/外部記憶装置接続端子 nnは残容量 (パーセント)	残容量警告
SMART X-Y (※)	Xはエラー発生ディスクが所属する本体/ユニット番号 Yは、本体/ユニット内のディスク番号	HDD SMARTエラー
PWR LOSS		停電検出
H.METER X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体/ユニット番号 Yは、本体/ユニット内のディスク番号	アワーメーター警告
PROTECT-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアライトプロテクト
NO DISK-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディア未挿入
MEDIUM-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアが未対応メディア
UNFORMATTED-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディア未フォーマット
W-ERR(MEDIUM-#)	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアライトエラー
PWR RECOVER		停電復旧
HDD-ERROR		HDDエラー
M-FAIL MAIN-#	#は本体のディスク番号	ミラー復旧失敗
R-FAIL #	#は増設ユニット番号	RAID復旧失敗
NO DATA-#	#は外部記憶装置接続端子	手動コピー設定エラー (指定時間帯に映像なし)
NO DRIVE-#	#は外部記憶装置接続端子	コピードライブ未接続
R-ERR (MEDIUM-#)	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアリードエラー

SETUP MENU－詳細設定（つづき）

本機へのアクセス履歴を表示する [アクセスログ]

本機にログイン/ログアウトした際の日時とユーザー名、IPアドレスを表示します。

No.	日時	内容
001	08.3.25 11:20:11 PM	192.168.100.100 IN
002	08.3.25 11:48:22 PM	01234567890123456789012345678901 OUT
003	08.3.25 11:25:21 PM	admin IN
004	08.3.25 11:25:22 PM	admin OUT
005	08.3.25 11:25:28 PM	192.168.100.100 OUT
006	08.3.25 11:25:00 PM	192.168.100.100 IN
007	08.3.25 11:25:11 PM	01234567890123456789012345678901 OUT
008	08.3.25 11:11:23 PM	admin IN
009	08.3.25 11:10:31 PM	admin OUT
010	08.3.25 11:09:39 PM	192.168.100.100 OUT
011	08.3.25 11:04:52 PM	192.168.100.100 IN
012	08.3.25 10:56:12 PM	01234567890123456789012345678901 OUT
013	08.3.25 10:51:00 PM	admin IN
014	08.3.25 10:45:54 PM	admin OUT
015	08.3.25 10:37:59 PM	192.168.100.100 OUT
016	08.3.25 10:29:13 PM	192.168.100.100 IN
017	08.3.25 10:24:03 PM	01234567890123456789012345678901 OUT
018	08.3.25 10:20:42 PM	admin IN
019	08.3.25 09:58:29 PM	admin OUT
020	08.3.25 09:24:14 PM	192.168.100.100 OUT

- ** IN : 「IN」の前に記述されているユーザーまたはホストがログイン
- ** OUT : 「OUT」の前に記述されているユーザーまたはホストがログアウト
- **にはユーザー名またはホスト名が表示されます。



- アクセスログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

カメラの設定メニューを表示する

本機に接続しているカメラを操作する場合、あらかじめカメラ機能を設定しておく必要があります。

カメラ機能の設定はカメラの設定メニューで行います。

カメラの設定メニューは本機から呼び出して操作することができます。カメラの設定メニューの内容や操作方法はカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ここでは、カメラの設定メニューの表示のしかたについて説明します。

1 カメラのライブ映像表示中に設定を行いたいカメラCHのカメラ選択ボタンと [設定/ESC] ボタンを同時に押します。

→カメラの設定画面が表示されます。

カメラの設定画面を操作するとき使用するボタンは以下のようになります。

カーソル移動	十字ボタン (▼▲)
設定値の変更	十字ボタン (◀▶)
設定値の確定、下層へ移動	[セット] ボタン
上層へ移動	[設定/ESC] ボタン

2 カメラ設定を終了するときは、[パン/チルト] ボタン、[ズーム/フォーカス] ボタン、[アイリス] ボタン、[プリセット/オート] ボタン、[1] ~ [3] 以外のカメラ選択ボタンのいずれかを押します。



- スペシャルメニューを表示するときは、カメラ設定メニューの「SPECIAL」にカーソルを移動し、[2] ボタンを押してください。
- カメラの設定内容をお買い上げ時の設定に戻すときは、引き続きスペシャルメニューの「CAMERA RESET」にカーソルを移動し、[3] ボタンを押してください。そのあと、[パン/チルト] ボタン、[ズーム/フォーカス] ボタン、[アイリス] ボタン、[プリセット/オート] ボタン、[1] ~ [3] 以外のカメラ選択ボタンのいずれかを押してください。
- スペシャルメニューから前の画面に戻るときは [設定/ESC] ボタンを押してください。
- カメラの設定メニューの内容や操作方法はカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

ディスクを管理する

HDDについて

カメラ映像は本機の内蔵HDDに録画されます。

本機には2台のHDDが内蔵されており、録画中に1台が故障した場合、もう1台のHDDに録画を続けることができます（本体ミラーリング機能）。

本機は内蔵HDDを仮想的に以下の3つに分けて管理しています。

○通常録画領域 : マニュアル録画などイベント発生時以外に録画される領域

○イベント録画領域 : イベント発生時の映像が録画される領域

○コピー領域 : コピーデータが保存される領域

それぞれの領域の残容量はSETUP MENUの「メンテナンス」にある「ディスク情報」で確認できます。

(☞191ページ)

また、別売りの増設ユニットWJ-HDE350シリーズを接続すると、最大60分のイベント・プレ録画映像が録画できる領域（プレ録画領域（☞207ページ））が作成できます。

内蔵HDD、別売りの増設ユニット内のHDDの初期化やミラーリングなど、HDDに関する操作は、HDDディスクコンフィグで行います。（☞198ページ）



- 通常録画領域、イベント録画領域はどちらか1つ作成する必要があります。通常録画領域が作成されていない場合、マニュアル録画・スケジュール録画の映像はイベント録画領域に録画されます。また、イベント録画領域が作成されていない場合、イベント録画・緊急録画の映像は通常録画領域に録画されます。

HDDディスクコンフィグについて

HDDに関する操作は、モニター2にHDDディスクコンフィグを表示して行います。

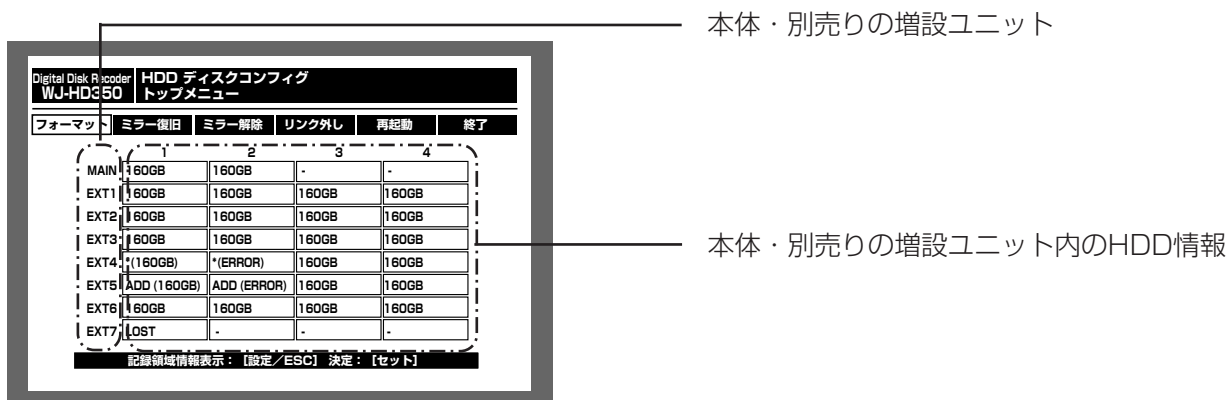
HDDディスクコンフィグはシステムチェック完了画面（☞31ページ）が表示されている状態で [セット] ボタンを押すと表示されます。

HDDディスクコンフィグでは以下の操作が行えます。

設定項目	概要	ページ
フォーマット	HDDを初期化します。録画領域の設定値を個別に変更することもできます。また、ミラーリング開始の操作もこのメニューで行います。	201
ミラー復旧	ミラーリングしているHDDを復旧します。	211
ミラー解除	ミラーリングを解除します。	210
リンク外し	リンク外し（論理的に切り離す）を実行します。	212
再起動	本機を再起動します。	—
終了	HDDディスクコンフィグを終了します。	—

HDDディスクコンフィグの画面表示について

HDDディスクコンフィグでは本機や別売りの増設ユニットのHDD情報を表示します。



本体・別売りの増設ユニット

本体・別売りの増設ユニット内のHDD情報

- 160 GB : HDD容量を示しています (前回起動時も存在したディスク)
- 160 GB M : HDD容量を示しています (前回起動時も存在し、ミラーリングが設定されているディスク)
- ADD (160 GB) : 前回起動時に接続されておらず、今回起動時に新たに接続されたHDDであることを示しています。()内はHDDの容量を示しています。
- ADD (ERROR) : 前回起動時に接続されておらず、今回起動時に新たに接続されたHDDであり、そのHDDにエラーが発生していることを示しています。
- * (160 GB) : 前回起動時とは違うHDDが接続されていることを示しています。()内はHDDの容量を示しています。
- * (ERROR) : 前回起動時とは違うHDDが接続されており、そのHDDにエラーが発生していることを示しています。
- LOST : 前回起動時にHDDが接続されていた所に今回HDDが接続されていないことを示しています。
- : 前回起動時と同様に今回もHDDが接続されていないことを示しています。
- ERROR : 初期化に失敗したHDDであることを示しています。



- * (容量)、* (ERROR)、LOST、ERRORのHDDが存在している状態で本機の運用は開始できません。この場合、リンク外しを行ってください。(P.212ページ)
- ADD (容量) のHDDは初期化が行われていません。まず、初期化を行ってください。初期化を行わないと、映像を録画したりコピー先として使用することができません。



- ここで表示されるHDDの容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDDの容量は少なく表示されます。
- HDDディスクコンフィグのトップ画面表示中に [設定/ESC] ボタンを押すと、記録領域情報 (通常録画領域/イベント領域/コピー領域/プレ録画領域に割り当てられている容量) を表示できます。

増設ユニットのRAID5機能について

RAID5（Redundant Arrays of Inexpensive Disks 5）機能の概要

別売りの増設ユニットでは、RAID5機能を使用することができます。

RAID5機能は、増設ユニット内の3台以上のHDDを論理的に1台のHDDとみなし、エラー訂正データを自動的に付加することで、万が一、1台のHDDが故障しても残りのHDDのデータを使って正常なデータを読み出すことが可能です。ただし、2台以上のHDDが同時に故障したり、データ復旧中に他のHDDが故障した場合、データの復旧はできません。

RAID5機能を有効にした場合、増設ユニット内のHDDで構成される論理的なおおよその容量は以下のようになります。

論理的な容量 = 増設ユニット内の最も容量の小さいHDD × (増設ユニット内のHDDの台数 - 1)

※搭載するHDDの機種によっては、容量が数%程度小さくなる場合があります。



- 複数の増設ユニットを本機に接続する場合、RAID5機能を使用する増設ユニットとRAID5機能を使用しない増設ユニットを混在することはできません。
- RAID5機能を使用すると、本機の2台の内蔵HDDは使用できません。内蔵HDD内の録画映像は残ります。ただし、RAID5機能を使用する増設ユニットがシステムダウンするとリブートし、自動的に本機の内蔵HDDに録画します。この場合、本機の内蔵HDDが初期化されている必要があります。

RAID5機能を設定／解除する

別売りの増設ユニットでRAID5機能を設定／解除するには、以下の手順で操作します。

ここでは操作手順を簡単に説明します。詳しくは増設ユニットの取扱説明書をお読みください。

- 1 本機と本機に接続するすべての増設ユニットの電源がOFFになっていることを確認します。
- 2 RAID5機能を設定する場合は、増設ユニットのモード設定スイッチを「RAID5」に切り換えます。RAID5機能の設定を解除する場合は、「SINGLE」に切り換えます。
- 3 増設ユニットのHDD電源スイッチが「入」になっていることを確認します。
- 4 増設ユニットの電源を入れます。
- 5 本機の電源を入れます。
→新たに増設ユニットを接続した場合など、HDD構成に変更があった場合、システムチェック後、自動的にHDDディスクコンフィグが表示されます。



- RAID5機能を設定／解除すると、増設ユニットの各HDD内のデータはすべて消去されてしまいます。
- 電源を入れるときは、増設ユニットの電源を先に入れ、本機の電源を入れてください。本機の電源を先に入れると、増設ユニットを正常に使用することができません。

HDDを初期化する [フォーマット]

以下の状態のとき、HDDの初期化を行う必要があります。

- ・本機のHDDを交換や追加したとき
- ・別売りの増設ユニットを本機に接続して、初めて使用するとき



- HDDを初期化すると、録画された映像はすべて消去されます。

すべてのHDD (ユニット) を初期化する

内蔵HDDと本機に接続されている別売りの増設ユニットのHDDも含めて、すべてのHDDの初期化を行います。RAID5設定時は全ユニットを初期化します (ただし、本機の内蔵HDDは初期化しません)。

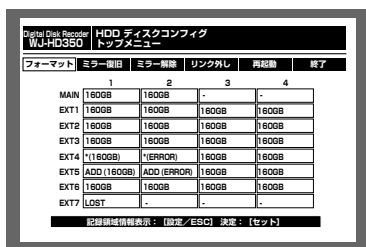
- 1 本機に接続した増設ユニットなど周辺機器の電源を入れます。
- 2 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。



- HDDの交換、抜き取りを行った場合は、自動的にHDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。

画面1

HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



画面2

パスワード入力画面が表示されます。

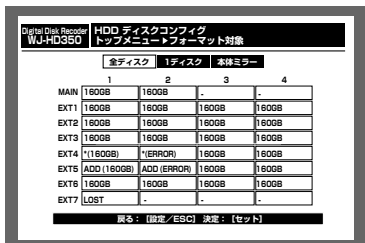


- 3 十字ボタンの◀または▶を押して、「フォーマット」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押す。
- 4 ジョグダイヤル (内側) を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン ([1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]) を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。(※87ページ)
- 5 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

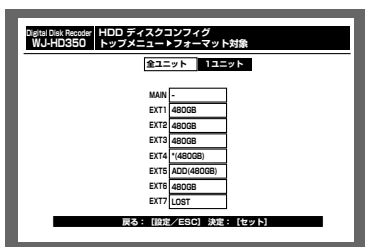
ディスクを管理する（つづき）

画面3

フォーマット画面が表示されます。



- 6 十字ボタンの◀または▶を押して、「全ディスク」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。RAID5設定時は「全ユニット」を選択します。



<RAID5機能設定時の画面>

画面4

録画領域設定画面が表示されます。



- 7 十字ボタンの◀または▶を押して、録画領域を選択し、ジョグダイヤル（内側）を回して、選択した録画領域の容量を設定します。複数の録画領域の容量を設定する場合は、この操作を繰り返します。

- 8 設定したら、[セット] ボタンを押します。

画面5

フォーマット確認画面が表示されます。



- 9 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。→フォーマットが開始され、フォーマット結果画面が表示されます。表示後、自動的にHDDディスクコンフィグのトップ画面に戻ります。



HDDに障害がある場合のフォーマット時の動作について

フォーマット時に「全ディスク」または「全ユニット」を選択してHDDのフォーマットを行い、本機を再起動すると、1つまたは一連のHDD/増設ユニットに「ADD (容量)」と表示される場合があります。この場合は、「ADD (容量)」が表示されたHDDに障害が発生している場合がありますので、以下のように対処してください。

●SINGLEモードで使用している場合

正常なHDDには容量が、フォーマットした結果、障害が検出されたHDDには「ADD (容量)」がHDDディスクコンフィグに表示されます。
 「ADD (容量)」が表示されているHDDが1つの場合は、そのHDDで障害が検出されたことを示しています。「ADD (容量)」が表示されているHDDを交換してください。
 「ADD (容量)」が一連のHDDに表示される場合は、最も小さい番号のHDDで障害が検出されたことを示しています。「ADD (容量)」が表示されている最も小さい番号のHDDを交換してください。

	1	2	3	4
MAIN	180GB	180GB	-	-
EXT1	180GB	180GB	180GB	180GB
EXT2	180GB	180GB	180GB	180GB
EXT3	180GB	180GB	180GB	180GB
EXT4	180GB	180GB	180GB	180GB
EXT5	ADD (180GB)	ADD (ERROR)	180GB	180GB
EXT6	180GB	180GB	180GB	180GB
EXT7	LOST	-	-	-



	1	2	3	4
MAIN	#1	#2	-	-
EXT1	#3	#4	#5	#6
EXT2	#7	#8	#9	#10
EXT3	#11	#12	#13	#14
EXT4	#15	#16	#17	#18
EXT5	#19	#20	#21	#22
EXT6	#23	#24	#25	#26
EXT7	#27	#28	#29	#30

<HDDディスクコンフィグ>

<HDD番号>

●RAID5モードで使用している場合

正常な増設ユニットには容量が、フォーマットした結果、障害が検出された増設ユニットには「ADD (容量)」がHDDディスクコンフィグに表示されます。
 「ADD (容量)」が表示されている増設ユニットが1つの場合は、その増設ユニット内のHDDで障害が検出されたことを示しています。「ADD (容量)」が表示されている増設ユニット前面のHDD表示ランプが赤点灯または赤点滅しているHDDを交換してください。
 「ADD (容量)」が一連の増設ユニットに表示される場合は、最も小さい番号の増設ユニット内のHDDで障害が検出されたことを示しています。「ADD (容量)」が表示されている最も小さい番号の増設ユニット前面のHDD表示ランプが赤点灯または赤点滅しているHDDを交換してください。

	全ユニット	1ユニット
MAIN	-	-
EXT1	480GB	-
EXT2	480GB	-
EXT3	480GB	-
EXT4	480GB	-
EXT5	ADD(480GB)	-
EXT6	480GB	-
EXT7	LOST	-



MAIN	-
EXT1	#1
EXT2	#2
EXT3	#3
EXT4	#4
EXT5	#5
EXT6	#6
EXT7	#7

<HDDディスクコンフィグ>

<増設ユニット番号>

ディスクを管理する（つづき）

HDD（ユニット）を個別に選択して初期化する

以下の手順でHDD（RAID5機能設定時はユニット）を個別に選択して、初期化します。

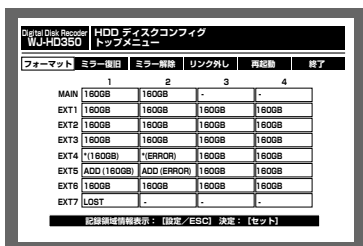
- 1 本機に接続した増設ユニットなど周辺機器の電源を入れます。
- 2 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。



- HDDの交換、抜き取りを行った場合は、自動的にHDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。

画面1

HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



- 3 十字ボタンの◀または▶を押して、「フォーマット」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

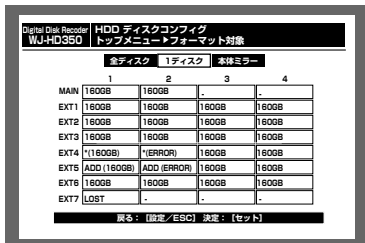
パスワード入力画面が表示されます。



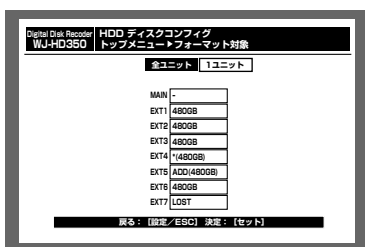
- 4 ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]）を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（☞87ページ）
- 5 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面3

フォーマット画面が表示されます。



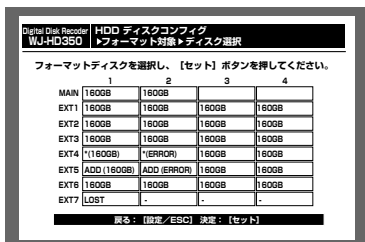
- 6 十字ボタンの◀または▶を押して、「1ディスク」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。RAID5機能設定時は「1ユニット」を選択します。



<RAID5機能設定時の画面>

画面4

HDD (ユニット) を選択する画面が表示されます。



- 7 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、カーソルを初期化したいHDD (ユニット) に合わせ、[セット] ボタンを押します。

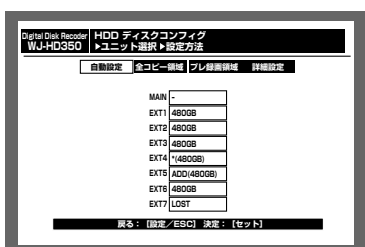
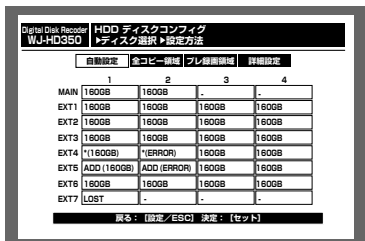


<RAID5機能設定時の画面>

ディスクを管理する（つづき）

画面5

録画領域の容量設定方法を選択する画面が表示されます。



<RAID5機能設定時の画面>

8 十字ボタンの◀または▶を押して、録画領域の設定方法を以下から選択し、[セット] ボタンを押します。

自動設定 : 既存のHDDと同じ割合で各録画領域を分配します。(→手順9へ)

全コピー領域 : 選択したHDD (ユニット) をすべてコピー領域として設定します。(→手順9へ)

プレ録画領域 : 選択したHDD (ユニット) をすべてプレ録画領域として設定します。(→手順10へ)

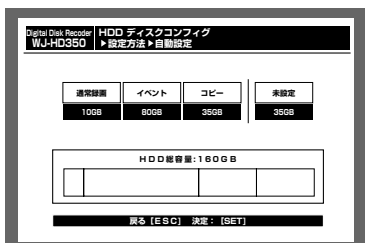
詳細設定 : 各録画領域を個別に設定します。(→手順11へ)



- HDD (ユニット) が単体のみの場合は「自動設定」は選択できません。
- 本体のHDDを選択した場合、「プレ録画領域」は選択できません。

画面6

各録画領域を設定した画面が表示されます。



<「自動設定」選択時の画面>

9 各録画領域の容量を確認し、[セット] ボタンを押します。

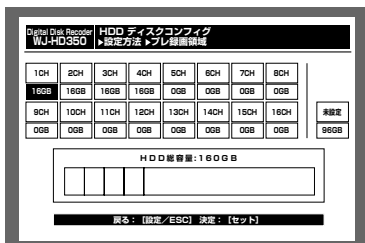
→フォーマット確認画面が表示されます。(→手順13へ)



<「全コピー領域」選択時の画面>

画面7

プレ録画領域を設定する画面が表示されます。

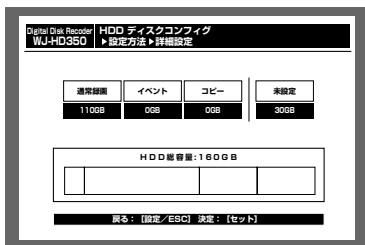


- 10** 十字ボタン (▼▲◀▶) を押してプレ録画を設定するカメラCHを選択し、ジョグダイヤル (内側) を回して選択したプレ録画領域の容量を設定します。複数のカメラCHのプレ録画の容量を設定する場合は、この操作を繰り返します。設定したら [セット] ボタンを押します。→フォーマット確認画面が表示されます。(→手順13へ)

重要 ●他のHDD (ユニット) ですでにプレ録画領域が設定されているカメラCHは選択できません。

画面8

録画領域を設定する画面が表示されます。



- 11** 十字ボタンの◀または▶を押して、録画領域を選択し、ジョグダイヤル (内側) を回して、選択した録画領域の容量を設定します。複数の録画領域の容量を設定する場合は、この操作を繰り返します。
- 12** 設定したら [セット] ボタンを押します。

画面9

フォーマット確認画面が表示されます。



- 13** 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。→フォーマットが開始され、HDDディスクコンフィグのトップ画面に戻ります。

ミラーリングに関する設定を行う

ミラーリングとは、カメラの映像を2台のHDDに同時に録画する機能です。一方のHDDに故障などの障害が発生しても、もう片方のHDDには正常な映像データが残り、ディスクの信頼性を高めることができます。ミラーリング機能は、本機を初めて使用するときに設定することをおすすめします。HDDに映像が録画された状態でミラーリング機能を設定すると、録画されていた映像は消去されてしまいます。



- ミラーリング機能は、本体の2台のHDDのみで構成できます。
- ミラーリング機能を行うとき、本体の2台のHDDは同じ容量にしてください。
- 増設ユニットを本機に接続し使用している場合、ミラーリング機能は設定できません。

ミラーリングを開始する

以下の手順でミラーリング機能を設定します。

- 1 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。

画面1

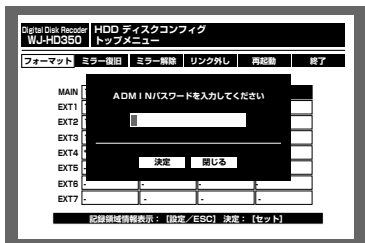
HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



- 2 十字ボタンの◀または▶を押して、「フォーマット」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

パスワード入力画面が表示されます。



- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]）を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（[87ページ](#)）
- 4 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面3

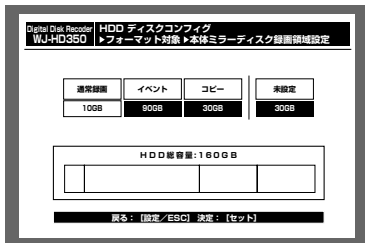
フォーマット画面が表示されます。



- 5 十字ボタンの◀または▶を押して、「本体ミラー」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面4

本体ミラーディスク録画領域設定画面が表示されます。



- 6 十字ボタン (▼▲◀▶) を押して、録画領域を選択し、ジョグダイヤル (内側) を回して、選択した録画領域の容量を設定します。
複数の録画領域の容量を設定する場合は、この操作を繰り返します。

- 7 設定したら、[セット] ボタンを押します。

画面5

フォーマット確認画面が表示されます。



- 8 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→ミラーリングが開始され、HDDディスクコンフィグのトップ画面に戻ります。

ディスクを管理する（つづき）

ミラーリングを解除する [ミラー解除]

以下の手順でミラーリングを解除します。

- 1 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。



- HDDの交換、抜き取りを行った場合は、自動的にHDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。

画面1

HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



- 2 十字ボタンの◀または▶を押して「ミラー解除」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面2

パスワード入力画面が表示されます。



- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]）を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（※87ページ）

- 4 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

画面3

ミラー解除確認のメッセージが表示されます。



- 5 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→ミラーリングが解除されます。



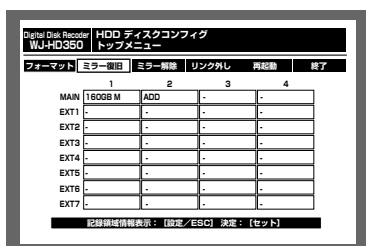
- ミラーリング解除後、ミラーリングを構成していた2台のHDDのうち、片方のHDDはHDDディスクコンフィグのトップ画面で、「ADD (容量)」と表示されます。

HDDを復旧する【ミラー復旧】

ミラーリング中に1台のHDDが故障したときなど、HDD交換後、HDDが復旧するよう設定します。
以下の手順でミラー復旧の設定を行うと、HDDディスクコンフィグ終了後、運用中にミラー復旧を行います。

画面1

HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



画面2

パスワード入力画面が表示されます。



画面3

ミラー復旧確認のメッセージが表示されます。



1 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。

2 十字ボタンの◀または▶を押して「ミラー復旧」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。



- ミラー復旧ができないとき（ミラー復旧させるHDDのサイズが小さい場合など）は、「ミラー復旧」を選択することができません。

3 ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]）を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（☞87ページ）

4 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

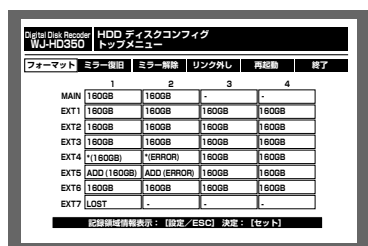
5 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
HDDの復旧は、HDDディスクコンフィグ終了後、運用中に行われます。

HDDを論理的に切り離し再構成する [リンク外し]

HDDを論理的に切り離す（リンク外し）とは、物理的にHDDを切り離すことなく、認識しない状態にすることを言います。本機または別売りの増設ユニットのHDDが故障した場合など、問題のあるHDD（「*」「LOST」「ERROR」が表示されているディスク）を一時的に切り離して、運用を継続したいときに行ってください。以下の手順でリンク外しを行います。

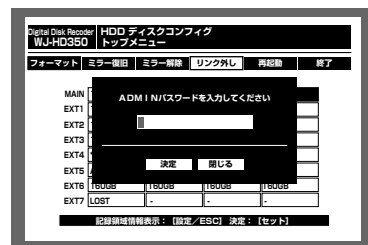
画面1

HDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。



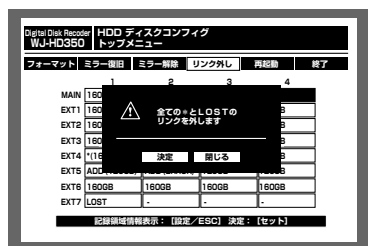
画面2

パスワード入力画面が表示されます。



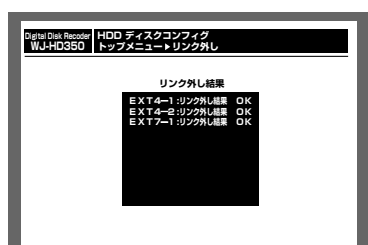
画面3

リンク外し確認のメッセージが表示されます。



画面4

リンク外しが実行され、確認画面が表示されます。



- 1 本機の電源を入れ、システムチェック完了画面表示中に、[セット] ボタンを押します。



- HDDの交換、抜き取りを行った場合は、自動的にHDDディスクコンフィグのトップ画面が表示されます。

- 2 十字ボタンの◀または▶を押して「リンク外し」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

- 3 ジョグダイヤル（内側）を回して、ADMINのパスワードを入力します。
数字はカメラ選択ボタン（[1] ~ [10/0]、WJ-HD309では [1] ~ [0]）を押しても入力できます。文字の入力・挿入・削除方法は、映像に付加された文字情報の編集と同じ操作です。（☞87ページ）

- 4 十字ボタンの▼または▲を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。

- 5 十字ボタンの◀または▶を押して「決定」にカーソルを合わせ、[セット] ボタンを押します。
→リンク外しが実行され、確認画面が表示されます。

- 6 終了すると、HDDディスクコンフィグのトップ画面に戻ります。

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス

シリアル (RS232C) とは

シリアル (RS232C) とは、データ通信の規格です。

シリアル (RS232C) インターフェースを使ってPCから本機に、特定のコマンドを送信することによって、各種機能进行操作することができます。



- USB変換でのシリアル (RS232C) 通信は、動作保証いたしません。
- シリアル (RS232C) でPCから本機を操作する場合は、以下の内容を通信する機器間で一致させる必要があります。設定はSETUP MENU「通信」の「RS232C設定」で行います。
 - 通信速度 (ボーレート)
 - データ長 (データビット)
 - パリティチェック
 - ストップビット

コマンドフォーマット

ここでは、コマンドの記述方法について説明します。

送信コマンド (PC→本機)

シンタックス	{STX}	AD[本機のユニットアドレス];	{送信コマンド}	:	{パラメータ}	{ETX}
キャラクターコード	02h					03h

STX : データの始まりを示します。データの始まりには、必ずSTX (キャラクターコード02h) を付けます。hは16進数を示します。

本機のユニットアドレス

: SETUP MENU「通信」の「RS232C設定」で設定した本機のユニットアドレスを指定します。

送信コマンド : コマンドリストに記載されているコマンドを指定します。

ETX : データの終わりを示します。データの終わりには、必ずETX (キャラクターコード03h) を付けます。

文字コードは、ASCIIコードです。

パラメータが必要なコマンドは、コマンドとパラメータをコロン (:) で区切ります。

以下は、パラメータを複数指定する場合の記述方法です。

{STX}	AD[本機のユニットアドレス];	{送信コマンド}	:	{パラメータ}	:	{パラメータ}	{ETX}
-------	------------------	----------	---	---------	---	---------	-------

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス (つづき)

応答コマンド (PC←本機)

PCからのコマンドに対して、本機は応答コマンドを返します。

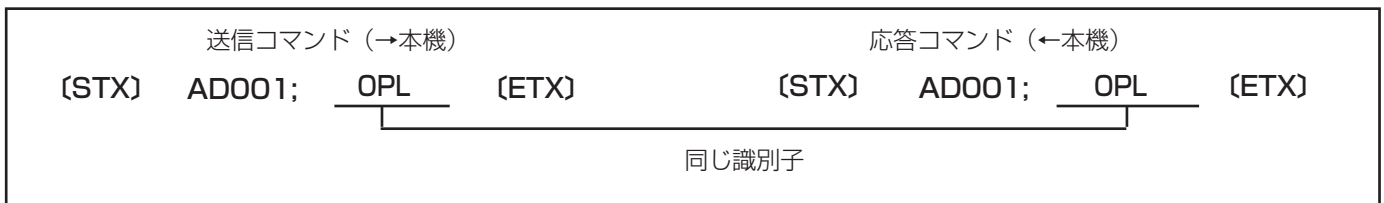
・通信が正常に行われた場合

ANSWER (ステータス、各種データの返信) 必要/不要によって応答コマンドが異なります。

・ANSWERが不要な場合

以下のように、送信コマンドと同じ識別子を返します。

(本機のユニットアドレスが001の場合)



・ANSWERが必要な場合

以下のように、ステータスまたは各種データを返します。

(本機のユニットアドレスが001の場合)



・ACKコードについて

本機はPCからのコマンドを受信してから、そのコマンドに対して20 ms以内にACKコードを返します。

〔ACK〕 = 受信正常 (キャラクターコード06H)

ACKコマンドを返した後、コマンドに対する処理が終了すると、そのコマンドに対する応答コマンドを返します。

・伝文例

以下の操作を行う場合の伝文例は次のとおりです。

- ① ユーザー名 : ADMIN、パスワード : 12345でログイン
- ② モニター2にカメラ1CHを表示
- ③ 2005年1月1日午後3時から再生
- ④ ログアウト

伝文例

(1) 【PC→本機】 ログイン

```
[STX]AD001;OLI:ADMIN[SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP]
[SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP]:12345[SP] [SP] [SP] [SP] [SP]
[SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP] [SP]
[SP] [SP] [SP] [ETX]
```

上記伝文を受信すると、本機は、ユーザー名：ADMINのログイン処理を行います。

(2) 【本機→PC】 (1)の応答

```
[STX]AD001;OLI:1[ETX]
```

(3) 【PC→本機】 モニター2を選択

```
[STX]AD001;OMS:0002[ETX]
```

上記伝文を受信すると、本機は、モニター2選択状態になります。

(4) 【本機→PC】 (3)の応答

```
[STX]AD001;OMS:0002[ETX]
```

(5) 【PC→本機】 カメラ1CHを表示

```
[STX]AD001;OCS:00001[ETX]
```

上記伝文を受信すると、選択されているモニターにカメラ1CHを表示します。

(6) 【本機→PC】 (5)の応答

```
[STX]AD001;OCS:00001[ETX]
```

(7) 【PC→本機】 時刻指定再生

```
[STX]AD001;ZTP:20050101150000[ETX]
```

上記伝文を受信すると、2005年1月1日午後3時から、再生を開始します。

(8) 【本機→PC】 (7)の応答

```
[STX]AD001;ZTP20050101150000[ETX]
```

(9) 【PC→本機】 ログアウト

```
[STX]AD001;OLO[ETX]
```

上記伝文を受信すると、シリアル (RS232C) 経由でログインしているユーザー (この例では、ADMIN) はログアウトします。

(10) 【本機→PC】 (9)の応答

```
[STX]AD001;OLO[ETX]
```

※ 上記伝文例において、[STX][ETX][SP]のキャラクターコードは以下の通りです。

[STX] : 02h

[ETX] : 03h

[SP] (スペース) : 20h

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス (つづき)

エラーが発生した場合

通信エラーとコマンド処理に関するエラーとで、応答するコマンドが異なります。

・通信エラー (受信不良) の場合

通信エラーによって本機が正常にコマンドを受信できなかった場合、直ちにNACKコードをPCに返します。このとき、受信バッファをクリアした後、つぎの〔STX〕コマンドを受信するまで待ち状態になります。

〔NCK〕 ○ =受信不良 (キャラクターコード15H)

----- 通信不良の原因

- 1: パリティエラー (キャラクターコード31H)
- 2: フレミングエラー (キャラクターコード33H)
- 3: オーバーランエラー (キャラクターコード34H)

・受信コマンドを処理できなかった場合

本機は、受信したコマンドを処理できなかった場合、エラーコードを返します。このとき、受信バッファをクリアした後、つぎの〔STX〕コマンドを受信するまで待ち状態になります。

ER○○○ (ETX) =エラー

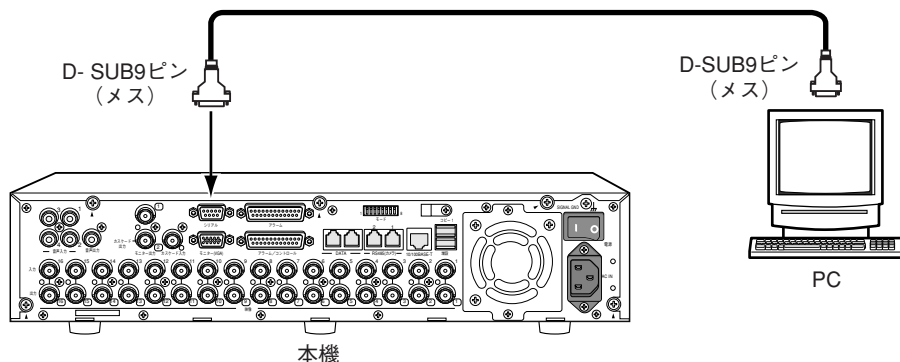
↑
----- エラーの原因

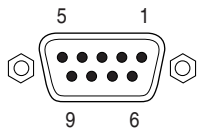
- 001 : コマンド無効 (対応するコマンドが無い)
- 002 : パラメーター無効 (コマンドに対するパラメーターの数、桁、範囲が一致していない)
- 301 : コマンド無効 (動作モードが対応していないことによるコマンドへのエラー)
- E : コマンドエラー (キャラクターコード45H)

- ・ 応答中に、本機が新たなコマンドを受信した場合、処理中の応答が終了してから新たなコマンドに対して応答します。
- ・ 本機が〔ETX〕を受信する前に、再度STXを受信した場合、内部バッファをクリアした後、再受信した〔STX〕以降のデータを処理します (〔STX〕を再受信する前のコマンドは破棄されます)。
- ・ 本機の内部バッファがいっぱいになった場合、内部バッファをクリアします。

PCとの接続例

本機とPCはシリアル (RS232C) クロスケーブルで接続します。ケーブル仕様は次ページをお読みください。

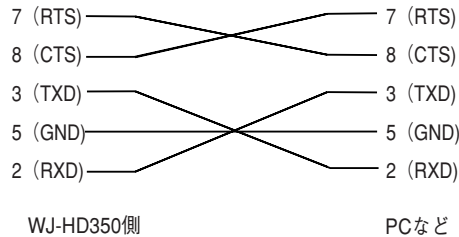




WJ-HD350後面から見た図

ピン番号	信号名	方向
1	CD	IN
2	RXD	IN
3	TXD	OUT
4	DTR	OUT
5	SG	—
6	DSR	IN
7	RTS	OUT
8	CTS	IN
9	RI	IN

クロスケーブルの接続例



●基本操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
コマ送り	OVF	OVF	
逆コマ送り	OVR	OVR	
再生一時停止	OPA	OPA	
再生	OPL	OPL	
マニュアル録画	ORC	ORC	
テキスト付き マニュアル録画	ZMR:nn:ddd···ddd	ZMR:nn	nn=01~99 (シーケンス番号) ddd···ddd: テキスト (200 byte以内)
停止	OSP:n	OSP	n=P: 再生停止 n=R: 録画停止 パラメータなし: 再生・録画停止
早送り再生	OSF:n	OSF	n=0F (1倍), 1F (2倍), 2F (5倍), 3F (10倍), 4F (20倍), 5F (50倍), 6F (100倍), 0S (1倍), 1S (1/2倍)
早戻し再生	OSR:n	OSR	n=0F (1倍), 1F (2倍), 2F (5倍), 3F (10倍), 4F (20倍), 5F (50倍), 6F (100倍), 0S (1倍), 1S (1/2倍)
レコード番号 指定再生	ZPR:rrrrrrrrrrrrrrrr	ZPR:rrrrrrrrrrrrrrrr	rrrrrrrrrrrrrrrr: レコード番号
時刻指定再生	ZTP:yyyymmddhhnsss	ZTP:yyyymmddhhnsss	yyyymmddhhnsss: 再生開始日時
レコードスキップ	OSK:dnn	OSK	d=+ (順方向), - (逆方向) nn=01 (レコードスキップ数。固定値)
絞り込み再生	ZLT:n	ZLT:n	n=0 (絞り込みOFF), 1 (絞り込みON)
最新画像	ZPM	ZPM	
A-Bリピート再生	ZRP:n	ZRP:n:yyyymmddhhnsss	n=0 (A-Bリピート再生解除), 1 (リピート区間始点 (A点) に設定), 2 (リピート区間終点 (B点) に設定) yyyymmddhhnsss: A点またはB点の年月日時刻
コピー設定 画面表示	ZPD:n	ZPD:n	n=0 (コピー設定画面OFF), 1 (コピー設定画面ON)
テキスト表示	ZDT:n	ZDT:n	n=0 (テキスト表示OFF), 1 (テキスト表示ON)
多画面分割 切り換え	OTC:m	OTC:m	m=0 (4分割), 1 (7分割), 2 (9分割), 3 (10分割), 4 (13分割), 5 (16分割)
モニター選択	OMS:nnnn	OMS:nnnn	nnnn=0001 (モニター1選択), 0002 (モニター2選択)
カメラ選択	OCS:cccc	OCS:cccc	cccc: カメラCH

必要
な
と
き

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス (つづき)

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
電子ズーム	OZM:m	OZM:n	m=0 (電子ズームOFF) ,1 (電子ズームON) ,> (2倍→4倍切り換え) ,< (4倍→2倍切り換え) ,+ (ズームOFF→2倍ズーム→4倍ズーム→ズームOFF→…順次切り換え) ,- (4倍→2倍→ズームOFF→4倍→…順次切り換え) n=0 (ズームOFF) ,2 (2倍ズーム) ,4 (4倍ズーム)
シーケンス起動	OQT:01F	OQT:01F:010	
シーケンス停止	OQS:0	OQS	
ディスク選択	ZDS:k	ZDS:k	k=0 (HDD通常・イベント録画領域) ,1 (HDDコピー領域) ,2 (COPY1接続ディスク) ,3 (COPY2接続ディスク)
マーキング	ZMP	ZMP	

●アラーム制御

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
アラーム入力	OAI:b ₁ b ₂ b ₃ a ₁ a ₂ a ₃ a ₄	OAI	b ₁ b ₂ b ₃ : 先頭アラームCH情報 (バイナリ) a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ : アラームCH情報 (バイナリ)
テキスト付きアラーム入力	ZAI:b ₁ b ₂ b ₃ a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ :nn:ddd…ddd	ZAI:nn	b ₁ b ₂ b ₃ : 先頭アラームCH情報 (バイナリ) a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ : アラームCH情報 (バイナリ) nn=01~99 (シーケンス番号) ddd…ddd: テキスト (200 byte以内)
アラームリセット	OAL:n	OAL	n=0 (全復帰) ,1 (半復帰)
アラーム抑止	MAD:n	MAD:n	n=0 (アラーム抑止OFF) ,1 (アラーム抑止ON)
アラーム変化通知 (LED点灯情報)	-	ALD:n	n=0 (LED消灯) ,1 (LED点灯) ,2 (LED点滅)
アラーム変化通知	-	ALM: b ₁ b ₂ b ₃ a ₁ a ₂ a ₃ a ₄	b ₁ b ₂ b ₃ : 先頭アラームCH情報 (バイナリ) a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ : アラームCH情報 (バイナリ)

●設定関連

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
本体設定表示	MSU:n	MSU:n	n=0 (本体設定OFF) ,n=1 (本体設定ON)
カーソル移動	DCR:n ₁ n ₂	DCR	n ₁ n ₂ =A1 (右方向カーソル移動) ,C1 (上方向カーソル移動) ,E1 (左方向カーソル移動) ,G1 (下方向カーソル移動) ,+1 (設定項目の変更(+)) ,-1 (設定項目の変更(-)) ,PD (仮想メニューへ移動 (セットキー)) ,P+ (ページ切り換え (FWD)) ,P- (ページ切り換え (BACK)) ,PU (上層メニューへ移動 (ESC))
時刻合わせ	TSU:yyyymmddhhnn	TSU	yyyymmddhhnn: 年月日時刻
サマータイム切り換え	MST:n	MST	n=0 (サマータイムOUT) ,1 (サマータイムIN)
記録モード	MRM:n	MRM	n=0 (通常録画モード) ,2 (連続録画 (外部タイマー録画モード))

●ログイン・ログアウト

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
ログイン	OLI:uuu…uuu: ppp…ppp	OLI:n	uuu…uuu: ユーザー名 (32 byte固定長) ppp…ppp: パスワード (32 byte固定長) n=0 (ユーザー名/パスワードエラー) ,1 (ログイン正常終了) ,2 (ログイン失敗)
ログアウト	OLO	OLO	

●データ操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
レコード指定コピー	ZCR:rrrrrrrrrrrrrr:m	ZCR	rrrrrrrrrrrrrrrrrr : レコード番号 m=0 (HDDコピー領域へコピー) ,1 (COPY1接続メディアへコピー) ,2 (COPY2接続メディアへコピー)
時刻指定コピー	ZCT:y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ :y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ :s:ccc:m	ZCT	y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ : コピー開始年月日時刻 y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ : コピー終了年月日時刻 s=0 (カメラCH指定形式。0固定) ccc : コピー対象カメラCH番号 m=0 (HDDコピー領域へコピー) , 1 (COPY1接続メディアへコピー) , 2 (COPY2接続メディアへコピー)
通知コピー完了	-	ZEC:y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ : y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ :s:ccc:m	y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ : コピー開始年月日時刻 y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ : コピー終了年月日時刻 s=0 (カメラCH指定形式。0固定) ccc : コピー対象カメラCH番号 m=0 (HDDコピー領域へコピー) ,1 (COPY1接続メディアへコピー) ,2 (COPY2接続メディアへコピー)
コピー キャンセル	ZDC	ZDC	
コピー完了 操作	ZUM:n ₁	ZUM:n ₂	n ₁ =1 (COPY1接続ドライブに対するコピー完了操作) n ₁ =2 (COPY2接続ドライブに対するコピー完了操作) n ₂ =1 (COPY1接続ドライブに対するコピー完了操作成功) n ₂ =2 (COPY2接続ドライブに対するコピー完了操作成功) n ₂ =3 (COPY1接続ドライブに対するコピー完了操作失敗) n ₂ =4 (COPY2接続ドライブに対するコピー完了操作失敗)
ログ消去	ZLC:k	ZLC:k	k=1 (イベント入力ログ) ,2 (障害ログ) ,3 (アクセスログ)
ログデータ数要求	ZLQ:k:y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ :y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂	ZLQ:k:y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ :y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ :dddddddd	k=0 (レコードリスト) ,1 (イベント入力ログ) ,2 (障害ログ) ,3 (アクセスログ) y ₁ y ₁ y ₁ m ₁ m ₁ d ₁ d ₁ h ₁ h ₁ n ₁ n ₁ : ログデータ数要求範囲の始点年月日時刻 y ₂ y ₂ y ₂ m ₂ m ₂ d ₂ d ₂ h ₂ h ₂ n ₂ n ₂ : ログデータ数要求範囲の終点年月日時刻 dddddddd : ログデータ数
ログ読み出し	ZLR:k:yyyyymmdd hhnn:mmmmmmmm	ZLR:k:<Log Data>sccc	k=1 (イベント入力ログ) ,2 (障害ログ) ,3 (アクセスログ) yyyyymmddhhnn : ログ読み出し先頭年月日時刻 mmmmmmmm : ログ取得件数 (00000000~00000050) <Log Data> : ログデータ s:イベント種別 ccc : カメラ論理番号
レコードリスト 取得	ZGR:yyyyymmddnn :nnnnnnnn	ZGR:<Log Data 1>s1:<Log Data 2>s2:…:<Log Data n>sn	yyyyymmddhhnn : リスト読み出し先頭年月日時刻 mmmmmmmm : リスト取得件数 (mmmmmmmm=00000001~00000050) <Log Data n> : ログデータ sn:巡回番号 (0~9)
テキスト取得	ZGT:rrrrrrrrrrrrrr	ZGT:rrrrrrrrrrrrrr <TEXT>	rrrrrrrrrrrrrrrrrr : レコード番号 <TEXT> : テキストデータ
テキスト書き込み	ZPT:rrrrrrrrrrrrrr <TEXT>	ZPT:rrrrrrrrrrrrrr	rrrrrrrrrrrrrrrrrr : レコード番号 <TEXT> : テキストデータ テキストデータは最大 200 byteです

※ログの読み出し、レコードリスト取得は、先頭開始時刻から過去にさかのぼって取得します。

●ディスクエンド通知

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
ディスク終端 自動通知設定	MDE:n	MDE:n	n=0 (自動通知設定OFF) ,1 (自動通知設定ON)
ディスク終端 自動通知		HDE:p	p=1 (通常録画領域) ,2 (イベント録画領域) , 3 (コピー領域)

シリアル (RS232C) コマンドリファレンス (つづき)

●サーチ操作関連

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
サーチ画面表示	ZTL:n	ZTL:n	n=0 (サーチ画面OFF) ,1 (録画イベントサーチリスト画面表示) ,2 (録画イベントサーチサムネール表示) ,3 (VMDサーチリスト画面表示) ,4 (VMDサーチサムネール画面表示) ,5 (マーキングサーチリスト画面表示) ,6 (マーキングサーチサムネール画面表示) ,7 (日時検索画面表示)

●表示関連

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
表示情報切替	DIN:n	DIN	n=+

●問い合わせ

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
ディスク残量 問い合わせ	QHR:p	QHR:p:sss	p=1 (HDD通常録画領域) ,2 (HDDイベント録画領域) ,3 (HDDコピー領域) ,4 (COPY1接続ディスク) ,5 (COPY2接続ディスク) sss : 残容量 (%)
IDリクエスト	QID	QID:WJ-HD350 (WJ-HD350の場合) QID:WJ-HD309 (WJ-HD309の場合)	
インターフェース IDリクエスト	QIB	QIB:WJ-HD350 (WJ-HD350の場合) QIB:WJ-HD309 (WJ-HD309の場合)	
製品分野リクエスト	QIC	QIC:2	
アラーム情報 リクエスト	QLD:0	QLD:n	n=0 (アラームなし) ,1 (アラーム終了) ,2 (アラーム動作中)
ソフトウェア 問い合わせ	QRV	QRV:n.nn	n.nn : ソフトバージョン
状態問い合わせ	QSR	QSR:状態1:状態2...	状態には以下のコマンドが返信される msu:0 通常操作中 msu:1 設定中 oms:0001 モニター1 oms:0002 モニター2 ocs:cccc cccc : カメラ番号 otc:n 画面分割数 n=0 : 4分割 n=1 : 7分割 n=2 : 9分割 n=3 : 10分割 n=4 : 13分割 n=5 : 16分割 oqt:01F シーケンス中 ozm:0 ズームOFF ozm:2 2倍ズーム ozm:4 4倍ズーム opa:再生一時停止 opl:再生 orc:録画 osf:n 早送り再生 (nは217ページを参照) osp:P 再生停止 osp:R 録画停止 osr:n 早戻し再生 (nは217ページを参照) mad:0 アラーム抑止OFF mad:1 アラーム抑止中ON

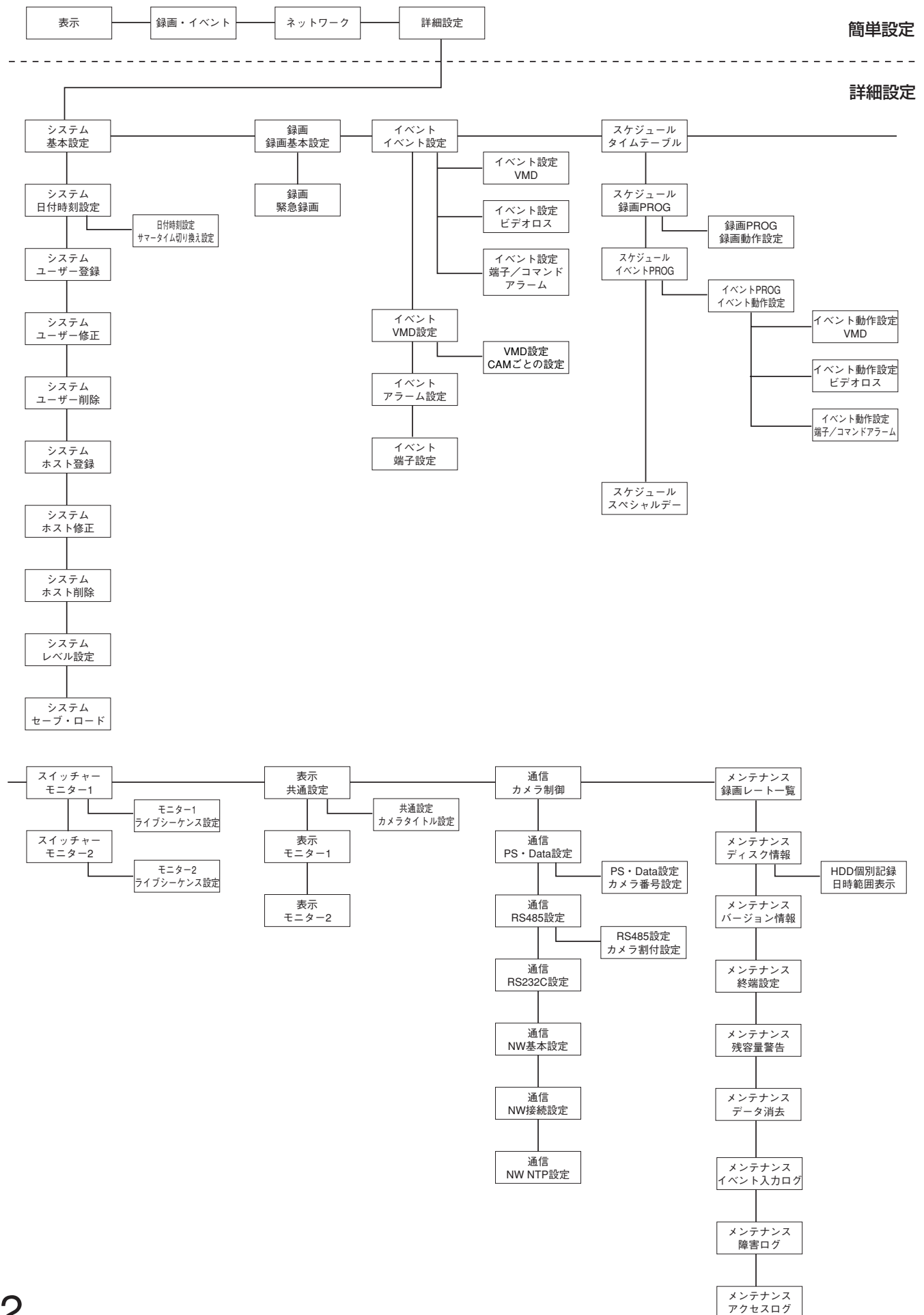
項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
			ztl:n サーチ画面表示 n=0 サーチ画面OFF n=1 録画イベントサーチリスト画面表示 n=2 録画イベントのサーチサムネール画面表示 n=3 VMDサーチリスト画面表示 n=4 VMDサーチサムネール画面表示 n=5 マーキングサーチリスト画面表示 n=6 マーキングサーチサムネール画面表示 n=7 日時検索画面表示 zdt:0 テキスト画面OFF zdt:1 テキスト画面ON
記録モード 問い合わせ	QRM	QRM:n	n=0 (通常録画モード) ,2 (連続録画 (外部タイマー録画) モード)
モニター状態 問い合わせ	ZQM	ZQM:m:a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ :yyyy mmddhhnnss	m=0 (ライブ) ,1 (ライブシーケンス) ,2 (再生) ,3 (それ以外) a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ : カメラCH情報 (バイナリ) yyyyymmddhhnnss: 再生時刻
録画状態 問い合わせ	ZQS	ZQS:1CH録画状態: 2CH録画状態:…:16CH 録画状態	録画状態nn=00 (録画停止) ,01 (マニュアル録画 中) ,02 (イベント録画中) ,03 (スケジュール録画 中) ,04 (緊急録画中)
レコード番号通知	—	ZRN:sss:nn:rrrrrrrrrrrrrr :nnyyyymmddhhnnss: ccc:x:yyy:t	sss:ユニットアドレス nn=シーケンス番号 rrrrrrrrrrrrrr:レコード番号 yyyymmddhhnnss: 録画イベント時刻 ccc: カメラ番号 x=0 (マニュアル録画) ,1 (スケジュール録画) ,2 (VMD 録画) ,3 (端子アラーム録画) ,4 (コマンドアラーム録 画) ,5 (ビデオロス録画) ,6 (緊急録画) yyy: イベント発生CH t=0 (テキストなし) ,1 (テキスト有り) nn=シーケンス番号
カメラSYNC状態 問い合わせ	QSY:a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ a ₅ :b ₁ b ₂ b ₃ b ₄ b ₅	QSY:a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ a ₅ :b ₁ b ₂ b ₃ b ₄ b ₅ :s ₁ s ₂ s ₃ …sm	a ₁ a ₂ a ₃ a ₄ a ₅ ~b ₁ b ₂ b ₃ b ₄ b ₅ : SYNC状態を問い合わせるカメ ラ番号範囲 s ₁ s ₂ s ₃ …sm: 各カメラのSYNC状態 (s _m =0: SYNCなし, s _m =1: SYNCあり)
レコード情報 問い合わせ	ZGP:rrrrrrrrrrrrrrrr	ZGP:rrrrrrrrrrrrrrrr: ccc:q:nnnn:yyymmdd hhnnss:nss:t:ssssss	rrrrrrrrrrrrrr:レコード番号 ccc: カメラCH q: 画質 (0 (SuperFine) ,1 (Fine) ,2 (Normal) , 3 (Extended)) nnnn: 録画レート yyyymmddhhnnss: 録画開始日時 nss: 録画時間 t=0 (テキストなし) ,1 (テキストあり) ssssss: レコードサイズ[KB]

●通信関連

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメータ (ASCII)
通信チェック	RCK	RCK	

必要
な
と
き

SETUP MENUの画面構成



必要なとき

SETUP MENUの設定項目一覧

各SETUP MENU画面の設定項目の一覧です。設定時にご使用ください。

—（下線）が初期設定値です。

簡単設定

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）	
表示	日付表示形式	YY.MM.DD/MMM.DD.YY/DD.MMM.YY	
	時刻表示形式	12 h/ <u>24</u> h	
	日時設定		
	時刻表示位置	L-UPPER/L-LOWER/R-UPPER/R-LOWER	
	カメラタイトル設定	CAM1	<u>1</u>
		CAM2	<u>2</u>
		CAM3	<u>3</u>
		CAM4	<u>4</u>
		CAM5	<u>5</u>
		CAM6	<u>6</u>
		CAM7	<u>7</u>
		CAM8	<u>8</u>
		CAM9	<u>9</u>
		CAM10	<u>10</u> (WJ-HD350のみ)
	CAM11	<u>11</u> (WJ-HD350のみ)	
	CAM12	<u>12</u> (WJ-HD350のみ)	
CAM13	<u>13</u> (WJ-HD350のみ)		
CAM14	<u>14</u> (WJ-HD350のみ)		
CAM15	<u>15</u> (WJ-HD350のみ)		
CAM16	<u>16</u> (WJ-HD350のみ)		
カメラタイトル位置	L-UPPER/L-LOWER/R-UPPER/R-LOWER/CENTER		
ライブシーケンス	ステップ	16ステップまで設定可 (WJ-HD309は9ステップ)	
	画面	<u>1/2</u> /~/ <u>16</u> /1-4/5-8/9-12/13-16/1-9/10-16/-- (WJ-HD309は <u>1/2</u> /~/ <u>9</u> /1-4/5-8/9-9/--)	
	プリセット	1/2/~/ <u>256</u> /--	
	間隔	1 s/ <u>2</u> s/~/30 s	
サマータイム	IN/ <u>OUT</u> /AUTO		
操作ブザー	ON/ <u>OFF</u>		
LANGUAGE	日本語／英語 (ENGLISH) ／フランス語 (FRANÇAIS) ／スペイン語 (ESPAÑOL) ／ドイツ語 (DEUTSCH) ／イタリア語 (ITALIANO) ／ロシア語 (РУССКИЙ) ／中国語 (中文簡体)		
録画・イベント	録画方式	<u>QUICK</u> (簡単) /ADVANCED (詳細)	
	録画カメラ選択	<u>1/2</u> /~/ <u>16</u> (WJ-HD309は <u>1/2</u> /~/ <u>9</u>)	
	解像度	FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF/ <u>FIELD</u> /SIF	
	マニュアル録画	録画レート	OFF/2 ips/3 ips/5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/ 15 ips/30 ips/ <u>60</u> ips/120 ips (SIFのみ)
		画質	SFA/SFB/ <u>FQA</u> /FQB/NQA/NQB/EXA/EXB
	イベント録画	録画レート	OFF/2 ips/3 ips/5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/ 15 ips/30 ips/ <u>60</u> ips/120 ips (SIFのみ)
		画質	SFA/SFB/ <u>FQA</u> /FQB/NQA/NQB/EXA/EXB
		時間	1 s/2 s/3 s/4 s/5 s~/10 s/20 s/ <u>30</u> s/1 min/2 min/~/ 10 min/20 min/30 min/~/60 min/MAN./CON.
		動作モード	ADM/ <u>ALM</u> /OFF

必要なとき

SETUP MENUの設定項目一覧（つづき）

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）	
イベント設定	VMD（アラーム出力）	1 s/2 s/~/30 s/40 s/50 s /1 min/~/5 min/EXT/ <u>OFF</u>	
	VMD（ブザー鳴動）	1 s/2 s/~/30 s/40 s/50 s /1 min/~/5 min/EXT/ <u>OFF</u>	
	ビデオロス（アラーム出力）	-	
	ビデオロス（ブザー鳴動）	1 s/ <u>2 s</u> /~/30 s/40 s/50 s /1 min/~/5 min/EXT/ <u>OFF</u>	
	端子/コマンドアラーム（アラーム出力）	1 s/ <u>2 s</u> /~/30 s/40 s/50 s /1 min/~/5 min/EXT	
	端子/コマンドアラーム（ブザー鳴動）	1 s/ <u>2 s</u> /~/30 s/40 s/50 s /1 min/~/5 min/EXT/ <u>OFF</u>	
	連続録画（外部タイマー）	<u>ON/OFF</u>	
	VMD設定	エリア設定	-
		全エリア設定	-
		エリア削除	-
全エリア削除		-	
感度設定		LOW/MID/HIGH/ <u>OFF</u>	
	検出モード	<u>ANY AREA</u> /VECTOR/DURATION	
ネットワーク	通信速度	<u>AUTO</u> /10-HALF/10-FULL/100-HALF/100-FULL	
	HTTPポート番号	<u>80</u>	
	DHCP	<u>ON/OFF</u>	
	IPアドレス	<u>192.168.000.250</u>	
	ネットマスク	<u>255.255.255.000</u>	
	ゲートウェイ	<u>192.168.000.001</u>	

詳細設定

SETUP MENU画面	設定項目	設定値 (下線は初期設定値)
システム		
基本設定	ADMINパスワード	<u>12345</u>
	PSDユーザー	<u>ADMIN</u>
	オートログイン	<u>ON</u> /OFF
	オートログインユーザー	<u>ADMIN</u>
	オートログアウト	OFF/1 min/2 min/3 min/4 min/5 min /30 min
	優先順位	優先度に従う/前優先/後優先
	最新画像位置	最新5秒前/最新10秒前/ <u>最新30秒前</u> /最新1分前/最新5分前
	LANGUAGE	日本語/英語 (ENGLISH) /フランス語 (FRANÇAIS) /スペイン語 (ESPAÑOL) /ドイツ語 (DEUTSCH) /イタリア語 (ITALIANO) /ロシア語 (РУССКИЙ) /中国語 (中文簡体)
	操作ブザー	ON/ <u>OFF</u>
	障害ブザー鳴動	OFF/EXT/1 s/ <u>2 s</u> /~/30 s/40 s/50 s/1 min/2 min/3 min /4 min/5 min
	停電処理開始時間	<u>10 s</u> /20 s/30 s/1 min/2 min/3 min/4 min/5 min
	自動コピー	<u>OFF</u> /COPY1/COPY1(ALT)/COPY2/COPY2(ALT)/HDD
日付時刻設定	日付表示形式	<u>YY.MM.DD</u> /MMM.DD.YY/DD.MMM.YY
	時刻表示形式	12 h/ <u>24 h</u>
	自動時刻合わせ	OFF/MASTER/SLAVE
	動作時刻	<u>0:00~23:00</u>
	サマータイム	IN/OUT/AUTO
	サマータイム切り換え設定	開始日時・終了日時を設定。10パターンまで設定可
ユーザー登録	ユーザー名	
	パスワード	
	レベル	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	優先度	<u>1</u> ~16
	スタートモニター	WJ-HD350の場合 <u>CAM1</u> ~CAM16/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9-12/ QUAD13-16/7SCREEN/9SCREEN1-9/9SCREEN10-16/ 10SCREEN/13SCREEN/16SCREEN/SEQ WJ-HD309の場合 <u>CAM1</u> ~CAM9/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9/7SCREEN/ 9SCREEN/SEQ
	カメラパーティショニング	表示・操作/表示/ー
ホスト登録	ホストIPアドレス	
	レベル	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	優先度	<u>1</u> ~16
	スタートモニター	WJ-HD350の場合 <u>CAM1</u> ~CAM16/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9-12/ QUAD13-16/ 9SCREEN1-9/9SCREEN10-16/16SCREEN/ SEQ WJ-HD309の場合 <u>CAM1</u> ~CAM9/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9/9SCREEN/ SEQ
	カメラパーティショニング	表示・操作/表示/ー
レベル設定	設定	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	設定参照	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	カメラ設定	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	イベントログ参照	<u>LV1</u> /LV2/LV3
	アクセスログ参照	<u>LV1</u> /LV2/LV3

SETUP MENUの設定項目一覧（つづき）

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）
	障害ログ参照	LV1/LV2/LV3
	アラーム復帰	LV1/LV2/LV3
	アラーム抑止	LV1/LV2/LV3
	コピー	LV1/LV2/LV3
	通常録画領域手動消去	LV1/LV2/LV3
	イベント録画領域手動消去	LV1/LV2/LV3
	マニュアル録画	LV1/LV2/LV3
	再生	LV1/LV2/LV3
	NWアクセス	LV1/LV2/LV3
録画	録画方式	QUICK（ <u>簡単</u> ）/ADVANCED（詳細）
録画基本設定	録画動作	ON/OFF
	連続録画（外部タイマー）	ON/OFF
	マニュアル録画CH	MON2表示CH/全CH
	カラーモード	COLOR FINE/COLOR STD/B/W
	タイトル埋め込み	ON/OFF
	時刻埋め込み	ON/OFF
	録画優先度	イベント録画 1 スケジュール録画 3 マニュアル録画 2
	音声割付	WJ-HD350の場合 AUDIO1：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM16 AUDIO2：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM16 AUDIO3：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM16 AUDIO4：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM16 WJ-HD309の場合 AUDIO1：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM9 AUDIO2：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM9 AUDIO3：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM9 AUDIO4：OFF/CAM1/CAM2/~ /CAM9
緊急録画設定	解像度	FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF/ <u>FIELD</u> /SIF
	録画時間	1 s/2 s/~ /10 s/20 s/30 s/1 min/2 min/~ /10 min /20 min/30 min/40 min/50 min/60 min/MANUAL /CONTINUE
	録画レート・画質	OFF/1 ips/2 ips/ <u>3 ips</u> /5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/ 15 ips/30 ips/60 ips SFA/SFB/FQA/FQB/NQA/NQB/EXA/EXB
	自動コピー	ON/OFF
イベント	VMD（アラーム出力）	1 s/2 s/~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/EXT/OFF
イベント設定	VMD（ブザー鳴動）	1 s/2 s/~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/EXT/OFF
	ビデオロス（アラーム出力）	--
	ビデオロス（ブザー鳴動）	1 s/ <u>2 s</u> /~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/EXT/OFF
	端子/コマンドアラーム（アラーム出力）	1 s/ <u>2 s</u> /~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/EXT
	端子/コマンドアラーム（ブザー鳴動）	1 s/ <u>2 s</u> /~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/EXT/OFF
VMD設定	エリア設定	-
	全エリア設定	-
	エリア削除	-
	全エリア削除	-
	感度設定	LOW/MID/HIGH/OFF
	検出モード	ANY AREA/VECTOR/DURATION
アラーム設定	アラーム表示リセット	1 s/2 s/~ /30 s/40 s/50 s/1 min/~ /5 min/OFF
	アラームマスク期間	<u>2 s</u> /~ /10 s
端子設定		<u>N.O.</u> N.C.

必要なとき

SETUP MENU画面	設定項目	設定値 (下線は初期設定値)
スケジュール 録画PROG	録画PROG1~4	解像度 FRAME 3D ON/FRAME 3D OFF/FIELD/SIF
		カメラCHごとの録画レート・画質 OFF ^{※1} /0.1 ips/0.2 ips/0.3 ips/0.4 ips/0.5 ips/1 ips/2 ips/3 ips ^{※2} /5 ips/6 ips/7.5 ips/10 ips/15 ips/30 ips/60 ips ※1 スケジュール録画、イベント・プレ録画、イベント・ポスト録画の初期設定値 ※2 マニュアル録画の初期設定値 SFA/SFB/FQA/FQB/NQA/NQB/EXA/EXB イベント・プレ録画時間 1 s/2 s/3 s/4 s/5 s~/ <u>10 s</u> /20 s/30 s/1 min/2 min/~ /10 min/20 min/30 min/~ /60 min イベント・ポスト録画時間 1 s/2 s/3 s/4 s/5 s~/10 s/20 s/ <u>30 s</u> /1 min/2 min/~ /10 min/20 min/30 min/~ /60 min/MAN./CON.
イベントPROG	イベントPROG1~4	VMD 動作モード ADM/ <u>ALM</u> /OFF 自動コピー ON/ <u>OFF</u> ビデオロス 動作モード ADM/ <u>ALM</u> /OFF 自動コピー ON/ <u>OFF</u> 端子/コマンドアラーム 動作モード ADM/ <u>ALM</u> /OFF 自動コピー ON/ <u>OFF</u>
タイムテーブル	月曜日~日曜日	時間帯1 - 時間帯2 - 時間帯3 - 時間帯4 - 時間帯5 - 時間帯6 -
	毎日	時間帯1 <u>[00:00] ~ [24:00]</u> プログラム <u>[録画PROG1、イベントPROG1]</u> 時間帯2 - 時間帯3 - 時間帯4 - 時間帯5 - 時間帯6 -
	外部録画モード	時間帯1 - 時間帯2 - 時間帯3 - 時間帯4 - 時間帯5 - 時間帯6 -
スペシャルデー		日付と曜日のタイムテーブルを設定。30日分設定可
スイッチャー モニター1	ライブシーケンス	WJ-HD350の場合 ステップ 16ステップまで設定可 画面 <u>1/2</u> /~/16/1-4/5-8/9-12/13-16/1-9/10-16/-- プリセット 1/2/~/256/-- 間隔 1 s/ <u>2 s</u> /~/30 s

必要なとき

SETUP MENUの設定項目一覧（つづき）

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）
		WJ-HD309の場合 ステップ 9ステップまで設定可 画面 <u>1</u> / <u>2</u> /~/ <u>9</u> /1-4/5-8/9-9/1-9/-- プリセット 1/2/~/256/± 間隔 1 s/ <u>2</u> s/~/30 s
	シーケンスタイミング	<u>INT</u> /EXT/MON2
	オートスキップ	<u>ON</u> /OFF
	ログイン待機画面	WJ-HD350の場合 CAM1/CAM2/~/CAM16/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9-12 /QUAD13-16/7SCREEN/9SCREEN1-9/9SCREEN10-16/ 10SCREEN/13SCREEN/16SCREEN/SEQ/± WJ-HD309の場合 CAM1/CAM2/~/CAM9/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9 /7SCREEN/9SCREEN/SEQ/±
	シークレットビュー	<u>ON</u> /OFF
モニター2	ライブシーケンス	WJ-HD350の場合 ステップ 16ステップまで設定可 画面 <u>1</u> / <u>2</u> /~/ <u>16</u> /1-4/5-8/9-12/13-16/1-9/10-16/-- プリセット 1/2/~/256/± 間隔 1 s/ <u>2</u> s/~/30 s WJ-HD309の場合 ステップ 9ステップまで設定可 画面 <u>1</u> / <u>2</u> /~/ <u>9</u> /1-4/5-8/9-9/1-9/-- プリセット 1/2/~/256/± 間隔 1 s/ <u>2</u> s/~/30 s
	シーケンスタイミング	<u>INT</u> /EXT
	オートスキップ	<u>ON</u> /OFF
	ログイン待機画面	WJ-HD350の場合 CAM1/CAM2/~/CAM16/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9-12 /QUAD13-16/7SCREEN/9SCREEN1-9/9SCREEN10-16/ 10SCREEN/13SCREEN/16SCREEN/SEQ/± WJ-HD309の場合 CAM1/CAM2/~/CAM9/QUAD1-4/QUAD5-8/QUAD9 /7SCREEN/9SCREEN/SEQ/±
表示	共通設定	カメラタイトル設定 CAM1 <u>1</u> CAM2 <u>2</u> CAM3 <u>3</u> CAM4 <u>4</u> CAM5 <u>5</u> CAM6 <u>6</u> CAM7 <u>7</u> CAM8 <u>8</u> CAM9 <u>9</u> CAM10 <u>10</u> (WJ-HD350のみ) CAM11 <u>11</u> (WJ-HD350のみ) CAM12 <u>12</u> (WJ-HD350のみ) CAM13 <u>13</u> (WJ-HD350のみ) CAM14 <u>14</u> (WJ-HD350のみ) CAM15 <u>15</u> (WJ-HD350のみ) CAM16 <u>16</u> (WJ-HD350のみ)

SETUP MENU画面	設定項目	設定値 (下線は初期設定値)
	時刻表示位置	<u>L</u> -UPPER/L-LOWER/R-UPPER/R-LOWER
	カメラタイトル位置	L-UPPER/L-LOWER/R-UPPER/R-LOWER/ <u>C</u> ENTER
	分割線表示	<u>W</u> HITE/GRAY/BLACK
モニター1	時刻表示	<u>O</u> N/OFF
	カメラタイトル表示	<u>O</u> N/OFF
	アラーム表示	<u>O</u> N/OFF
モニター2	画面スタイル	<u>ス</u> タイル1/スタイル2/スタイル3
	時刻・ステータス表示位置	UPPER/ <u>L</u> OWER
	カメラタイトル表示	<u>O</u> N/OFF

通信

カメラ制御・ケーブル補償

WJ-HD350の場合

CAM1	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM2	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM3	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM4	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM5	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM6	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM7	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM8	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM9~12	<u>P</u> SD/RS485/OFF
CAM13~16	<u>P</u> SD/RS485/OFF

WJ-HD309の場合

CAM1	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM2	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM3	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM4	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM5	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM6	同軸通信/PSD/RS485/OFF・ <u>S</u> /M/L
CAM7	PSD/RS485/OFF
CAM8	PSD/RS485/OFF
CAM9	PSD/RS485/OFF

PS・Data

ユニットアドレス (システム)	<u>0</u> 01~099
ユニットアドレス (コントローラー)	<u>0</u> 01~099
カスケード	<u>O</u> N/OFF
ボーレート	2 400 bps/4 800 bps/ <u>9</u> 600 bps/19 200 bps/ 38 400 bps
データビット	<u>8</u> bit
パリティチェック	<u>N</u> ONE/EVEN/ODD
ストップビット	<u>1</u> bit/2 bit
再送時間	<u>O</u> FF/100 ms/200 ms/400 ms/1 000 ms
アラームデータ	OFF/0 s/ <u>1</u> s/5 s

必要なとき

SETUP MENUの設定項目一覧（つづき）

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）
	カメラ番号設定	CAM PORT1 <u>001</u> ~999
		CAM PORT2 <u>002</u> ~999
		CAM PORT3 <u>003</u> ~999
		CAM PORT4 <u>004</u> ~999
		CAM PORT5 <u>005</u> ~999
		CAM PORT6 <u>006</u> ~999
		CAM PORT7 <u>007</u> ~999
		CAM PORT8 <u>008</u> ~999
		CAM PORT9 <u>009</u> ~999
		CAM PORT10 <u>010</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT11 <u>011</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT12 <u>012</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT13 <u>013</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT14 <u>014</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT15 <u>015</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		CAM PORT16 <u>016</u> ~999 (WJ-HD350のみ)
		RS485設定
カメラ割付	CAM1 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM2 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM3 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM4 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM5 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM6 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM7 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM8 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM9 <u>PORT1</u> /PORT2	
	CAM10 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
	CAM11 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
	CAM12 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
	CAM13 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
	CAM14 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
	CAM15 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)	
CAM16 <u>PORT1</u> /PORT2 (WJ-HD350のみ)		
RS232C設定 (シリアル)	ユニットアドレス (システム)	<u>001</u> ~099
	ボーレート	<u>9 600</u> bps/19 200 bps/38 400 bps
	データビット	7 bit/ <u>8 bit</u>
	パリティチェック	NONE/EVEN/ <u>ODD</u>
	ストップビット	<u>1 bit</u> /2 bit
	再送時間	<u>OFF</u> /100 ms/200 ms/400 ms/1 000 ms
NW基本設定	HTTPポート番号	<u>80</u>
	FTPポート番号	<u>21</u>
	ユーザー認証	ON/ <u>OFF</u>
	ホスト認証	ON/ <u>OFF</u>
	通信速度	<u>AUTO</u> (自動設定) /10-HALF/10-FULL/100-HALF /100-FULL
	ライブ画画質	<u>FQB</u> /NQB(QVGA)
NW接続設定	DHCP	ON/ <u>OFF</u>
	IPアドレス	<u>192.168.000.250</u>
	ネットマスク	<u>255.255.255.000</u>
	ゲートウェイ	<u>192.168.000.001</u>
	DNS	MANUAL/AUTO/ <u>OFF</u> プライマリ <u>000.000.000.000</u> セカンダリ <u>000.000.000.000</u>

必要なとき

SETUP MENU画面	設定項目	設定値（下線は初期設定値）
	DDNS	ON/OFF ユーザー名 パスワード アクセス間隔 10 min/30 min/ <u>1 h</u> /6 h/24 h
	ホスト名	<u>HD350</u> (WJ-HD309の場合は <u>309</u>)
	ドメイン名	<u>localdomain</u>
NW NTP	NTP自動時刻合わせ	ON/OFF
	タイムゾーン	GMT-12:00/GMT-11:00/...../GMT-4:00/GMT-3:30/ GMT-3:00/...../GMT-1:00/GMT/GMT+1:00/GMT+2:00/ GMT+3:00/GMT+3:30/GMT+4:00/GMT+4:30/GMT+5:00 /GMT+5:30/GMT+5:45/GMT+6:00/GMT+6:30/ GMT+7:00/GMT+8:00/ <u>GMT+9:00</u> /GMT+9:30/ GMT+10:00/GMT+11:00/...../GMT+13:00
	NTPサーバーアドレス	
	時刻問い合わせ間隔	1 h/2 h/ <u>6 h</u> /12 h/24 h
メンテナンス	アワーメーター警告設定	10 000 h/ <u>20 000 h</u> /30 000 h
ディスク情報	HDDセーフティモード	ON/OFF
端末設定	通常録画領域	<u>CONTINUE</u> /STOP
	イベント録画領域	<u>CONTINUE</u> /STOP
	コピー領域	CONTINUE/ <u>STOP</u>
	COPY1	CONTINUE/ <u>STOP</u>
	COPY2	CONTINUE/ <u>STOP</u>
残容量警告	HDD-通常録画領域	OFF/1 %/2 %/ <u>~</u> /10 %
	HDD-イベント録画領域	OFF/1 %/2 %/ <u>~</u> /10 %
	HDD-コピー録画領域	OFF/1 %/2 %/ <u>~</u> /10 %
	COPY1	OFF/1 %/2 %/ <u>~</u> /10 %
	COPY2	OFF/1 %/2 %/ <u>~</u> /10 %
データ消去	HDD自動消去	<u>OFF</u> /1 DAY/2DAYS/~/10DAYS/14DAYS/30DAYS/ 45DAYS/60DAYS/90DAYS/120DAYS/150DAYS/ 180DAYS
	通常録画領域手動消去	
	イベント録画領域手動消去	
	コピー領域手動消去	
	フォーマット	

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。 	—
電源投入後、HDD セーフティモード画面 が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●HDDセーフティモードがONになっています。 HDDセーフティモードをOFFにしてください。 	100
モニター1、モニター2、 モニター（VGA）にカ メラ映像が表示され ない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズキャップは外しましたか？ レンズキャップが外れているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか、確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルは正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか、確認してください。 	108
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニターの輝度調整、コントラスト調整は正しくされて いますか？ 設定を確認してください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーはカメラ映像を表示できる ユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確 認してください。 	150、153
画面が欠けて表示され る	<ul style="list-style-type: none"> ●モニターの表示／領域のばらつきによるもので、故障 ではありません。 	—

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
本機のボタンを押してもログイン画面が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●システムコントローラーから操作しているユーザーはいませんか？ システムコントローラーから操作しているユーザーがないか確認してください。 	-
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラのレンズにゴミやほこりが付着していませんか？ カメラのレンズを確認してください。 	-
メニューを開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーはSETUP MENUを表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。 	151、153
	<ul style="list-style-type: none"> ●モニター1を使用していませんか？ モニター1にSETUP MENUは表示できません。 	22
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●HDDに空きがありますか？ ディスク使用量を確認してください。 	191
	<ul style="list-style-type: none"> ●録画動作がONに設定されていますか？ 設定を確認してください。 	156
	<ul style="list-style-type: none"> ●スケジュールは正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。 	167
	<ul style="list-style-type: none"> ●録画優先度は正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。 	158
マトリクススイッチャーシステムの設定メニューが録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ノンインターレース信号で表示された設定メニューは録画や表示ができない場合があります。マトリクススイッチャーシステムの設定メニューはノンインターレース信号のため、本機では録画や表示ができない場合があります。 	-
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●映像が録画されていますか？ ディスク内に録画された映像があるか確認してください。 	44

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーは再生できるユーザーレベルに設定されていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。 	150、153
	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーはカメラ映像を表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーのユーザーレベル設定を確認してください。 	150、153
カメラを制御できない	<ul style="list-style-type: none"> ●接続は正しいですか？同軸通信での制御が可能なカメラCHは映像入力1～8CHに接続されているカメラです。 制御しようとしているカメラCHを確認してください。 	108
	<ul style="list-style-type: none"> ●制御しようとしているカメラはコンビネーションカメラですか？ 制御しようとしているカメラの種類を確認してください。 	108
	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラ制御は正しく設定されていますか？ 設定を確認してください。 	183
	<ul style="list-style-type: none"> ●ログインしているユーザーのユーザーレベルはカメラ制御ができるユーザーレベルになっていますか？ 設定を確認してください。 	150、153
	<ul style="list-style-type: none"> ●BUSYランプが点灯していますか？ランプが点灯しているときは、優先度の高いユーザーがカメラを制御しています。 	21
	<ul style="list-style-type: none"> ●後面にあるアラーム／コントロール端子、アラーム端子に正しく信号が入力されていますか？ 	120、124
アラーム動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム端子は正しく設定されていますか？ 	124

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
アラーム動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●動作モードがALM（アラームモード）に設定されていますか？ 設定を確認してください。 	170
VIDEO LOSSが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラは正しく接続されていますか？ カメラの接続を確認してください。 	108
	<ul style="list-style-type: none"> ●接続に問題がない場合は、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので、販売店にご相談ください。 	-
THERMALが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●周囲温度は+5℃～+45℃が範囲内となっています。ただし、周囲温度が+40℃を超えたことを目安に「THERMAL」が表示されます。「THERMAL」が表示される場合は、HDD保護のために設置環境を見直し、周囲温度を+20℃～+30℃とするようおすすめします。「THERMAL」が頻繁に表示される場合は、販売店にご相談ください。 	93
時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵バックアップ電池は充電されていますか？ 48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池を充電してください。 	93
	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵バックアップ電池が消耗していませんか？ 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（寿命は使用条件によって短くなる場合があります）。 	93
電源を入れるとHDDディスクコンフィグ画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●HDDの構成を変更（追加または抜き取り）しましたか？ この場合は、自動的にHDDディスクコンフィグ画面が表示されます。 	198
	<ul style="list-style-type: none"> ●HDDの構成を変更しなくてもHDDディスクコンフィグ画面が表示される場合は、HDDが故障していますので、販売店にご相談ください。 	-

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
HDDの残容量が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 端末設定が「STOP」に設定されていますか？ 端末設定を確認してください。 	193
	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常録画領域、イベント録画領域、HDDコピー領域は存在しますか？ 	-
ライトバーにHDDの使用量が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 端末設定が「STOP」に設定されていますか？ 端末設定を確認してください。 	193
	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常録画領域、イベント録画領域は存在しますか？ 	-
ネットワーク経由で接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機、PCのネットワーク設定は正しく行われていますか？ ネットワーク設定を確認してください。 	取扱説明書 ネットワーク 設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト登録は正しく行われていますか？ ホスト認証設定がONの時、ホスト登録設定で登録されているホスト（PC）以外から本機に接続することはできません。 	152
映像更新速度が遅い、レスポンスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークが混雑していませんか？ ネットワークが混雑している時、左記の症状が発生します。 	-
起動画面表示中に1回再起動する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機は前回起動時に接続されていた増設ユニットを、起動時に1台でも認識できなかった場合、起動画面表示中に再起動します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機と増設ユニットを接続する専用ケーブルが外れたり、ゆるんだりしていませんか？ ・ 本機に接続されていた増設ユニットをすべて外したりしていませんか？ 	-

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
外部記憶装置にコピーできない 外部記憶装置のメディアを検索・再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ●外部記憶装置は指定のものを使用していますか？ ●外部記憶装置によっては使用できないメディアがある場合があります。外部記憶装置の取扱説明書をお読みください。 	-
サイズ・残容量ともに正常に表示されているのにコピーが中断される	<ul style="list-style-type: none"> ●自動コピー設定をHDD/COPY1/COPY2からOFFに変更しても、自動コピーが完了するまでコピーが行われるため、この間コピーや検索・再生ができない場合があります。 	147
サイズ・残容量ともに正常に表示されているのにコピーが中断される	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、再生ができるか確認してください。HDDが故障したときなど、再生できないリストが残る場合があります。HDDを交換してください。再生できないリストは手動で消去できます。交換したHDDのデータについては販売店にご相談ください。 	-

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状	原 因 ・ 対 策
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

索引

<アルファベット・数字>

1画面で表示する62
A-Bリピート再生6, 39
ADM5, 73, 170
ADMINパスワード (SETUP MENU-詳細設定) ...146
ADVANCED (詳細)134
ALM5, 73, 170
ALT25, 88
ANY AREAモード56, 59, 164, 165
BNCケーブル96
BUSYランプ20
COM22, 25, 194
COMMAND44
CP125
CP225
CPY25
DATAポート105, 183
DDNS (SETUP MENU-詳細設定)189
DHCP (SETUP MENU-簡単設定)140
DHCP (SETUP MENU-詳細設定)189
DNS (SETUP MENU-詳細設定)189
DURATIONモード57, 59, 164, 165
EMERGENCY44
EMR194
EVEN184, 187
EVT25, 26
EXA5, 136, 159, 168
EXB5, 136, 159, 168
EXT (設定パラメーター)121, 160, 176
EXT (ディスク情報)191
FAN25, 89, 195
FIELD135, 159, 167
FQA5, 136, 159, 168
FQB5, 136, 159, 168
FRAME 3D OFF135, 159, 167
FRAME 3D ON135, 159, 167
FTPポート番号 (SETUP MENU-詳細設定) ...188
H-METER25, 88
HDD5
HDD-ERROR89, 195
HDDコピー領域40
HDD自動消去 (SETUP MENU-詳細設定) ..81, 194
HDDセーフティモード6, 99
HDDセーフティモード (SETUP MENU-詳細設定) .192
HDD通常領域/イベント領域25, 40
HDDディスクコンフィグ6
HDDディスクコンフィグの画面表示199
HDDについて198
HDDを復旧する200, 211

HDDを論理的に切り離し再構成する212
HTTPポート番号 (SETUP MENU-簡単設定)140
HTTPポート番号 (SETUP MENU-詳細設定)188
INT121, 176
IPアドレス (SETUP MENU-簡単設定)140
IPアドレス (SETUP MENU-詳細設定) ...183, 189
LANGUAGE (SETUP MENU-簡単設定) ...133
LANGUAGE (SETUP MENU-詳細設定) ...147
LOSS22, 25, 194
M-FAIL195
MANUAL36, 44
MASTER148
Master121
MEDIUM25, 89, 195
MON2176
N.C.125, 166
N.O.125, 166
NML25, 26
NONE184, 187
NQA5, 136, 159, 168
NQB5, 136, 159, 168
NTPサーバーアドレス (SETUP MENU-詳細設定) ..190
NTP自動時刻合わせ (SETUP MENU-詳細設定)190
NW NTP設定 (SETUP MENU-詳細設定) ...190
NW基本設定 (SETUP MENU-詳細設定)98, 188
NW接続設定 (SETUP MENU-詳細設定)189
ODD184, 187
PCから操作する90
POWER25, 88
PSDユーザー (SETUP MENU-詳細設定) ...98, 146
PS・Data6, 107
PS・Data設定 (SETUP MENU-詳細設定)184
PS・Data対応機器との接続方法112
PWR LOSS195
PWR RECOVER195
QUICK (簡単)134
R-ERROR88
R-FAIL89, 195
RAID56, 200, 208
RAID5機能6, 200
REMOVE25, 89, 195
RS232C設定 (SETUP MENU-詳細設定) ..187
RS4856
RS485カメラとの接続方法118
RS485設定 (SETUP MENU-詳細設定) ..183, 186
RS485ポート105, 107
SCHEDULE44
SETUP MENU-簡単設定127
SETUP MENU-詳細設定141
SETUP MENUの画面構成222

SETUP MENUの設定項目一覧	223
SFA	5, 136, 159, 168
SFB	5, 136, 159, 168
SIF	135, 167
SIGNAL GND端子	105
SLAVE	148
Slave	121
SMART	25, 88, 195
S映像出力端子	105, 111
TERMINAL	44
THERMAL	25, 88, 195, 234
TRM	22, 25, 194
V-ERROR	88
VECTORモード	56, 59, 164, 165
VIDEO LOSS	44, 234
VMD	5, 22, 25, 44, 194
VMD (SETUP MENU-詳細設定)	170
VMD検索設定画面	53
VMD検索リスト画面	53
VMDサーチ	53
VMD設定 (SETUP MENU-簡単設定)	138
VMD設定 (SETUP MENU-詳細設定)	161
VTRとの接続方法	111
W-ERROR	88

<あ>

アイリス	69
アクセスログ (SETUP MENU-詳細設定)	196
アクティビティディテクションモード	73, 170
頭出し再生する	43
頭出し日時入力画面	43
アラーム/コントロール端子	104, 120
アラーム/コントロール端子、アラーム端子の時間と極性	125
アラーム設定 (SETUP MENU-詳細設定)	166
アラーム端子	104, 124
アラームデータ (SETUP MENU-詳細設定)	185
アラーム動作	74
アラーム動作を解除する	75
アラーム動作を抑止する	76
アラーム表示 (SETUP MENU-詳細設定)	181
アラーム表示リセット (SETUP MENU-詳細設定)	166
アラーム復帰ボタン	20
アラームマスク期間 (SETUP MENU-詳細設定)	166
アラームモード	73, 170
アワーメーター警告設定 (SETUP MENU-詳細設定)	192
安全上のご注意	13
一時停止	37
イベント	5
イベントPROG (SETUP MENU-詳細設定)	170
イベント (SETUP MENU-詳細設定)	160

イベント機能	73
イベント設定 (SETUP MENU-簡単設定)	137
イベント設定 (SETUP MENU-詳細設定)	160
イベント動作	5
イベント入力ログ (SETUP MENU-詳細設定)	194
イベント発生時の動作	73
イベント録画	5, 18, 35
イベント録画 (SETUP MENU-簡単設定)	136
イベント録画領域	198
イベント録画領域手動消去 (SETUP MENU-詳細設定)	194
動き検出エリア設定画面	54
動き自動検出	5, 73
映像出力端子	105
映像出力1~16端子	104
映像入力1~16端子	104
エラー動作	88
応答コマンド	214
オート機能	72
オートスキップ (SETUP MENU-詳細設定)	176, 177
オートログアウト (SETUP MENU-詳細設定)	146
オートログイン (SETUP MENU-詳細設定)	146
オートログインユーザー (SETUP MENU-詳細設定)	146
音声出力端子	104, 105
音声入力1~4端子	104
音声割付 (SETUP MENU-録画)	158

<か>

解像度	5
解像度 (SETUP MENU-簡単設定)	135
解像度 (SETUP MENU-詳細設定)	158, 167
外部記憶装置	40
外部記憶装置との接続	110
外部録画切り換え	121
外部録画モード	5, 120, 121, 172
各部のなまえ (SETUP MENU-簡単設定)	27
各部のなまえ (SETUP MENU-詳細設定)	29
各部のなまえ (画面表示)	22
各部のなまえ (後面パネル部)	104
各部のなまえ (前面パネル部)	20
画質	5, 159, 168
カスケード (SETUP MENU-詳細設定)	184
カスケード接続する場合の接続方法	114
カスケード入力端子	104
カメラCHごとの録画レート	168
カメラCHごとの録画レート・画質 (SETUP MENU-詳細設定)	191
カメラ制御 (SETUP MENU-詳細設定)	183
カメラ制御・再生制御機能ボタン	20
カメラ選択ボタン	20
カメラタイトル位置 (SETUP MENU-簡単設定)	131

索引 (つづき)

カメラタイトル位置 (SETUP MENU-詳細設定)	180
カメラタイトル設定 (SETUP MENU-簡単設定)	130
カメラタイトル設定 (SETUP MENU-詳細設定)	178
カメラタイトル表示 (SETUP MENU-詳細設定)	181, 182
カメラの設定メニューを表示する	197
カメラのライブ映像を見る	62
カメラパーティショニング (SETUP MENU-詳細設定)	97, 151, 152
カメラ番号設定 (SETUP MENU-詳細設定)	185
カメラ割付 (SETUP MENU-詳細設定)	186
カメラを操作する	66
画面スタイル表示 (SETUP MENU-詳細設定)	182
カラーモード (SETUP MENU-詳細設定)	157
簡単設定の画面表示	27, 127
簡単設定の基本的な操作	27, 128
簡単設定メニュー一覧	127
起動画面	31
起動する	31
基本設定 (SETUP MENU-詳細設定)	146
共通設定 (SETUP MENU-詳細設定)	178
緊急録画	5, 18, 35, 36, 121
緊急録画 (SETUP MENU-詳細設定)	158
緊急録画の録画時間	36, 159
ゲートウェイ (SETUP MENU-簡単設定)	140
ゲートウェイ (SETUP MENU-詳細設定)	189
ケーブル補償	6, 183
検索して再生する	44
検出モード	56, 59, 164, 165
検出モード設定画面	164
工事説明	93
故障かな!?	232
コピー1端子	25, 105, 110, 147
コピー2端子	25, 105, 110, 147
コピー完了操作	52, 78
コピーした映像を検索して再生する	49
コピーする	77
コピーデータサーチ	49
コピーデータリスト画面表示	49
コピー領域	25, 77, 198
コピー領域手動消去	194
コマ送り/逆コマ送り	37
コマンドアラーム受信	73
コマンドフォーマット	213

<さ>

サーチ	21
最新画像位置 (SETUP MENU-詳細設定)	147
最新画像へスキップ	38
再生/一時停止ボタン	21

再生する	37
再生中の便利な機能	37
再送時間 (SETUP MENU-詳細設定)	184, 187
サブメニュー	29
サマータイム (SETUP MENU-簡単設定)	133
サマータイム (SETUP MENU-詳細設定)	24, 149
サマータイム切り換え設定 (SETUP MENU-詳細設定)	149
残容量警告 (SETUP MENU-詳細設定)	193, 195
シークレットビュー (SETUP MENU-詳細設定)	177
シーケンス	5
シーケンスタイミング (SETUP MENU-詳細設定)	121, 176, 177
シーケンス表示する	65
時刻表示位置 (SETUP MENU-詳細設定)	180
時刻・ステータス表示位置 (SETUP MENU-詳細設定)	182
時刻埋め込み (SETUP MENU-詳細設定)	157
時刻間い合わせ間隔 (SETUP MENU-詳細設定)	190
時刻表示 (SETUP MENU-詳細設定)	22, 181
時刻表示位置 (SETUP MENU-簡単設定)	129
時刻表示形式 (SETUP MENU-簡単設定)	129
時刻表示形式 (SETUP MENU-詳細設定)	148
システム (SETUP MENU-詳細設定)	146
システムチェック完了画面	31
システムの管理者	6
自動コピー	170
自動コピー (SETUP MENU-詳細設定)	147, 159
自動時刻合わせ (SETUP MENU-詳細設定)	122, 148
ソフトボタン	20
絞り込み条件	44, 46, 49, 51
シャトルリング	21
十字ボタン	21
終端設定 (SETUP MENU-詳細設定)	193
仕様	243
障害ブザー鳴動 (SETUP MENU-詳細設定)	147
障害ログ (SETUP MENU-詳細設定)	195
消去する	81, 193
詳細設定の画面表示	29, 143
詳細設定の基本的な操作	29, 144
詳細設定メニュー一覧	141
使用上のお願い	16, 93
状態表示ランプ	20
商標および登録商標について	3
商品概要	2
商品の特長	2
初期化 (DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカード)	82
初期化 (HDD)	201
ジョグダイヤル	21
シリアル (RS232C) コマンドリファレンス	213
シリアル端子	104, 126
スイッチャー (SETUP MENU-詳細設定)	174

ズーム	67
スキップ	38
スケジュール (SETUP MENU-詳細設定)	167
スケジュール作成の流れ (SETUP MENU-スケジュール)	167
スケジュール録画	5, 18, 35
スタートモニター (SETUP MENU-詳細設定)	97, 150, 152
スタイル1	23, 182
スタイル2	23, 182
スタイル3	23, 182
ストップビット (SETUP MENU-詳細設定)	184, 187
スペシャルデー (SETUP MENU-詳細設定)	167, 173
セーブ・ロード (SETUP MENU-詳細設定)	154
接続する	107
設置工事について	99
設置上のお願い	17, 95
設定/ESCボタン	21
セットボタン	21
前面端子カバー	21
操作ブザー (SETUP MENU-簡単設定)	133
操作ブザー (SETUP MENU-詳細設定)	147
送信コマンド	213
増設端子	105
増設ユニットとの接続方法	109

<た>

タイトル埋め込み (SETUP MENU-詳細設定)	157
タイムゾーン (SETUP MENU-詳細設定)	190
タイムテーブル (SETUP MENU-詳細設定)	171
多画面再生	38
多画面で表示する	64
多画面表示	5
タスクバー	23
タスクバーの表示内容	24
タスクバーの表示方法	23
端子/コマンドアラーム (SETUP MENU-詳細設定)	171
端子アラーム	73
端子設定 (SETUP MENU-詳細設定)	166
通常録画領域	26, 198
通常録画領域手動消去 (SETUP MENU-詳細設定)	82, 194
通信 (SETUP MENU-詳細設定)	183
通信速度 (SETUP MENU-簡単設定)	140
通信速度 (SETUP MENU-詳細設定)	189
停止ボタン	21
低速パンチルト	21
ディスク情報 (SETUP MENU-詳細設定)	191
ディスク選択画面	41
ディスクを選んで再生する	40
ディスクを管理する	81, 198

停電処理開始時間 (SETUP MENU-詳細設定)	147
データコピー画面	77
データ消去 (SETUP MENU-詳細設定)	193
データビット (SETUP MENU-詳細設定)	184, 187
テキスト表示	39
電源スイッチ	16, 20, 93, 105
電源端子	105
電源を入れる	31
電源を切る	34
電子ズーム	6, 63
動作時刻 (SETUP MENU-詳細設定)	148
動作モード (イベント)	73
同軸通信	2, 6
時計を合わせる	33
ドメイン名 (SETUP MENU-詳細設定)	190
取り扱い上のお願い	16, 93

<な>

内蔵HDD	16, 93
内蔵バックアップ電池	16, 93
日時設定 (SETUP MENU-簡単設定)	129
日時設定 (SETUP MENU-詳細設定)	148
ネットマスク (SETUP MENU-簡単設定)	140
ネットマスク (SETUP MENU-詳細設定)	189
ネットワーク (SETUP MENU-簡単設定)	140
ネットワークポート	105

<は>

バージョン情報 (SETUP MENU-詳細設定)	192
初めてお使いになるときは	99
パスワード (SETUP MENU-詳細設定)	32, 97, 100, 150
早送り	38
早戻し	38
パリティチェック (SETUP MENU-詳細設定)	184, 187
パン/チルト	66
日付時刻設定 (SETUP MENU-詳細設定)	148
日付表示形式 (SETUP MENU-簡単設定)	129
日付表示形式 (SETUP MENU-詳細設定)	148
ビデオロス	73
ビデオロス (SETUP MENU-詳細設定)	171
表示 (SETUP MENU-簡単設定)	129
表示 (SETUP MENU-詳細設定)	178
フォーカス	6, 68
フォーマット (DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカード)	84
フォーマット (HDD)	201
フォーマット (SETUP MENU-詳細設定)	85, 194
フォーマット画面 (HDDディスクコンフィグ)	202
付属品をご確認ください	3

索引 (つづき)

プリセット/オートパン画面	71, 72
プリセット動作	70
プリセット番号	70
プリセットポジション登録画面	70
プリセットポジションへ移動する	71
プリセットポジションを登録する	70
プレ録画	5, 169
分割線表示 (SETUP MENU-詳細設定)	180
ホールド再生	6, 38
ポーレート (SETUP MENU-詳細設定)	184, 186, 187
保証とアフターサービス	裏表紙
ホストIPアドレス (SETUP MENU-詳細設定)	152
ホスト管理	97
ホスト削除 (SETUP MENU-詳細設定)	153
ホスト修正 (SETUP MENU-詳細設定)	153
ホスト登録 (SETUP MENU-詳細設定)	152
ホスト認証 (SETUP MENU-詳細設定)	188
ホスト名 (SETUP MENU-詳細設定)	190
ポスト録画	5, 169
本機単体で使用する場合の接続方法	108
本書について	3

<ま>

マーキング	6, 38
マーキングサーチ	60
マーキングリスト画面	60
マーキングを検索して再生する	60
マスク期間	59
マニュアル録画	5, 18, 35
マニュアル録画CH (SETUP MENU-詳細設定)	157
マニュアル録画 (SETUP MENU-簡単設定)	136
ミラー解除 (HDDディスクコンフィグ)	210
ミラー復旧 (HDDディスクコンフィグ)	211
ミラーリング	6, 208
ミラーリングを開始する	208
ミラーリングを解除する	210
メインエリア	29
メインメニュー	29
免責について	4
メンテナンス (SETUP MENU-詳細設定)	191
モードスイッチ	105, 107
文字情報を表示/編集する	86
モニター1 (SETUP MENU-詳細設定)	174, 181
モニター1 (各部のなまえ)	22
モニター2 (SETUP MENU-詳細設定)	177, 182
モニター2 (各部のなまえ)	23
モニター (VGA) (各部のなまえ)	23
モニター (VGA) 端子	104
モニター切換ボタン	20

モニター出力端子	104
----------	-----

<や>

ユーザー/ホスト管理について	97
ユーザー削除 (SETUP MENU-詳細設定)	151
ユーザー修正 (SETUP MENU-詳細設定)	151
ユーザー登録 (SETUP MENU-詳細設定)	150
ユーザー認証 (SETUP MENU-詳細設定)	188
ユーザー名・パスワードを入力する	32
ユーザー名 (SETUP MENU-詳細設定)	150
ユーザーレベル	150
優先順位	98
優先順位 (SETUP MENU-詳細設定)	147
優先度 (SETUP MENU-詳細設定)	97, 150, 152
ユニットアドレス (コントローラー)	
(SETUP MENU-詳細設定)	184
ユニットアドレス (システム)	
(SETUP MENU-詳細設定)	184, 187
用語・記号について	5

<ら>

ライブ映像	62
ライブ画画質 (SETUP MENU-詳細設定)	189
ライブシーケンス (SETUP MENU-簡単設定)	132
ライブシーケンス (SETUP MENU-詳細設定)	174, 177
ラック取付ねじ	106
ラックへ取り付ける	106
ラックマウント金具	106
ラックマウント金具取付ねじ	106
リンク外し	195, 198, 212
レベル (SETUP MENU-詳細設定)	150, 152
レベル設定 (SETUP MENU-詳細設定)	153
連続録画 (外部タイマー)	
(SETUP MENU-簡単設定)	138
連続録画 (外部タイマー)	
(SETUP MENU-詳細設定)	156
ログアウト	32
ログイン待機画面 (SETUP MENU-詳細設定)	176, 177
録画PROG (SETUP MENU-詳細設定)	167, 171
録画・イベント (SETUP MENU-簡単設定)	134
録画 (SETUP MENU-詳細設定)	155
録画イベントサーチ	44
録画イベントサムネール画面表示	45
録画イベントリスト画面表示	44
録画イベントを検索して再生する	44
録画映像の中から映像に動きのある日時を検索して再生する	53
録画カメラ選択 (SETUP MENU-簡単設定)	134
録画基本設定 (SETUP MENU-詳細設定)	155
録画・再生操作ボタン	21

録画時間 (SETUP MENU-詳細設定)	157
録画する (マニュアル録画)	35
録画動作 (SETUP MENU-詳細設定)	156
録画動作について	18
録画方式 (SETUP MENU-簡単設定)	134
録画方式 (SETUP MENU-詳細設定)	155
録画モード埋め込みについて	157
録画モードと優先度	35, 158
録画優先度 (SETUP MENU-詳細設定)	158
録画領域	26, 40, 198
録画領域設定画面 (HDDディスクコンフィグ)	202
録画レート	5
録画レート・画質 (SETUP MENU-詳細設定)	159
録画レート一覧 (SETUP MENU-詳細設定)	191

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	約75 W
使用温度範囲	+5 °C ~+45 °C
使用湿度範囲	85 %未満
寸法	幅420 mm 高さ88 mm 奥行き350 mm (ゴム足、突起部含まず)
質量	約9 kg
仕上げ	WJ-HD309/5 前面パネル樹脂部 : エフェクトブルーメタリック、ソリッドメタリック塗装 WJ-HD309/10 前面パネル金属部 : ソリッドシルバー塗装 WJ-HD350 WJ-HD350/5 WJ-HD350/10 WJ-HD350/20 WJ-HD350-W 前面パネル樹脂部 : AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色) WJ-HD350-W5 前面パネル金属部 : AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色) WJ-HD350-W10

●入出力

映像	映像入力端子 WJ-HD309	1 V [P-P] / 75 Ω、9系統 (1CH~9CH) (BNC) 制御信号多重、6系統 (1CH~6CH)
	映像入力端子 WJ-HD350	1 V [P-P] / 75 Ω、16系統 (1CH~16CH) (BNC) 制御信号多重、8系統 (1CH~8CH)
	カスケード入力端子	1 V [P-P] / 75 Ω (BNC)
	映像出力端子 WJ-HD309	1 V [P-P] / 75 Ω、アクティブループスルー出力、 8系統 (1CH~8CH) (BNC) ※1 1 V [P-P] / 75 Ω、自動終端ループスルー出力、 1系統 (9CH) (BNC)
	映像出力端子 WJ-HD350	1 V [P-P] / 75 Ω、アクティブループスルー出力、 8系統 (1CH~8CH) (BNC) ※1 1 V [P-P] / 75 Ω、自動終端ループスルー出力、 8系統 (9CH~16CH) (BNC)
	モニター出力端子	1 V [P-P] / 75 Ω、2系統 (BNC)
	モニター (VGA) 端子	RGB出力、1系統 (D-sub15ピン)
	S映像出力端子	Y=1 V [P-P] / 75 Ω、C=0.286 V [P-P] / 75 Ω、1系統
	前面映像出力端子	1 V [P-P] / 75 Ω、1系統 (RCAピン)
	音声	音声入力端子
音声出力端子		-10 dBv 600 Ω、不平衡、2系統 (RCAピン)
その他	増設端子	高速シリアルインターフェース (理論値480 Mbps)、1系統
	コピー端子	高速シリアルインターフェース (理論値480 Mbps)、2系統
	コントロール端子	緊急録画入力※2、コピー端子接続機器残量警告出力※3、HDD異常出力※3、カメラ異常出力※3、異常出力※3、停電処理完了出力※4、時刻合わせ入出力※5、シーケンス切替入出力※5、停電検出入力※2、外部録画モード切替※2 (D-sub 25ピン、+5 V出力※6)
	アラーム端子 WJ-HD309	1~9CHアラーム入力※2、1~9CHアラーム出力※3、アラーム復帰入力※2、アラームサスペンド入出力※5 (D-sub25ピン)
	アラーム端子 WJ-HD350	1~16CHアラーム入力※2、1~16CHアラーム出力※3、アラーム復帰入力※2、アラームサスペンド入出力※5 (D-sub25ピン)
	RS485ポート	RS485準拠 (4線式/2線式※7)、2系統 (RJ11)
	DATA	RS485準拠、2系統 (RJ-11)
	シリアル	RS232C準拠、1系統 (D-sub9ピン)
	ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-Tx (RJ-45)

※1 本機の電源が入っていない場合、映像入力があっても映像は出力されません。

※2 無電圧メーク接点入力 50 kΩ、+5 Vプルアップ

※3 オープンコレクタ出力 DC24 V 100 mA以内

※4 High (+12 V、6.3 mA)

※5 ※2、※3のどちらか (SETUP MENUの設定によります)

※6 最大350 mA

※7 モードスイッチで切り換え可能

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

231～236ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	デジタルディスクレコーダー
品番	WJ-HD350シリーズ
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。 ● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。 ● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。 ● 電源を入れても、映像や音*が出てこない。 ● その他の異常・故障がある。 	<p>故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。</p>

※：音声対応していないモデルもあります。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

0120-878-410 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-HD350シリーズ
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（ ）	—			

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号